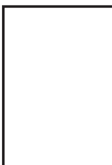
LP-9600S

ユーザーズガイド

4011109-00

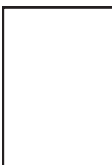
取扱説明書の種類と使い方

本製品には次の取扱説明書が付属しています。



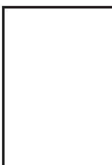
セットアップガイド

プリンタの準備から、プリンタソフトウェアのセットアップまでの手順を記載しています。



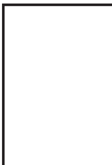
ユーザーズガイド

機能、操作方法など本プリンタを使用していく上で必要となる情報を詳しく説明しています。
また、各種トラブルの解決方法や、お客様からのお問い合わせの多い項目の対処方法を説明しています。
お客様の目的や必要に応じて、必要な章をお読みください。



ネットワーク設定ガイド

本機をネットワーク上に接続してご使用いただくための方法についてご説明しています。
システム管理者の方が、ご利用の環境に応じて必要な章をご覧になりセットアップしてください。



メンテナンスガイド

用紙のセット方法や用紙詰まりの対処方法など、日常的に行う可能性の高いメンテナンス情報をまとめました。ご使用の状況に応じてご覧ください。



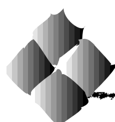
本書の構成

詳しいもくじは次のページにあります。

Windows をお使いの方のみお読みください。 Win

Macintosh をお使いの方のみお読みください。 Mac

DOS をお使いの方のみお読みください。 DOS



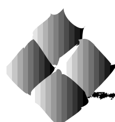
もくじ

7 メンテナンスの仕方

8 詰まった用紙の取り除き方

9 困ったときは

付録



本書中のマーク、表記について

マークについて

本書中では、いくつかのマークを用いて重要な事項を記載しています。
マークが付いている記述は必ずお読みください。

それぞれのマークには次のような意味があります。



この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、プリンタ本体が損傷する可能性が想定される内容、およびプリンタ本体、プリンタドライバやユーティリティが正常に動作しないと想定される内容、必ずお守りいただきたいこと（操作）を示しています。



補足説明や知っておいていただきたいことを記載しています。

用語 *1　用語の説明を、欄外に記載していることを示しています。

　関連した内容の参照ページを示しています。

Windowsの表記について

Microsoft® Windows® Operating system Version3.1 日本語版
Microsoft® Windows®95 operating system 日本語版
Microsoft® Windows®98 operating system 日本語版　―の表記について
Microsoft® WindowsNT® operating system Version 4.0 日本語版
Microsoft® WindowsNT® operating system Version 3.51 日本語版

本書中では、上記各オペレーティングシステムをそれぞれ、Windows3.1、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、WindowsNT3.51と表記しています。また、Windows3.1、Windows95、Windows98、WindowsNT4.0、WindowsNT3.51の総称として「Windows」と表記する場合があります。

Windowsの画面について

本書に掲載するWindowsの画面は、特に指定がない限りWindows98の画面を使用しています。

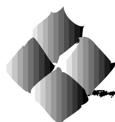
第1章

ご使用の前に

LP-900S

Introduction

ここでは本プリンタの特長や、各部の名称と働きについて説明しています。



本機の特長

●40ppmの高速印刷を実現

40枚/分（A4サイズ、横送り）の高速エンジンに、ハイパフォーマンスコントローラを組み合わせ、さらにパラレルインターフェイスのIEEE 1284 ECPモード対応により大幅なスループット向上を実現しています。

●豊富なペーパーハンドリングが可能

標準の給排紙装置のほかに、大容量給紙ユニットの給紙装置や、10ビンマルチビンユニット、フェイスアップトレイ、ステープルスタッカなどの排紙装置、両面印刷ユニット等を用意しています。これらのオプションの装着により、用途に応じてさまざまなペーパーハンドリングが可能です。

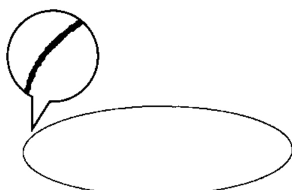
●高速ネットワークインターフェイスを標準装備

100BASE-TX対応の高速ネットワークインターフェイスを標準で装備しています。またタイプB仕様のインターフェイスカード用スロットを1スロット装備し、オプションのインターフェイスカードを装着することも可能です。

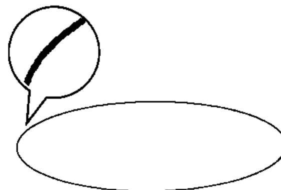
●RIT[*1]機能による高品位な印刷

EPSON独自のRIT（Resolution Improvement Technology）機能により、曲線や小さい文字を印刷する場合でもギザギザの少ない美しい印刷結果が得られます。

RITを有効にしている場合と有効にしていない場合では、印刷結果が下図のように異なります。



300dpi, RIT OFF



300dpi, RIT ON

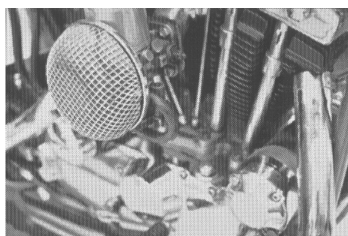
*1 RIT：印刷時に走査線方向を2400dpi、紙送り方向を600dpiの高精度でコントロールすることで、1200dpi相当の高解像度印刷を実現するEPSON独自の機能。

*1 PGI：
階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能。

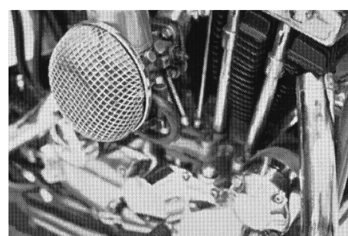
●PGI[*1]機能による階調性豊かな印刷（Windows、Macintosh使用時のみ）

EPSON独自のPGI（Photo and Graphics Improvement）機能により、写真やグラデーションなど、モノクロの階調が変化する画像データを、より階調性豊かに表現できます。

PGI機能を有効に設定し、解像度を「きれい」（600dpi）に設定することで、さらに美しい出力結果が得られます（印刷データのサイズによってはメモリの増設が必要な場合があります）。



300dpi, PGI 無効
（ハーフトーン処理を有効）



600dpi, PGI 有効

●A3サイズの用紙に対応

最大でA3サイズの用紙への印刷が可能です（印刷領域は用紙の端から5mmを除いた範囲）。このため、文字印刷だけでなく、CAD[*2]の出力まで広範囲な用途に対応しています。またCAD出力用のオプションとして、Hewlett-Packard社のプロッタ[*3] HP-7550Aをエミュレーション[*4]するEP-GLモジュールを用意しています。

*2 CAD（Computer Aided Design）：
コンピュータを使用した設計。
*3 プロッタ：
主にCAD等で作成した図面を出力することを目的とした印刷装置。
*4 エミュレーション：
特定の機器が持つ機能を、擬似的に実現させるハードウェアまたはソフトウェア。

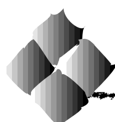
●従来のエプソン製ページプリンタの機能を継承

従来のエプソン製モノクロページプリンタがサポートしていた機能を継承しています。

- エプソン独自のページプリンタ制御体系ESC/Pageによる、自由な文字表現と高度な図形処理。
- インターフェイス自動切り替え機能。
- 国際エネルギースタープログラムに対応した省電力設計。

●各種ユーティリティ（DOSを除く）を添付

コンピュータ上からプリンタの状態をモニタできる「EPSONプリンタウィンドウ!3」（Windows3.1を除く）や、バーコードの作成が簡単にできる「EPSONバーコードフォント」（Windows3.1、Macintoshを除く）など、各種のユーティリティを標準添付しています。



各部の名称と働き

正面

フェイスダウントレイ
印刷した用紙が、印刷面を下にして排紙されます。

トップカバー
通常は閉じて使用します。
オプションの増設メモリや ROM モジュールを装着する場合に開けます。

排紙ストッパ
フェイスダウントレイに排紙された用紙が滑り落ちないように起こします。

操作パネル
プリンタの状態を表示する液晶ディスプレイやランプ、特別な操作の際に押すスイッチなどがあります。
詳細は以下のページを参照してください。
☞本書「操作パネルについて」152 ページ

電源スイッチ
（｜）側を押すと電源がオンになります。
（○）側を押すと電源がオフになります。

用紙カセット 1
A5 サイズ以上の定形紙を最大 500 枚セットできます。
印刷する面を上に向けてセットします。

用紙カセット 2
B5 サイズ以上の定形紙を最大 500 枚セットできます。
印刷する面を上に向けてセットします。

フロントカバー
通常は閉じて使用します。
ET カートリッジの交換時に開けます。

カバー A
通常は閉じて使用します。
ET カートリッジの交換時や、詰まった用紙を取り除く場合に開けます。

カバー B
通常は閉じて使用します。
詰まった用紙を取り除く場合に開けます。

用紙トレイ
ハガキ（100 × 148mm）以上の定形紙、および 100 × 139.7mm 以上の不定形紙を最大 50 枚セットできます。
印刷する面を下に向けてセットします。

背面

RJ-45 コネクタ
標準装備のネットワークインターフェイスのコネクタです。
100BASE-TX/10BASE-T 対応シールドツイストペアケーブル（カテゴリー 5）を接続します（市販の Ethernet ストレートケーブルを使用してください）。

ネットワークインターフェイス用ランプ
緑 ：データ通信の状態を示します。

点灯	待機中
点滅	データ受信中

オレンジ ：コネクタの接続状態を示します。

点灯	100BASE-TX で接続
消灯	10BASE-T で接続

コネクタカバー
オプションのインターフェイスカードを差し込むスロットのカバーです。

パラレルインターフェイスコネクタ
コンピュータのパラレルインターフェイス（プリンタコネクタ）と直接接続する場合、パラレルインターフェイスケーブルを接続するコネクタです。

通風口
内部の過熱を防ぐための空気取り入れ口です。
据置の際は、通風口をふさがないようにしてください。また内部に異物を入れないようにしてください。

オプション用電源インレット
ステープルスタッカの電源ケーブルのプラグを接続します。

AC インレット
同梱の電源ケーブルのプラグを接続します。

オプションコネクタ
左 ：大容量給紙ユニットを接続するコネクタです。
中央：10 マルチビンユニットまたはステープルスタッカを接続するコネクタです。
右 ：両面印刷ユニットを接続するコネクタです。

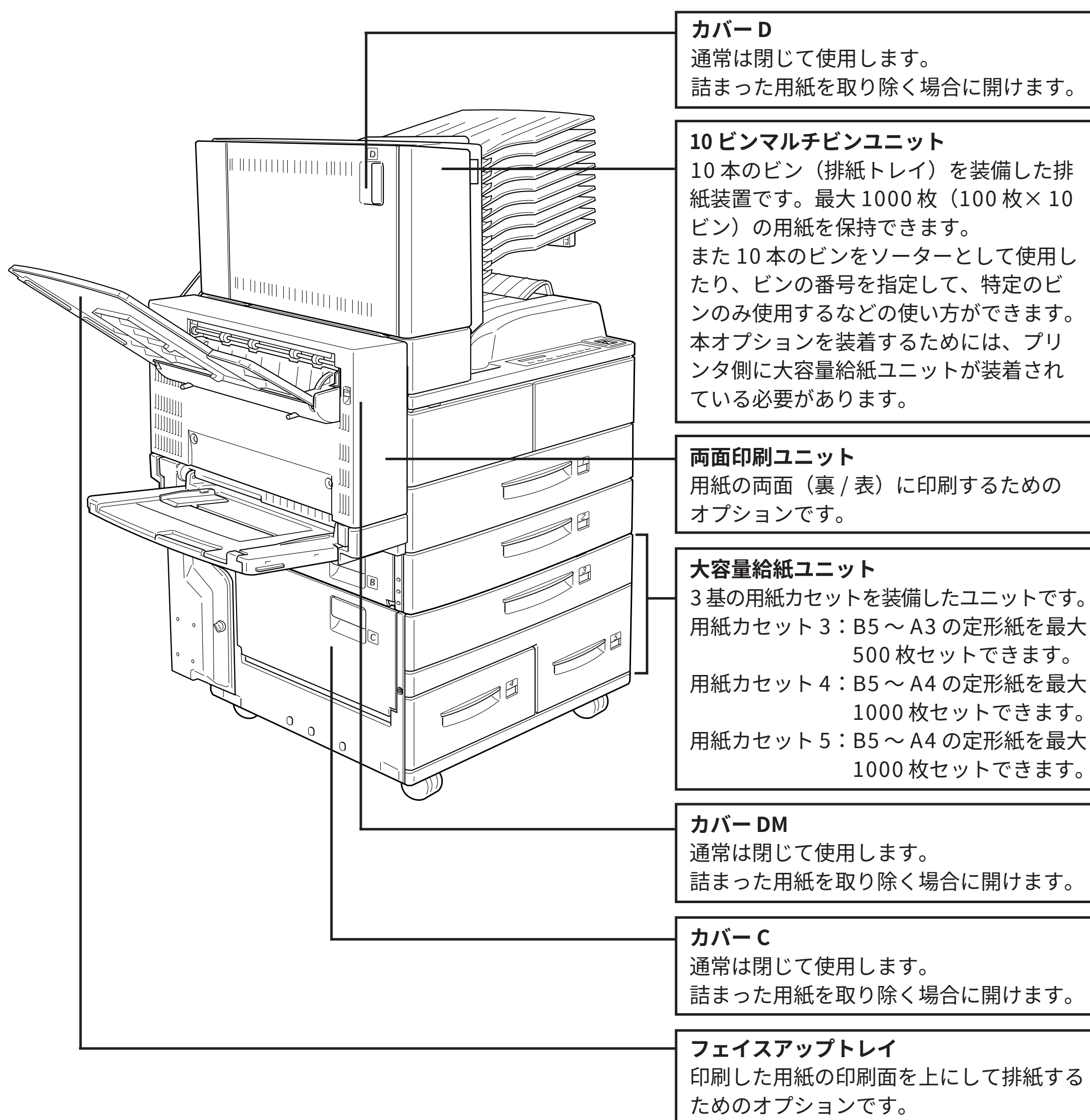
本体内部

定着器
用紙にトナーを定着させる装置です。
高温になりますので絶対に手を触れないでください。火傷の原因になります。

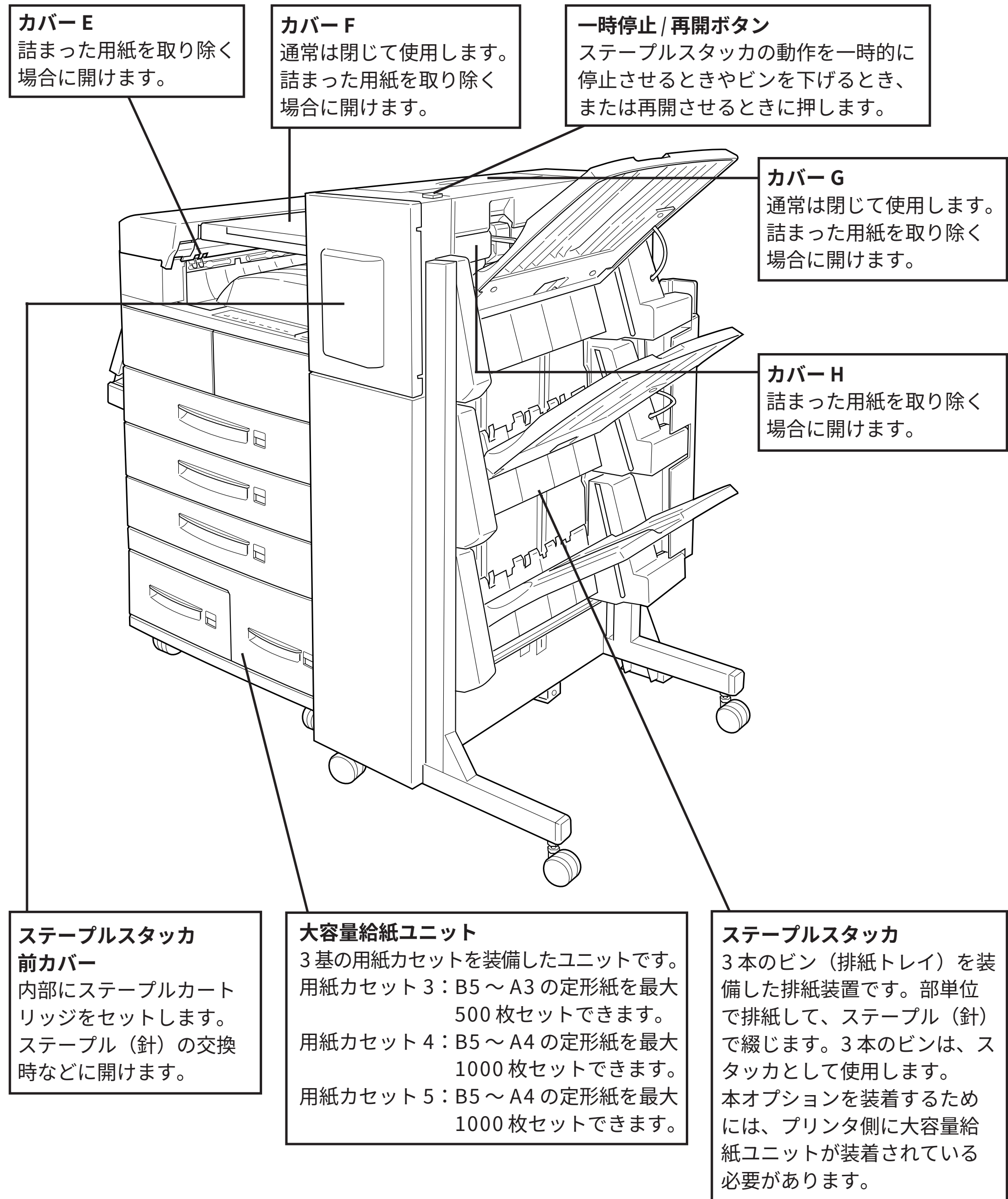
紙送り用つまみ
定着器の内部に用紙が詰まった場合、詰まった用紙を送り出すために操作します。

ET カートリッジ
印刷用のトナーとドラムが一体化されたカートリッジです。

オプション装着状態1
（大容量給紙ユニット/両面印刷ユニット/10ビンマルチビンユニット/フェイスアップトレイ）



オプション装着状態2
（大容量給紙ユニット/ステープルスタッカ）



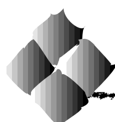
第2章

使用可能な用紙と給紙/排紙方法

LP-9600S

Paper Handling

ここでは、印刷できる用紙、用紙のセット方法、印刷する際の諸注意、排紙方法について説明しています。



用紙について

印刷できる用紙の種類

本プリンタは、ここで紹介する用紙に印刷することができます。これ以外の用紙は使用しないでください。

普通紙	普通紙	複写機などで使用する一般のコピー用紙や上質紙または再生紙*1です。紙厚は60～90g/m² の範囲内のものをお使いください。
	印刷済み*2 （プレプリント紙）	罫線や会社のロゴなどがあらかじめ印刷された（プレプリント）紙です。**レーザープリンタやインクジェットプリンタで一度印刷した用紙をプレプリント紙として使用することはできません。**
	ボンド紙	印刷適性、耐久性に優れた、かたく締った厚目の用紙です。紙厚が90～190g/m²*3のものを使用する場合は、印刷時に紙種を［厚紙］に設定してください。
	色付き*2	色上質紙など用紙全体が染められている用紙です。**カラーレーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された用紙や表面にコーティングされている用紙は使用しないでください。**
特殊紙	官製ハガキ*2	通常の官製ハガキが使用可能です。 往復ハガキの場合は、中央に折り目のないものをお使いください。
	ラベル紙	モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のラベル紙で、台紙全体がラベルで覆われているものをお使いください。
	OHPシート	モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のOHPシートをお使いください。
	レターヘッド*2	上部に差出人名、会社名などが印刷されている用紙です。**レーザープリンタやインクジェットプリンタで印刷された紙は使用しないでください。**
	不定形紙	用紙サイズが100×139.7mm～297×431.8mm、 紙厚が60～90g/m² の範囲内のものをお使いください。
	厚紙	紙厚が90～190g/m²*3の範囲内のものをお使いください。
	穿孔紙	バインダ等に綴じるための穴開き用紙です。 穴の位置が用紙の先端または後端から20mm以内のものをお使いください。

*1 ：再生紙は、一般の室温環境下以外でご使用になると、印刷品質が低下したり、紙詰まりなどの不具合が発生することがありますのでご注意ください。
また、再生紙の使用におてい給紙不良や紙詰まりが発生しやすい場合は、用紙を裏返して使用することにより症状が改善されることがあります。

*2 ：定着器の温度（約180°C）によってインクなどが変質・変色する用紙は使用しないでください。

*3 ：厚紙の用紙厚は90g/m²を超えて190g/m²以下のものを指しますが、本書では「90～190g/m²」という記載をしています。

ポイント

- **特殊紙への印刷の際は、用紙別にご注意いただく事項が異なりますので以下のページを参照してください。**
   **本書「特殊紙への印刷」25ページ**
- **用紙を大量に購入する場合は、必ず事前に試し印刷をして印刷の状態をご確認ください。**

使用できない用紙

以下の用紙は、本機では使用しないでください。印刷不良、紙詰まり、またプリンタの故障などの原因になります。

- カラーレーザープリンタ、本機以外のモノクロレーザープリンタで印刷した後の用紙
- コピー機で印刷した後の用紙
- カーボン紙、ノンカーボン紙、感熱紙、感圧紙、酸性紙
- 熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷した後の用紙
- 封筒
- 薄すぎる用紙、厚すぎる用紙
- 濡れている（湿っている）用紙
- 表面に特殊コートが施された用紙、表面加工されたカラー用紙
- 表面が平滑すぎる（ツルツル、スベスベしすぎる）用紙、粗すぎる用紙、表と裏で粗さが大きく異なる用紙
- ミシン目のある用紙
- 折り目、カール、波うち、破れのある用紙
- 形状が不規則な用紙、裁断角度が直角でない用紙
- 簡単にはがれてしまうラベル紙
- 糊、ステープル（針）、クリップなどが付いた用紙
- インクジェットプリンタ用特殊用紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）
- 貼り合わせた用紙

用紙と給紙/排紙装置の関係

	給紙装置		給紙できる用紙種類	容量	用紙サイズ （）内は、操作パネルの液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ上での表記です。
標準	用紙トレイ		普通紙	50枚*1	A3,A4,A5,B4,B5, Letter(LT),Half-Letter(HLT), Legal(LGL),GovermentLegal(GLG), GovermentLetter(GLT),Ledger(B), F4,Executive(EXE)
			OHPシート	高さ5mm	A4
			ラベル紙	高さ5mm	A4
			厚紙	高さ5mm	100×139.7mm～297×431.8mm
			不定形紙	50枚	100×139.7mm～297×431.8mm
			官製ハガキ	30枚	ハガキ(100×148mm)
	用紙カセット1		普通紙	500枚*1	A3,A4,A5,B4,B5, Letter(LT),Half-Letter(HLT), GovermentLegal(GLG),Ledger(B)
			OHPシート	高さ50mm	A4
			ラベル紙	高さ50mm	A4
	用紙カセット2		普通紙	500枚*1	A3,A4,B4,B5,Letter(LT), GovermentLegal(GLG),Ledger(B)
			OHPシート	高さ50mm	A4
			ラベル紙	高さ50mm	A4
オプション	大容量給紙ﾕﾆｯﾄ(LPDU1)	用紙ｶｾｯﾄ3	普通紙	500枚*1	A3,A4,B4,B5,Letter(LT), GovermentLegal(GLG),Ledger(B)
			OHPシート	高さ50mm	A4
			ラベル紙	高さ50mm	A4
		用紙ｶｾｯﾄ4	普通紙	1000枚*1	A4,B5,Letter(LT)
		用紙ｶｾｯﾄ5			
	排紙装置		**排紙できる用紙種類**	**容量**	**用紙サイズ** （）内は、操作パネルの液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ上での表記です。
標準	フェイスダウントレイ		すべての用紙種類	500枚*2 (ただしｽﾃｰﾌﾟﾙｽﾀｯｶ装着時は300枚*2)	すべての用紙サイズ
オプション	10ビンマルチビンユニット		普通紙	100枚*1/ﾋﾞﾝ	定形サイズ
	ステープルスタッカ		すべての用紙種類 (ただし、ハガキ、不定形紙、厚紙を除く)	670枚*3/ﾋﾞﾝ	A3,A4,A5,B4,B5, Letter(LT),Half Letter(HLT), Legal(LGL), GovermentLegal(GLG), Ledger(B),Executive(EXE)
	フェイスアップトレイ		すべての用紙種類	200枚*1	すべての用紙サイズ

*1：用紙厚64g/m^2の場合　*2：普通紙64g/m^2の場合　*3：A4サイズ普通紙64g/m^2の場合



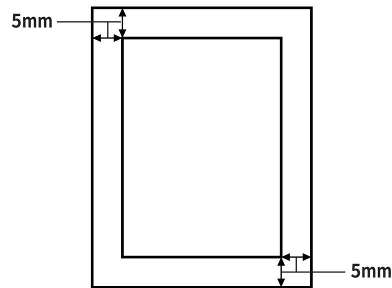
不定形紙や厚紙は、用紙トレイにセットしてください。
用紙カセットにセットして印刷すると、プリンタの内部機構に負荷がかかり、故障や破損の原因となる場合があります。



OHPシート、ラベル紙、厚紙等は、種類によって用紙厚が異なる場合があります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。

印刷できる領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷できます。




ポイント

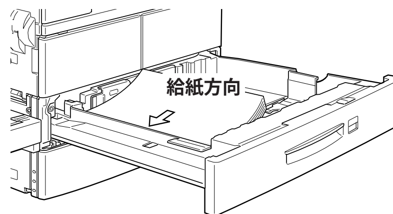
アプリケーションソフトによっては、印刷可能領域が上記より小さくなる場合があります。

横方向にセットする用紙

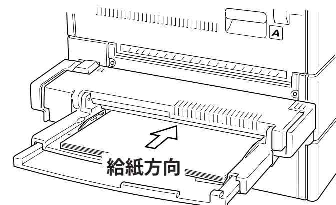
以下の用紙は、給紙方向に対して横方向にセットしてください。

A4、A5、B5、Letter (LT)、Half-Letter (HLT)、Executive (EXE)、Government Letter (GLT)、ハガキ

＜用紙カセットの場合＞

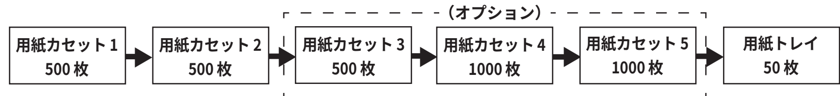


＜用紙トレイの場合＞



給紙装置の優先順位

プリンタドライバや操作パネルの設定で、給紙装置を「自動」や「自動選択」に設定すると、印刷実行時にプリンタが各給紙装置の用紙サイズを次の順番で調べ、印刷データの用紙サイズと一致するサイズの用紙がセットされている給紙装置から給紙します。
はじめに見つけた給紙装置の用紙がなくなった場合、同じサイズの用紙がセットされている、次の給紙装置に自動的に切り替えて給紙します。



本プリンタが標準で持つすべての給紙装置に同じサイズの用紙をセットした場合、最大 1050 枚（普通紙 64g/m² の場合）の連続給紙が可能です。オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合、最大 3550 枚（普通紙 64g/m² の場合）の連続給紙が可能です。

用紙の保管

用紙は以下の点に注意して保管してください。

- 直射日光を避けて保管してください。
- 湿気の少ない場所に保管してください。
- 用紙を濡らさないでください。
- 用紙を立てたり、斜めにしないで、水平な状態で保管してください。
- ホコリが付かないよう、包装紙などに包んで保管してください。



用紙のセット

本機には標準で 3 つの給紙装置（用紙トレイと用紙カセット 1・2）があります。用紙のセット方法は次の通りです。

用紙カセット1・2への用紙のセット

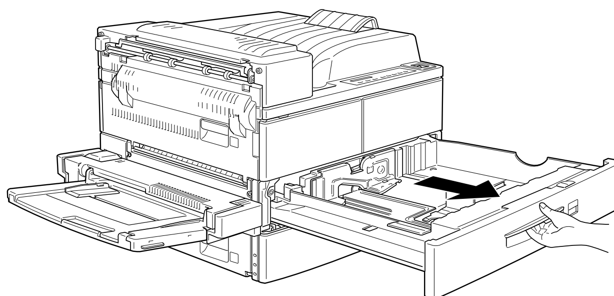
標準搭載されている用紙カセット1と用紙カセット2への用紙のセット方法は同じです。
ただし、セットできる用紙のサイズには違いがあります。

- **用紙カセット 1：**
  A5サイズ以上の定形紙（A3、A4、A5、B4、B5、LT、HLT、GLG、B）
- **用紙カセット 2：**
  B5 サイズ以上の定形紙（A3、A4、B4、B5、LT、GLG、B）

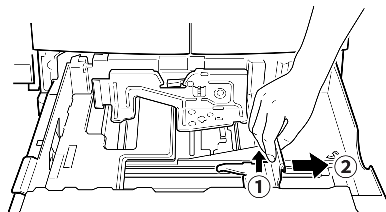

ポイント

用紙カセット1と用紙カセット2はカセット自体の仕様は同一ですが、それぞれのカセットの位置により給紙経路の長さが異なるため、セットできる用紙サイズに違いが生じます。
このため、カセットのセット場所を交換しても、セットできる用紙のサイズは変わりません。

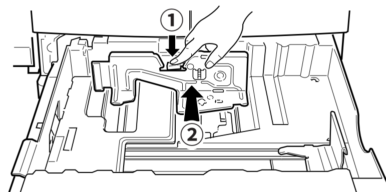
1 **用紙カセットを手前に引き出します。**



2 **用紙ガイド（縦）をつまみ、上に持ち上げて外側にずらします。**



3 **用紙ガイド（横）のレバーを押し下げて、外側にずらします。**

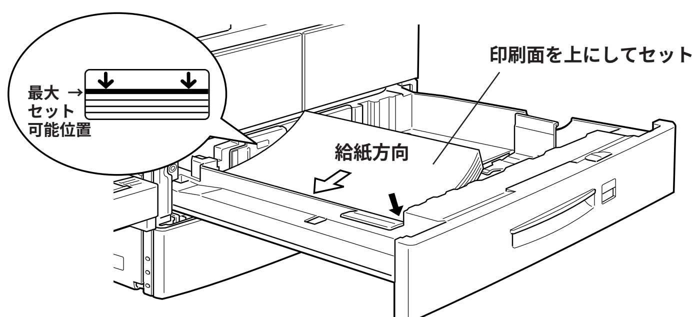


4 用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。

用紙の角を、図の矢印の位置（用紙カセット左側手前の角）に合わせてセットしてください。

A5、B5、A4、LT、HLT サイズの用紙：
給紙方向に対して用紙を横長にセットします。

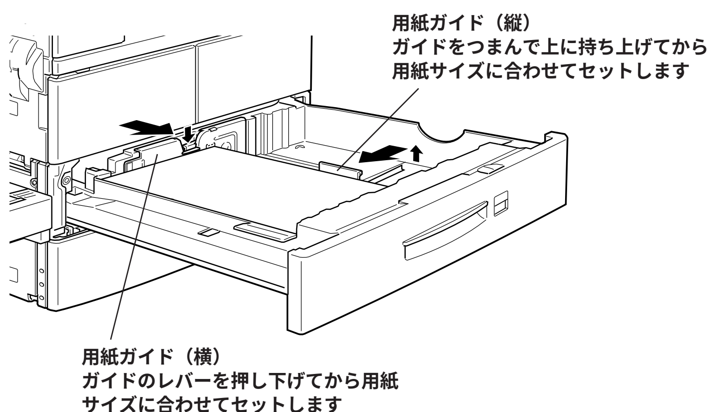
B4、A3、GLG、B サイズの用紙：
給紙方向に対して用紙を縦長にセットします。





用紙カセット内部のラベルの矢印の位置を越えてセットしないでください。用紙カセット 1・2 は、それぞれ最大 500 枚（普通紙 64g/m²）セットできます。

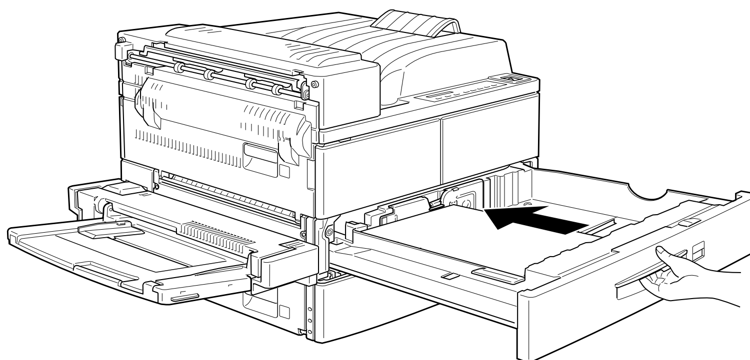
5 用紙ガイド（縦）/（横）を、セットした用紙のサイズに合わせます。



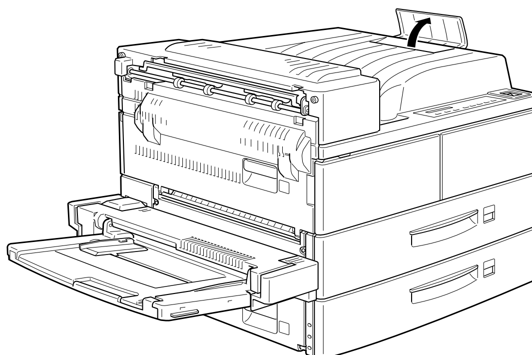


用紙ガイド（縦）/（横）は、必ずセットした用紙のサイズに合わせてください。
用紙ガイドがセットした用紙サイズに合っていないと、プリンタが用紙の有無や用紙のサイズを正しく検知できません。また、正しく給紙できない場合があります。

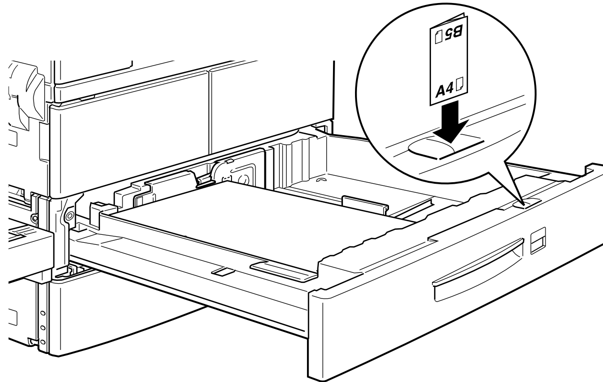
6 用紙カセットをプリンタ本体に押し込みます。



7 B4 以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙ストッパを起こします。



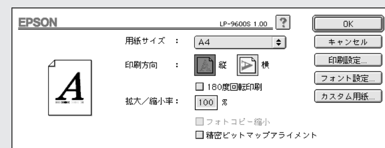
本プリンタには、各種の用紙サイズ（A4、B5 等）が印刷されたカードが添付されています。
各用紙カセットにセットされている用紙のサイズがわかるよう、図のように折り畳み、用紙カセットの図の箇所に差し込んでご使用ください。





- **Windows や Macintosh をお使いの場合、印刷を実行する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズや給紙する給紙装置を設定してください。**



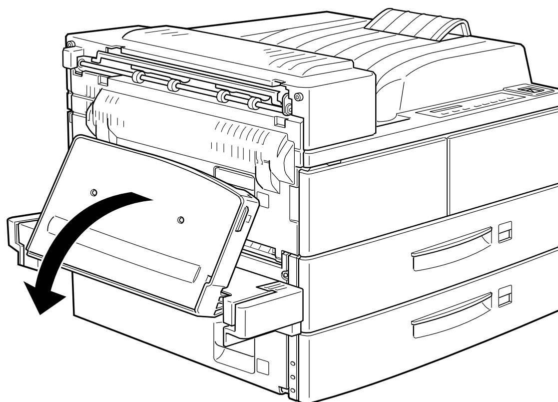


☞本書「Windows からの印刷」47 ページ
本書「Macintosh からの印刷」119 ページ

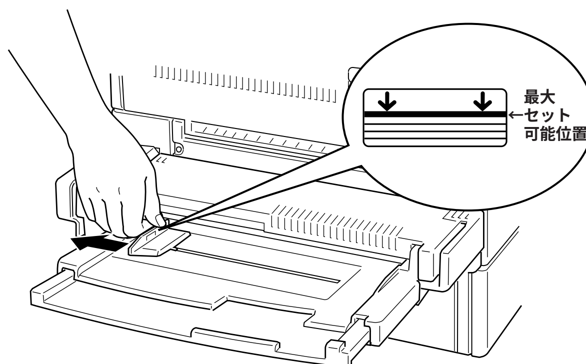
- **DOSをお使いの場合や、使用しているアプリケーションソフトで用紙に関する設定ができない（用紙設定に関する項目がないなど）場合は、操作パネルで「ワンタッチ設定モード 1」の「ヨウシサイズ」を、セットされている用紙のサイズに合わせて指定してください。**
  ☞本書「ワンタッチ設定モード 1 での設定方法」154 ページ
- **必要に応じて給紙タイプ（用紙種類）の設定をします。**
  ☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」31 ページ

用紙トレイへの用紙のセット

1 用紙トレイを開けます。



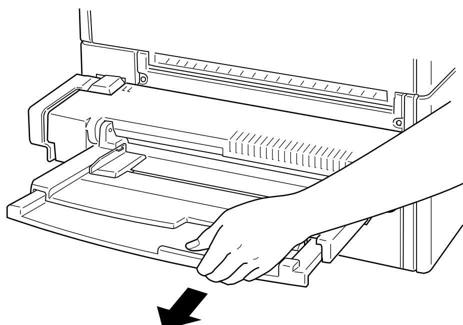
2 用紙ガイドを外側にずらします。




ポイント

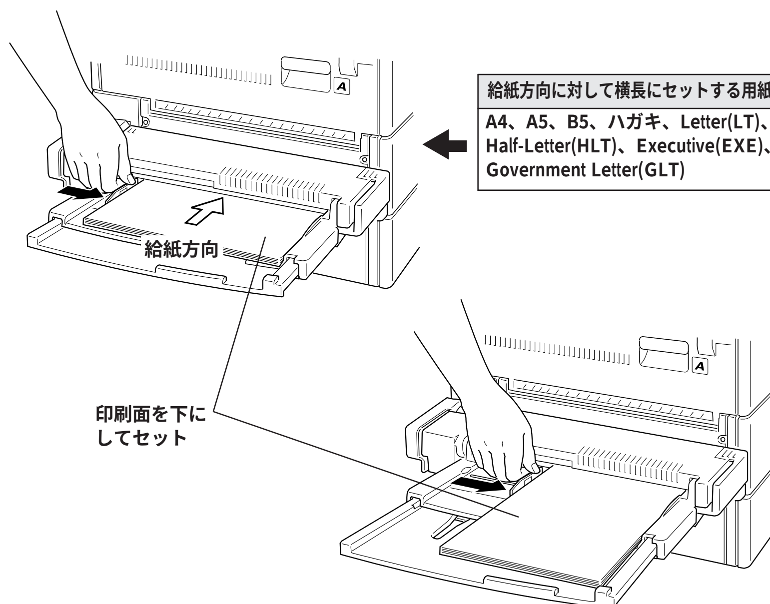
用紙ガイドには、用紙の枚数の目安となるシールが貼ってあります。シールの目盛りの上限を越えないように用紙をセットしてください。最大50枚（普通紙64g/m²）セットできます。

3 **セットする用紙のサイズに応じて、延長部を引き出します。**



4 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を下にして用紙をセットし、用紙ガイドを合わせます。**

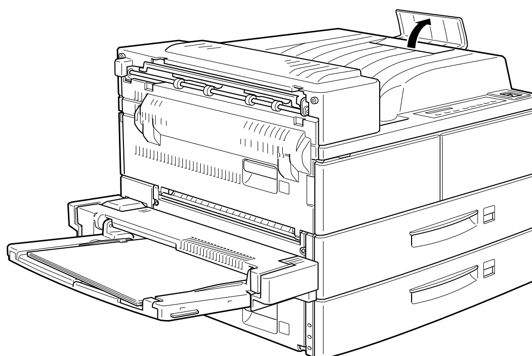
用紙を差し込み口に軽く当たるまで入れてから用紙ガイドをセットした用紙のサイズに合わせます。





- 用紙ガイドのツメを超えて用紙をセットしないでください。正常に給紙できない場合があります。
- 用紙ガイドはセットした用紙のサイズに正しく合わせてください。用紙ガイドが正しい位置に合っていないと、印刷速度の低下や用紙詰まりの原因となります。また、オプションの両面印刷ユニット装着時に両面印刷ができない場合があります。

5 **B4 以上のサイズの用紙に印刷する場合は、排紙ストッパを起こします。**



6 **操作パネルの「トレイ紙サイズ」の設定を、セットした用紙のサイズに合わせて設定します。**

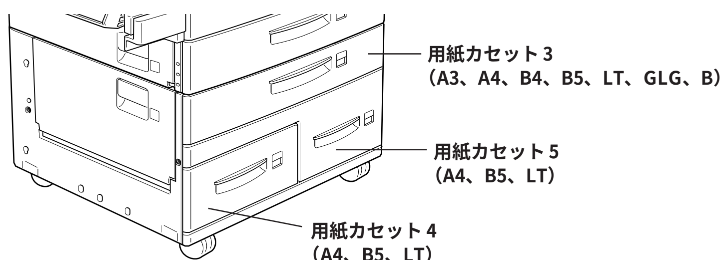
「トレイ紙サイズ」は、操作パネルの「ワンタッチ設定モード 2」で設定できます。

本書「ワンタッチ設定モード 2 での設定方法」156 ページ

> ポイント
> **必要に応じて給紙タイプ（用紙種類）の設定をします。**
> **本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」31 ページ**

大容量給紙ユニット（オプション）への用紙のセット

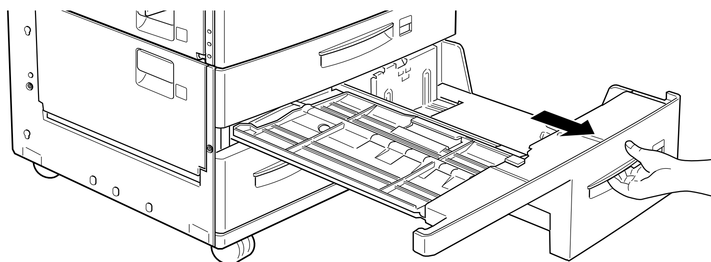
オプションの大容量給紙ユニット（LPDU1）は用紙カセット 3～5 の 3 つの用紙カセットを装備しています。
各用紙カセットにセットできる用紙のサイズは次の通りです。



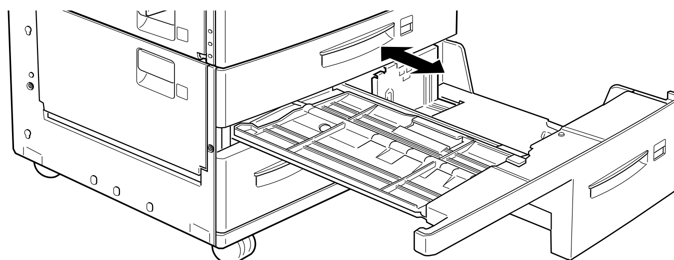
用紙カセット 3 への用紙のセット方法は、用紙カセット 1・2 の場合と同様です。
☞本書「用紙カセット 1・2 への用紙のセット」15 ページ

用紙カセット 4・5 への用紙のセットは次の通りです。

1. **用紙カセット 4 または 5 を引き出します。**
   以降のイラストは用紙カセット 5 の場合を例にしています。

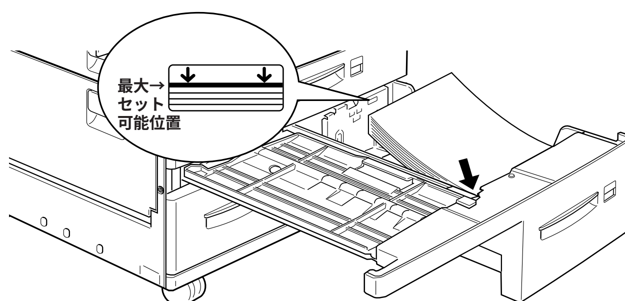


2. **用紙ガイド上部のレバーを手前に倒して、外側にずらします。**



3 **用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上に向けてセットします。**

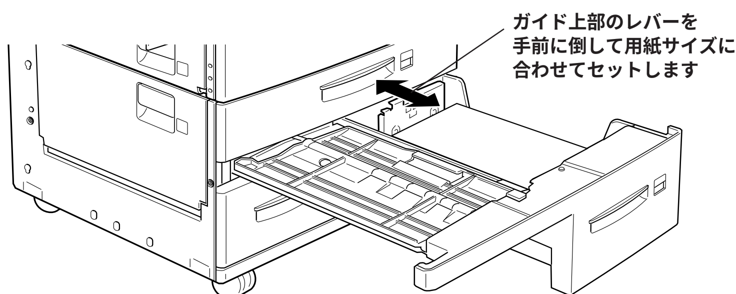
用紙の角を、図の矢印の位置（用紙カセット左側手前の角）に合わせてセットしてください。





用紙カセット内部のラベルの矢印の位置を越えてセットしないでください。
用紙カセット4・5は、それぞれ最大1000枚（普通紙64g/m²）セットできます。

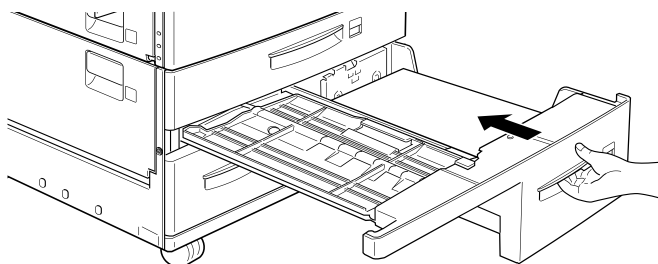
4 **用紙ガイドを、セットした用紙のサイズに合わせます。**



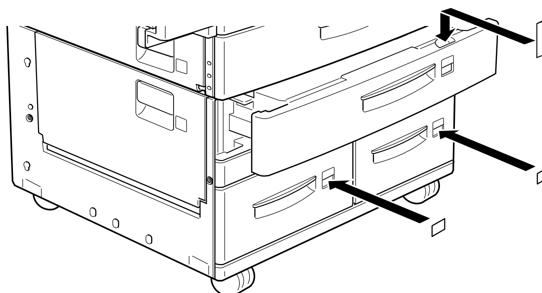


用紙ガイドは、必ずセットした用紙のサイズに合わせてください。
用紙ガイドがセットした用紙サイズに合っていないと、プリンタが用紙の有無や用紙のサイズを正しく検知できません。また、正しく給紙できない場合があります。

5 用紙カセットを大容量給紙ユニット本体に押し込みます。



大容量給紙ユニットには、各種の用紙サイズ（A4、B5等）が印刷されたラベルが添付されています。
各用紙カセットにセットされている用紙のサイズがわかるよう、用紙カセットの図の箇所に貼ってご使用ください。




ポイント

必要に応じて給紙タイプ（用紙種類）の設定をします。
本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」31 ページ



特殊紙への印刷

ここでは、ハガキやOHPシートなど、特殊紙への印刷方法について説明します。

ハガキへの印刷

ハガキに印刷する前に、同じサイズの用紙で試し印刷をして印刷位置や印刷方向などの確認をしてください。

給紙方法／セット可能枚数	用紙トレイ／30枚（官製ハガキ190g/m² の場合）
操作パネルの設定	［トレイ紙サイズ］を［ハガキ］に設定
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→［ハガキ100×148mm］ ［給紙装置］→［用紙トレイ］
	Macintosh ［用紙設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→［ハガキ］ ［プリント］ダイアログ：［給紙装置］→［用紙トレイ］



以下のハガキは使用しないでください。故障や印刷不良などの原因になります。

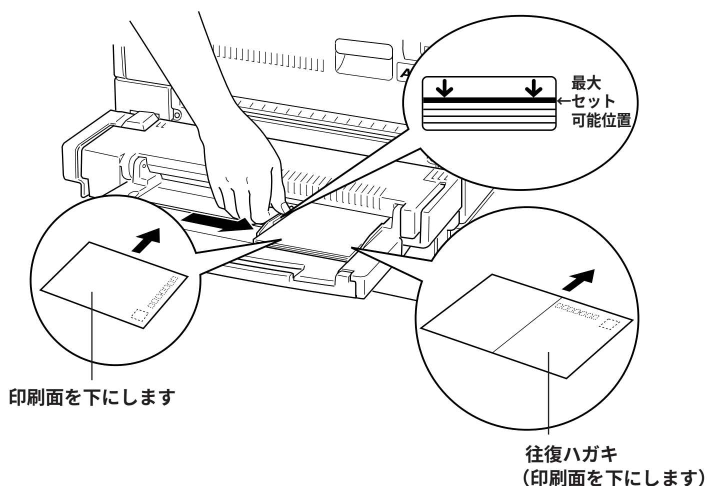
- **私製ハガキ**
- **箔押し、エンボス加工など表面に凹凸のあるハガキ**
- **絵ハガキなどの厚い（190g/m² を超える）ハガキ**
- **熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで一度印刷したハガキ**
- **本プリンタ以外のモノクロレーザープリンタ、カラーレーザープリンタで一度印刷したハガキ**
- **大きく反っているハガキ（反りを修正してご使用ください）**



- **往復ハガキは用紙に折り目がないものを使用してください。**
- **往復ハガキに印刷する場合は、アプリケーションソフトで用紙サイズを「200mm × 148mm」に設定してください。**
  アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、往復ハガキへの印刷はできません。
- **奥までしっかりセットしても給紙されなかった場合は、先端を数mm上に反らせてセットしてください。**
- **用紙トレイから給紙します（印刷する面を下に向けてセットしてください。用紙カセットからの給紙はできません）。**
- **絵ハガキなど、あらかじめ裏面（または表面）に印刷済みのハガキの反対面に印刷する場合は、ハガキの反りを直してからプリンタにセットしてください。**

給紙の仕方

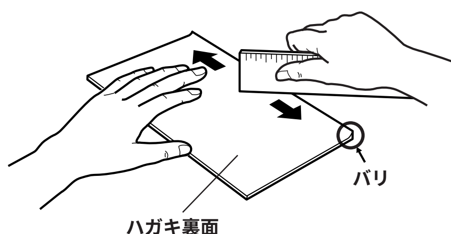
印刷面を下に向けてセットしてください。



ハガキの「バリ」除去について

ハガキによっては、裏面に「バリ」(裁断時のかえり)が大きいために、給紙できない場合があります。印刷する前にハガキ裏面を確認し「バリ」がある場合には以下の方法に従って除去してください。

ハガキを水平な所に置いて、定規などを「バリ」がある部分に垂直にあてて矢印方向に１～２回こすり、「バリ」を除去します。





「バリ」除去の際に発生した紙粉をよく払ってから給紙してください。ハガキに紙粉が付着したまま給紙すると、用紙が給紙できなくなるおそれがあります。

厚紙/不定形紙への印刷

給紙方法／セット可能容量	用紙トレイ／ 厚紙　：高さ（セット時の総厚）5mm以下 不定形紙　：50枚（用紙厚64g/m²の場合）	
操作パネルの設定	• 定形紙の厚紙の場合　：用紙サイズに合わせて設定 • DOSで厚紙へ印刷する場合：［カミシュ］→［アツガミ］	
プリンタドライバの設定	Windows ［基本設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［給紙装置］→［用紙トレイ］ 厚紙の場合 ［拡張設定］ダイアログ：［紙種］→［厚紙］	
	Macintosh ［用紙設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］ダイアログ：［給紙装置］→［用紙トレイ］	



不定形紙や厚紙は用紙トレイにセットしてください。用紙カセットにセットして印刷すると、プリンタの内部機構に負荷がかかり、故障や破損の原因になる場合があります。



- **印刷する面を下にしてセットしてください。**
- **厚紙は90～190g/m² のものを使用してください。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**
- **用紙のセット方向は、プリンタドライバのユーザー定義サイズで設定した通りにプリンタにセットしてください。**
  <例>ユーザー定義サイズを「240×332mm」に設定した場合



<例>ユーザー定義サイズを「332×240mm」に設定した場合



ラベル紙への印刷

ラベル紙の品質は、製造メーカーによって異なります。大量のラベル紙を購入する前には、必ず試し印刷をして印刷の状態を確認してください。

給紙方法／セット可能容量	用紙トレイ／高さ（セット時の総厚）5mm 以下 用紙カセット／高さ（セット時の総厚）50mm 以下 ☞本書「用紙と給紙 / 排紙装置の関係」12 ページ
操作パネルの設定 *	用紙トレイにセットした場合：用紙サイズに合わせて設定
プリンタドライバの設定 *	Windows ［基本設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［給紙装置］→［用紙トレイ］または［用紙カセット］
	Macintosh ［用紙設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］ダイアログ：［給紙装置］→［用紙トレイ］または［用紙カセット］

* 給紙タイプを設定する場合は、以下のページを参照してください。
☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」31 ページ



以下のラベル紙は使用しないでください。故障の原因になります。

- **簡単にはがれてしまうラベル紙**
- **一部がはがれているラベル紙**
- **糊がはみ出しているラベル紙**
- **モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用以外のラベル紙**
- **台紙全体がラベルで覆われていないラベル紙**



- **用紙カセットの場合、ラベルが貼ってある面を上に向けてセットしてください。**
- **用紙トレイの場合、ラベルが貼ってある面を下に向けてセットしてください。**
- **モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用のものを使用してください。**
- **ラベル紙は、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。**
- **印刷面がこすれて汚れる場合は、「紙種」を［厚紙］に設定してください。**

OHPシートへの印刷

給紙方法／セット可能容量	用紙トレイ／高さ（セット時の総厚）5mm 以下 用紙カセット／高さ（セット時の総厚）50mm 以下 ☞本書「用紙と給紙 / 排紙装置の関係」12 ページ
操作パネルの設定 *	用紙トレイにセットした場合：用紙サイズに合わせて設定
プリンタドライバの設定 *	Windows ［基本設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［給紙装置］→［用紙トレイ］または［用紙カセット］
	Macintosh ［用紙設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］ダイアログ：［給紙装置］→［用紙トレイ］または［用紙カセット］

* 給紙タイプを設定する場合は、以下のページを参照してください。
☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」31 ページ



- **OHPシートは、手の脂が付かないように、手袋をはめるなどしてお取り扱いください。OHPシートに手の脂が付着すると、印刷不良の原因になる場合があります。**
- **印刷直後の OHP シートは熱くなりますのでご注意ください。**
- **カラー複写機またはカラーページプリンタ専用の OHP シートは使用しないでください。**



- **モノクロレーザープリンタ用またはコピー機用を使用してください。**
- **OHPシートに添付されている説明書などで裏表を確認してください。裏表がある場合は、用紙カセットには表面（印刷面）を上に向けて、用紙トレイには表面（印刷面）を下に向けてセットしてください。**
- **OHPシートは、種類によって用紙厚が異なります。給紙が正常に行われない場合や、エラーが発生する場合は、セットする枚数を減らしてください。**

穿孔紙への印刷

給紙方法／セット可能容量	用紙トレイ／高さ（セット時の総厚）5mm 以下 用紙カセット／高さ（セット時の総厚）50mm 以下 ☞本書「用紙と給紙 / 排紙装置の関係」12 ページ
操作パネルの設定 *	用紙トレイにセットした場合：用紙サイズに合わせて設定
プリンタドライバの設定 *	Windows ［基本設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［給紙装置］→［用紙トレイ］または ［用紙カセット］
	Macintosh ［用紙設定］ダイアログ：［用紙サイズ］→任意のサイズを設定 ［プリント］ダイアログ：［給紙装置］→［用紙トレイ］または ［用紙カセット］

* 給紙タイプを設定する場合は、以下のページを参照してください。
☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」31 ページ


ポイント

- **用紙トレイの場合、印刷する面を下に向けてセットしてください。**
- **用紙カセットの場合、印刷する面を上に向けてセットしてください。**
- **使用可能な穿孔紙の仕様は、穴の位置が用紙先端または後端から 20mm 以内のものです。**



給紙タイプ（用紙種類）選択機能

各給紙装置にセットした用紙のサイズとタイプ（種類）を設定しておくことで、印刷実行時にプリンタドライバが各給紙装置の用紙サイズとタイプ（種類）を調べ、目的の用紙がセットされている給紙装置から自動的に給紙できるようになります。これにより同サイズの異なるタイプ（種類）の用紙をセットしている場合などの誤給紙を防ぎます。

1 操作パネルで各給紙装置にセットした用紙のタイプ（種類）を設定します。

用紙のタイプ（種類）は次の中から選択できます。

- 普通紙 / 印刷済み / レターヘッド / ボンド紙 / 再生紙 / 色付き / OHP フィルム / ラベル紙

☞ 本書「階層設定モードでの設定方法」158 ページ

2 印刷実行時にプリンタドライバで［給紙装置］を［自動選択］に設定し、［給紙タイプ］（Windows）/［用紙種類］（Macintosh）の中から、印刷したい用紙のタイプ（種類）を選択します。

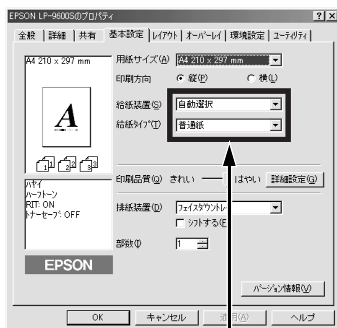
印刷を実行するとプリンタドライバは、指定した用紙のセットされている給紙装置から自動的に給紙します。

☞ Windows「［基本設定］ダイアログ」55 ページ
Macintosh「［プリント］ダイアログ」128 ページ


ポイント

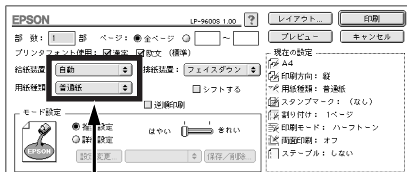
［給紙装置］が［自動選択］になっていないと［給紙タイプ］（Windows）/［用紙種類］（Macintosh）は選択できません。

Windows［基本設定］ダイアログ

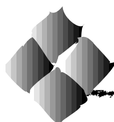


選択します

Macintosh［プリント］ダイアログ



選択します



排紙装置の設定

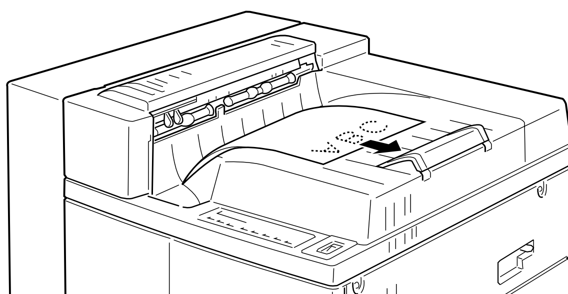
標準装備の排紙装置であるフェイスダウントレイのほかに、オプションの排紙装置を装着することでさまざまなペーパーハンドリングが可能です。


ポイント

オプションの排紙装置に排紙するには、操作パネルやプリンタドライバ上で排紙先や排紙方法を設定する必要があります。この設定が正しくされていないと、フェイスダウントレイに排紙されることがあります。

フェイスダウントレイ

フェイスダウントレイは、プリンタ上面にある標準装備の排紙トレイです。印刷した用紙は、印刷面を下にして排紙します。

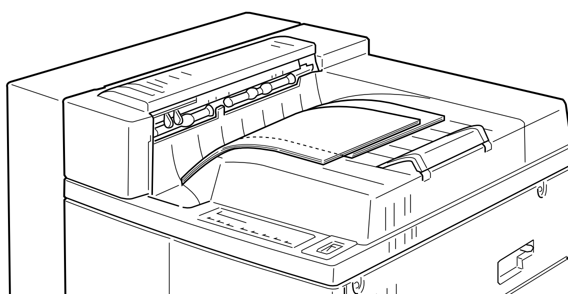


フェイスダウントレイの仕様

- 用紙保持枚数：500 枚（用紙厚 64g/m²）
  （ただし、ステープルスタッカ装着時は 300 枚）
- 機能　　　　：シフト機能

シフト機能を使用するには

シフト機能とは、1回印刷するごとに排紙される用紙の位置を左右にシフトする（ずらす）機能です。
複数のユーザーが本プリンタで印刷をする場合や、複数の印刷データを続けて印刷する場合などにシフト機能を有効にすると、フェイスダウントレイに排紙された用紙の中から目的の印刷物を探すことが簡単になります。
また、プリンタドライバ上の［シフトする］と［部単位印刷］を有効にすることにより部単位でシフトすることができます。



シフト機能は、定形サイズの普通紙（用紙厚60～90g/m²）使用時、排紙装置にフェイスダウントレイを選択した場合にのみ使用できます。
シフト機能は、以下の設定をすることによって有効になります。

Windowsの場合	プリンタドライバの［基本設定］ダイアログで設定 ［排紙装置］ → ［フェイスダウントレイ］ ［シフトする］を選択 本書「［基本設定］ダイアログ」55ページ
Macintoshの場合	プリンタドライバの［プリント］ダイアログで設定 ［排紙装置］ → ［フェイスダウン］ ［シフトする］を選択 本書「［プリント］ダイアログ」128ページ
DOSの場合	操作パネルの［インサツメニュー］で設定 ［ハイシ］ → ［FD］ ［シフトハイシ］→［スル］ 本書「インサツメニュー」170ページ



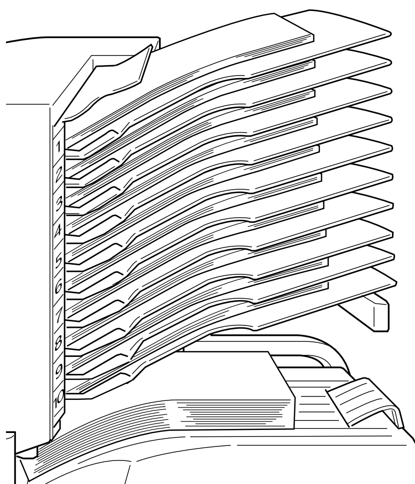
WindowsやMacintoshをお使いの場合は、プリンタドライバ上で設定します。操作パネルから設定することもできますが、プリンタドライバでの設定が優先されます。

10ビンマルチビンユニット（オプション）

オプションの10ビンマルチビンユニットは、10枚のビンを装備した排紙装置です。印刷した用紙は、フェイスダウントレイと同様に印刷面を下にして排紙されます。


ポイント

- **10ビンマルチビンユニットは、ステープルスタッカと同時に装着することはできません。どちらか一方を大容量給紙ユニットとともに装着します。**
- **正しく装着されていることを確認してください。正しく装着されている場合は、ステータスシートの「ハードウェア環境」の項目に排紙装置として表示されます。**
  ☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ
- **Windows の場合は、装着後にプリンタドライバ上で設定が必要です。**
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ



10ビンマルチビンユニットの仕様

- 排紙可能な用紙 ：定形サイズの普通紙、再生紙（用紙厚 60 ～ 90g/m²）
- 用紙保持枚数 ：100 枚（用紙厚 64g/m²）/ 1 ビン
- 動作モード ：メールボックス / ソーター / マルチソーター / 大容量（スタッカ）


ポイント

次の用紙は、10 ビンマルチビンユニットに排紙できません。

- **不定形紙**
- **ハガキ / 往復ハガキ**
- **OHP シート**
- **ラベル紙**
- **厚紙（用紙厚 90 ～ 190g/m²）**

10ビンマルチビンユニットの動作モード

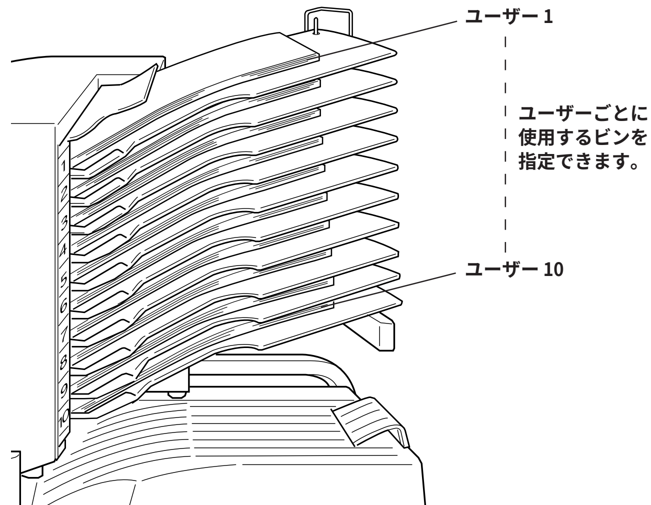
10 ビンマルチビンユニットには次の 4 種類の動作モードがあります。

- メールボックス（初期設定）
- ソーター
- マルチソーター
- 大容量（スタッカ）

メールボックス

10ビンマルチビンユニットの10枚のビンのうち、どのビンに排紙するかを指定できます。

複数のユーザーが使用している場合など、ユーザーごとに使用するビンを指定しておくことで、各ユーザーの印刷物が混在することを防ぐことができます。

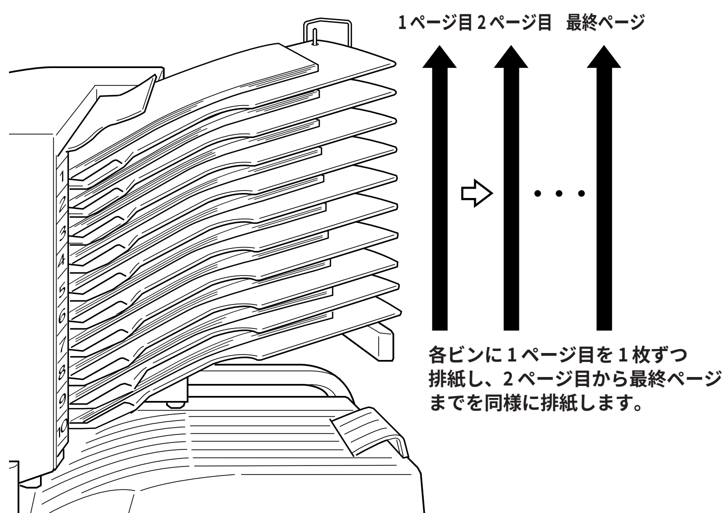


ソーター

10ビンマルチビンユニットの10枚のビンを使って丁合い印刷を行います。例えば印刷部数を10部に指定している場合、印刷を実行すると、No.10からNo.1の順で各ビンに1ページ目を印刷/排紙し、続けて2ページ目をNo.10からNo.1の順で各ビンに排紙します。


ポイント

ソーターとして使用している場合、印刷部数に10以上の値を指定することはできません。

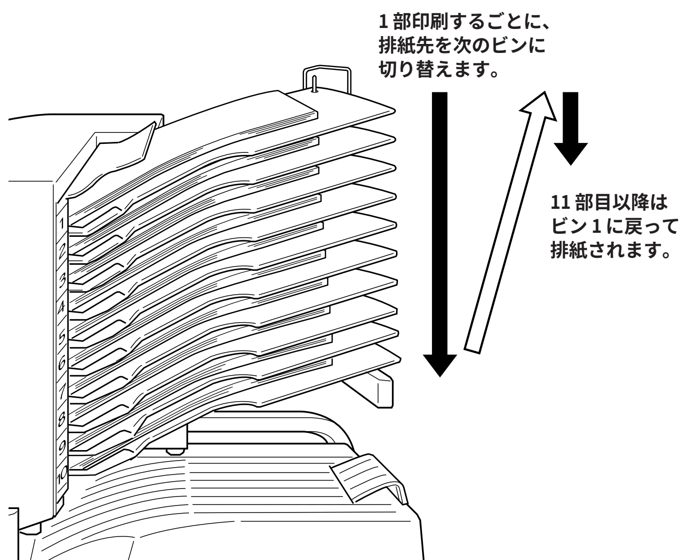


マルチソーター

10ビンマルチビンユニットの10枚のビンを使って部単位印刷を行います。ソーターの場合と異なり、印刷部数に10を超える値を指定することが可能です。
マルチソーターとして使用する場合、No.1 のビンに 1 ページ目から最終ページまでを排紙し、続いて No.2 のビンに同様にして排紙します。
このように 1 部単位の印刷が完了する度に、排紙するビンを切り替えます。
印刷部数が10を超える場合は、排紙するビンをNo.1のビンに切り替え、11部目をNo.1のビンに、12部目をNo.2のビンに、という順番で排紙します。


ポイント

マルチソーターは、128MB以上のメモリ装着時またはオプションのハードディスクユニット（LPHD2）装着時のみ使用できます。
印刷データのサイズや部数の値が大きく、マルチソーターを実行できない場合は操作パネルに「ブスウシテイ　デキマセンデシタ」とメッセージを表示し、No.1 のビンに 1 部のみ印刷 / 排紙します。

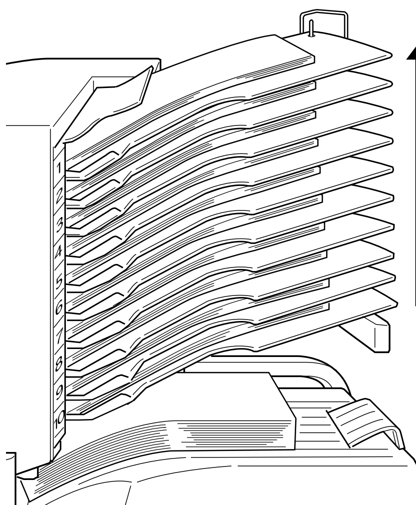


大容量（スタッカ）

本プリンタのフェイスダウントレイと、10ビンマルチビンユニットの10枚のビンを、一つの排紙装置として扱い、最大1500枚（普通紙64g/m²）の用紙を保持することができます。
この場合、1ページ目はビンNo.10に排紙され、ビンNo.10がいっぱいになると自動的にビンNo.9に切り替わります。このようにして、ビンNo.1がいっぱいになるまで10ビンマルチビンユニットに排紙され、続いてフェイスダウントレイに排紙されます。



- **大容量（スタッカ）モードの場合、フェイスダウントレイに排紙される用紙にシフト機能を使用することはできません。**
- **操作パネルの設定で［キョウツウメニュー2］の［スタッカ］を［スタッカノミ］に設定している場合は、ビンNo.1がいっぱいになると排紙動作が停止します。**



10ビンマルチビンユニットの動作モードの設定

10ビンマルチビンユニットの動作モードは、プリンタの操作パネルとプリンタドライバ上で設定します。



動作モードの設定については、次の点に注意してください。

- **本プリンタをネットワーク上に接続して複数のユーザーが使用している場合、各ユーザーが勝手に設定を変更すると、他のユーザーが使用する際に不都合が生じる場合があります。**
  設定を変更する際には、他のユーザーやネットワーク環境のシステム管理者に、設定を変更して問題がないかを確認してから行ってください。
- **動作モードを変更すると、本プリンタは自動的にリセットオール（初期化）されます。動作モードの変更は、すべての印刷処理が終了している状態で行ってください。**
- **動作モードの変更は、各ビンに排紙されている用紙をすべて取り除いてから行ってください。**

1 **操作パネルの［キョウツウメニュー 2］の［マルチビン］で動作モードを選択します。**

☞本書「キョウツウメニュー 2」167 ページ



動作モードの設定を変更すると自動的にリセットされます。
設定した動作モードは、プリンタが再起動した時点から有効になります。

2 **プリンタドライバの設定をします。**

Windows の場合：

①コントロールパネルの［プリンタ］フォルダのプロパティから［環境設定］ダイアログで 設定 ボタンをクリックします。[実装オプション設定]ダイアログのマルチビンモード設定を、**1** で選択した動作モードと同じモードを選択します。
動作モードが [メールボックスモード] の場合、[メールボックスNO.] で、使用するビンの No. も選択します。

②プリンタドライバの［基本設定］ダイアログの［排紙装置］で、排紙装置の一覧から 10 ビンマルチビンユニットの動作モードの名前を選択します。



Windows で使用する場合、プリンタドライバの［実装オプション設定］画面の［マルチビンモード設定］で表示されたモードと操作パネルなどで設定した動作モードが同じモードになっていることを必ず確認してください。

Macintoshの場合：

 の設定で［メールボックス］を選択した場合は①へ進みます。

[大容量]、[ソーター]、[マルチソーター] を選択した場合は②へ進みます。

① [セレクタ] ダイアログボックスで セットアップ ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログを表示させます。
［ビン番号］で使用するビンのNo. を選択します。

② [プリント］ダイアログの「排紙装置」で、排紙装置の一覧から10ビンマルチビンユニットの動作モードの名前を選択します。

3 印刷を実行すると、10ビンマルチビンユニットに排紙されます。

ポイント

マルチソーター機能で排紙する際は、以下の点に注意してください。アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができるようになっている場合は、アプリケーションソフトでの設定をOFF（設定しない）にし、プリンタドライバ上の部単位印刷で設定してください。

ステープルスタッカ(オプション)

オプションのステープルスタッカは、3枚のビンを装備した排紙装置です。印刷した用紙は、最大50枚までステープル(針)で綴じることができ、フェイスダウントレイと同様に印刷面を下にして排紙されます。


ポイント

- **ステープルスタッカは、10ビンマルチビンユニットと同時に装着することはできません。どちらか一方を大容量給紙ユニットとともに装着します。**
- **ステープルスタッカを使用する場合は、オプションのハードディスクユニットを装着することをお薦めします。**
- **正しく装着されていることを確認してください。正しく装着されている場合は、ステータスシートの「ハードウェア環境」の項目に排紙装置として表示されます。**
  ☞本書「ステータスシートの印刷」187ページ
- **Windowsの場合は、装着後にプリンタドライバ上で設定が必要です。**
  ☞本書「オプション装着後の設定」240ページ

ステープルスタッカの仕様

排紙可能な用紙サイズ:
A3、A4、A5、B4、B5、Ledger、Legal、Government Legal、Letter、Half-Letter、Executive


ポイント

- **異なるサイズの用紙を混在してステープルで綴じることはできません。ただし、サイズが同じであれば、用紙方向が異なっていても綴じることができます。**
- **次の用紙は、ステープルスタッカに排紙できません。**
  不定形紙/厚紙/ハガキ

綴じ位置とステープル数:
プリンタドライバ(Windows/Macintosh)で設定します。設定できる綴じ位置やステープル数は、用紙サイズ、用紙(印刷)方向などによって異なります。
[左上]、[右上]　:選択した位置に、ステープル1つで綴じます。
[上]、[左]、[右]:選択した位置に、ステープル2つで綴じます。

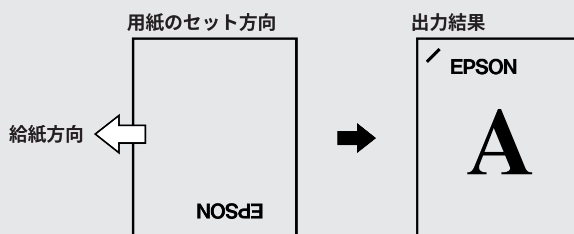

ポイント

DOSでお使いの場合は、操作パネルで綴じ方を設定してください。



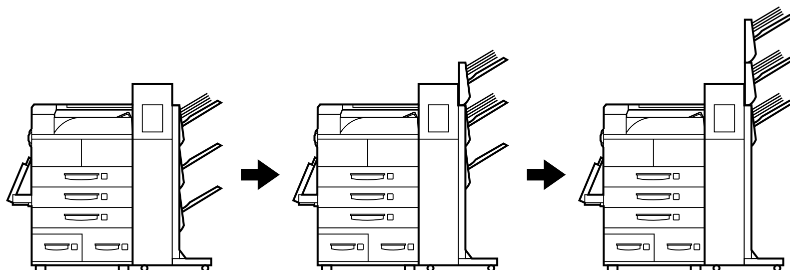
プレプリント紙（会社の住所やロゴなどがすでに印刷してある用紙）を使用する場合、用紙のセット方向とステープルの綴じ位置によっては、綴じる位置が逆になる場合があります。逆に綴じられた場合は、用紙のセット方向を 180 度逆にしてセットしてください。

＜例：A4 サイズのプレプリント紙＞
A4サイズのプレプリント紙を用紙カセットにセットして左上で綴じる場合は、用紙カセットに以下の方向でプレプリント紙をセットしてください（用紙カセットの場合、印刷面は上にセットしてください）。



排紙動作：

ステープルスタッカへの排紙は、ビンの移動によってビン 1 →ビン 2 →ビン3の順で行われます。ただし、ステープルスタッカのビンを指定して排紙することはできません。



部単位印刷をしている場合は、1つの部を全部印刷してからまとめてビンに排紙します。

排紙方法と用紙保持枚数：

排紙した用紙が各ビンともいっぱいになると、排紙動作を停止します。操作パネルで［スタッカ］を［スタッカ＋ FD］に設定していると、フルになってもステープルしなければフェイスダウントレイに続けて排紙することができます（ステープルする場合は、フルで停止してフェイスダウントレイへは排紙しません）。

ステープルしない場合は、3 枚のビンで以下の枚数まで保持できます。

A4 サイズ：　670 枚（用紙厚 64g/m^2 の場合）/ ビンで、最大 2010 枚
A3 サイズ：　335 枚（用紙厚 64g/m^2 の場合）/ ビンで、最大 1005 枚

一時停止 / 再開 ボタンの機能：

以下のような場合に操作します。

- ステープルスタッカへの印刷を一旦停止させて排紙された用紙を取り出したいとき。
- 電源を切る前にビンの位置を一番下に下げておきたいとき。
- 一時停止を解除するとき。


ポイント

- **ボタンの押下後、ビンの位置が一番下まで下がってから1分経過すると一時停止が自動的に解除されます。**
- **一時停止中はステープルスタッカへの排紙はできません。**

シフト機能：

シフト機能とは、1回印刷するごとに排紙される用紙の位置を左右にシフトする（ずらす）機能です。

複数のユーザーが本プリンタで印刷をする場合や、複数の印刷データを続けて印刷する場合などにシフト機能を有効にすると、ステープルスタッカのビンに排紙された用紙の中から目的の印刷物を探すことが簡単になります。また、プリンタドライバ上の［シフトする］と［部単位印刷］を有効にすることにより、部単位でシフトすることができます。

ただし、操作パネルで［スタッカ］を［スタッカ+FD］に設定している場合の、スタッカフルでフェイスダウントレイに排紙された用紙に対してはシフト機能が有効になりません。

ステープルスタッカを使用するには

WindowsまたはMacintoshで使用する場合の手順の流れは以下の通りです。

排紙装置（ステープルスタッカ）の選択

↓

綴じ方（ステープル方法）の選択（綴じる場合）

↓

シフト機能の設定（シフト機能を使う場合）


ポイント

DOSで使用する場合は、操作パネルの階層設定モードで［インサツメニュー］の［ハイシ］を［スタッカ］に設定し、［トジ］および［トジイチ］でステープルの方法を設定します。シフト機能を使用する場合は、操作パネルのインサツメニューで［シフトハイシ］を「スル」に設定します。

1 **排紙装置の選択をします。**

Windowsの場合：

［基本設定］ダイアログの［排紙装置］を［スタッカ］に設定します。

☞本書「［基本設定］ダイアログ」55ページ

Macintoshの場合：

［プリント］ダイアログの［排紙装置］を［スタッカ］に設定します。

☞本書「［プリント］ダイアログ」128ページ

2 **綴じる場合は、綴じ方（ステープル方法）を選択します。**

Windows の場合：

［レイアウト］ダイアログで［ステープルする］を選択し、綴じ方を設定します。

☞本書「［レイアウト］ダイアログ」62 ページ

Macintosh の場合：

［レイアウト］ダイアログを開いて［ステープルする］を選択し、綴じ方を設定します。

☞本書「［レイアウト］ダイアログ」136 ページ

3 **シフト機能を使う場合は、シフト機能の設定をします。**

Windows の場合：

［基本設定］ダイアログで［シフトする］を選択します。

☞本書「［基本設定］ダイアログ」55 ページ

Macintosh の場合：

［プリント］ダイアログで［シフトする］を選択します。

☞本書「［プリント］ダイアログ」128 ページ


ポイント

［部単位印刷］を合わせて選択すると、部単位でシフトすることができます。

フェイスアップトレイ(オプション)

オプションのフェイスアップトレイは、印刷した用紙の印刷面を上にして排紙するための装置です。


ポイント

- **正しく装着されていることを確認してください。正しく装着されている場合は、ステータスシートの「ハードウェア環境」の項目に排紙装置として表示されます。**
  ☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ
- **Windows の場合は、装着後にプリンタドライバ上で設定が必要です。**
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ

フェイスアップトレイの仕様

- 用紙保持枚数　：200 枚(用紙厚 64g/m²)

フェイスアップトレイを使用するには

1 **操作パネルの[キョウツウメニュー 2]の[フェイスアップトレイ]を[アリ]に設定します。**
この設定をしないと、プリンタドライバ上でフェイスアップトレイを指定しても、フェイスアップトレイは使用できません。


ポイント

DOSで使用する場合は、続いてパネル設定の[インサツメニュー]の[ハイシ]を[FU]に設定します。

2 **プリンタの電源のオフ / オン、またはリセットオールをします。**
変更した設定は、プリンタが再起動した時点から有効になります。

3 **プリンタドライバの設定をします。**
Windows の場合:
[基本設定]ダイアログの[排紙装置]を[フェイスアップトレイ]に設定します。
☞本書「[基本設定]ダイアログ」55 ページ

Macintosh の場合:
[プリント]ダイアログの[排紙装置]を[フェイスアップ]に設定します。
☞本書「[プリント]ダイアログ」128 ページ


ポイント

複数のページを印刷する場合、フェイスアップトレイに排紙すると、1 ページ目の用紙が一番下になります。
このため、最終ページから印刷を開始するようにアプリケーションソフト等で指定してください。

両面印刷ユニット（オプション）

オプションの両面印刷ユニットは、用紙の両面に印刷するためのオプションです。


ポイント

- **正しく装着されていることを確認してください。正しく装着されている場合は、ステータスシートの「ハードウェア環境」の項目に排紙装置として表示されます。**
  ☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ
- **Windows の場合は、装着後にプリンタドライバ上で設定が必要です。**
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ

両面印刷できる用紙

- 用紙種類　：普通紙（用紙厚 60 〜 90g/m²）
- 用紙サイズ　：A4、A3、B5、B4、Ledger(B)、Legal(LGL:用紙トレイのみ)、GovernmentLegal(GLG)、Letter(LT)、GovernmentLetter(GLT)、Executive(EXE:用紙トレイのみ)、F4

両面印刷時の制限事項

用紙の表側に印刷するデータと、用紙の裏側に印刷するデータで、用紙サイズや給紙装置の設定が異なる場合、両面印刷はできません。この場合、両方とも用紙の表側に印刷して出力します。

両面印刷をするには

Windows や Macintosh で両面印刷を行う場合の手順の流れは以下の通りです。

［両面印刷］の設定
↓
綴じ方の選択（綴じる場合）


ポイント

DOSで両面印刷する場合は、操作パネルの階層設定モードで［リョウメンインサツ］を［ON］にします。綴じる場合は［トジホウコウ］で綴じる位置を選択します。

1. **両面印刷をするための設定をします。**
   ［レイアウト］ダイアログの［両面印刷］をチェックします。
   ☞Windows「［レイアウト］ダイアログ」62 ページ
   Macintosh「［レイアウト］ダイアログ」136 ページ

2. **綴じる場合は、綴じ方の選択をします。**
   ［レイアウト］ダイアログの［両面印刷］で［綴じる位置］、［両面印刷設定］ダイアログで［とじしろ幅］と［1 ページ目］を設定します。

第3章

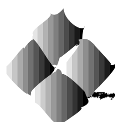
Windowsからの印刷

Win

LP-9600S

Printing on Windows

ここでは、Windows95/98/NT4.0、Windows3.1/NT3.51からの印刷方法について説明します。



印刷までの流れ

印刷データを作成します

1

アプリケーションソフトなどで印刷するデータを作成します。

プリンタの電源をオンにして用紙をセットします

2

☞セットアップガイド「電源のオン」19ページ
☞本書「用紙について」10ページ

必要に応じて操作パネルの設定を行います

3

☞本書「操作パネルでの設定方法」153ページ

プリンタドライバで印刷条件を設定します

4

☞本書「プリンタドライバの設定」53ページ
本書「印刷の基本設定」55ページ
本書「レイアウトの設定」62ページ
本書「フォームオーバーレイ印刷」69ページ
本書「給紙装置の用紙設定（WindowsNT3.51/NT4.0)」71ページ
本書「プリンタの環境設定」72ページ
本書「ユーティリティの起動」80ページ

印刷を実行します

5

☞本書「印刷の手順」49ページ
本書「印刷の中止方法」88ページ



印刷の手順

ここでは、Windowsアプリケーションソフトでの印刷の設定方法と実行の手順について説明します。

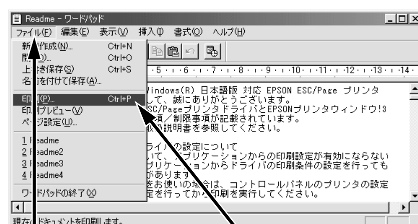
Windows95/98/NT4.0での印刷手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
ここでは、Windows95/98/NT4.0に添付の「ワードパッド」を例に説明します。

<Windows95/98/NT4.0 「ワードパッド」の起動方法>
Windowsの スタート ボタンをクリックし、[プログラム]にカーソルを合わせ、さらに[アクセサリ]にカーソルを合わせ、[ワードパッド]をクリックします。

1 **[ワードパッド]を起動し、印刷データを作成します。**

2 **[ファイル]メニューをクリックし、[印刷]をクリックします。**



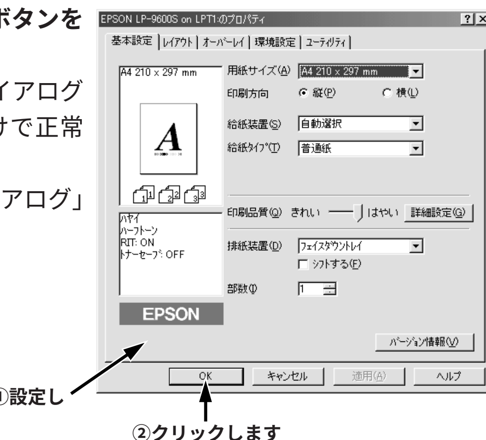
3 **LP-9600Sが選択されていることを確認し、プロパティ ボタンをクリックします。**
プリンタドライバを設定する必要がなければOKボタンをクリックして印刷を実行します。



4 **各項目を設定して OK ボタンをクリックします。**

通常は、［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞本書「[基本設定]ダイアログ」55 ページ




ポイント

［用紙サイズ］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。

5 **OK ボタンをクリックします。**

印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。



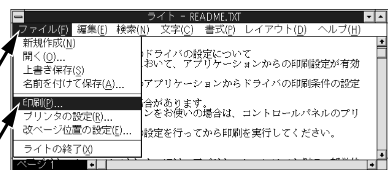
Windows3.1/NT3.51 での印刷手順

印刷の手順はお使いのアプリケーションソフトによって異なります。
詳細は各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。
ここでは Windows3.1/NT3.51 に添付の「ライト」を例に説明します。

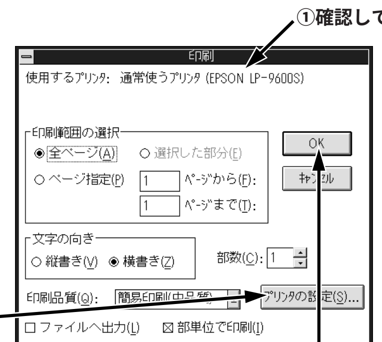
<Windows3.1/NT3.51「ライト」の起動方法 >
プログラムマネージャの［アクセサリ］グループの［ライト］アイコンをダブルクリックします。

1 **［ライト］を起動し、印刷データを作成します。**

2 **［ファイル］メニューをクリックし、［印刷］をクリックします。**

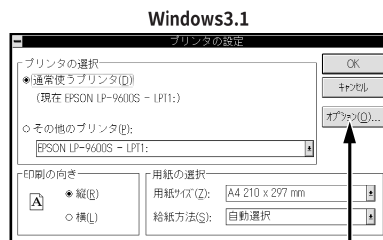


3 **LP-9600S が選択されていることを確認し、プリンタの設定 ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの設定をする必要がなければ、OK ボタンをクリックして印刷を実行します。

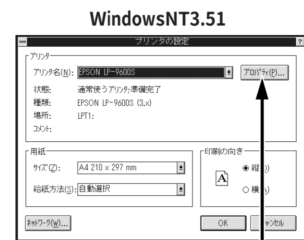


4 **オプション （Windows3.1）/ プロパティ （WindowsNT3.51）ボタンをクリックします。**

Windows3.1



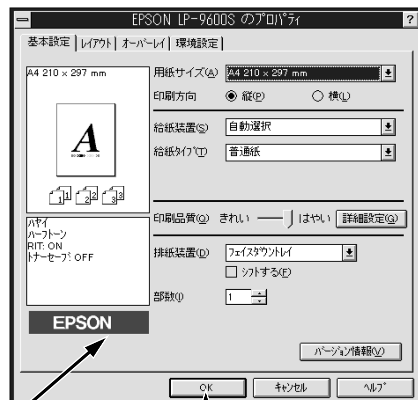
WindowsNT3.51



5 各項目を設定して OK ボタンをクリックします。

通常は［基本設定］ダイアログの各項目を設定するだけで正常に印刷できます。

☞本書「［基本設定］ダイアログ」55 ページ



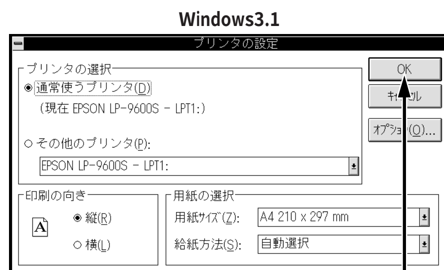
①設定し　②クリックします


ポイント

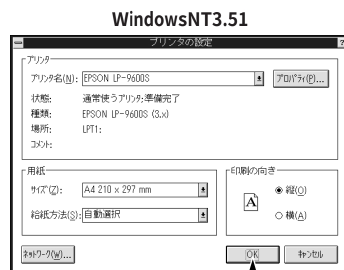
［用紙］はアプリケーションソフトで設定した用紙サイズに合わせてください。

6 OK ボタンをクリックします。

Windows3.1



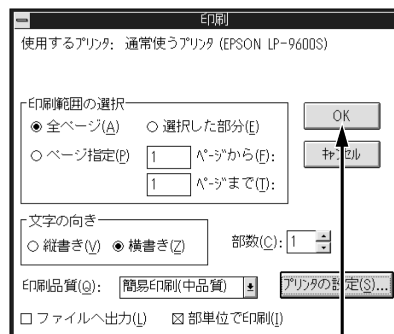
WindowsNT3.51



クリックします　クリックします

7 OK ボタンをクリックします。

印刷データがプリンタに送られ印刷が始まります。



クリックします



プリンタドライバの設定

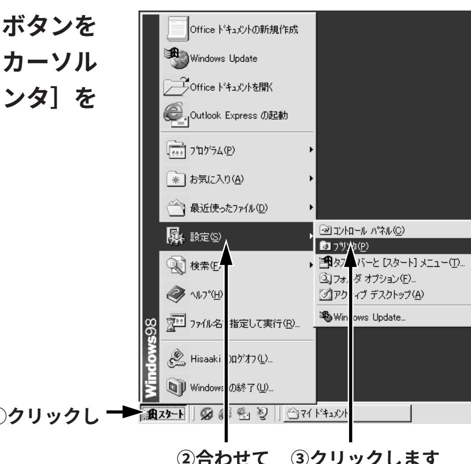
印刷に関する各種の設定は、プリンタドライバの設定ダイアログを開いて変更します。設定ダイアログの開き方は、大きく分けて2通りあります。この開き方によって、設定できる項目が異なります。異なる点については、各設定項目の説明を参照してください。

[プリンタ]から設定ダイアログを開く

Windows95/98/NT4.0 の場合

Windows95/98/NT4.0の［プリンタ］フォルダからプリンタドライバの設定ダイアログを開く方法は何通りかあります。ここでは、Windowsの［スタート］メニューから開く代表的な方法を説明します。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせてから、［プリンタ］をクリックします。**



2 **［プリンタ］フォルダ内のプリンタアイコンをクリックして、［ファイル］メニューから［プロパティ］をクリックします。**



Windows3.1/NT3.51 の場合

Windows3.1/NT3.51のメイングループのコントロールパネル内にある［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。Windows3.1の場合は［プリンタの設定］ダイアログから、WindowsNT3.51の場合は［プリンタの情報］ダイアログからプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。
詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ

アプリケーションソフトから設定ダイアログを開く

アプリケーションソフトによって、プリンタドライバを開く方法は異なります。

- Windows95/98/NT4.0の標準的な方法は、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックして[印刷]ダイアログを表示させ、プロパティボタンをクリックします。
- Windows3.1/NT3.51の標準的な方法は、[ファイル]メニューから[印刷]をクリックして[印刷]ダイアログを表示させ、プリンタの設定ボタンをクリックしてから[プリンタの設定]ダイアログでオプションボタン（Windows3.1）/プロパティボタン（WindowsNT3.51）をクリックします。

以下のページの手順を参考にしてください。

☞本書「印刷の手順」49 ページ

プリンタドライバを設定する

本章は、本機特有の設定に関して以下の項目に分けて説明します。

☞ 本書「印刷の基本設定」55 ページ
本書「レイアウトの設定」62 ページ
本書「フォームオーバーレイ印刷」69 ページ
本書「給紙装置の用紙設定（WindowsNT3.51/NT4.0）」71 ページ
本書「プリンタの環境設定」72 ページ
本書「ユーティリティの起動」80 ページ

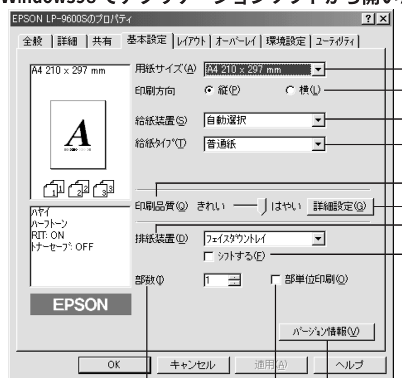


印刷の基本設定

[基本設定]ダイアログ

プリンタドライバの［基本設定］ダイアログでは、印刷に関わる基本的な設定を行います。

＜例＞ Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合




ポイント

WindowsNT4.0で［基本設定］ダイアログを開くには、［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

①用紙サイズ

作成する印刷データの用紙サイズを選択します。目的の用紙サイズが表示されていない場合は、スクロールバーの矢印 ▲ ▼ をクリックして表示させてください。


ポイント

作成した印刷データの用紙サイズと［用紙サイズ］は必ず一致させてください。サイズが異なる場合、アプリケーションソフトによっては、まちがったサイズで印刷したり、印刷できない場合があります。

自動縮小印刷　：プリンタがサポートするサイズより大きいA3ノビ、A3W（ノビ）、A2を選択した場合、［用紙設定確認］ダイアログが開きます。このダイアログの［出力用紙］で選択した用紙サイズに合わせて、自動縮小して印刷します。



ユーザー定義サイズ ：任意の用紙サイズを設定するには、[ユーザー定義サイズ] を選択します。開いた [用紙サイズ定義] ダイアログで、設定の単位を選択してから、用紙幅と用紙の長さを設定します。



設定した用紙サイズは、[用紙サイズ名] ボックスに名前を付け、保存 ボタンをクリックすると保存できます。削除する場合は、リストからサイズ名をクリックして選択し、削除 ボタンをクリックします。
☞本書「厚紙 / 不定形紙への印刷」27 ページ

②印刷方向

印刷する用紙の方向を、[縦]・[横] のいずれかクリックして選択します。

③給紙装置

給紙装置を選択します。

自動選択 ：印刷実行時に、[用紙サイズ] で選択したサイズおよび [給紙タイプ] で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。

用紙トレイ ：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ] を選択します。

用紙カセット 1・2 ：標準の用紙カセットから給紙する場合は、[用紙カセット 1] または「用紙カセット 2」を選択します。

用紙カセット 3 〜 5 ：オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合に選択ができます。


ポイント

- **指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。**
- **[自動選択] を選択して拡大 / 縮小印刷を行うと、[レイアウト] ダイアログの [出力用紙] で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**

④給紙タイプ

［給紙装置］を［自動選択］に設定した場合は、給紙する用紙のタイプをリストから選択します。［給紙タイプ］を選択することにより、［用紙サイズ］と［給紙タイプ］で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ操作パネルで各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。

☞本書「給紙タイプ（用紙種類）の選択機能」31 ページ

［給紙装置］を［自動選択］以外に設定した場合は、［給紙タイプ］は設定できません。

⑤印刷品質

印刷品質（解像度）は、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。印刷の解像度を1インチあたりのドット数（dpi）で表し、解像度を上げればきれいに印刷できます。


ポイント

- **［きれい］を選択すると印刷の表現力は向上しますが、印刷時間は長くなります。**
- **印刷できなかったり、メモリ関連のエラーが発生する場合は、［はやい］に変更してください。**

⑥ 詳細設定 ボタン

グラフィックの印刷方法、RIT（輪郭補正機能）、トナーセーブを設定するには、詳細設定 ボタンをクリックして、［詳細設定］ダイアログを開きます。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞「［詳細設定］ダイアログ」60 ページ

⑦排紙装置

印刷した用紙を、どの排紙装置に排紙するかを指定します。オプションの排紙装置については、[環境設定] ダイアログで [フェイスアップトレイ]、[10ビンマルチビンユニット / ステープルスタッカ] を指定しないと、ここで選択することはできません。また、指定したオプションによって、ここで選択できる排紙装置の項目は異なります。

フェイスダウントレイ	標準搭載のフェイスダウントレイに排紙します。
フェイスアップトレイ	オプションのフェイスアップトレイに排紙します。
スタッカ	オプションの 10 ビンマルチビンユニットを大容量（スタッカ）モードで使用する場合や、オプションのステープルスタッカを使用する場合に、ビンに排紙します。
ソーター	オプションの10ビンマルチビンユニットをソーターで使用する場合に、ビンに排紙します。
マルチソーター *	オプションの10ビンマルチビンユニットをマルチソーターモードで使用する場合に、ビンに排紙します。
メールビン 1 〜 10	オプションの10ビンマルチビンユニットをメールボックスモードで使用する場合に、[実装オプション設定] ダイアログで指定したメールボックス NO. のビンに排紙します。

* 128MB 以上のメモリ、またはオプションのハードディスクユニット装着時のみ表示。

⑧シフトする

[排紙装置] で [フェイスダウントレイ] を選択した場合、あるいはステープルスタッカを装着して [フェイスダウン] または [スタッカ] を選択した場合に選択できます。
クリックしてチェックマークを付けると、シフト機能が有効になります。

シフト機能は、一つの印刷データを印刷するごとに、印刷された用紙を左右にシフト（ずらす）して排紙する機能です。複数のユーザーが印刷する場合や複数の印刷データを印刷する場合などに本機能を有効にすると、印刷データごとに用紙がずれて排紙されるため、どこからどこまでが一つの印刷データの印刷結果かを区別することができます。

⑨部数

印刷する部数（1 〜 999）を設定します。


ポイント

排紙装置を [ソーター] で使用している場合の最大部数は、マルチビンのビン数（10）になります。

⑩部単位印刷

プリンタのメモリを128MB以上に増設あるいはオプションのハードディスクユニットを装着し、かつ［排紙装置］が［フェイスダウントレイ］［フェイスアップトレイ］［スタッカ］［メールビン］のいずれかに設定されている場合に表示されます。［部単位印刷］をクリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、⑨の［部数］で指定します。


ポイント

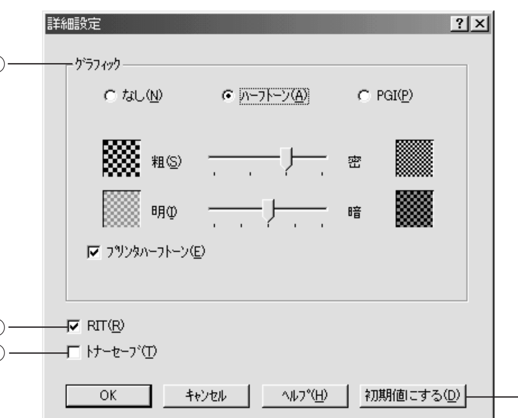
- **排紙装置が［ソーター］あるいは［マルチソーター］に設定されている場合は、自動的に部単位の印刷が行われるため、本項目は表示されません。**
- **［シフトする］をチェックしてある場合は、部単位でシフトして排紙します。**
- **アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができる場合は、アプリケーションソフトでの設定をオフ（部単位印刷しない）にし、プリンタドライバ上の部単位印刷で設定してください。**

⑪ バージョン情報 ボタン

ボタンをクリックすると、プリンタドライバのバージョン情報を示すダイアログが開きます。

[詳細設定]ダイアログ

［基本設定］ダイアログで 詳細設定 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。以下の機能を設定できます。



①グラフィック

グラフィックの印刷方法を設定します。

なし　　：ビットイメージ以外のハーフトーン処理は行いません。グレイスケールや中間色を表現できませんので、濃淡や色調のない画面になります。

ハーフトーン　　：グラフィックイメージのハーフトーン処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷できます。

PGI　　：PGI*1(Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGI を有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 PGI：階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷する EPSON 独自の機能。



- **プリンタのメモリが少ないと、PGI で印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、メモリを増設するか、［印刷品質］を［はやい］（300dpi）に設定してください。**
- **アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、PGI を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は PGI 以外の設定にして印刷してください。**

粗密　　　　　　　　：ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷粗密度を、スライドバーで調整できます。[密]側にスライドするとより細かく、[粗]側にスライドするとより粗くグラフィックを印刷します。


ポイント

[密]にして印刷するとグラフィックの細かい微妙な部分まで再現できますが、印刷した用紙をさらにコピーすると、グラフィックの中間調がつぶれて真っ黒になります。コピーをする場合は、[密] にしないで印刷することをお薦めします。

明暗　　　　　　　　：ハーフトーンまたはPGI選択時の印刷明度をスライドバーで調整できます。[明]側にスライドするとより明るく、［暗］側にスライドするとより暗くグラフィックが印刷されます。

プリンタハーフトーン：［ハーフトーン］を選択した場合にハーフトーン処理をプリンタ側で行うには、クリックしてチェックマークを付けます。


ポイント

WindowsNT3.51/NT4.0 の場合、［プリンタハーフトーン］のチェックマークを外すと ハーフトーン設定 ボタンをクリックしてハーフトーンの詳細な設定ができます。[ハーフトーンカラーの調整] ダイアログの各項目については、ヘルプを参照してください。

② RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT[*1]（Resolution Improvement Technology）機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RIT を有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。


ポイント

RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に階調が変化する画像）を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は RIT 機能を使用しないでください。

③ トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

④ 初期値にする ボタン

[詳細設定]ダイアログの設定を初期値に戻すには、初期値にする ボタンをクリックします。



レイアウトの設定

Win

［レイアウト］ダイアログ

プリンタドライバの［レイアウト］ダイアログでは、印刷するページのレイアウトに関わる設定を行います。

<例> Windows98 でアプリケーションソフトから開いた場合

EPSON LP-9600Sのプロパティ
全般 | 詳細 | 共有 | 基本設定 | レイアウト | オーバーレイ | 環境設定 | ユーティリティ
☑ 拡大/縮小(O) ①
出力用紙(A) A4 210 x 297 mm
☐ 倍率(Z) 100 %
配置 ◉ 左上合わせ(U) ○ 中央合わせ(C)
☑ 割り付け(L) 割り付け設定(T)... ②
☑ スタンプマーク(W) スタンプマーク設定(M) ③
☐ 逆方向から印刷(R) ④
☑ 両面印刷(X) 両面設定(G) ⑤
とじる位置 ◉ 左(E) ○ 上(P) ○ 右(I)
☑ ステープルする(S) ⑥
とめる位置 ◉ 左上(4) ○ 上(5) ○ 右上(6) ○ 左(1) ○ 右(3)
ユーザ定義サイズ ↓ 100% A4 210 x 297 mm
ハヤイ ハーフトーン RIT: ON トナーセーブ: OFF マル秘
EPSON
OK キャンセル 適用(A) ヘルプ


ポイント

WindowsNT4.0で［レイアウト］ダイアログを開くには、［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

① 拡大/縮小

拡大または縮小して印刷することができます。チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、拡大/縮小機能が有効になり、以下の項目が設定できます。

出力用紙　：プリンタにセットした用紙サイズに合わせて自動的に拡大/縮小（フィットページ）印刷するには、その用紙サイズをリストから選択します。縮小拡大率をその下の［倍率］ボックスに表示します。

倍率　：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、50%～200%までの任意の倍率を1%単位で設定できます。この場合は、フィットページ印刷は行われません。

配置　：フィットページ印刷する場合、ページのどこに印刷するか、［左上合わせ］または［中央合わせ］のどちらかを選択します。

②割り付け

2 ページまたは 4 ページ分の連続したデータを 1 枚の用紙に自動的に縮小し、割り付けて印刷します。

割り付けるページ数と順序を設定するには、割り付け設定 ボタンをクリックします。



割り付けページ数　：1 枚の用紙に割り付けるページ数を選択します。

割り付け順序　：割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。ページ数、用紙の向き（縦・横）によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

枠を印刷　：割り付けたページの周りに枠線を印刷するには、クリックしてチェックマークを付けます。

製本する　：［割り付けページ数］が［2 ページ分］で、［両面印刷］が選択されている場合に選択可能になります。本項目を選択すると、用紙を二つ折りにしたときに本と同じページの割り付けになるように、割り付けの順序を調整します。

［左開き］、［右開き］は、それぞれ1ページ目を左に開くようにページを割り付けるか、右に開くようにページを割り付けるかを選択します。

③スタンプマーク

印刷データに㊙などのイメージを重ね合わせて印刷するには、チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けます。

印刷するスタンプマークを設定するには、スタンプマーク設定ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「スタンプマークを印刷するには」66 ページ

④逆方向から印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。

⑤両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、両面印刷を行います。
両面印刷時の［とじる位置］は、［左］、［上］、［右］いずれかをクリックしてチェックマークを付けます。



両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。
- **次の用紙は、両面印刷はできません。**
  A5、HLT（Half Letter）、不定形用紙、ハガキ / 往復ハガキ、
  OHP シート、ラベル紙、厚紙（用紙厚 90 ～ 190g/m²）
- **用紙トレイや用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。用紙ガイドが正しい位置に合っていないと、用紙サイズが正しく検知されないため、両面印刷ができない場合があります。**

両面設定ボタンをクリックすると、［両面印刷設定］ダイアログが表示され、両面印刷に関する設定が行えます。



とじしろ幅	：用紙の表と裏について、とじしろの幅を選択します
1 ページ目	：印刷データの 1 ページ目を、用紙の表から印刷するか、裏から印刷するかを選択します。

⑥ステープルする

オプションのステープルスタッカを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、ステープル（針）でページを綴じることができます。


ポイント

［基本設定］ダイアログで設定した［用紙サイズ］の設定によっては、ステープルで綴じることができない場合があります。
この場合はエラーメッセージを表示します。

ステープルでページを綴じる位置は、［とめる位置］で選択します。なお、［基本設定］ダイアログの［用紙方向］の設定によって、選択できる［とめる位置］が異なります。

［左上］、［右上］　：選択した位置に、ステープル1つで綴じます。
［上］、［左］、［右］　：選択した位置に、ステープル2つで綴じます。

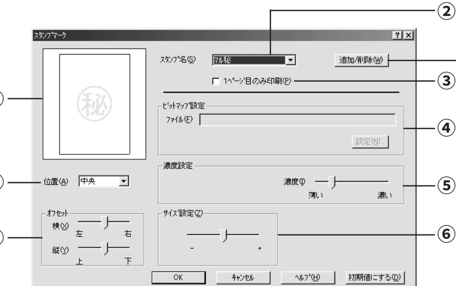

ポイント

部単位でステープルする際は、以下の点に注意してください。
アプリケーションソフト側で部単位印刷の設定ができるようになっている場合は、アプリケーションソフトでの設定をOFF（設定しない）にし、プリンタドライバ上の部単位印刷で設定してください。

Win

スタンプマークを印刷するには

［レイアウト］ダイアログで スタンプマーク設定 ボタンをクリックすると、［スタンプマーク］ ダイアログが開きます。



①プレビュー部

選択しているスタンプマークのイメージが表示されます。

②スタンプ名

印刷するスタンプマークをリストボックスから選択します。

③1ページ目のみ印刷

クリックしてチェックマークを付けると、用紙の1ページ目のみにスタンプマークを印刷します。

④ビットマップ設定

追加 / 削除 ボタンをクリックし、［ユーザー設定］ ダイアログでスタンプマークの名前を登録すると、スタンプマークのファイルを選択できるようになります。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトウェアであらかじめ作成して、BMP[*1] 形式で保存しておきます（最大保存数は 20）。

*1 BMP：画像データを保存する際のファイル形式の1つ。

ファイル　：設定 ボタンをクリックしてBMPファイルを指定すると、ファイル名とディレクトリ名が表示されます。

設定　：BMP ファイルを新しいスタンプマークとして登録する場合にクリックします。

⑤濃度設定

スタンプマークの印刷濃度を調整します。［濃度］ スライドバーを ［薄い］ 側に移動するとより薄く、［濃い］ 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

⑥サイズ設定

印刷するスタンプマークのサイズを調整します。スライドバーを［－］側に移動するとより小さく、［＋］側に移動するとより大きくスタンプマークが印刷されます。

⑦位置

スタンプマークの印刷位置をリストボックスから選択します。

⑧オフセット

［位置］で選択した印刷位置からのオフセット量を調節します。

横	：横方向のオフセット量を調節します。スライドバーを［左］側に移動するとより左に、［右］側に移動するとより右にスタンプマークが印刷されます。
縦	：縦方向のオフセット量を調節します。スライドバーを［上］側に移動するとより上に、［下］側に移動するとより下にスタンプマークが印刷されます。


ポイント

［サイズ設定］、［位置］、［オフセット］を設定する場合、スタンプマークが印刷可能領域を越えないように注意してください。

⑨ 追加/削除 ボタン

オリジナルのスタンプマークを登録したり削除するには、追加 / 削除 ボタンをクリックして［ユーザー設定］ダイアログを開きます。登録の手順については、次項を参照してください。

オリジナルスタンプマークの登録方法

1 **アプリケーションソフトでスタンプマークを作成し、BMP形式で保存します。**

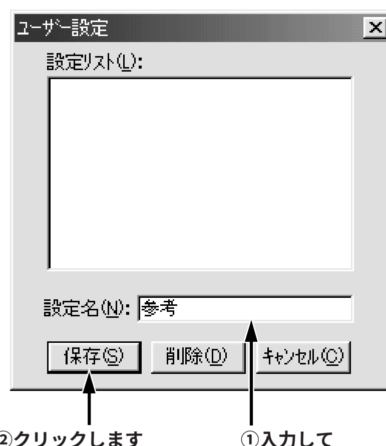
2 **［スタンプマーク］ダイアログを開いて、追加 / 削除 ボタンをクリックします。**



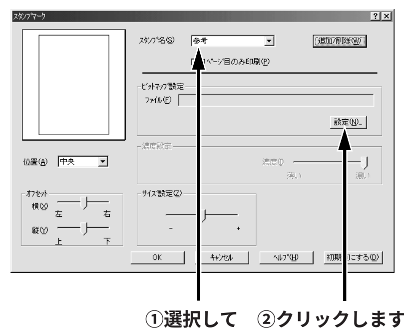
Win

3 **［設定名］に任意の名称を入力して保存ボタンをクリックします。**

登録したスタンプマークを削除するには、削除したいスタンプ名を［設定リスト］から選んで削除ボタンをクリックします。

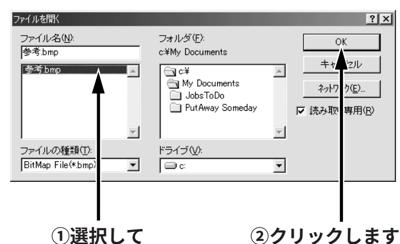


4 ***3*** **で登録したスタンプ名を選択して設定ボタンをクリックします。**



5 ***1*** **で保存したファイルを選択し、OKボタンをクリックします。**

これで［スタンプ名］のリストにオリジナルスタンプマークが登録されました。



6 **［スタンプマーク］ダイアログでOKボタンをクリックします。**

画面左側のプレビュー部に登録したスタンプマークのイメージが表示されていることを確認してください。



フォームオーバーレイ印刷

フォームオーバーレイ印刷とは、一定のフォーム（書式）データとアプリケーションソフトで作成したデータを重ね合わせて印刷する機能です。

本ドライバにはフォームデータは添付されていません。フォームデータの作成、編集などを行うには、オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3以上）が必要です。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。

［オーバーレイ］ダイアログ

<例> Windows98でアプリケーションソフトから開いた場合




ポイント

WindowsNT4.0で［オーバーレイ］プロパティを開くには、［プリンタ］フォルダの［ファイル］メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開く必要があります。

①フォームオーバーレイ

クリックしてチェックマークを付けると、［フォーム］のリストボックスで指定したフォームデータを重ね合わせて印刷します。

②フォーム

フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3以上）であらかじめ作成して登録しておいたフォーム名を、リストから選択します。選択したフォームデータを重ね合わせて印刷します。フォームを登録していない場合は、フォーム名は表示しません。

Win

③ 詳細 ボタン

上記の［フォーム］リストでフォーム名を選択して 詳細 ボタンをクリックすると、［フォーム詳細］ダイアログが開きます。印刷するフォームをこのダイアログで選択できます。

上記の［フォーム］リストで［フォーム名称なし］を選択して 詳細 ボタンをクリックした場合は、［フォーム指定］ダイアログが開きます。フォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3 以上）で作成したフォームファイルやオプションのROMモジュールに登録したフォームを指定できます。



コンピュータのハードディスクに保存しているファイルを指定する場合は、［ファイル指定］をクリックして、ファイル名（保存場所のパスを含む）を入力します。（ 参照 ボタンをクリックしてファイルを探し、直接指定することもできます。）

プリンタに装着したオプションのROMモジュールにフォームを登録している場合は、［ROM モジュール指定］を選択できます。［ROM モジュール指定］をクリックしてから、使用するフォームの登録番号をリストから選択してください。ROMモジュールの情報を登録している場合は、 情報印刷 ボタンをクリックして、ROM モジュールに登録しているフォームの情報を印刷して確かめることができます。


ポイント

オプションのフォームオーバーレイユーティリティソフト（EPSON Form!3以上）をインストールすると、オーバーレイデータが作成できるように標準の［オーバーレイ］ダイアログの機能が拡張されます。詳細については、オプションの取扱説明書を参照してください。

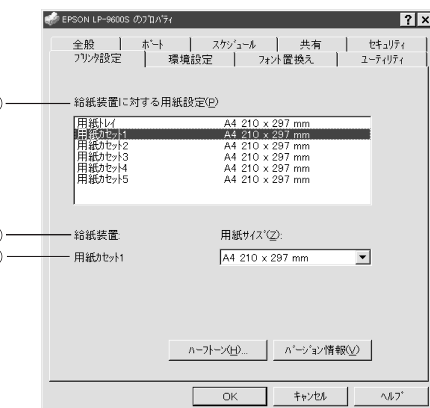


給紙装置の用紙設定(WindowsNT3.51/NT4.0)

Win

[プリンタ設定]ダイアログ

WindowsNT3.51の場合、プリントマネージャから[プリンタ情報]ダイアログを開いて 設定 ボタンをクリックすると、[プリンタ設定]ダイアログが開きます。WindowsNT4.0の場合は、[プリンタ]フォルダからプリンタプロパティを開くと[プリンタ設定]プロパティがあります。標準の給紙装置とオプションの給紙装置の用紙サイズを設定してください。





- **Windows95/98では設定しません。**
- **アプリケーションソフトからプリンタプロパティを開いた場合は、設定できません。**
- **ハーフトーン ボタンについては、WindowsNTのヘルプをお読みください。**

①給紙装置に対する用紙設定

プリンタに装着している給紙装置とその用紙サイズを表示します。[用紙カセット1]、[用紙カセット2]と[用紙トレイ]は標準の給紙装置です。

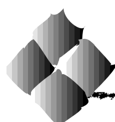
そのほかの[用紙カセット3～5]は、オプションの大容量給紙ユニットを取り付けた場合にのみ表示されます。

②給紙装置

[給紙装置に対する用紙設定]リストでクリックして選択した給紙装置の名前が表示されます。

③用紙サイズ

[給紙装置に対する用紙設定]リストでクリックして選択した給紙装置に対して、リストから用紙サイズを選択して設定します。



プリンタの環境設定

Win

[環境設定]ダイアログ



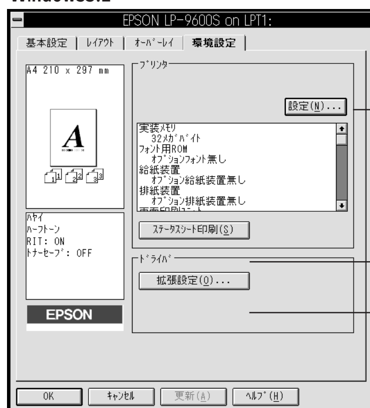
いくつかの設定項目は、[プリンタ] フォルダ / アイコンからプリンタドライバの [環境設定] ダイアログを開かないと設定できません。[プリンタ] フォルダ / アイコンから開く場合は、以下の手順に従ってください。
☞本書「[プリンタ] から設定ダイアログを開く」53 ページ

Windows95/98



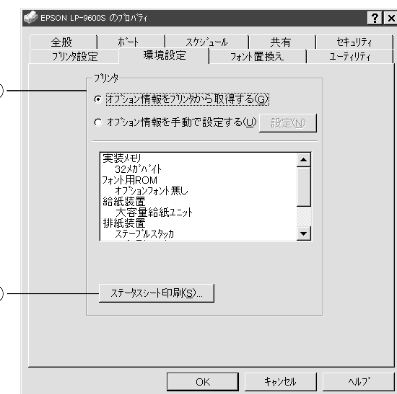
[プリンタ] フォルダから開いた場合

Windows3.1



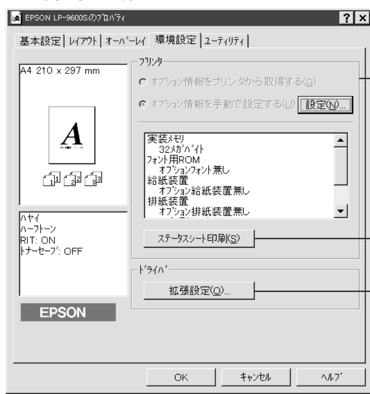
コントロールパネル内の [プリンタ] アイコンから開く

WindowsNT4.0



[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [プロパティ] を選択して開いた場合

WindowsNT4.0



[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [ドキュメントの既定値] を選択して開くか、アプリケーションソフトから開いた場合



Windows3.1/NT3.51は自動でオプション情報をプリンタから取得できませんので、設定 ボタンをクリックして手動でオプション情報を設定してください。

①プリンタオプション情報

［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのプロパティを開くと、プリンタに装着しているオプションの最新情報を表示します。本機では、実装しているメモリ容量とオプション（給紙装置、排紙装置、両面印刷ユニット、ハードディスクユニット、フォント ROM モジュール）の有無を表示します。

オプション情報は、次のいずれかの方法で取得します。

オプション情報をプリンタから取得する ：EPSON プリンタウィンドウ!3 をインストールしていれば、プリンタドライバが自動的にオプション情報を取得することができます。詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ

オプション情報を手動で取得する ：設定 ボタンをクリックして、［実装オプション設定］ダイアログを開き、取り付けているメモリの容量やオプションを手動で設定します。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「［実装オプション設定］ダイアログ」74 ページ


ポイント

アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は、最新のオプション情報に更新しません。また、設定 ボタンをクリックすると、現在のオプション情報を表示するだけです。

② ステータスシート印刷 ボタン

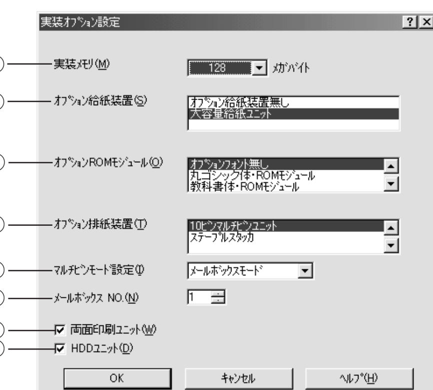
プリンタの状態や設定値を記載したステータスシートを印刷します。

③ 拡張設定 ボタン

印刷モード、TrueType フォントの置き換え、印刷位置を調整するオフセット値、紙種、印刷濃度、白紙節約機能、用紙サイズのチェックの設定を行うには、拡張設定 ボタンをクリックします。詳しくは、以下のページを参照してください。
☞本書「［拡張設定］ダイアログ」76 ページ

［実装オプション設定］ダイアログ

［プリンタ］フォルダから［環境設定］ダイアログを開き、［オプション情報を手動で取得する］をクリックして 設定 ボタンをクリックすると、［実装オプション設定］ダイアログが開きます。



①実装メモリ

標準搭載メモリと増設したメモリの容量の合計を、リストから選択します。単位はメガバイトです。

②オプション給紙装置

オプション給紙装置を装着していない場合は、［オプション給紙装置なし］をクリックして選択します。
オプション給紙装置を装着している場合は、装着した給紙装置名をクリックして選択します。

③オプションROMモジュール

オプションROMモジュールを装着していない場合は、［ROMモジュールなし］をクリックして選択します。

オプションROMモジュールを装着している場合は、装着したROMモジュール名をクリックして選択します。選択を解除するには、再クリックします。

④オプション排紙装置

オプションの排紙装置を指定します。ここで指定すると［基本設定］ダイアログの［排紙装置］に加えられます。指定しないとオプション排紙装置は使用できません。

オプションの10ビンマルチビンユニットの場合、本項目を指定した後［マルチビンモード設定］で、動作モードを設定できます。

⑤マルチビンモード設定

オプションの10ビンマルチビンユニットを装着している場合、[オプション排紙装置]で[10ビンマルチビンユニット]を指定した後、本項目で動作モードを指定します。[基本設定]ダイアログの[排紙装置]には、本項目で指定した動作モードが表示されます。

⑥メールボックスNO.

オプションの10ビンマルチビンユニットを装着して[マルチビンモード設定]で[メールボックスモード]を選択した場合、使用するメールボックスの番号をここで指定します。[基本設定]ダイアログの[排紙装置]には、本項目で指定したメールボックス番号が表示されます。

⑦両面印刷ユニット

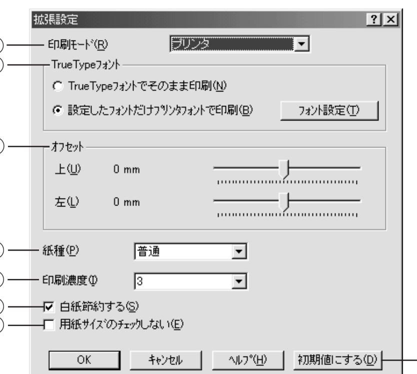
オプションの両面印刷ユニットを装着した場合は、クリックしてチェックマークを付けます。

⑧HDDユニット

オプションのハードディスクユニットをプリンタに装着した場合は、クリックしてチェックマークを付けます。

[拡張設定]ダイアログ

［環境設定］ダイアログで 拡張設定 ボタンをクリックすると、［拡張設定］ダイアログが開きます。



① 印刷モード

印刷モードを選択します。OS によって選択肢が異なります。

	Windows95/98	Windows3.1/NT3.51/NT4.0
ホスト*1	印刷処理をコンピュータ側で行う場合に選択します。	ー
プリンタ	印刷処理をプリンタ側で行う場合に選択します。	ー
標準	ー	通常は［標準］のまま印刷します。
CRT 優先*2	すべてのデータをイメージとして印刷します。グラフィックと文字を重ね合わせて正常に印刷できない場合に、選択してください。	

*1 ：［ホスト］を選択している場合、フォームオーバーレイ印刷はできません。

*2 ：［CRT 優先］を選択している場合、以下の制限があります。

- ［基本設定］ダイアログの［詳細設定］で、［グラフィック］の設定を変更できません。
- 同じ［拡張設定］ダイアログで［TrueType フォント］の設定を変更できません。プリンタフォントを指定している場合は、TrueType フォントに置き換えられます。
- ［印刷モード］を［標準］に設定した印刷結果と比べて、階調部分や明暗の印刷結果が異なります。

②TrueTypeフォント

TrueTypeフォントをそのまま印刷するか、プリンタのフォントに置き換えて印刷するかを選択します。

TrueType フォントでそのまま印刷 ：TrueType フォントをそのまま印刷します。

設定したフォントだけプリンタフォントで印刷 ：TrueType フォントを、［フォントの置換設定］ダイアログで指定したプリンタフォントに置き換えることにより高速に印刷できます。[フォントの置換設定]ダイアログを開くには、フォント設定ボタンをクリックします。詳しくは以下のページを参照してください。
☞本書「TrueType フォントをプリンタフォントに置き換える」79 ページ


ポイント

- **Windows3.1/95/98の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのダイアログを開いてください。アプリケーションソフトから開いても、フォント置き換えの設定を変更できません。**
- **WindowsNT3.51/NT4.0の場合、［プリンタ］フォルダからプリンタドライバのダイアログを開き、［フォント置換］タブでフォントの置き換えを指定します。［拡張設定］ダイアログのフォント設定ボタンをクリックしても、置き換えフォントのリストを表示するだけで、実際に置き換えるフォントを指定できません。**

③オフセット

印刷開始位置のオフセット値を［上］（垂直位置）と［左］（水平位置）で設定します。0.5mm 単位で、次の範囲で設定できます。

上（垂直位置） ：-9mm（上方向）～ 10mm（下方向）

左（水平位置） ：-9mm（左方向）～ 10mm（右方向）

④紙種

用紙の種類を設定します。通常は［普通］を選択してください。

普通 ：普通紙、再生紙などを使用する場合に選択します。

厚紙 ：紙厚が90～190g/m^{2}の用紙を使用する場合に選択します。


ポイント

使用する用紙に合わせて［紙種］を正しく設定しないと、印刷品質が劣化することがあります。

⑤印刷濃度

印刷の濃さを 5 段階に調整します。通常は「3」で使用してください。

⑥白紙節約する

白紙ページを印刷するかしないかを選択します。クリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しないので用紙を節約できます。

⑦用紙サイズのチェックしない

クリックしてチェックマークを付けると、選択した給紙装置にセットされている用紙サイズと異なるサイズの用紙に印刷しても、用紙交換エラーは表示されません。

⑧ 初期値にする ボタン

[拡張設定]ダイアログの設定を初期値に戻すには、初期値にする ボタンをクリックします。

TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える

Windows3.1/95/98とWindowsNT3.51/4.0では、フォント置き換えを設定するダイアログが違います。お使いのOSに合わせて、以下の手順に従ってください。

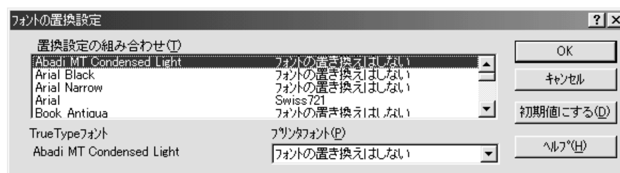
1 **［プリンタ］フォルダ/アイコンからプリンタドライバの設定ダイアログを開きます。**

2 **フォントを置き換えるためのダイアログを開きます。**

Windows3.1/95/98 の場合：

①［環境設定］タブをクリックして開き、拡張設定ボタンをクリックします。

②［指定したフォントだけプリンタフォントで印刷］をクリックし、フォント設定ボタンをクリックします。



WindowsNT3.51/4.0 の場合：

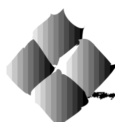
［フォント置換え］タブをクリックします。



3 **［置換設定の組み合わせ］リストの中から、TrueTypeフォントをクリックして選択します。**

4 **［プリンタフォント］リストから、置き換えるプリンタフォントをクリックして選択します。**

5 **3 と 4 を繰り返して置き換えるフォントをすべて設定したら、OKボタンをクリックして作業を終了します。**



ユーティリティの起動

[ユーティリティ]ダイアログ

プリンタドライバの［ユーティリティ］ダイアログでは、ユーティリティソフトのEPSONプリンタウィンドウ!3に関わる設定を行います。



①プリンタをモニタする

クリックしてチェックマークを付けると、印刷時にプリンタのモニタを行い、プリンタのエラー状態のときにポップアップウィンドウを表示します。



WindowsNT4.0で、[プリンタ] フォルダからプリンタドライバのプロパティを開いた場合は表示されません。[プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから［ドキュメントの既定値］を選択するか、アプリケーションソフトからプリンタドライバのプロパティを開いてください。

②EPSONプリンタウィンドウ!3

左側のアイコンボタンをクリックすると、プリンタの状態やトナー残量がモニタできるEPSONプリンタウィンドウ!3が起動します。詳しくは、以下のページを参照してください。

☞本書「EPSON プリンタウィンドウ!3」81 ページ

③ モニタの設定

EPSONプリンタウィンドウ!3の［モニタ設定］ダイアログを開いてモニタの設定をします。

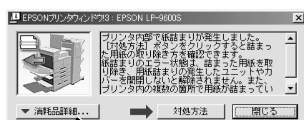
☞本書「モニタの設定」85 ページ



EPSONプリンタウィンドウ!3

EPSONプリンタウィンドウ!3とは

EPSON プリンタウィンドウ!3 は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるWindows95/98/NT4.0用のユーティリティです。プリンタの詳しい状態を知るには、［プリンタ詳細］ウィンドウを開きます。
印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開き、エラーメッセージを表示して対処方法を知ることができます。また、プリンタのプロパティや Windows のタスクバーから呼び出して、プリンタの状態を確かめることもできます。

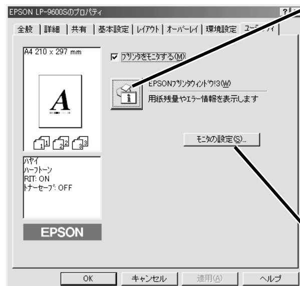


ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。



［プリンタ詳細］ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

プリンタのプロパティから EPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

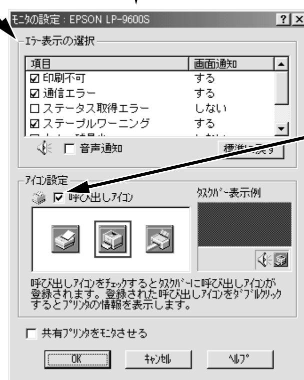




呼び出しアイコン

タスクバーの呼び出しアイコンからモニタの設定画面を開くことができます。

プリンタのプロパティからモニタの設定画面を開くことができます。



ここをチェックすると、タスクバーに呼び出しアイコンが設定され、そこから EPSON プリンタウィンドウ!3 を呼び出すことができます。

［モニタの設定］ダイアログ
どのような状態をエラーとして表示するかなど、EPSONプリンタウィンドウ!3を設定することができます。

プリンタの状態を確かめるには

EPSON プリンタウィンドウ!3 でプリンタの状態を確かめるために、3 通りの方法で［プリンタ詳細］ウィンドウを開くことができます。この［プリンタ詳細］ウィンドウは、消耗品などの詳細な情報も表示します。
☞「［プリンタ詳細］ウィンドウ」83 ページ

［方法 1］

モニタの設定で呼び出しアイコンを設定した場合、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをダブルクリックするか、マウスの右ボタンでアイコンをクリックしてからプリンタ名をクリックします。
☞本書「モニタの設定」85 ページ



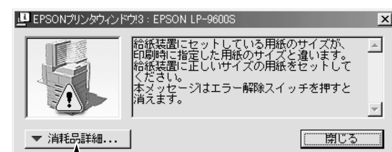
［方法 2］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の［EPSON プリンタウィンドウ!3］アイコンをクリックします。



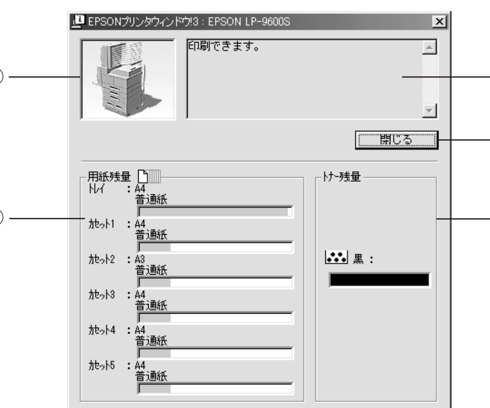
［方法 3］

アプリケーションソフトから印刷を実行します。エラーが発生してプリンタの状態を示すポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れたときに、消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わります。



［プリンタ詳細］ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［プリンタ詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



①プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

②メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」84 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに 閉じる ボタンをクリックします。

④用紙残量

給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

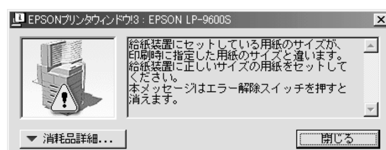
⑤トナー残量

ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

Win

対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。

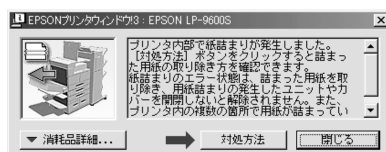


ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

- 消耗品詳細 ボタンをクリックすると［プリンタ詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
  ☞本書「［プリンタ詳細］ウィンドウ」83 ページ

- 閉じる ボタンをクリックすると、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。

- 対処方法 ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。



モニタの設定

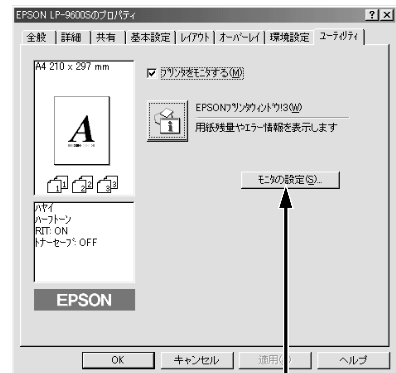
Win

EPSONプリンタウィンドウ!3のモニタ機能を設定します。どのような状態を画面通知するか、音声通知するか、共有プリンタをモニタするかなどを設定します。

［モニタの設定］ダイアログを開く方法は、2 通りあります。

［方法 1］

プリンタのプロパティを開き、［ユーティリティ］の モニタの設定 ボタンをクリックします。



クリックします

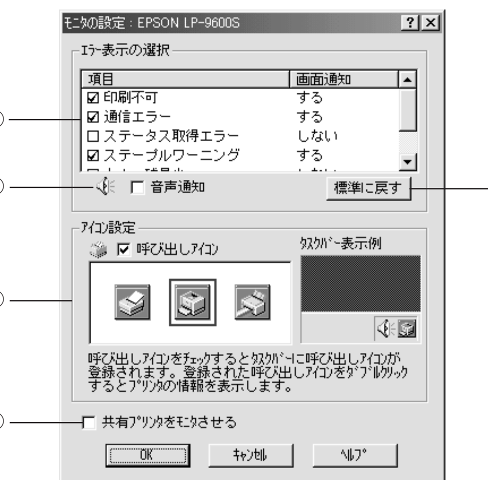
［方法 2］

上記［方法 1］のモニタ設定時に呼び出しアイコンを設定した場合は、Windows のタスクバーにある EPSON プリンタウィンドウ!3 の呼び出しアイコンを、マウスの右ボタンでクリックして、メニューから［モニタの設定］をクリックします。



クリックします

[モニタの設定]ダイアログ



①エラー表示の選択

プリンタがエラー状態になった場合、ポップアップウィンドウを表示して対処方法を説明します。どのようなエラー状態のときに画面通知するかを選択します。画面通知が必要な項目は、クリックしてチェックマークを付けます。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。


ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、標準に戻す ボタンをクリックします。

④アイコン設定

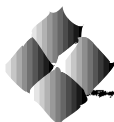
［呼び出しアイコン］をクリックしてチェックマークを付けると、EPSONプリンタウィンドウ!3の呼び出しアイコンをタスクバーに表示します。表示するアイコンは、お使いのプリンタに合わせてクリックして選択できます。

タスクバーに設定したアイコンをマウスの右ボタンでクリックすると、メニューが表示されて［モニタの設定］ダイアログを開くことができます。

⑤共有プリンタをモニタさせる

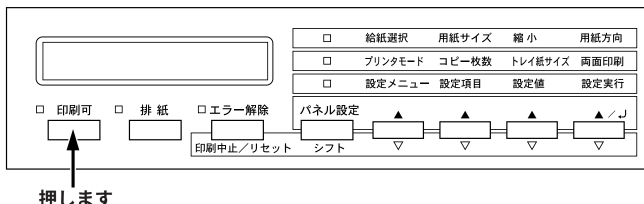
クリックしてチェックマークを付けると、ほかのコンピュータから共有プリンタをモニタさせることができます。

☞本書「Windows95/98/NT4.0 でプリンタを共有するには」90 ページ



印刷の中止方法

1 **プリンタの 印刷可 スイッチを押します。**
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。

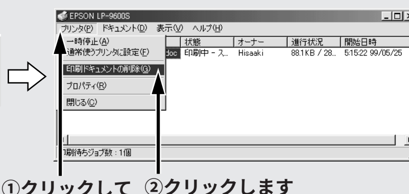


コンピュータ上の印刷処理が続いているときは、以下の方法で削除します。

● Windows95/98/NT4.0 の場合

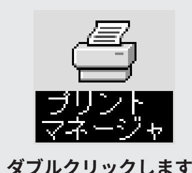
① 画面右下のタスクバー上のプリンタアイコンをダブルクリックします。
② ［プリンタ］メニューの［印刷ドキュメントの削除］または［印刷ジョブのクリア］をクリックします。



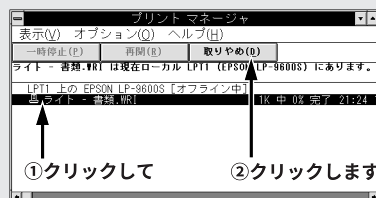


● Windows3.1 の場合

① プリントマネージャアイコンをダブルクリックします。
② 削除する印刷データをクリックして［取りやめ］をクリックします。

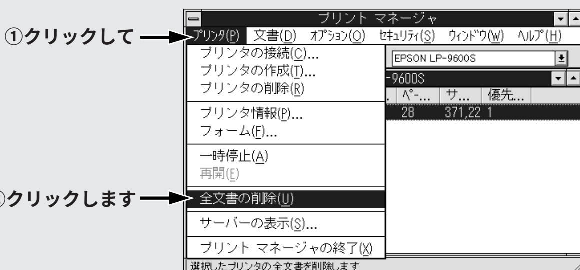


ダブルクリックします



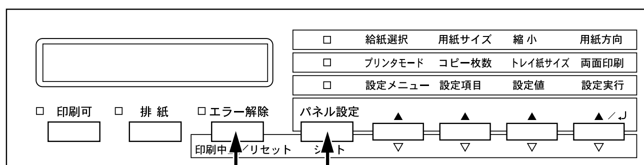
● WindowsNT3.51 の場合

① メイングループのプリントマネージャアイコンをダブルクリックします。
② LP-9600S のアイコンをダブルクリックします。
③ ［プリンタ］メニューの［全文書の削除］をクリックします。



2 **シフト** スイッチと **エラー解除** スイッチを同時に押します（リセット）。

受信データが消去されます。

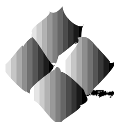


シフト（**パネル設定**）スイッチを押したまま
エラー解除 スイッチを押します


ポイント

シフト + **エラー解除** を 5 秒以上押すと電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。

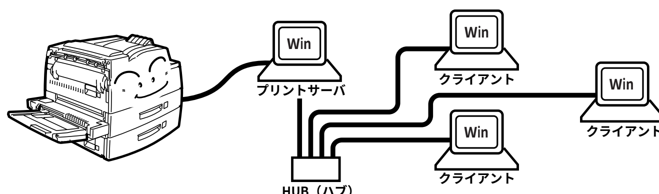
☞本書「リセットオール」193 ページ



Windows95/98/NT4.0でプリンタを共有するには

Windowsの標準ネットワーク環境でプリンタを共有する方法を説明します。

Windows95/98/NT4.0のネットワーク環境では、コンピュータに直接接続したプリンタを、ほかのコンピュータから共有することができます。Windowsの標準ネットワーク機能を利用します。この接続方法をピアトゥピア接続と呼びます。



プリンタを直接接続するコンピュータは、プリンタの共有を許可するプリントサーバの役割をはたします。ほかのコンピュータはプリントサーバに印刷許可を受けるクライアントになります。クライアントは、プリントサーバを経由してプリンタを共有することになります。



- **以下の設定方法は、ネットワーク環境が構築されていること、プリントサーバとクライアントが同一ネットワーク管理下にあること、プリンタを使用するすべてのコンピュータにプリンタドライバがインストールされていることが前提となります。**
- **画面はMicrosoftネットワークの場合です。**

ここでは、プリンタを共有させるためのプリントサーバの設定方法を説明します。お使いのWindowsに応じた設定手順に従ってください。

☞ 本書「Windows95/98の場合」91ページ
本書「WindowsNT4.0の場合」94ページ

クライアントの設定方法については、以下のページを参照してください。

☞ セットアップガイド「ネットワーク接続でのセットアップ」33ページ

Windows95/98の場合

Windows95/98でプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックして、カーソルを［設定］に合わせ、［コントロールパネル］をクリックします。**

2 **［ネットワーク］アイコンをダブルクリックします。**



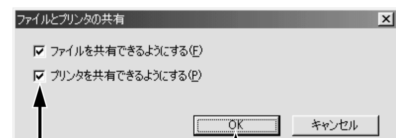
ダブルクリックします

3 **ファイルとプリンタの共有 ボタンをクリックします。**



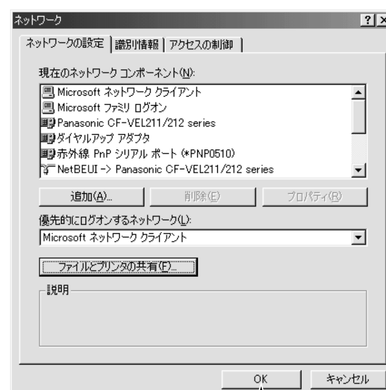
クリックします

4 **［プリンタを共有できるようにする］のチェックボックスをクリックしてチェックマークを付け、 OK ボタンをクリックします。**



①クリックして　②クリックします

5 OK ボタンをクリックします。



クリックします



ポイント

- ［ディスクの挿入］メッセージが表示された場合は、Windows95/98のCD-ROMをコンピュータにセットし、OK ボタンをクリックして画面の指示に従ってください。
- 再起動を促すメッセージが表示された場合は、再起動してください。その後、*1* でコントロールパネルを開いて *6* から設定してください。

6 コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。



ダブルクリックします

7 LP-9600S のアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。

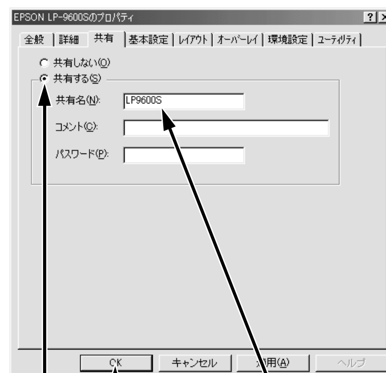


①選択して

②クリックして　③クリックします

8 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、 OK ボタンをクリックします。**

必要に応じて、［コメント］と［パスワード］を入力します。





エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。

☞ セットアップガイド「ネットワーク接続でのセットアップ」33 ページ

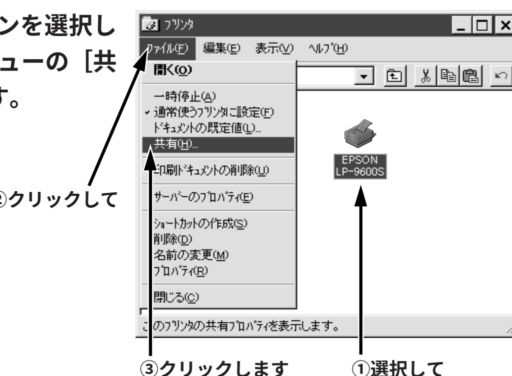
Win

WindowsNT4.0の場合

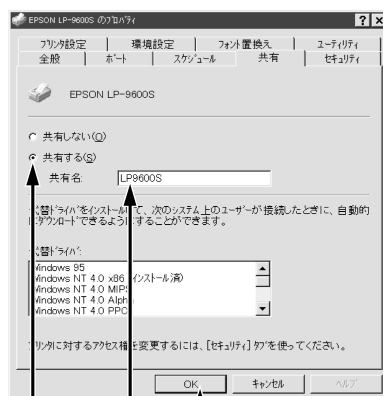
WindowsNT4.0のプリントサーバを設定する場合は、以下の手順に従ってください。

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**

2 **LP-9600Sのアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［共有］をクリックします。**



3 **［共有する］を選択して、［共有名］を入力し、 OK ボタンをクリックします。**




ポイント

- **エラーが発生する場合がありますので共有名には□（スペース）や－（ハイフン）を使用しないでください。**
- **［代替ドライバ］は選択しないでください。**

これでプリンタを共有させるためのプリントサーバの設定が完了しました。各クライアント側でも設定が必要ですので、以下のページを参照してください。
☞ セットアップガイド「ネットワーク接続でのセットアップ」33ページ



プリンタ接続先の設定

Win

プリンタを接続しているコンピュータ側のポートの設定を、必要に応じて変更します。コンピュータにローカル接続している場合は、組み込んだままの設定で使用できますので変更は不要です。
ここでは、プリンタ側のエラー状態を示すメッセージ条件なども変更できます。

ポイント
- **プリンタの接続先を変更すると、プリンタの機能設定が変更されることがあります。**
- **プリンタの接続先を変更した場合は、必ず各機能の設定を確認してください。**

Windows95/98の場合

1 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。**

2 **LP-9600Sのアイコンを選択して、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**



3 **［詳細］タブをクリックします。**

クリックします

4 **接続先などを設定し、OK ボタンをクリックします。**
各項目の詳細な説明は、次ページを参照してください。

クリックします

①印刷先のポート

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。表示されるポートの種類はご利用のコンピュータによって異なります。


ポイント

プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、通常は「LPT1」に設定します。

PRN ： EPSON PC シリーズ /NEC PC シリーズ標準の 14 ピンプリンタポートに接続している場合の設定です。この PRN が表示されない場合は LPT1 を選択します。

LPT ： 通常のプリンタポートの設定です。DOS/V シリーズなどの標準パラレルプリンタポートに接続している場合は、この中の LPT1 を選択します。

FILE ： 印刷データをプリンタではなくファイルに出力します。

ポートの追加 ボタン:

新しいポートを追加したり、新しいネットワークパスを指定したりするときにクリックします。


ポイント

ネットワークパスを指定してポートを追加することでネットワーク上に接続された本機に接続することができます。参照 ボタンをクリックしてネットワーク構成図からプリンタを選択してください。

ポートの削除 ボタン:

ポートの一覧からポートを削除するときにクリックします。

②印刷に使用するドライバ

プリンタドライバの種類が表示されます。お使いの機種のプリンタドライバが選択されていることを確認してください。通常は、設定を変更しないでください。

ドライバの追加 ボタン:

プリンタドライバを、追加するときにクリックします。

③プリンタポートの割り当て

ネットワークプリンタと接続している場合に使用できます。

プリンタポートの割り当て ボタン:

ポートをネットワークドライブに割り当てるときにクリックします。

プリンタポートの解除 ボタン:

ネットワークドライブに割り当てたポートを解除するときにクリックします。

④タイムアウト設定

タイムアウトの時間を設定します。通常は変更する必要はありません。

未選択時

プリンタが印刷できる状態になるまで待つ時間を設定します。
ここで設定した時間を経過してもプリンタが印刷できる状態にならないと、エラーが表示されます。

送信の再試行時

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。ここで設定した時間を経過してもプリンタがデータを受信できないと、エラーが表示されます。


ポイント

- **ポートによってタイムアウト時間が変更できない場合があります。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合などに、エラーが表示されることがあります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［送信の再試行時］を長く設定してください。**

⑤ ポートの設定 ボタン

通常は変更する必要はありません。

MS-DOSの印刷ジョブをスプール:

MS-DOS アプリケーションの印刷データを Windows でスプールします。

印刷前にポートの状態をチェック：

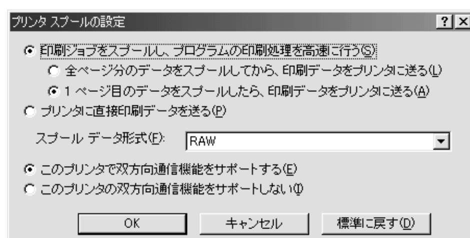
印刷先のポートが印刷可能な状態なのかどうかを、印刷を行う前にチェックします。

Win

⑥ スプールの設定 ボタン

印刷データのスプール*1方法の設定を変更する場合にクリックします。通常は変更する必要はありません。

*1 スプール：データを一時的にディスクに保存し、そこからプリンタへデータを送るデータ転送の方法。これにより印刷中もコンピュータは別の作業をすることができる。



印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う：
印刷データをWindowsからプリンタに直接送るため、高速に印刷されます。印刷品質（解像度）には影響ありません。印刷データスプール方法には、次の２つがあります。どちらかをクリックして選択します。

- 全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る
- １ページめのデータをスプールしたら、印刷データをプリンタに送る

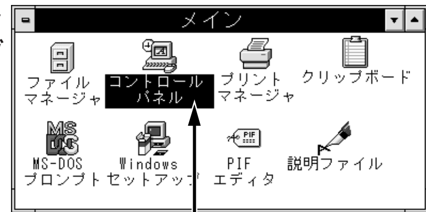
プリンタに直接印刷データを送る：
印刷データをスプールせずに、直接プリンタに送ります。

このプリンタで双方向通信機能をサポートする：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使うように設定します。
EPSON プリンタウィンドウ!3 をお使いになる場合は、［サポートする］の○をクリックして●印を付けて選択します。

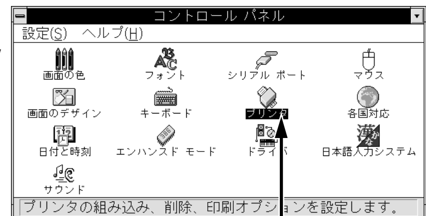
このプリンタで双方向通信機能をサポートしない：
プリンタとコンピュータの双方向通信機能を使わないように設定します。

Windows3.1の場合

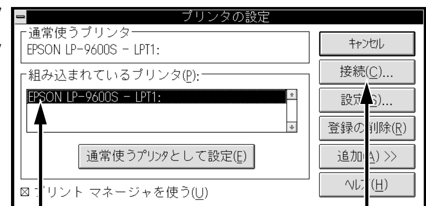
1 **メイングループ内の［コントロールパネル］アイコンをダブルクリックします。**



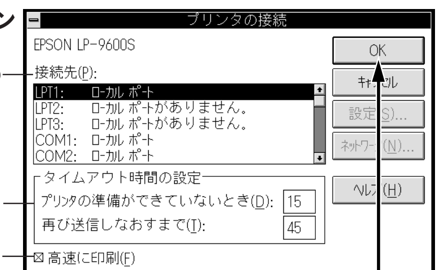
2 **コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。**



3 **設定を変更するプリンタをクリックし、接続ボタンをクリックします。**



4 **接続先などを設定し、OKボタンをクリックします。**
各項目の詳細な説明は、
次ページを参照してください。



①接続先

プリンタを接続したポート（インターフェイス）を選択します。各項目の詳細は以下のページをご覧ください。

☞本書「プリンタ接続先の設定 / 印刷先のポート」96 ページ



プリンタを、コンピュータのプリンタポートに接続している場合は、［LPT1］を選択してください。

②タイムアウト時間の設定

タイムアウトの時間を設定します。

プリンタの準備ができていないとき

プリンタが印刷可能状態になるまでの時間を設定します。この時間を過ぎても印刷可能状態にならないと、エラーが表示されます。

再び送信しなおすまで

プリンタが印刷途中でデータを受信できなくなったときに、データの送信を繰り返す時間を設定します。この時間を過ぎてもデータを受信できない場合は、エラーが表示されます。



- **ポートによってはタイムアウト時間が変更できない場合があります。**
- **タイムアウト時間の設定はプリントマネージャを使用している場合に有効になります。**
- **通常は標準設定のままで使用できますが、印刷データが複雑な場合など、エラーが表示されやすくなります。そのようなときは、タイムアウト時間、特に［再び送信しなおすまで］を長く設定してください。**

③高速に印刷

通常はチェックボックスをチェックしたままにしてください。このボックスをチェックしていると、印刷データを Windows からプリンタに直接送るため、高速に印刷されます。印刷品質（解像度）には影響ありません。チェックしないと、DOS を経由して印刷されるので印刷時間が長くなります。



プリンタソフトウェアの削除

ドライバを再インストールする場合やバージョンアップする場合は、すでにインストールされているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。ここでは、Windows95/98/NT4.0の標準的な方法でプリンタソフトウェア（プリンタドライバ/EPSON プリンタウィンドウ!3）を削除する手順を説明します。


ポイント

EPSONプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットして表示される画面からも削除することができます。

1 **起動しているアプリケーションソフトをすべて終了します。**

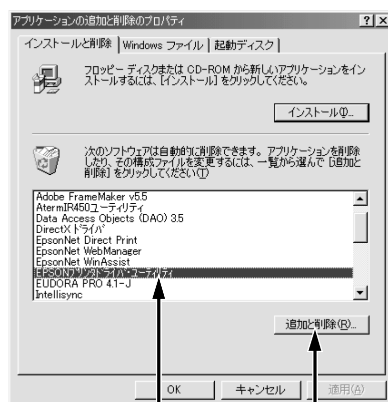
2 **Windowsの スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせて、［コントロールパネル］をクリックします。**

3 **［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリックします。**



ダブルクリックします

4 **［EPSONプリンタドライバ・ユーティリティ］をクリックしてから、追加と削除 ボタンをクリックします。**



①クリックして　②クリックします

プリンタソフトウェアを削除する → 次ページへ進みます

EPSON プリンタウィンドウ!3 のみの削除 → 103 ページの 5 へ進みます

Win

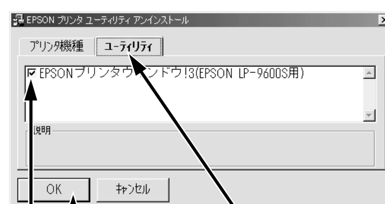
プリンタソフトウェアの削除

5 **［プリンタ機種］タブをクリックし、LP-9600S のアイコンを選択します。**



①クリックし　②選択します

6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、EPSONプリンタウィンドウ!3（LP-9600S 用）にチェックマークが付いていることを確認して OK ボタンをクリックします。**



②確認して　③クリックします　①クリックして

7 **EPSONプリンタウィンドウ!3の削除確認のメッセージが表示されたら、はい ボタンをクリックします。**
EPSONプリンタウィンドウ!3の削除が始まります。



クリックします

8 **プリンタドライバの削除確認のメッセージが表示されたら、はい ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの削除が始まります。

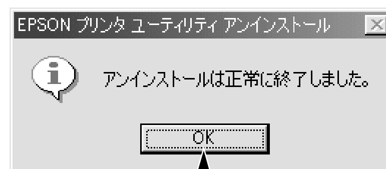


クリックします


ポイント

- 関連ファイル削除のメッセージが表示されたら、はい ボタンをクリックします。プリンタドライバに関連するファイルが削除されます。
- 削除したプリンタを［通常使うプリンタ］として設定していた場合は、ほかのプリンタドライバを［通常使うプリンタ］に設定します。確認のメッセージが表示されたら、OK ボタンをクリックします。

9 **終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**
これでプリンタドライバの削除（アンインストール）は終了です。



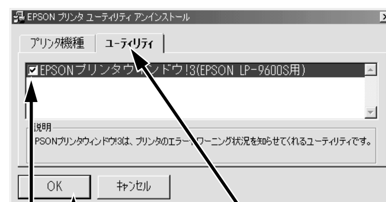
プリンタドライバを再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。

EPSONプリンタウィンドウ!3のみの削除

5 **［プリンタ機種］タブをクリックし、余白部分をクリックして何も選択されていない状態にします。**



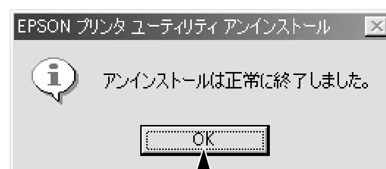
6 **［ユーティリティ］タブをクリックし、［EPSONプリンタウィンドウ!3（LP-9600S用）］を選択して、OKボタンをクリックします。**



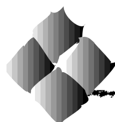
7 **削除確認のメッセージが表示されたら、はいボタンをクリックします。**
EPSONプリンタウィンドウ!3の削除が始まります。



8 **終了のメッセージが表示されたら、OKボタンをクリックします。**
これでEPSONプリンタウィンドウ!3の削除（アンインストール）は終了です。



プリンタドライバやEPSONプリンタウィンドウ!3を再インストールする場合は、コンピュータを再起動させてください。



EPSONバーコードフォント

Win

EPSONバーコードフォントは､本機で印刷できるバーコードフォントです。バーコード印刷する必要がある場合に､Windows95/98/NT3.51/NT4.0にインストールしてご利用ください。

通常バーコードを作成するには､データキャラクタ（バーコードに登録する文字）のほかにさまざまなコードやキャラクタを指定したり､OCR-B[*1]フォント（バーコード下部の文字）を指定する必要があります。

*1 OCR-B：光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。

EPSON バーコードフォントは、各種のバーコードを簡単に作成・印刷するためのフォントです。このフォントを使ってデータキャラクタとして必要な文字のみを入力すれば､バーコードに必要なコードやキャラクタは自動的に指定され､各バーコードの規格に従ってバーコードシンボルが簡単に作成・印刷できます。

バーコードフォントについて

EPSONバーコードフォントは､次の種類のバーコードをサポートしています。EPSON バーコードフォントは、本機に同梱のプリンタドライバ上でのみ使用可能です。

*2 チェックデジット：読み取りの正確性を保つために、所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

バーコードの規格	フォント名称	OCR-B	ﾁｪｯｸﾞﾃﾞｼﾞｯﾄ[*2]	備考
JAN	EPSON JAN-8	あり	あり	JAN（短縮ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）のﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。
	EPSON JAN-8 Short	あり	あり	JAN（短縮ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）の､ﾊﾞｰの高さを短くしたﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
	EPSON JAN-13	あり	あり	JAN（標準ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）のﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。
	EPSON JAN-13 Short	あり	あり	JAN（標準ﾊﾞｰｼﾞｮﾝ）の､ﾊﾞｰの高さを短くしたﾊﾞｰｺｰﾄﾞを作成します。日本国内でのみ使用可能です。
UPC-A	EPSON UPC-A	あり	あり	UPC-A のバーコードを作成します。
UPC-E	EPSON UPC-E	あり	あり	UPC-E のバーコードを作成します。
Code39	EPSON Code39	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON Code39 CD	なし	あり	
	EPSON Code39 CD Num	あり	あり	
	EPSON Code39 Num	あり	なし	
Code128	EPSON CODE128	なし	あり	Code128 のバーコードを作成します。
Interleaved 2of5	EPSON ITF	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON ITF CD	なし	あり	
	EPSON ITF CD Num	あり	あり	
	EPSON ITF Num	あり	なし	
NW-7 (CODABAR)	EPSON NW-7	なし	なし	OCR-B、チェックデジットの有無をフォント名称で指定できます。
	EPSON NW-7 CD	なし	あり	
	EPSON NW-7 CD Num	あり	あり	
	EPSON NW-7 Num	あり	なし	
新郵便番号	EPSON J-Postal Code	なし	あり	新郵便番号に対応したバーコードを作成します。

注意事項

プリンタドライバの設定について

バーコードを印刷するには、プリンタドライバで次のように設定してください。

［基本設定］の［印刷品質］	：きれい（600dpi）
［基本設定］-［詳細設定］の［トナーセーブ］	：チェックマークなし（OFF）
［レイアウト］の［拡大 / 縮小］	：チェックマークなし（OFF）

文字の装飾/配置について

- 文字の装飾（ボールド / イタリック / アンダーライン等）、網掛けは行わないでください。
- 背景色は、バーコード部分とのコントラストが低下する色を避けてください。
- 文字の回転を行う場合、回転角度は 90 度、180 度、270 度以外は指定しないでください。
- 文字間隔の変更は行わないでください。
- アプリケーションソフトが文字間隔の自動調整機能や、スペース（空白）部分で単語間隔の自動調整機能を持っている場合、その機能を使用しないように設定してください。
- 文字の縦あるいは横方向のみを拡大 / 縮小しないでください。
- アプリケーションソフトのオートコレクト機能は使用しないでください。（例＜＝＞ ⇨ ⬄ ）

入力時の注意について

- Code39、Code128 において、一つの行に 2 つ以上のバーコードを印刷する場合、バーコードとバーコードの間は TAB で区切ってください。スペース（空白）で区切る場合はバーコードフォント以外の書体を選択してスペースを入力してください。
  バーコードフォントを選択したままスペースを入力すると、スペースがバーコードの一部となる場合があり、バーコードとして使用できません。
- アプリケーションソフトウェアで改行を示すマークの表示/非表示を選択できる場合、バーコードの部分とそうでない部分が区別しやすいよう、改行マークが表示される設定で使用することをお薦めします。
- 入力した文字をバーコードに変換する際に、バーコードとして必要なキャラクタを自動的に追加するため、バーコードの長さは文字入力時よりも長くなる場合があります。
  バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。

- Code39、Code128、Interleaved 2of5、NW-7は、バーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるようにサイズを自動調整します。
  このため印刷されるバーコードの高さが入力時よりも下方向に大きくなる場合があるため、バーコードの周囲の文字列がバーコードと重複しないように注意してください。
- Code128において、アプリケーションソフトが行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数のスペースをタブに置き換えるなどの処理を自動的に行うと、スペースを含むCode128のバーコードは正しく出力されないことがあります。
- バーコードのフォントサイズは、本書「各バーコードについて」の表中に記載されている保証サイズで作成していただくことをお薦めします。保証サイズ以外のサイズで作成した場合、読み取り機で読み取れないことがあります。
  ☞「各バーコードについて」110ページ


ポイント

トナーの濃度や紙質によっては、印刷されたバーコードが読み取り機で読み取れない場合があります。お使いの読み取り機で認識テストしてからご利用いただくことをお薦めします。

システム条件

EPSONバーコードフォントをご利用いただくには、Windows95/98/NT3.51/NT4.0でのシステム条件のほかに以下の条件が必要です。

☞ Windows95/98/NT4.0	セットアップガイド「システム条件の確認」28ページ
WindowsNT3.51	セットアップガイド「システム条件の確認」40ページ

ハードディスク　：　15～30KByteの空き容量（書体ごとに異なります）

バーコードフォントのインストール

1 **コンピュータの電源をオンにし、Windows を起動します。**

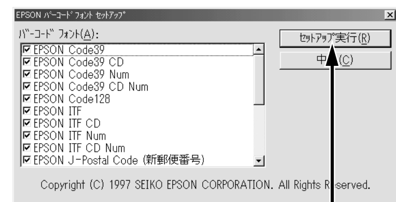
2 **EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア CD-ROMをコンピュータにセットします。**

3 **バーコードフォントのインストール を選択して 次へ ボタンをクリックします。**



上記の画面が表示されない場合は、［マイコンピュータ］をダブルクリックしてCD-ROM アイコンをダブルクリックします。

4 **セットアップ実行 ボタンをクリックします。**
使用しないバーコードフォントは、クリックしてチェックマークを外してください。インストールされません。



これでEPSONバーコードフォントがWindowsのフォントフォルダにインストールされました。EPSON バーコードフォントの詳細、使用方法は、次ページ以降をご覧ください。

Win

バーコードの作成

ここではWindows95/98に添付のワードパッドを例に、EPSONバーコードフォントの印刷手順を説明します。

1 **ワードパッドを起動し、バーコード変換する文字を入力します。**



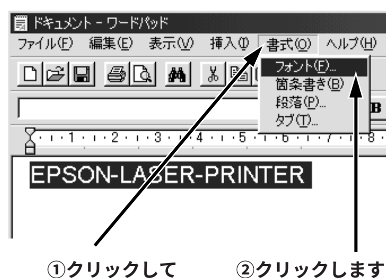

ポイント

文字はすべて半角（1Byte）で入力してください。

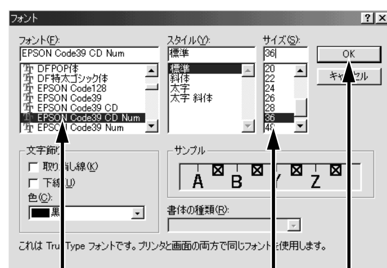
2 **入力した文字をマウスでドラッグして選択します。**
選択した範囲が反転表示になります。



3 **［書式］メニューをクリックし、［フォント］をクリックします。**



4 ［フォント］の一覧から印刷したいEPSONバーコードフォントを選択し［サイズ］でフォントのサイズを設定し、OKボタンをクリックします。



①選択して　②選択して　③クリックします


ポイント

WindowsNT4.0 では 96pt 以上のフォントサイズは使用できません。

5 **入力した文字が、モニタ上で次のようにバーコードフォント表示されていることを確認します。**



6 **印刷を実行します。**

入力したデータがバーコードとして印刷されます。


ポイント

入力したデータが不適当な場合などプリンタドライバがエラーと判断した場合は、画面表示と同様のフォントが出力されます。この場合バーコードとして読み取りはできません。

各バーコードについて

各バーコードの仕様や、入力するデータキャラクタの詳細/構成などについては、それぞれのバーコードの規格に関する文献を参照してください。

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8（JAN 短縮バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の短縮バージョン（8 桁）です。
• EPSONバーコードフォントは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 7 桁です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">7 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">52 〜 130pt（WindowsNT は 96pt まで）
保証サイズは 52pt、65pt（標準）、97.5pt、130pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-8 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-8 Short は JAN-8 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-8 と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 〜 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">7 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36 〜 90pt
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-8 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td>1234 5670</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13（標準バージョン）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 は「JIS X 0501」として規格化された JAN の標準バージョン（13 桁）です。
• EPSON バーコードフォントでは末尾のチェックキャラクタを自動的に挿入するため、入力するキャラクタは 12 桁です。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">60 ～ 150pt（WindowsNT は 96pt まで）
保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">JAN-13 Short（JAN 短縮バージョン トランケーション）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• JAN-13 Short は JAN-13 のバーコードの高さを標準ポイントで 11mm にしたもので、それ以外は JAN-13 と同じ仕様です。
• バーコードを挿入するスペースがせまい場合などに使用します。
• 日本国内でのみ使用可能です。JISX0501 では定められていません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">12 桁</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">36 ～ 90pt。
保証サイズは 36pt、45pt（標準）、67.5pt、90pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• レフト／ライトマージン　• レフト／ライトガードバー　• センターバー
• チェックキャラクタ　• OCR-B</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON JAN-13 Short に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123456789012</td><td>123456789012</td><td>1 234567 890128</td></tr>
</table>

UPC-A			
• UPC-A は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Regular タイプです。（UPC Symbol Specification Manual） • Regular UPC コードのみサポートし、補足コードはサポートしていません。			
入力可能なキャラクタ		数字（0 ～ 9）	
入力するキャラクタの桁数		11 桁	
キャラクタのサイズ		60 ～ 150pt（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン • レフト／ライトガードバー • センターバー • チェックデジット • OCR-B			
印刷例	入力時	EPSON UPC-A に変換	印刷
	12345678901	12345678901	1 23456 78901 2

UPC-E			
• UPC-E は、アメリカの Universal Product Code で制定された UPC-A の Zero Suppression（余分な 0 を削除）タイプです。（UPC Symbol Specification Manual）			
入力可能なキャラクタ		数字（0 ～ 9）	
入力するキャラクタの桁数		6 桁	
キャラクタのサイズ		60 ～ 150pt（WindowsNT は 96pt まで） 保証サイズは 60pt、75pt（標準）、112.5pt、150pt	
次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。 • レフト／ライトマージン • レフト／ライトガードバー • チェックデジット • OCR-B • ナンバーシステム「0」のみ			
印刷例	入力時	EPSON UPC-E に変換	印刷
	123456	123456	0 123456 5

<table>
<tr><th colspan="4">Code39</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code39 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSONバーコードフォントはCode39の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Code39 ではスペースを“ __ ”（アンダーライン）に割り当てています。スペースを表すバーコードを入力したい場合は、“ __ ”（アンダーライン）を入力してください。
• Code39 で 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code39 を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">英数字（A ～ Z、0 ～ 9）
記号（－　．　スペース　$　／　＋　%）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：26pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt
（WindowsNT は 96pt まで）</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code39 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON Code39 CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td>1 2 3 4 5 6 7 S</td></tr>
</table>

Win

<table>
<tr><th colspan="4">Code128</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Code128 は「JIS X 0504」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはコードセット A、B、C をサポートしています。入力するキャラクタのコードセットが途中で変わった場合、自動的にコードセットの変換コードを挿入します。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは Code128 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• アプリケーションによっては行末に存在するスペースを削除したり、連続する複数個のスペースをタブなどに置き換えるなどの処理を自動的に行うものがあります。これらのアプリケーションでは、スペースを含むバーコードが正しく印刷されない場合があります。
• Code128 で 1 行に 2 つ以上のバーコードを入力する場合、バーコード間は TAB で区切ってください。スペースで区切る場合は、バーコードフォント以外のフォントを選択して入力してください。Code128を選択したままスペースを入力するとスペースがバーコードの一部となりバーコードとして使用できません。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">全ての ASCII 文字（95 文字）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">26 〜 104pt（WindowsNT は 96pt まで）
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット
• コードセットの変更キャラクタ</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON Code128 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">Interleaved 2of5</th></tr>
<tr><td colspan="4">• Interleaved 2of5 は、アメリカで規格化されたものです。（USS Interleaved 2-of-5）
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントはInterleaved 2of5 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の 15% 以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• Interleaved 2of5は、キャラクタを2個一組で扱います。キャラクタの合計数が奇数個の場合、EPSON バーコードフォントは自動的にキャラクタの先頭に 0 を追加して偶数個になるようにします。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。（WindowsNT は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン • スタート／ストップキャラクタ • チェックデジット
• 文字列先頭への 0 の挿入
（合計文字数が偶数でない場合のみ）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON ITF に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1234567</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON ITF CD Num に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>12345670</td></tr>
</table>

Win

<table>
<tr><th colspan="4">NW-7（CODABAR）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• NW-7 は「JIS X 0503」として規格化されたものです。
• EPSON バーコードフォントはチェックデジットの有無、OCR-B の有無で 4 種類のフォントを用意しています。
• 入力したキャラクタの桁数が大きい場合、EPSON バーコードフォントは NW-7 の仕様に従ってバーコードの高さがバーコード全長の15%以上になるように自動的に調整します。このためバーコードの周囲に文字がある場合、バーコードと重ならないように間隔を開けてください。
• スタート／ストップキャラクタのどちらかを入力すると、EPSONバーコードフォントは残りのスタート／ストップキャラクタが同じになるように自動的に挿入されます。
• スタート／ストップキャラクタを入力しない場合は、両方とも自動的に A を挿入します。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 ～ 9）、記号（－　＄　：　／　．　＋）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">OCR-B の有無により異なります。（WindowsNT は 96pt まで）
OCR-B なしの場合：26pt 以上
保証サイズは 26pt、52pt、78pt、104pt
OCR-B ありの場合：36pt 以上
保証サイズは 36pt、72pt、108pt、144pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• 左／右クワイエットゾーン　• スタート／ストップキャラクタ（入力しない場合）
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="4">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON NW-7 に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td rowspan="3">1234567</td><td>1 2 3 4 5 6 7</td><td></td></tr>
<tr><td>EPSON NW-7CDNum に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>1234567</td><td>A 1 2 3 4 5 6 7 4 A</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="4">新郵便番号（カスタマ・バーコード）</th></tr>
<tr><td colspan="4">• バーコードの詳細については、郵政省より発行の資料を参照してください。
• EPSON バーコードフォントで入力する場合、次のように新郵便番号（3 桁）－新郵便番号（4 桁）－住所表示番号（ﾊﾞｰｺｰﾄﾞに変換後 13 桁まで）入力します。
• 住所表示番号は入力時は桁数の制限はありませんが、バーコードに変換後13桁を超える部分は省略されます。また住所表示番号が 13 桁に満たない場合は、13 桁になるように末尾にコードを挿入します。
• アプリケーションソフトにおいて、印刷領域やレイアウト枠は余裕をもって設定してください。</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力可能なキャラクタ</td><td colspan="2">数字（0 〜 9）、英文字（A 〜 Z）、記号（－）</td></tr>
<tr><td colspan="2">入力するキャラクタの桁数</td><td colspan="2">制限なし。ただし住所表示番号については、バーコードに変換後 13 桁を超える桁数の文字は省略されます。</td></tr>
<tr><td colspan="2">キャラクタのサイズ</td><td colspan="2">8 〜 11.5pt
保証サイズは 8pt、9pt、10pt、11.5pt</td></tr>
<tr><td colspan="4">次のものは自動的に挿入／設定が行われるため、入力は不要です。
• バーコードの上下左右 2mm の空白
• 入力時の－（ハイフン）の削除
• スタート／ストップコード
• 住所表示番号の 13 桁調整
• チェックデジット</td></tr>
<tr><td rowspan="2">印刷例</td><td>入力時</td><td>EPSON J-Postal Code に変換</td><td>印刷</td></tr>
<tr><td>123-4567</td><td>1 2 3 − 4 5 6 7</td><td></td></tr>
</table>

第4章

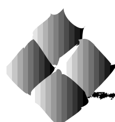
Macintoshからの印刷

Mac

LP-9600S

Printing on Macintosh

ここでは、Macintoshからの印刷方法とユーティリティについて説明します。



印刷までの流れ

Mac

1 プリンタの電源をオンにして用紙をセットします

☞セットアップガイド「電源のオン」19 ページ
☞本書「用紙について」10 ページ

2 必要に応じて操作パネルの設定を行います

☞本書「操作パネルでの設定方法」153 ページ

3 セレクタでLP-9600Sを選択します

☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」51 ページ
セットアップガイド「[プリンタセットアップ] ダイアログの設定」54 ページ

4 用紙を設定して印刷データを作成します

アプリケーションソフトを起動してから用紙サイズを設定します。その後、印刷データを作成します。

☞本書「用紙設定の手順」121 ページ
本書「用紙の設定」123 ページ

5 プリンタドライバで印刷条件を設定します

☞本書「印刷の手順」122 ページ
本書「印刷の設定」128 ページ

6 印刷を実行します

☞本書「印刷の手順」122 ページ
本書「EPSON プリントモニタ!3」145 ページ
本書「印刷の中止方法」147 ページ



印刷の手順

用紙設定の手順

実際に印刷データを作成する前に、プリンタドライバ上で用紙サイズなどを設定します。ここでは、SimpleText を例に説明します。

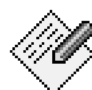
アプリケーションソフトによっては、独自の用紙設定ダイアログを表示することがあります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。


ポイント

用紙設定をする前に、LP-9600Sのプリンタドライバをセレクタで選択してください。
☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」51 ページ

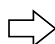
Mac

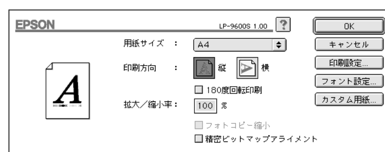
1 **[SimpleText] アイコンをダブルクリックして起動します。**


SimpleText
ダブルクリックします

2 **[ファイル] メニューから [用紙設定] (または [プリンタの設定] など) を選択します。**







3 **必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞本書「[用紙設定] ダイアログ」123 ページ
本書「フォント設定の手順」125 ページ
本書「カスタム用紙の設定 / 変更」127 ページ

4 **OK ボタンをクリックして終了します。**

この後、印刷データを作成します。

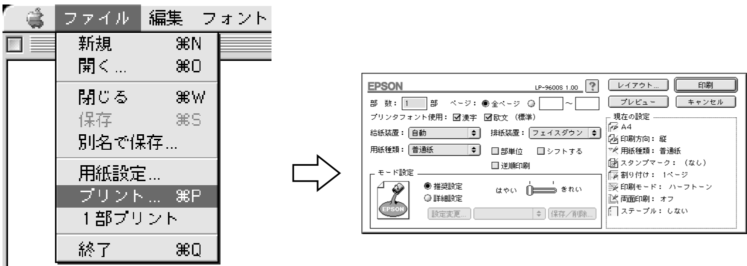
Mac

印刷の手順

印刷する際に、プリンタドライバ上で印刷部数などを設定します。

アプリケーションソフトによっては、独自の印刷ダイアログを表示する場合があります。その場合は、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

1 **［ファイル］メニューから［プリント］（または［印刷］）を選択します。**



2 **印刷に必要な項目を設定します。**

設定項目やボタンについては、以下のページを参照してください。

☞本書「［プリント］ダイアログ」128 ページ
本書「［詳細設定］ダイアログ」133 ページ
本書「［レイアウト］ダイアログ」136 ページ

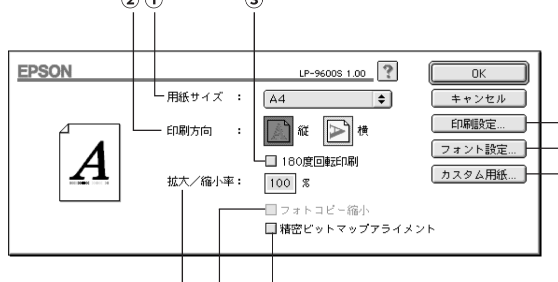
3 **印刷 ボタンをクリックして、印刷を実行します。**



用紙の設定

[用紙設定]ダイアログ

[用紙設定] ダイアログでは、用紙に関する基本的な項目を設定します。印刷データを作成する前に設定してください。



①用紙サイズ

印刷する用紙のサイズをリストから選択します。

②印刷方向

用紙に対する印刷の向きを、[縦]、[横] のいずれかをクリックして選択します。

③180度回転印刷

印刷データを 180 度回転して印刷する場合にクリックします。


ポイント

[180 度回転印刷] を設定すると、フォントの置き換えはできません。
☞本書「フォント設定の手順」125 ページ

④拡大/縮小率

印刷データを拡大 / 縮小して印刷できます。拡大 / 縮小率を 25% 〜 400% まで、1% 単位で指定できます。

⑤フォトコピー縮小

[拡大 / 縮小率] が 100% 未満の場合にクリックしてチェックマークを付けると、指定した縮小率で用紙中央に印刷します。この場合、次の [精密ビットマップアライメント] は選択できません。

⑥精密ビットマップアライメント

クリックしてチェックマークを付けると、印刷領域を約4%縮小して印刷のムラを押さえ、よりきれいに印刷します。この場合、印刷位置は用紙の中央になります。なお、[フォトコピー縮小] を選択している場合は、選択できません。

⑦ 印刷設定 ボタン

印刷に関する各種の設定を行います。設定できる項目については、以下のページを参照してください。

☞本書「[プリント]ダイアログ」128 ページ



[プリント]ダイアログでは、このうちの一部の設定をすることができます。

⑧ フォント設定 ボタン

Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントをプリンタに内蔵されているフォントに置き換えて高速に印刷します。設定方法については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」125 ページ

⑨ カスタム用紙 ボタン

クリックすると[カスタム用紙]ダイアログが表示され、用紙のカスタム(不定形)サイズを設定できます。設定したカスタム用紙サイズは、[用紙設定]ダイアログの[用紙サイズ]メニューから選択できます。

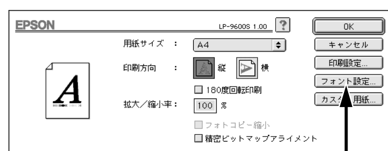
☞本書「カスタム用紙の設定 / 変更」127 ページ

Mac

フォント設定の手順

フォントの置き換えは、Macintoshのディスプレイ上で表示されているフォントを、プリンタに内蔵されているフォントに置き換えて印刷する機能です。この機能を使用すると、印刷速度が速くなります。

1 **［用紙設定］ダイアログで フォント設定 ボタンをクリックします。**

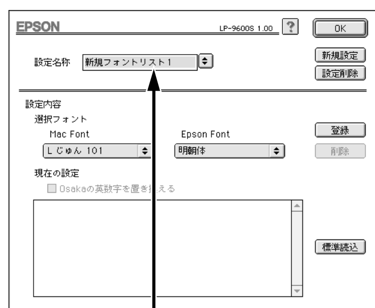


2 **新規設定 ボタンをクリックします。**

- すでに登録されている設定を変更する場合は、設定名称のポップアップメニューから選択し **4** へ進みます。
- すでに登録されている設定を削除するには、設定名称のポップアップメニューから選択し、 設定削除 ボタンをクリックします。

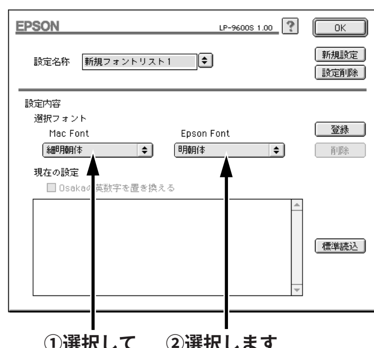


3 **［設定名称］ボックスに、登録名を入力します。**



Mac

4 **［Mac Font］リストから置き換え対象となるフォントを選択し、［Epson Font］リストから置き換えるプリンタフォントを選択します。**
標準読込 ボタンをクリックすると、標準で用意している置き換えフォントの設定を読み込むことができます。

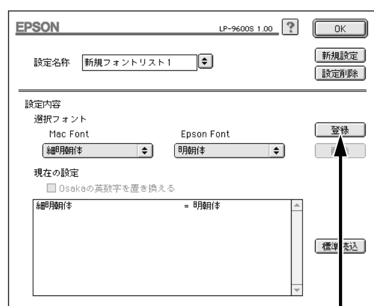


①選択して　②選択します



［標準］以外の置き換えフォント登録では、Osaka フォントに限り漢字フォントと英数字フォントを別々に置き換え設定できます。
①［Mac Font］リストから Osaka フォントを選択します。
②Osaka の英数フォントを置き換えるには、［Osaka の英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを付けます。Osaka の漢字フォントを置き換えるには、［Osakaの英数字を置き換える］をクリックしてチェックマークを外します。
③［Epson Font］リストから置き換える英数フォントを選択します。

5 **登録 ボタンをクリックします。**
- ［現在の設定］に登録されます。
- ［現在の設定］に登録された置き換えの設定を削除する場合は、［現在の設定］の一覧から選択し、削除 ボタンをクリックします。



クリックします

6 **ほかに置き換えたいフォントがある場合は、4 と 5 を繰り返します。**

7 **OK ボタンをクリックします。**
以上で、置き換えフォントの登録が保存されました。



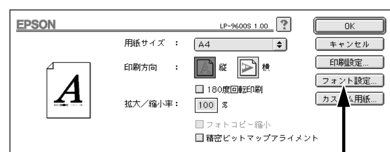
- **保存した置き換え方法を使用する場合は、［設定名称］のポップアップメニューから設定した名称を選択してください。**
- **登録したフォント置き換えの設定は、［プリント］ダイアログや［詳細設定］ダイアログで［プリンタフォント使用］のチェックボックスをチェックしたときに有効になります。登録した置き換えフォントの設定は、［詳細設定］ダイアログからも選択できます。**

Mac

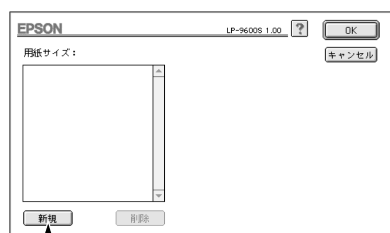
カスタム用紙の設定/変更

不定形の用紙サイズを設定/登録したり、以前に登録した用紙サイズを変更できます。

1 **［用紙設定］ダイアログを開き、カスタム用紙 ボタンをクリックします。**



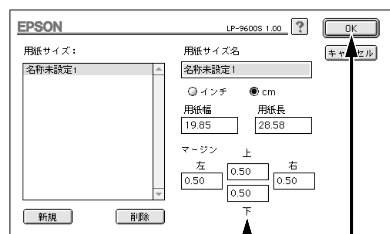
2 **新規 ボタンをクリックします。**



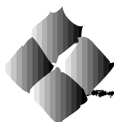


- **登録できる用紙サイズの数は、64までです。**
- **すでに登録している用紙サイズを変更する場合は、[用紙サイズ]一覧から変更したい用紙サイズを選択します。**
- **用紙サイズ名をクリックしてから 削除 ボタンをクリックすると、その用紙サイズは削除されます。**

3 **用紙サイズ名、単位（インチまたはcm）、用紙幅、用紙長、上下左右マージンを設定し、OK ボタンをクリックします。**
設定できるサイズの範囲は以下の通りです。



用紙幅　：10.00～29.70cm（3.94～11.69インチ）
用紙長　：13.97～43.18cm（5.50～17.00インチ）



印刷の設定

[プリント]ダイアログ

印刷する際、[プリント] ダイアログで印刷に関わる各種の設定を行います。



①部数

1～999の範囲で印刷部数を選択します。通常は1ページごとに指定した部数を印刷しますが、⑧の［部単位］を選択すると1部ごとにまとめて印刷します。


ポイント

［排紙装置］を［ソーター］で使用している場合の最大部数は、マルチビンのビン数（10）になります。

②ページ

すべてのページを印刷する場合は［全ページ］をクリックしてチェックマークを付けます。一部のページを指定して印刷する場合は、開始ページと終了ページを 1 ～ 9999 の範囲で入力します。

③プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」125 ページ

漢字	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。
欧文（標準）	：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

④給紙装置

給紙装置を選択します。

自動	：印刷実行時に、[用紙サイズ]で選択したサイズおよび［給紙タイプ］で選択した用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置を探し、給紙します。
用紙トレイ	：用紙トレイから給紙する場合は、[用紙トレイ]を選択します。
用紙カセット1・2	：標準の用紙カセットから給紙する場合は、［用紙カセット1］または［用紙カセット2］を選択します。
用紙カセット3～5	：オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合に選択ができます。


ポイント

- **指定された用紙がセットされていない場合や正しく検知されていない場合は、エラー（用紙サイズチェック機能有効時）が発生します。**
- **［自動］を選択して拡大／縮小印刷を行うと、［レイアウト］ダイアログの［出力用紙］で設定したサイズの用紙がセットされている給紙装置を自動的に選択して、そこから給紙します。**

⑤用紙種類

［給紙装置］を［自動］に設定した場合は、給紙する用紙の種類をリストから選択します。[用紙種類]を選択することにより、[用紙サイズ]と[用紙種類］で選択した用紙がセットされている給紙装置を探して給紙します。ただし、あらかじめ操作パネルで各給紙装置に用紙タイプの設定をする必要があります。
☞本書「給紙タイプ（用紙種類）の選択機能」31ページ


ポイント

［給紙装置］を［自動］以外に設定した場合は、［用紙種類］は設定できません。

Mac

⑥排紙装置

印刷した用紙を、どの排紙装置に排紙するかを指定します。


ポイント

- **オプションの10ビンマルチビンユニットを装着している場合、操作パネルで10ビンマルチビンユニットの動作モードを設定する必要があります。**
- **動作モードが［メールボックス］の場合、メールビンの番号を変更するには、「アップル」メニューから「セレクタ」をクリックし、［セレクタ］ダイアログで セットアップ ボタンをクリックして、［プリンタセットアップ］ダイアログで［ビン番号］を変更する必要があります。**
  ☞セットアップガイド「［プリンタセットアップ］ダイアログの設定」54ページ

装着したオプションによって選択できる排紙装置の項目は異なります。

フェイスダウントレイ	標準搭載のフェイスダウントレイに排紙します。
フェイスアップトレイ	オプションのフェイスアップトレイに排紙します。
スタッカ	オプションの 10 ビンマルチビンユニットを大容量（スタッカ）モードで使用する場合や、オプションのステープルスタッカを使用する場合に、ビンに排紙します。
ソーター	オプションの10ビンマルチビンユニットをソーターで使用する場合に、ビンに排紙します。
マルチソーター *	オプションの10ビンマルチビンユニットをマルチソーターモードで使用する場合に、ビンに排紙します。
メールビン 1～10	オプションの10ビンマルチビンユニットをメールボックスモードで使用する場合に、指定したメールボックスNO.のビンに排紙します。

* 128MB 以上のメモリ、またはオプションのハードディスクユニット装着時のみ表示。

⑦シフトする

［排紙装置］で［フェイスダウン］を選択した場合、あるいはステープルスタッカを装着して［フェイスダウン］または［スタッカ］を選択した場合に選択できます。
クリックしてチェックマークを付けると、シフト機能が有効になります。

シフト機能は、一つの印刷データを印刷するごとに、印刷された用紙を左右にシフト（ずらす）して排紙する機能です。複数のユーザーが印刷する場合や複数の印刷データを印刷する場合などに、本機能を有効にすると、印刷データごとに用紙がずれて排紙されるため、どこからどこまでが一つの印刷データの印刷結果かを区別することができます。

⑧部単位

プリンタのメモリを128MB以上に増設あるいはオプションのハードディスクユニットを装着し、かつ［排紙装置］が［フェイスダウントレイ］［フェイスアップトレイ］［スタッカ］［メールビン］のいずれかに設定されている場合に表示されます。クリックしてチェックマークを付けると、2部以上印刷する場合に1ページ目から最終ページまでを1部単位にまとめて印刷します。印刷する部数は、①の［部数］で指定します。


ポイント

- **排紙装置が［ソーター］あるいは［マルチソーター］に設定されている場合は、自動的に部単位の印刷が行われるため、本項目は表示されません。**
- **［シフトする］をチェックしてある場合は、部単位でシフトして排紙します。**

⑨逆順印刷

クリックしてチェックマークを付けると、先頭ページからではなく、最後のページから逆に印刷します。

⑩モード設定

印刷条件として［推奨設定］または［詳細設定］のどちらかを選択できます。

推奨設定 ：一般的に推奨できる条件で印刷します。ほとんどの場合、この［推奨設定］でよい印刷結果が得られます。

詳細設定 ：［詳細設定］をクリックすると、プリセットメニュー[*1]のリストボックスと 設定変更 / 保存 / 削除 ボタンが有効になります。
設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが開きます。
保存 / 削除 ボタンをクリックすると、設定した内容の保存または削除ができます。

*1 プリセットメニュー：あらかじめ用意されている用途別の選択肢。リストボックスの中に、一覧で表示される。

また、印刷解像度を、［はやい］（300dpi）または［きれい］（600dpi）のどちらかに設定できます。［はやい］は文字文書の高速印刷に適しています。［きれい］は、写真のようにグラデーションのある画像（無段階に色調が変化する画像）のモノクロ印刷に適しています。

［きれい］を選択すると、きめ細かく印刷できますが、印刷時間は長くなります。品質より印刷速度を優先する場合や、印刷できない場合は、［はやい］に設定してください。


ポイント

印刷できない場合や、メモリ関連のエラーメッセージが表示される場合は、以下の作業を行ってください。

- **印刷データの容量や色数を減らす。**
- **［印刷品質］を［はやい］（解像度 300dpi）に設定する。**
- **メモリを増設する。**
- **アプリケーションソフトに割り当てたメモリを変更する。**

⑪ レイアウト ボタン

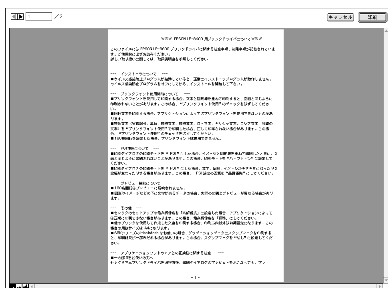
ボタンをクリックすると［レイアウト設定］ダイアログが表示され、レイアウトに関する設定ができます。詳細については、以下のページを参照してください。

☞本書「［レイアウト］ダイアログ」136 ページ

Mac

⑫ プレビュー ボタン

ボタンをクリックすると［プレビュー］ダイアログが表示され、印刷結果をモニタ上で確認できます。




ポイント

- ［用紙設定］ダイアログで［180 度回転印刷］を設定しても、ページを 180 度回転してプレビュー表示しません。
- 文字が図形より下にあっても、文字が上にプレビュー表示されます。


：表示するページを1ページごとに切り替えるボタンです。



：表示させるページ番号を直接入力します。



：［プレビュー］ダイアログを閉じるボタンです。



：印刷を開始するボタンです。

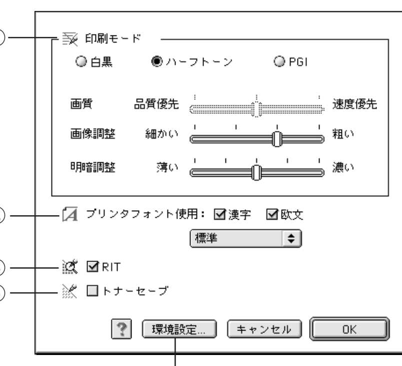

：印刷データ（1 ページ単位）の全体を表示します。


：印刷結果と同等のサイズで表示します。


：印刷データを拡大して表示します。

[詳細設定]ダイアログ

［プリント］ダイアログの［モード設定］で［詳細設定］をクリックして 設定変更 ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログが表示されます。印刷に関わるさまざまな機能を詳細に設定できます。



①印刷モード

グラフィックスイメージを処理する以下の印刷モードが選択できます。

白黒 ：モノクロ印刷を行います。グレイスケールや中間色は再現しません。

ハーフトーン ：グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像をハーフトーン処理してきれいに印刷します。イメージと図形などを重ねて印刷して、モニタ表示と同じように印刷されない場合、［ハーフトーン］を選択してください。

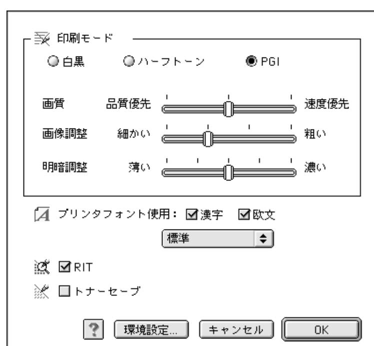
PGI ：PGI[*1](Photo and Graphics Improvement)処理を行います。グラデーションなどの無段階に階調が変化する画像を印刷するときは、PGIを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 PGI：
階調表現力を3倍に高め、微妙な陰影やグラデーションを鮮明に印刷するEPSON独自の機能。



- **プリンタのメモリが少ないと、PGIで印刷できない場合があります。PGI処理で印刷するには、増設メモリを装着するか、［印刷品質］を［はやい］に設定してください。**
- **アプリケーションソフトで独自のハーフトーン処理を行っている場合、［ハーフトーン］や［PGI］を有効にすると意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合は［白黒］に設定して印刷してください。**

［印刷モード］を［ハーフトーン］または［PGI］に設定した場合、さらに細かい印刷条件を設定できます。



画質：［印刷モード］を［PGI］を選択したときのみ、［画質］を3段階に調整できます。印刷時間を短くしたい場合は［速度優先］に、印刷品質を上げたい場合は［品質優先］に設定します。

画像調整：［印刷モード］を［ハーフトーン］または［PGI］どちらかに設定した場合は、画像の粗密を、［細かい］から［粗い］の間で4段階に調整できます。

明暗調整：［印刷モード］を［ハーフトーン］または［PGI］どちらかに設定した場合は、画像の明暗を、［薄い］から［濃い］の間で5段階に調整できます。

②プリンタフォント使用

［フォント設定］ダイアログで登録した置き換えフォント設定に応じて、印刷するデータのフォントをプリンタフォントに置き換えて高速に印刷します。置き換えフォントの登録については、以下のページを参照してください。

☞本書「フォント設定の手順」125ページ

漢字：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している漢字フォントをプリンタに搭載している漢字フォントに置き換えて印刷します。

欧文：クリックしてチェックマークを付けると、文書ファイルで使用している欧文フォントをプリンタに搭載している欧文フォントに置き換えて印刷します。

登録してある置き換えフォントの設定は、リストから選択できます。

Mac

③ RIT

クリックしてチェックマークを付けると、RIT*1(Resolution Improvement Technology)機能が有効になります。大きな文字を印刷するときは、RITを有効にすると、よりきれいに印刷できます。

*1 RIT：斜線や曲線などのギザギザをなめらかに印刷するEPSON独自の輪郭補正機能です。


ポイント

RIT機能を有効にしてグラデーション（無段階に変化する階調）のある画像を印刷すると、意図した印刷結果が得られないことがあります。この場合はRIT機能を使用しないでください。

④ トナーセーブ

クリックしてチェックマークを付けると、トナーセーブ機能が有効になります。文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約します。試し印刷をするときなど、印刷品質にこだわらない場合にご利用ください。

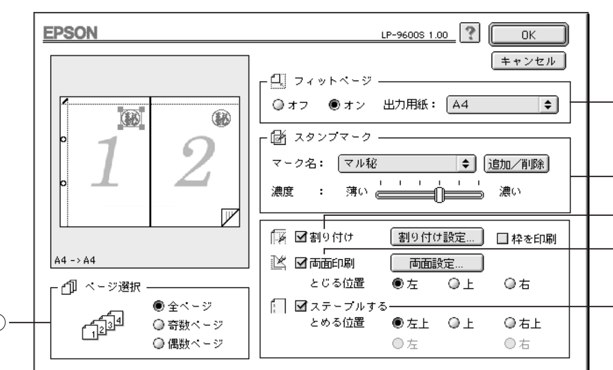
⑤ [環境設定] ボタン

上オフセット	：用紙の垂直方向印刷開始位置を0.5mm単位で-10mm～10mmの間で設定します。
左オフセット	：用紙の水平方向印刷開始位置を0.5mm単位で-10mm～10mmの間で設定します。
印刷濃度	：印刷の濃さを5段階に調整します。通常は「3」で使用してください。
用紙サイズのチェックをしない	：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、プリンタで用紙サイズのチェックを行いません。
白紙節約する	：チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、白紙ページを印刷しません。

Mac

[レイアウト]ダイアログ

[プリント] ダイアログで レイアウト ボタンをクリックすると、[レイアウト]ダイアログが表示されます。レイアウトに関わるさまざまな設定を行います。



①ページ選択

印刷データの全ページを印刷するか、奇数ページまたは偶数ページのみ印刷するかを選択します。

②フィットページ

印刷する用紙のサイズに合わせて印刷データを自動的に拡大/縮小する機能です。フィットページ印刷をするには［オン］を選択し、［出力用紙］ポップアップメニューからプリンタにセットした用紙サイズを選択します。印刷を実行すると自動的に拡大 / 縮小して印刷します。

ポイント
- **拡大 / 縮小の倍率は［用紙設定］ダイアログで設定した用紙サイズに対して設定されます。**
- **［用紙設定］ダイアログの［拡大 / 縮小率］は無効になります。**

③スタンプマーク

印刷データになどのイメージを重ね合わせて印刷します。

プレビュー部　：ダイアログ左側の印刷イメージ上でスタンプマークをドラッグすると、スタンプマークの印刷位置やサイズを変更することができます。

マーク名　：印刷するスタンプマークをリストから選択します。

濃度　：スタンプマークの印刷濃度を、[濃度] バーで調整します。バーを [薄い] 側に移動するとより薄く、[濃い] 側に移動するとより濃くスタンプマークが印刷されます。

Mac

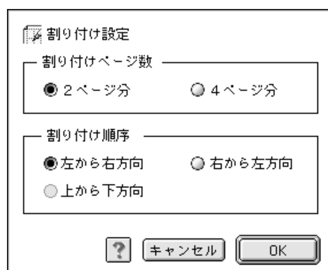
追加 / 削除 ボタン　：オリジナルのスタンプマークを追加したり削除するには、追加 / 削除 ボタンをクリックします。スタンプマークは一般のアプリケーションソフトであらかじめ作成して、PICT[*1]形式で保存しておきます。登録の手順については、以下のページを参照してください。
☞本書「オリジナルスタンプマークの登録方法」140 ページ

*1 PICT：Macintosh の標準グラフィックファイル形式。

④割り付け

2ページまたは4ページ分の連続した印刷データを、1ページに納まるように縮小して印刷する機能を割り付け印刷といいます。割り付けるページ数、順序、枠線の有無を設定できます。

割り付け印刷を行うには、[割り付け] をクリックしてチェックマークを付けます。割り付け設定 ボタンをクリックして、[割り付け設定] ダイアログを開き、以下の項目を設定します。



割り付けページ数　：1 ページに割り付けるページ数を選択します。

割り付け順序　：割り付けたページを、どのような順番で配置するのか選択します。ページ数、用紙の向き(縦・横)によって、選択できる割り付け順序の種類が異なります。

[枠を印刷] をクリックしてチェックマークを付けると、割り付けた各ページの周りに枠線を印刷します。

Mac

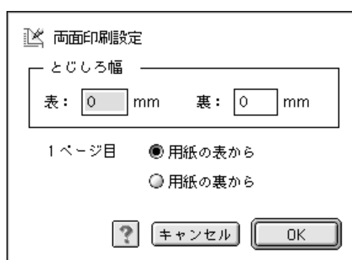
⑤両面印刷

オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、両面印刷を行います。
両面印刷時の［とじる位置］は、［左］、［上］、［右］いずれかをクリックしてチェックマークを付けます。



両面印刷を行う場合、次の点に注意してください。
- **次の用紙は、両面印刷はできません。**
  A5、HLT（Half Letter）、不定形用紙、ハガキ / 往復ハガキ、OHP シート、ラベル紙、厚紙
- **用紙トレイや用紙カセットの用紙ガイドは、用紙サイズの目盛りに正しく合わせてください。用紙ガイドが正しい位置に合っていないと、用紙サイズが正しく検知されないため、両面印刷ができない場合があります。**

両面設定 ボタンをクリックすると、[両面印刷設定]ダイアログが表示され、両面印刷に関する設定が行えます。



とじしろ幅　：用紙の表と裏について、とじしろの幅を選択します。

1ページ目　：印刷データの1ページ目を、用紙の表から印刷するか、裏から印刷するかを選択します。

⑥ステープルする

オプションのステープルスタッカを装着している場合に選択できます。クリックしてチェックマークを付けると、ステープルでページを綴じることができます。


ポイント

- 部単位でステープルする場合は、[部単位] をチェックしてください。
- [用紙設定] ダイアログの [用紙サイズ] の設定によっては、ステープルで綴じることができない場合があります。この場合はエラーメッセージを表示します。

ステープルでページを綴じる位置は、[とめる位置] で選択します。なお、[用紙設定] ダイアログの [用紙方向] の設定によって、選択できる [とめる位置] が異なります。

[左上]、[右上]　：選択した位置に、ステープル 1 つで綴じます。
[上]、[左]、[右]　：選択した位置に、ステープル 2 つで綴じます。

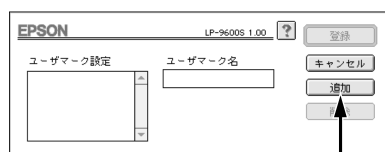
オリジナルスタンプマークの登録方法

1 アプリケーションソフトでオリジナルのスタンプマークを作成し、PICT形式で保存します。

2 ［レイアウト］ダイアログを開いて、追加/削除 ボタンをクリックします。



3 追加 ボタンをクリックします。



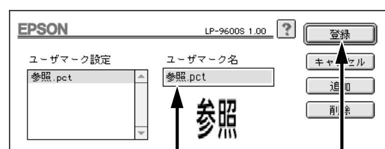
4 保存したPICTファイルを選択し、開く ボタンをクリックします。

作成 ボタンをクリックすると、ファイルのサンプル画像を表示します。



5 ［ユーザーマーク名］を入力して、登録 ボタンをクリックします。

これでオリジナルスタンプマークがポップアップメニューに追加されました。





EPSONプリンタウィンドウ!3

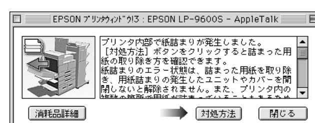
EPSONプリンタウィンドウ!3は、プリンタの状態をコンピュータ上で確認できるユーティリティです。印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始め、問題があればポップアップウィンドウが開き、エラーメッセージを表示して対応方法を知ることができます。

プリンタをモニタするには、［プリンタセットアップ］ダイアログで［プリンタをモニタする］をチェックしてください。

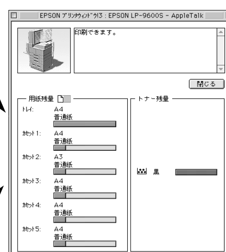
☞セットアップガイド「[プリンタセットアップ］ダイアログの設定」54ページ

EPSONプリンタウィンドウ!3の起動

印刷開始と同時にプリンタの状態をモニタし始めます。



ポップアップウィンドウ
印刷を実行すると、プリンタのモニタを開始し、エラー発生時にはプリンタの状態を表示します。紙詰まりなどの問題が起こった場合に、対処方法ボタンをクリックすると、対処方法が表示されます。



［プリンタ詳細］ウィンドウ
プリンタの状態やトナー、用紙などの消耗品の残量をコンピュータのモニタ上で知ることができます。

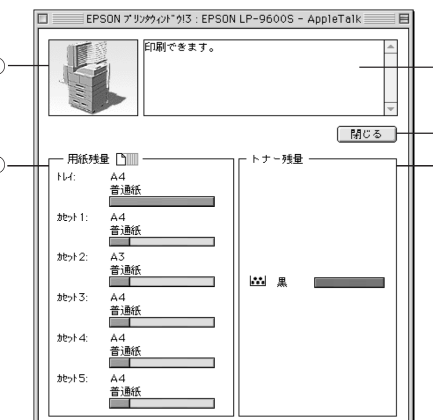


［アップル］メニューから［EPSON プリンタウィンドウ!3］を選択して、［プリンタ詳細］ウィンドウを開くこともできます。

Mac

[詳細]ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 の［詳細］ウィンドウは、プリンタの詳細な情報を表示します。



① プリンタ

プリンタの状態をグラフィックで表示します。

② メッセージ

プリンタの状態を知らせたり、エラーが発生した場合にその状況や対処方法をメッセージでお知らせします。

☞本書「対処が必要な場合は」143 ページ

③ 閉じる

ウィンドウを閉じるときに 閉じる ボタンをクリックします。

④ 用紙残量

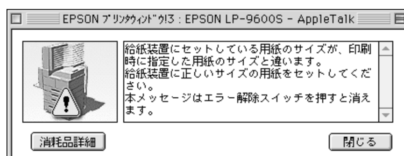
給紙装置にセットされている用紙サイズ、用紙の種類（給紙タイプ）、そして用紙残量の目安を表示します。オプションの給紙装置が装着されている場合は、その給紙装置（カセット）についての情報も表示します。

⑤ トナー残量

ETカートリッジのトナーがどれくらい残っているかの目安を表示します。

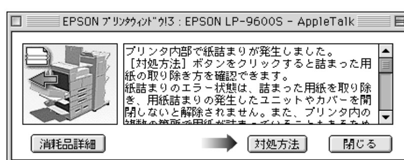
対処が必要な場合は

セットしている用紙がなくなったり、何らかの問題が起こった場合は、EPSONプリンタウィンドウ!3のポップアップウィンドウがコンピュータのモニタに現れ、メッセージを表示します。メッセージに従って対処してください。メッセージのエラーが解除されると自動的にウィンドウが閉じます。



ポップアップウィンドウの下側に、いくつかのボタンがあります。

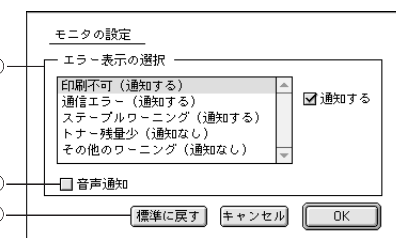
- 消耗品詳細 ボタンをクリックすると［詳細］ウィンドウに切り替わり、消耗品の詳細な情報を表示します。
  ☞本書「［詳細］ウィンドウ」142 ページ
- 閉じる ボタンをクリックできる場合は、ポップアップウィンドウを閉じることができます。メッセージを読んでからウィンドウを閉じてください。
- 対処方法 ボタンがある場合は、クリックすると順を追って対処方法を詳しく説明します。



Mac

[環境設定]ウィンドウ

EPSON プリンタウィンドウ!3 を起動して、［ファイル］メニューから［環境設定］をクリックすると、[環境設定] ウィンドウが表示されます。EPSON プリンタウィンドウ!3 の動作環境を設定できます。



①エラー表示の選択

プリンタがエラー状態に陥った場合、どのようなエラー状態のときに通知するかを選択します。通知が必要な項目は、リスト内のエラー状況を選択して、通知する ボタンをクリックします。

②音声通知

チェックボックスをクリックしてチェックマークを付けると、エラー発生時に音声でも通知します。


ポイント

お使いのコンピュータにサウンド機能がない場合、音声通知機能は使用できません。

③ 標準に戻す

［エラー表示の選択］を標準（初期）設定に戻すには、標準に戻す ボタンをクリックします。



EPSONプリントモニタ!3

EPSONプリントモニタ!3は、Macintoshでバックグラウンドプリントを行うためのユーティリティです。このユーティリティは、プリンタドライバと同時にインストールされ、バックグラウンドプリントを実行すると自動的に起動します。

Mac

バックグラウンドプリントを行うには

バックグラウンドプリントとは、Macintoshがほかの作業を行いながら同時にプリンタで印刷を行うことです。Macintoshツールバー一番左の［アップル］メニューから［セレクタ］を選び、［バックグラウンドプリント］の［入］をクリックしてください。




ポイント

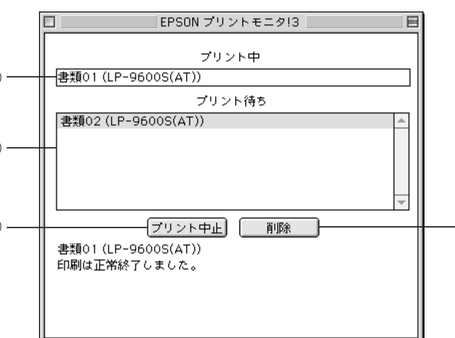
［バックグラウンドプリント］を［入］に設定すると、印刷実行中もMacintoshで他の作業ができますが、Macintoshによってはマウスカーソルが滑らかに動かなくなったり、印刷時間が延びることがあります。印刷速度を優先する場合は、［バックグラウンドプリント］を［切］に設定してください。

Mac

印刷状況を表示する

［セレクタ］で［バックグラウンドプリント］を［オン］にした場合、印刷実行時にEPSON プリントモニタ!3 が使用できます。

EPSON プリントモニタ!3 は、印刷中にツールバー一番右の［アプリケーション］メニューから開くことができます。ウィンドウが閉じているときは、［ファイル］メニューの［開く］を選択します。



①プリント中

現在バックグラウンドで印刷中のファイル名が表示されます。

②プリント待ち

印刷待ちをしている印刷ファイル名が表示されます。

③ プリント中止 ボタン

進行中の印刷を中止するには、［プリント中］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、プリント中止 ボタンをクリックします。



印刷を一時停止したり再開するには、EPSONプリントモニタ!3の［ファイル］メニューから［一時停止］や［印刷再開］を選択します。

④ 削除 ボタン

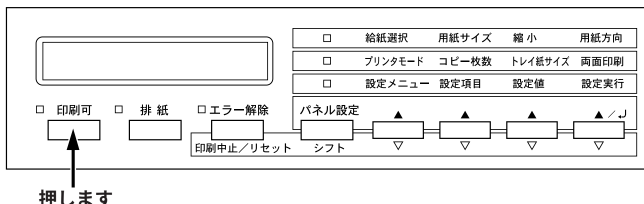
印刷待ちをしている印刷ファイルを削除するには、［プリント待ち］に表示されている印刷ファイル名をクリックして、削除 ボタンをクリックします。



印刷の中止方法

1 **プリンタの 印刷可 スイッチを押します。**

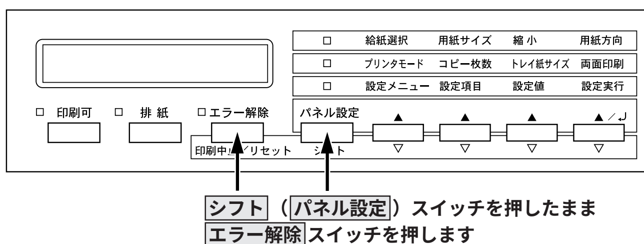
印刷可ランプが消灯し、印刷不可状態になります。



Macintosh が印刷処理を続行しているときは、コマンド（⌘）キーを押しながらピリオド（ .）キーを押して、印刷を中止します。

2 **シフト スイッチと エラー解除 スイッチを同時に押します（リセット）。**

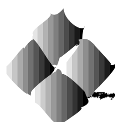
受信データが消去されます。





シフト スイッチと エラー解除 スイッチを 5 秒以上押し続けると、電源投入時の状態まで初期化（リセットオール）されますのでご注意ください。

☞本書「リセットオール」193 ページ



プリンタドライバの削除

何らかの理由でプリンタドライバを再インストールする場合や、プリンタドライバをバージョンアップする場合は、すでにインストールしているプリンタドライバを削除（アンインストール）する必要があります。

Mac

1 **起動しているアプリケーションソフトを終了します。**

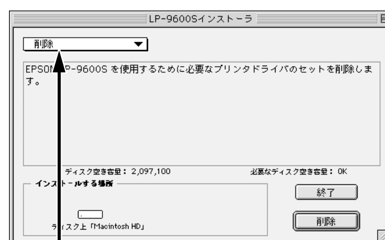
2 **EPSON ESC/Pageプリンタソフトウェア CD-ROMを Macintoshにセットします。**

3 **[プリンタドライバのインストール] フォルダをダブルクリックして開きます。**

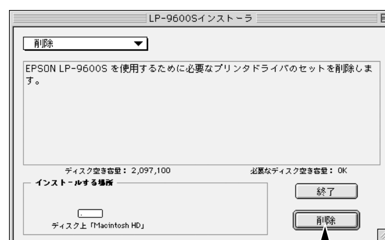
4 **LP-9600Sのインストーラアイコンをダブルクリックします。**



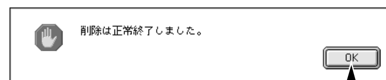
5 **インストーラの画面左上にあるメニューから [削除] を選択します。**



6 **削除 ボタンをクリックします。**
プリンタドライバの削除が始まります。



7 **OK** ボタンをクリックします。



8 **終了** ボタンをクリックします。

これでプリンタドライバの削除は終了です。



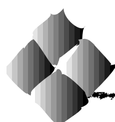
Mac

第5章

操作パネルでの設定

LP-9600S
Control Panel

ここでは、操作パネルの設定方法について説明しています。

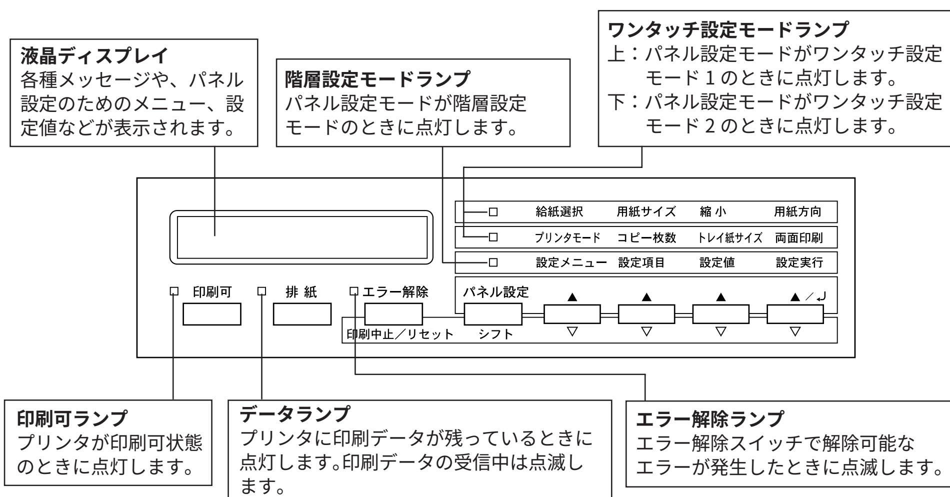


操作パネルについて

操作パネル上のランプ、スイッチの名前と機能を説明します。

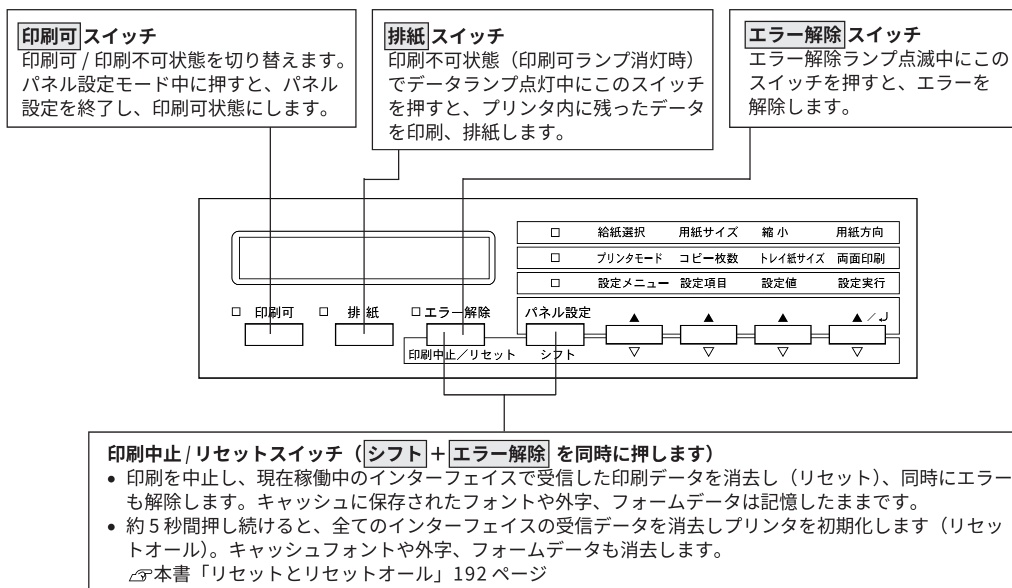
ランプ／ディスプレイ

操作パネル上のランプ、ディスプレイで現在のプリンタの状態がわかります。



スイッチ

操作パネルのよく使うスイッチと、各スイッチの機能は以下の通りです。





操作パネルでの設定方法

ここでは操作パネルでの設定変更の方法について説明します。

操作パネルでの設定について

通常の印刷に必要な設定はプリンタドライバから実行できますので、基本的に操作パネルで設定する必要はありません。また、操作パネルとプリンタドライバの双方で設定できる項目はプリンタドライバの設定が優先されます。
☞本書「設定項目の説明」160 ページ


ポイント

給紙タイプ（用紙種類）選択機能を使用する場合は、操作パネルとプリンタドライバの両方で設定する必要があります。
☞本書「給紙タイプ（用紙種類）選択機能」31 ページ

設定項目の内容をご覧いただき、必要な場合のみ操作パネルで設定してください。
ただし、以下の項目は、操作パネルで設定してからプリンタドライバで選択する必要があります。

設定メニュー	設定項目
キョウツウメニュー２	フェイスアップトレイ マルチビン スタッカ

また、操作パネルでの設定について、一部の項目および設定値は、それに関係するオプションが装着されているときのみ表示されますので注意してください。

下記のメニューは、プリンタの状態を表示するのみで、設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
キョウツウメニュー２	トナーザンリョウ ノベインサツマイスウ

下記のメニューは、プリンタの持つ機能を実行するためのものです。設定値は変更できません。

設定メニュー	設定項目
テストインサツメニュー	ステータスシート ネットワークジョウホウ オプション I/F ジョウホウ ROM モジュール A ジョウホウ ROM モジュール B ジョウホウ

パネル設定モードの種類

操作パネルでの設定変更には、次の 3 つのモードがあります。
ワンタッチ設定モード 1・2 は、使用頻度の高い項目の設定変更を簡単に行うためのモードです。
階層設定モードは、すべての項目の設定変更を行うためのモードです。

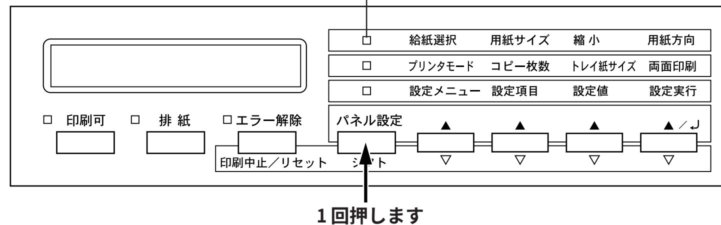
モード	設定項目
ワンタッチ設定モード 1	①給紙選択②用紙サイズ③縮小④用紙方向
ワンタッチ設定モード 2	①プリンタモード②コピー枚数③トレイ紙サイズ④両面印刷
階層設定モード	すべての設定項目 本書「設定項目の説明」160 ページ

ワンタッチ設定モード1での設定方法

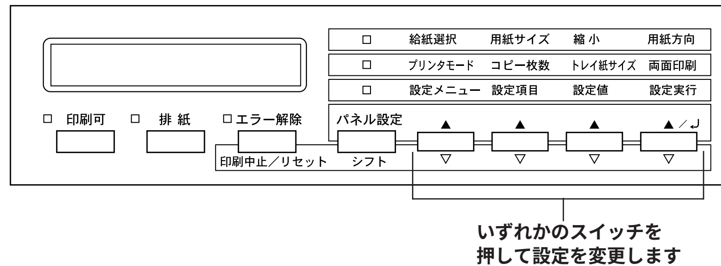
設定項目	設定項目の説明と注意事項
給紙選択	• 印刷時にどの給紙装置から給紙するか選択します。 • ［ジドウ］に設定すると、アプリケーションソフト側で指定している用紙サイズと同じサイズの用紙がセットされている給紙装置から、給紙します。
用紙サイズ	• アプリケーションソフトで作成した印刷データの用紙サイズを選択します。 • ［ジドウ］に設定すると、［給紙選択］で設定した給紙装置にセットされている用紙のサイズが指定されたことになります。 • ［給紙選択］と［用紙サイズ］の両方を［ジドウ］に設定すると、アプリケーションソフト側の設定に従って給紙されます。アプリケーションソフト側で設定していない場合は、用紙カセット 1 にセットされている用紙が給紙されます。
縮小	• 印刷データを約 80% にして印刷します。
用紙方向	• ［用紙方向］は、用紙に対して縦方向、横方向のどちらで印刷するかを指定する項目です。用紙を縦にセットするか、横にセットするかを指定する項目ではありません。

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 **パネル設定 スイッチを１回押します。**



2 **設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。**
スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。



スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
[設定メニュー]スイッチ（給紙選択）	ジドウ→トレイ→カセット 1→カセット 2→カセット 3*→カセット 4*→カセット 5*
[設定項目]スイッチ（用紙サイズ）	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→MON→C10→DL→C5
[設定値]スイッチ（縮小）	OFF→80%
[設定実行]スイッチ（用紙方向）	タテ→ヨコ

＊のついている設定値は、オプション（大容量給紙ユニット）を装着している場合のみ表示されます。

> **ポイント**
> **シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番で設定値が切り替わります。**

3 **設定を変更したら、印刷可 スイッチを押します。**
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

ワンタッチ設定モード2での設定方法

設定項目	設定項目の説明と注意事項
プリンタモード *	・プリンタが動作するモードを設定します。各モードの詳細は以下のページを参照してください。 ☞本書「プリンタモードメニュー」169 ページ ・［プリンタモード］の初期設定は［ジドウ］です。コントロールコードを自動判別するため、基本的には変更する必要はありません。
コピー枚数	・印刷する枚数を設定します。（1 ～ 999）
トレイ紙サイズ	・用紙トレイにセットした用紙サイズに合わせて設定します。 A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT、HLT、LGL、GLT、GLG、B、EXE、F4
両面印刷	・オプションの両面印刷ユニット装着時のみ有効です。 ・両面印刷を行う / 行わないを選択します。

* プリンタモードメニューの［ワンタッチ］で選択したインターフェイスに対して動作モードを設定します（初期設定は［ネットワーク］）。

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

1 パネル設定 スイッチを２回押します。



2 **設定を変更したい項目が割り当てられているスイッチを押します。**
スイッチを押すごとに、下表の順番で設定値が切り替わります。

スイッチ（割り当てられている設定項目）	設定値
[設定メニュー]スイッチ（プリンタモード）	ジドウ→ ESC/PS → ESC/P → ESC/Page → EP-GL*
[設定項目]スイッチ（コピー枚数）	1 ～ 999
[設定値]スイッチ（トレイ紙サイズ）	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4
[設定実行]スイッチ（両面印刷）	OFF → ON

＊のついている設定値は、オプション（EP-GL モジュール））を装着している場合のみ表示されます。


ポイント

シフト スイッチを押しながらそれぞれのスイッチを押すと、上表と逆の順番で設定値が切り替わります。

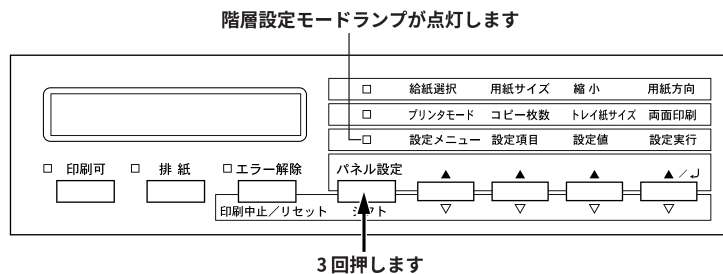
3 **設定の変更が終了したら、印刷可 スイッチを押します。**
ワンタッチ設定モードが終了し、印刷可ランプが点灯して印刷可状態になります。

階層設定モードでの設定方法

ディスプレイに「インサツカノウ」と表示されている状態から、次の手順で操作します。

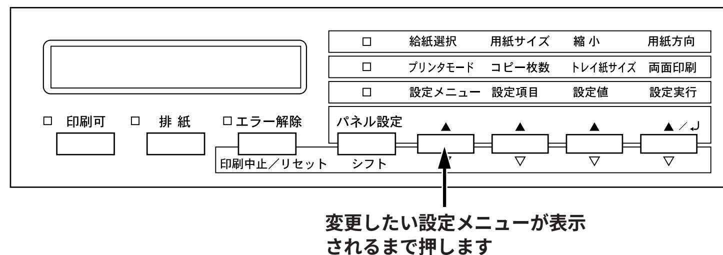
1 **本書160ページ「設定項目の説明」を参照して、変更したい設定項目がどの設定メニューにあるかを確認します。**

2 **パネル設定 スイッチを3回押します。**

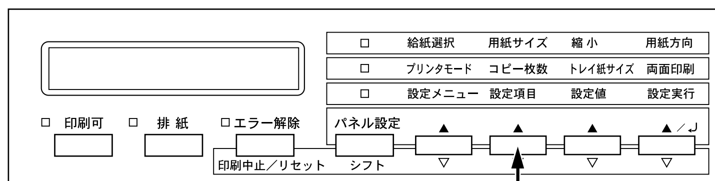


このときディスプレイには「テストインサツメニュー」と表示されます。

3 **1 で確認した設定メニューの名前が表示されるまで、設定メニュー スイッチを押します。**

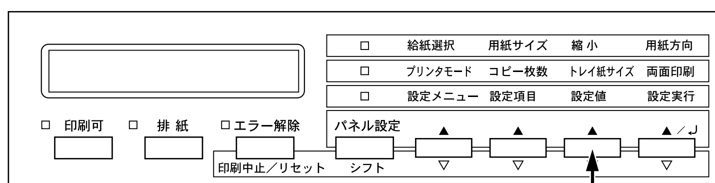


4 1 で確認した設定項目の名前が表示されるまで、設定項目 スイッチを押します。



変更したい設定項目が表示されるまで押します

5 変更したい設定値が表示されるまで、設定値 スイッチを押します。



変更したい設定値が表示されるまで押します


ポイント

シフト スイッチを押しながら各スイッチを押すと、設定値の切り替わる順番が逆になります。

6 設定実行 スイッチを押します。

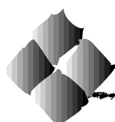
変更した設定値が有効になります。


ポイント

設定実行 スイッチを押さないと、設定値が有効になりません。必ず押してください。

7 印刷可 スイッチを押します。

ディスプレイの表示が「インサツカノウ」になり、階層設定モードが終了します。



設定項目の説明

本機は、用途に合わせてさまざまな設定ができます。ここでは、設定変更できる項目と、各項目の内容について説明します。


ポイント

操作パネルのディスプレイ上では、漢字やひらがなはすべてカタカナで表示されます。

［　　　　］で表示された項目は、プリンタドライバで設定可能な項目です。この項目の設定は、プリンタドライバの設定が優先されます。

設定メニュー	設定項目	参照ページ
テストインサツメニュー	ステータスシート	164
	ネットワーク情報[*1]	164
	オプションI/F 情報[*2]	164
	ROM モジュール A 情報[*3]	164
	ROM モジュール B 情報[*3]	164
キョウツウメニュー	I/F 切り替え	164
	I/F タイムアウト	165
	節電	165
	トレイ用紙サイズ	165
	トレイタイプ	165
	カセット 1 タイプ	165
	カセット 2 タイプ	165
	カセット 3 タイプ[*4]	166
	カセット 4 タイプ[*4]	166
	カセット 5 タイプ[*4]	166
	表示言語	166
	設定初期化	166
キョウツウメニュー 2	トナー残量	167
	フェイスアップトレイ	167
	マルチビン[*5]	167
	スタッカ[*6]	168
	のべ印刷枚数	168
プリンタモードメニュー	パラレル	169
	ネットワーク	169
	オプション[*7]	169
	ワンタッチ	169

設定メニュー	設定項目	参照ページ
インサツメニュー	給紙	170
	用紙サイズ	170
	用紙方向	170
	排紙	171
	コピー枚数	171
	縮小	171
	解像度	171
	イメージ補正	172
	白紙節約	172
	自動排紙	172
	両面印刷 *8	172
	綴じ方向 *9	172
	シフト排紙	173
	綴じ *10	173
	綴じ位置 *10	173
デバイスメニュー	RIT	173
	トナーセーブ	173
	印刷濃度レベル	174
	上オフセット	174
	左オフセット	174
	上オフセット B*8	174
	左オフセット B*8	174
	紙種 *11	176
	用紙サイズフリー	176
	自動エラー解除	176
	ページエラー回避	176
パラレル I/F セッテイメニュー	ACK 幅	177
	双方向	177
	受信バッファ	177

設定メニュー	設定項目	参照ページ
ネットワーク I/F セッテイメニュー	ネットワーク設定 *12	178
	IP アドレス設定 *13	178
	IP Byte 1*13	178
	IP Byte 2*13	178
	IP Byte 3*13	178
	IP Byte 4*13	178
	SM Byte 1*13	178
	SM Byte 2*13	178
	SM Byte 3*13	178
	SM Byte 4*13	178
	GW Byte 1*13	178
	GW Byte 2*13	178
	GW Byte 3*13	178
	GW Byte 4*13	178
	受信バッファ	178
オプション I/F セッテイメニュー *7	I/F ボード設定 *14	179
	IP アドレス設定 *15	179
	IP Byte 1*15	179
	IP Byte 2*15	179
	IP Byte 3*15	179
	IP Byte 4*15	179
	SM Byte 1*15	179
	SM Byte 2*15	179
	SM Byte 3*15	179
	SM Byte 4*15	179
	GW Byte 1*15	179
	GW Byte 2*15	179
	GW Byte 3*15	179
	GW Byte 4*15	179
	NetWare*15	180
	AppleTalk*15	180
	NetBEUI*15	180
	I/F ボード初期化 *15	180
	受信バッファ	180
ESC/PS カンキョウメニュー	連続紙	181
	文字コード	181
	給紙位置	181
	各国文字	181
	ゼロ	182
	用紙位置	182
	右マージン	182
	漢字書体	182

設定メニュー	設定項目	参照ページ
ESC/Page カンキョウメニュー	復帰改行	183
	改ページ	183
	CR	183
	LF	183
	FF	183
	エラーコード	183
	フォントタイプ	183
	フォームオーバーレイ *16	184
	フォーム番号 *16	184

*1 ：［キョウツウメニュー］の［I/F 切り替え］を［自動］または［ネットワーク］に設定してプリンタを起動した場合に表示されます。

*2 ：オプションのネットワークインターフェイスカードをプリンタに装着し、［キョウツウメニュー］の［I/F 切り替え］を［自動］または［オプション］に設定してプリンタを起動した場合に表示されます。

*3 ：オプションの ROM モジュールが装着されていて、ROM モジュール内に情報があるときに表示され、印刷できます。フォント ROM モジュール、EP-GL モジュール装着時は表示されません。

*4 ：オプションの大容量給紙ユニット装着時のみ表示され、選択できます。

*5 ：オプションの 10 ビンマルチビンユニットをプリンタに装着した場合に表示されます。この設定を変更した場合、階層設定モードを抜けるまで［テストインサツメニュー］は表示されません。

*6 ：［インサツメニュー］の［排紙］を［スタッカ］に設定できる場合に表示されます。

*7 ：オプションのインターフェイスカード装着時のみ表示され、選択できます。

*8 ：オプションの両面印刷ユニット装着時のみ表示され、選択できます。

*9 ：オプションの両面印刷ユニットまたはステープルスタッカ装着時のみ表示され、選択できます。

*10：オプションのステープルスタッカ装着時のみ表示され、選択できます。

*11：紙種をプリンタドライバで設定できるのは、Windows の場合だけです。

*12：階層設定モードから抜けると自動的に設定が［しない］に変わり、不用意なネットワーク I/F 設定変更を防ぎます。

*13：［ネットワーク設定］を［スル］に設定すると、設定が表示されて変更できるようになります。

*14：オプションのインターフェイスカードをプリンタに装着すると表示されます。階層設定モードから抜けると自動的に設定が［しない］に変わり、不用意なオプション I/F 設定変更を防ぎます。

*15：［I/F ボード設定］を［スル］に設定すると、設定が表示されて変更できるようになります。

*16：オプションのフォームオーバーレイ ROM モジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。

テストインサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ステータスシート	現在のプリンタ設定の一覧（ステータスシート）を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行スイッチを押して実行します。

設定項目	ネットワークジョウホウ	標準装備のネットワークI/F関係の設定の一覧を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行スイッチを押して実行します。

設定項目	オプションI/F ジョウホウ	オプションのネットワークインターフェイスカードを装着したときだけ表示されます。オプションインターフェイスカードに関する情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行スイッチを押して実行します。

設定項目	ROM モジュール A ジョウホウ ROM モジュール B ジョウホウ	ROM モジュール用ソケット A/B に装着されているオプションの ROM モジュールに ROM モジュール情報が存在するときだけ表示され、ROMモジュール情報を印刷します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行スイッチを押して実行します。

キョウツウメニュー（すべてのインターフェイスに共通の設定項目です）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F キリカエ	自動切り替えモードか、単一のインターフェイスだけがデータを受信してプリンタを動作させるモードかのどちらかを指定します。単一のインターフェイスだけがプリンタを動作させるモードを選択した場合、他のインターフェイスはデータ受信を一切行いません。
設定値	ジドウ（初期設定）	インターフェイス自動切り替えモードになります。
	パラレル	パラレルインターフェイスからのデータのみを受信します。
	ネットワーク	標準装備のネットワークI/Fからのデータのみを受信します。
	オプション	オプションインターフェイスからのデータのみを受信します（オプション装着時）。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F タイムアウト	インターフェイスを自動切り替えで使用しているときの、タイムアウト時間を設定します。タイムアウト時間とは、あるインターフェイスからのデータの受信が途切れたのち、別のインターフェイスに切り替わるまでの時間のことです。ただし、タイムアウト時間中も別のインターフェイスはデータを受信し、受信バッファにデータを蓄えています。タイムアウト時間経過後にインターフェイスが切り替わります。タイムアウト時間経過後は強制的にインターフェイスが切り替わるため、作成途中でデータの受信が途切れていたページは、その時点で排紙されます。
設定値	20 ～ 600 ビョウ	(10 秒単位で設定可能 / 初期設定 60 ビョウ)

設定項目	セツデン	頻繁に印刷することがない場合は、本機能により印刷待機時の消費電力を節約することができます。最後の印刷が終了してから、指定した時間が経過すると節電状態になります。 節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。
設定値	60 プン（初期設定）	節電状態になるまでの時間を 60 分に設定します。
	OFF	節電機能を使用しません。
	5 フン	節電状態になるまでの時間を 5 分に設定します。
	15 フン	節電状態になるまでの時間を 15 分に設定します。
	30 プン	節電状態になるまでの時間を 30 分に設定します。

設定項目	トレイヨウシサイズ	用紙トレイにセットした用紙サイズを指定または表示します。
設定値	A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT（Half Letter)、LGL（Legal)、GLT（Government Letter)、GLG（Government Legal)、B（Ledger)、EXE（Executive)、F4	

設定項目	トレイタイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、用紙トレイにセットする用紙の種類に合わせて指定します。
設定値		フツウシ、インサツズミ、レターヘッド、センコウシ、ボンドシ、サイセイシ、イロツキ、OHP フィルム、ラベル

設定項目	カセット 1 タイプ カセット 2 タイプ	給紙装置ごとに、異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、用紙カセット 1、用紙カセット 2 にセットする用紙の種類に合わせて指定します。
設定値		フツウシ、インサツズミ、レターヘッド、センコウシ、ボンドシ、サイセイシ、イロツキ、OHP フィルム、ラベル

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カセット 3 タイプ カセット 4 タイプ カセット 5 タイプ	給紙装置ごとに異なるタイプの用紙をセットして使用する場合に、オプションの大容量給紙ユニットの用紙カセット 3 〜 5 にセットする用紙の種類に合わせて指定します。
設定値		フツウシ、インサツズミ、レターヘッド、センコウシ、ボンドシ、サイセイシ、イロツキ、OHP フィルム、ラベル

設定項目	ヒョウジゲンゴ	ディスプレイの表示を、日本語にするか、英語にするかを選択します。
設定値	ニホンゴ（初期設定）	日本語で表示します。
	English	英語で表示します。

設定項目	セッテイショキカ	プリンタのパネル設定値（インターフェイスの設定値は除く[*1]）をすべて初期化します（工場出荷時の設定に戻します）。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

*1 ：インターフェイスの設定を含めたすべてのパネル設定値を初期化するには、エラー解除 スイッチを押しながらプリンタの電源をオンにします。

キョウツウメニュー2

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	トナーザンリョウ	ET カートリッジ内のトナーの残量を表示します。 表示 E＊＊＊＊F ：100% ≧ トナー残量 ＞ 75% E＊＊＊　F ： 75% ≧ トナー残量 ＞ 50% E＊＊　　F ： 50% ≧ トナー残量 ＞ 25% E＊　　　F ： 25% ≧ トナー残量 ＞ 0% E　　　　F ：　　　　トナー残量 ＝ 0%
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可 スイッチを押して終了します。

設定項目	フェイスアップトレイ	オプションのフェイスアップトレイを装着した場合、［アリ］に設定します。
設定値	ナシ（初期設定）	フェイスアップトレイを装着していません。
	アリ	フェイスアップトレイを装着しています。

設定項目	マルチビン	オプションの10ビンマルチビンユニットを装着している場合、どのように使うかを指定します。
設定値	メールボックス （初期設定）	10ビンマルチビンユニットをメールボックスモードで使用します。 メールボックスモードでは、No.1～No.10のビンに対し、排紙するビンNo.を指定することができます。
	ダイヨウリョウ	10ビンマルチビンユニットを大容量モードで使用します。 大容量モードでは、No.1～No.10のビンを1つの排紙装置として扱い、合計1000枚（100枚×10ビン）の用紙を保持できます。
	ソーター	10ビンマルチビンユニットをソーターモードで使用します。ソーターモードでは、10ビンマルチビンユニットの10本のビンを使って丁合い印刷を行います。 例えば印刷部数を10部に指定している場合、印刷を実行すると、No.1からNo.10の各ビンに1ページ目を印刷 / 排紙し、続けて2ページ目をNo.1からNo.10の各ビンに排紙します。
	マルチソーター	10ビンマルチビンユニットをマルチソーターモードで使用します。 マルチソーターモードでは、10ビンマルチビンユニットの10本のビンを使って部単位印刷を行います。この場合、No.1のビンに1ページ目から最終ページまでを排紙し、続いてNo.2のビンに同様にして排紙します。 ソーターの場合と異なり、印刷部数に10を超える値を指定することが可能です。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	スタッカ	10ビンマルチビンユニットやステープルスタッカを大容量モードで使用するとき、ビンがいっぱいになったときにフェイスダウントレイへ排紙するかどうかを選択します。[インサツメニュー] の [ハイシ] を [スタッカ] に設定できるときのみ選択できます。
設定値	スタッカ＋FD （初期設定）	10ビンマルチビンユニットやステープルスタッカのビンがいっぱいになると、フェイスダウントレイ（FD）へ排紙します。10ビンマルチビンユニットの場合で約500枚、ステープルスタッカの場合で約300枚排紙枚数を増やすことができます。
	スタッカノミ	10ビンマルチビンユニットやステープルスタッカのビンがいっぱいになると、排紙動作を停止します。フェイスダウントレイに排紙されているページとの混在を防ぐことができます。

設定項目	ノベインサツマイスウ	プリンタを購入してから現在にいたるまでに印刷した累計枚数をディスプレイに表示します。
設定値		表示のみで変更はできません。印刷可スイッチを押して終了します。


ポイント

[フェイスアップトレイ]、[マルチビン] の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

プリンタモードメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	パラレル ネットワーク オプション	プリンタが動作するモードをインターフェイスごとに設定します。また、［オプション］はオプションのインターフェイスカード装着時のみ有効です。
設定値	ジドウ（初期設定）	受信したデータに合わせて、自動的にプリンタモードを設定します。
	ESC/PS	ESC/P スーパーモードになります。 DOS アプリケーションソフトをお使いの場合に設定します。
	ESC/P	ESC/P（VP-1000）エミュレーションモードになります。海外版 DOS アプリケーションソフトを使用する場合や、国内版 DOS アプリケーションソフトで、画面とは違う文字が印刷される場合などに設定します。
	ESC/Page	ESC/Page モードになります。
	EP-GL	EP-GL モードになります。オプションの EP-GL モジュールが装着されている場合のみ表示され、選択できます。

設定項目	ワンタッチ	ワンタッチ設定モード 2 の［プリンタモード］に割り当てるインターフェイスを選択します。
設定値	ネットワーク（初期設定）	Ethernet インターフェイスに設定します。
	パラレル	パラレルインターフェイスに設定します。
	オプション	オプションのインターフェイスに設定します。（オプションのインターフェイスカード装着時のみ）

インサツメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	キュウシ	給紙方法を選択します。
設定値	ジドウ（初期設定）	印刷時に指定したサイズの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に探し、その給紙装置から給紙します。トレイタイプ、カセット1タイプ、カセット2タイプ、カセット3タイプ〜カセット5タイプ（オプションの大容量給紙ユニット装着時のみ）で用紙のタイプが指定され、印刷時に用紙のタイプを指定している場合、印刷時に指定したサイズとタイプの用紙がセットしてある給紙装置を自動的に探し、その給紙装置から給紙します。
	トレイ	用紙トレイから給紙します。
	カセット1	標準の用紙カセット1から給紙します。
	カセット2	標準の用紙カセット2から給紙します。
	カセット3	オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合に表示されます。大容量給紙ユニットの用紙カセット3から給紙します。
	カセット4	オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合に表示されます。大容量給紙ユニットの用紙カセット4から給紙します。
	カセット5	オプションの大容量給紙ユニットを装着している場合に表示されます。大容量給紙ユニットの用紙カセット5から給紙します。


ポイント

［キュウシ］［ヨウシサイズ］ともに［ジドウ］を選択している場合は、アプリケーションソフトの給紙装置選択に従って給紙します。ソフトウェア上で指定されない場合は、カセット1から給紙します。
［キュウシ］に［トレイ］を選択した場合は、［トレイ用紙サイズ］をセットしてある用紙のサイズに設定してください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ヨウシサイズ	アプリケーションソフトで作成した書類（これから印刷する書類）の用紙のサイズを設定します。
設定値	ジドウ（初期設定）、A4、A3、A5、B4、B5、ハガキ、LT(Letter)、HLT (Half Letter)、LGL（Legal)、GLT（Government Letter)、GLG (Government Legal)、B (Ledger)、EXE (Executive)、F4、MON、C10、DL、C5	

設定項目	ヨウシホウコウ	用紙方向を選択します。［タテ］のとき、用紙の長辺を縦方向として印刷します。［ヨコ］のとき、用紙の長辺を横方向として印刷します。
設定値	タテ（初期設定）	印刷結果が縦長になる用紙方向で印刷します。（ポートレート）
	ヨコ	印刷結果が横長になる用紙方向で印刷します。（ランドスケープ）


ポイント

［ヨウシホウコウ］の選択は、プリンタにセットする用紙の向きを変更・指定することではありません。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ハイシ	排紙装置を指定します。 オプションの排紙装置を装着していない場合、排紙装置はFD（フェイスダウントレイ）のみになります。
設定値	FD（初期設定）	フェイスダウントレイに排紙します。
	FU	オプションのフェイスアップトレイを装着している場合に表示されます。 フェイスアップトレイに排紙します。
	スタッカ	オプションの10ビンマルチビンユニットを装着し、大容量モードに設定している場合に表示されます。No.1～No.10のビンに排紙されます。 オプションのステープルスタッカを装着している場合は、ステープルスタッカのビンに排紙します。
	メール1～メール10	オプションの10ビンマルチビンユニットを装着し、メールボックスモードに設定している場合に表示されます。No.1～No.10のビンのうち、選択した番号のビンに排紙されます。
	ソーター	オプションの10ビンマルチビンユニットを装着し、ソーターモード、またはマルチソーターモードに設定している場合に表示されます。 ソーターモードでは、10ビンマルチビンユニットの10本のビンを使って丁合い印刷を行います。この場合、印刷部数は10部までです。 マルチソーターモードでは、印刷部数に10部を超える値を指定できます。

設定項目	コピーマイスウ	同じデータを複数枚印刷する場合に、印刷する枚数を設定します。印刷するデータが何ページもある場合、ここで設定した枚数を印刷したあと、次のページのデータを印刷します。
設定値	1～999（初期設定：1）	

設定項目	シュクショウ	印刷データを約80%に縮小して印刷します。
設定値	OFF（初期設定）	100%で印刷します。
	80%	80%縮小で印刷します。

設定項目	カイゾウド	印刷の解像度の選択をします。
設定値	ハヤイ（初期設定）	300dpiで印刷します。
	キレイ	600dpiで印刷します。


ポイント

設定を［キレイ（600dpi）］にした場合、印刷するデータの容量が大きいと、メモリの不足で印刷ができないことがあります。このときは、［ハヤイ（300dpi）］で印刷してください。［キレイ（600dpi）］で印刷するためには、プリンタに増設メモリを装着してください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	イメージホセイ	イメージデータ補正方式を選択します。
選択	1（初期設定）	標準の補正方式。
	2	ESC/P または ESC/PS モードのとき： 罫線が正しく接続されないときに設定します。 ESC/Page モードのとき： 本機に対応していないドライバを使用していて、グラフィックに問題があるときに設定します。

設定項目	ハクシセツヤク	印刷するデータがないまま排紙コマンド（FF=0CH等）が送られた場合に、白紙ページを印刷しないようにし、用紙を節約します。
設定値	スル（初期設定）	白紙ページを印刷しません。
	シナイ	そのまま白紙ページを印刷（排紙）します。

設定項目	ジドウハイシ	印刷データによっては、最後に排紙コマンドを送らないものがあります。そのような場合、この自動排紙を行う設定にしておくことにより、I/F タイムアウトで設定した時間、プリンタが次のデータを受信しなかった場合に、プリンタ内に残っているデータを自動的に印刷して、排紙します。
設定値	スル（初期設定）	プリンタ内にデータがある場合、タイムアウト時間経過後、自動排紙します。
	シナイ	プリンタ内にデータが残っていても、自動排紙しません。

設定項目	リョウメンインサツ	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。 両面印刷ユニットを使用するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	両面印刷ユニットを使用しません。
	ON	両面印刷ユニットを使用します。

設定項目	トジホウコウ	オプションの両面印刷ユニットまたはステープルスタッカを装着している場合に表示されます。 両面印刷の際に、用紙を綴じる位置を選択します。 とじしろは、［デバイスメニュー］の各オフセットで設定します。 ステープルスタッカの場合は、ステープルする方向を選択します。
設定値	ロングエッジ（初期設定）	用紙の長辺側を綴じる位置にします。
	ショートエッジ	用紙の短辺側を綴じる位置にします。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	シフトハイシ	フェイスダウントレイまたはステープルスタッカのシフト機能を使用するかしないかを選択します。シフト機能を使用すると、1 つの印刷ジョブごとに、用紙を左右にずらして排紙します。
設定値	シナイ（初期設定）	シフト機能を使用せずに排紙します。
	スル	シフト機能を使用して排紙します。

設定項目	トジ	オプションのステープルスタッカを装着している場合に表示されます。ステープルで綴じるか綴じないかを設定します。綴じる場合は、何箇所で綴じるかを選択します。
設定値	ナシ	ステープルで綴じません。
	シングル	用紙の左上または右上どちらか 1 箇所をステープルで綴じます。
	ダブル	用紙の左または右側どちらかの上下 2 箇所をステープルで綴じます。

設定項目	トジイチ	オプションのステープルスタッカを装着している場合に表示されます。ステープルで綴じる位置を指示します。実際に綴じる位置は、[用紙サイズ]、[用紙方向]、[綴じ] の設定によって異なります。
設定値	ヒダリ	用紙の左側で綴じます。
	ミギ	用紙の右側で綴じます。

デバイスメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	RIT (Resolution Improvement Technology)	斜線や曲線などのギザギザをなめらかにする輪郭補正機能の ON/OFF を選択します。
設定値	ON（初期設定）	輪郭を補正します。
	OFF	輪郭を補正しません。

設定項目	トナーセーブ	トナーの消費量を削減します。トナーセーブを行うと、文字の輪郭内の黒ベタ領域をハーフトーンにし、輪郭部分（右、下）にエッジを付加します。
設定値	シナイ（初期設定）	トナーセーブ機能を使用しません。
	スル	トナー使用量を約 50%削減します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	インサツノウドレベル	印刷濃度を調整します。
設定値	1～5（初期設定：3）	値が大きくなるほど、濃くなります。

設定項目	ウエオフセット	用紙の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0～+30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

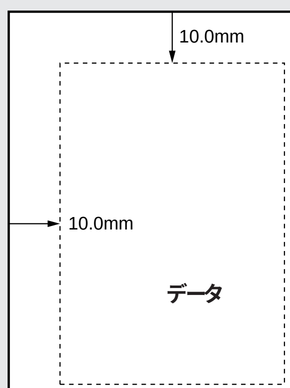
設定項目	ヒダリオフセット	用紙の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0～+30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

設定項目	ウエオフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。 用紙裏面の上端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0～+30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

設定項目	ヒダリオフセット B	オプションの両面印刷ユニットを装着している場合に表示されます。 用紙裏面の左端に対して、印刷の開始位置を -30.0mm から +30.0mm の範囲で設定できます。ただし設定値によっては、印刷結果がソフトウェア側のマージン設定に対してずれることがあります。 また、0mm 以外の設定では、用紙によっては印刷内容の一部分が印刷されないことがあります。
設定値	-30.0～+30.0mm （0.5mm 単位）	（初期設定：0mm）

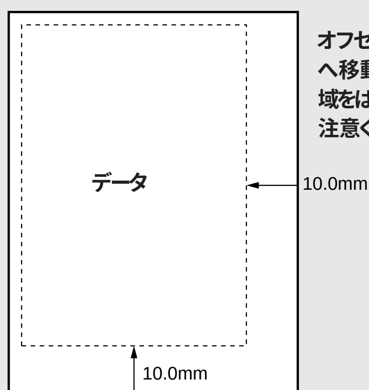


例1）ウエオフセット10.0mm、ヒダリオフセット10.0mmに設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

例2）ウエオフセット-10.0mm、ヒダリオフセット-10.0mmに設定の場合



オフセットを設定しデータが各方向へ移動することで、データが印刷領域をはみだす場合がありますのでご注意ください。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	カミシュ	紙の種類を選択します。
設定値	フツウ（初期設定）	普通紙、再生紙などを使用するときに選択します。
	アツガミ	ラベル紙などの特殊紙や厚紙を使用する場合に選択します。

設定項目	ヨウシサイズフリー	「ヨウシコウカン xxxxx yyyy」のエラーを表示するかしないかを設定します。
設定値	OFF（初期設定）	エラーを検出した場合、ディスプレイにメッセージを表示します。
	ON	エラーを表示しません。

設定項目	ジドウエラーカイジョ	エラーが発生したときに、自動的にエラー状態を解除するか、そのまま動作を一時停止するかを設定します。
設定値	シナイ（初期設定）	「ページエラーオーバーラン」、「ヨウシコウカン」、「メモリオーバー　メモリガタリマセン」のエラーが発生したときに、エラー解除スイッチを押してエラー状態を解除しない限りプリンタの動作は停止し、処理を再開しません。
	スル	上記のエラーが発生したときに、メッセージを約5秒間表示後、エラーを自動的に解除して動作を継続します。

設定項目	ページエラーカイヒ	複雑なデータ（文字数、図形などが非常に多いデータ）を印刷するとき、印刷動作に対し画像データ作成が追いつかないため、ページエラーが発生する可能性があります。このとき、送られてきた画像データに相当するメモリやバッファを確保し、あらかじめ描画してから印刷動作を開始するようにして、ページエラーを回避することができます。ただし、場合によっては印刷の所要時間が長くなりますので、通常の使用ではOFFに設定し、ページエラーが発生するときだけONに設定します。
設定値	ON	ページエラー回避機能を使用します。
	OFF（初期設定）	ページエラー回避機能を使用しません。


ポイント

ページエラー回避をONにすると、「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーも回避できる場合があります。なお、ONにしても「メモリオーバー メモリガタリマセン」エラーが発生した場合は、メモリを増設するか、オプションのハードディスクユニットを装着してください。

パラレルI/Fセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ACK ハバ	パラレルインターフェイスのACK信号のパルス幅を選択します。
設定値	ミジカイ（初期設定）	約 1 μ S に設定します。
	ヒョウジュン	約 10 μ S に設定します。

設定項目	ソウホウコウ	パラレルインターフェイスの双方向通信（IEEE 1284 準拠）のモード設定を行います。
設定値	ニブル（初期設定）	双方向通信について、ニブルモードに対応します。
	ECP	双方向通信について、ECP モードに対応します。
	OFF	双方向通信を行いません。


ポイント

［ニブル］［ECP］は、どちらも双方向通信のモードです。
［ECP］に設定して使用するには、コンピュータのパラレルインターフェイスやアプリケーションソフトがECPモードに対応している必要があります。
コンピュータやアプリケーションソフトで特に指定がない場合は［ニブル］に設定してください。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用データ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。


ポイント

パラレルI/Fセッテイメニューの設定項目を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

ネットワークI/Fセッテイメニュー

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ネットワークセッテイ	オプションのインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ	設定は行えません。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に［しない］に設定されてネットワークの設定項目は表示されなくなりますので、不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。
設定値	パネル（初期設定）	IP アドレス / サブネットマスク / ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワーク上にある DHCP サーバから IP アドレスを自動取得します。取得した IP アドレスは、プリンタのリセットオールまたは電源オフの後、起動のたびにネットワークから取得します。
	PING	ネットワークから、ARP コマンド / PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。 取得した値はプリンタのリセットオールまたは電源のオフ / オンを行うと有効になります。

設定項目	IP Byte1 〜 IP Byte4	TCP/IP プロトコルの IP アドレスを、0 〜 255 の範囲で設定します。 設定した値は、電源のオフ / オン、またはリセットオールの後から有効になります。
設定値	0 〜 255	（初期設定値：0）

設定項目	SM Byte1 〜 SM Byte4	TCP/IP プロトコルの Subnet Mask を、0 〜 255 の範囲で設定します。 設定した値は、電源のオフ / オン、またはリセットオールの後から有効になります。
設定値	0 〜 255	（初期設定値：0）

設定項目	GW Byte1 〜 GW Byte4	TCP/IP プロトコルの Gateware アドレスを、0 〜 255 の範囲で設定します。 設定した値は、電源のオフ / オン、またはリセットオールの後から有効になります。
設定値	0 〜 255	（初期設定値：0）

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。



ネットワークI/Fセッテイメニューの設定項目を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

オプションI/Fセッテイメニュー

オプションのインターフェイスカードを装着した場合のみ設定できる項目です。装着したインターフェイスによって、設定できる項目は異なります（設定する必要のない項目は表示されません）。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	I/F ボードセッテイ	オプションのインターフェイスカードの設定を、操作パネルで行うか、行わないかを選択します。
設定値	シナイ	設定は行えません。プリンタが印刷可能な状態になると、自動的に［しない］に設定されてネットワークの設定項目は表示されなくなりますので、不用意に設定を変更できなくなります。
	スル	操作パネルでネットワークの設定を行うときに選択します。

設定項目	IP アドレスセッテイ	TCP/IP の IP アドレスの設定方法を選択します。［I/Fボードセッテイ］を［スル］に設定した場合に、選択できます。
設定値	パネル（初期設定）	IPアドレス/サブネットマスク/ゲートウェイアドレスの値として、操作パネルで設定した値を使用します。
	ジドウ	ネットワーク上にあるDHCPサーバからIPアドレスを自動取得します。取得した値は、プリンタのリセットオールまたは電源オフの後、起動のたびにネットワークから取得します。
	PING	ネットワークから、ARP コマンド /PING コマンドで設定した IP アドレスの値を使用します。設定した値は、プリンタのリセットオールまたは電源のオフ / オンを行うと有効になります。

設定項目	IP Byte 1～IP Byte 4	TCP/IP の IP アドレスを、0～255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源のオフ / オン、またはリセットオールの後から有効となります。
設定値	0～255	（初期設定値：0）

設定項目	SM Byte 1～SM Byte 4	TCP/IP の Subnet Mask を、0～255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源のオフ / オン、またはリセットオールの後から有効となります。
設定値	0～255	（初期設定値：0）

設定項目	GW Byte 1～GW Byte 4	TCP/IP の Gateway アドレスを、0～255 の範囲で設定します。［IP アドレスセッテイ］を［パネル］に設定した場合に、プリンタの電源のオフ / オン、またはリセットオールの後から有効となります。
設定値	0～255	（初期設定値：0）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	NetWare	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタがNetWare環境で使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	NetWare 環境で使用できます。
	OFF	NetWare 環境で使用できません。

設定項目	AppleTalk	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタが AppleTalk ネットワークで使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	AppleTalk ネットワークで使用できます。
	OFF	AppleTalk ネットワークで使用できません。

設定項目	NetBEUI	オプションのインターフェイスカードを装着したプリンタが NetBEUI を使用できるかどうかを選択します。
設定値	ON（初期設定）	NetBEUI を使用できます。
	OFF	NetBEUI を使用できません。

設定項目	I/F ボードショキカ	オプションのインターフェイスカードの設定を初期化します。
設定値		設定値はありませんので、設定実行 スイッチを押して実行します。

設定項目	ジュシンバッファ	受信バッファを設定します。
設定値	ヒョウジュン（初期設定）	搭載メモリを印刷描画用とデータ受信用にバランス良く配分します。
	サイダイ	搭載メモリをデータ受信を重視して配分します。
	サイショウ	搭載メモリを印刷描画を重視して配分します。


ポイント

［オプション I/F セッテイメニュー］の設定を変更した場合は、設定後に必ずリセットオールまたは電源の再投入をしてください。

ESC/PSカンキョウメニュー

（ESC/PSまたはESC/Pモードで選択できる設定項目です）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	レンゾクシ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 連続紙用の印刷データを、単票用紙（カット紙）に縮小して印刷するかどうかを選択します。
設定値	OFF（初期設定）	縮小しません。
	F15 → B4 ヨコ	15インチ×11インチの連続紙へのデータをB4横長の用紙に縮小して印刷します。
	F15 → A4 ヨコ	15インチ×11インチの連続紙へのデータをA4横長の用紙に縮小して印刷します。
	F10 → A4 タテ	10インチ×11インチの連続紙へのデータをA4縦長の用紙に縮小して印刷します。

設定項目	モジコード	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コードを切り替えます。
設定値	カタカナ（初期設定）	カタカナコード表を選択します。
	グラフィック	拡張グラフィックスコード表を選択します。

設定項目	キュウシイチ	• ESC/P 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 用紙の印刷開始位置を選択します。
設定値	8.5mm（初期設定）	用紙の上端から 8.5mm にします。
	22mm	用紙の上端から 22mm にします。

設定項目	カッコクモジ	• ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 英数カナ文字コード表の一部の記号をどの国に対応するかを選択します。
設定値	ニホン（初期設定）、アメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン	

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	ゼロ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 英数カナ文字コードの「0」の書体を選択します。
設定値	0（初期設定）	「0」を選択します。
	ø	「ø」を選択します。

設定項目	ヨウシイチ	• ESC/PS モードで PC-PR201H 用ソフトウェアを使用しているときに有効です。 • 横方向の印字範囲（136桁）の幅のなかで、用紙をどの位置に合わせるかを選択します。中央を選択した場合は、さらにオフセット量を選択できます。アプリケーションソフトのプリンタ設定でPC-PR201H、シートフィーダを使用にしたときは、［チュウオウ］を選択してください。 なお、アプリケーションソフトの左右マージン設定によっては、左右の一部が印刷されない場合があります。このときは、アプリケーションソフトで左右マージンを大きく設定してください。
設定値	ヒダリ（初期設定）	左合わせに設定します。
	チュウオウ	中央合わせに設定します。
	チュウオウ -5	中央合わせで、オフセット量を -5mm にします。
	チュウオウ +5	中央合わせで、オフセット量を +5mm にします。

設定項目	ミギマージン	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 右マージンを選択します。
設定値	ヨウシハバ（初期設定）	使用する用紙の印刷可能領域いっぱいにします。
	136 ケタ	用紙サイズに関係なく 136 桁（13.6 インチ）にします。136桁に満たない用紙に印刷するときは、用紙の印刷可能領域を超える部分を切り捨てます。

設定項目	カンジショタイ	• ESC/PSモードまたはESC/Pモードで有効です。 • 漢字に使用する書体を選択します。
設定値	ミンチョウ（初期設定）	明朝体を選択します。
	ゴシック	角ゴシック体を選択します。
	セイカイショ *	正階書体を選択します。
	マルゴシック *	丸ゴシック体を選択します。
	キョウカショ *	教科書体を選択します。
	ギョウショ *	行書体を選択します。

* オプションのフォント ROM モジュールを装着した場合に表示されます。

ESC/Pageカンキョウメニュー

（ESC/Pageモードで選択できる設定項目です。各インターフェイスごとに設定できます）

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フッキカイギョウ	印刷データが右マージン位置を超えたときに、自動的に復帰改行して次の行の先頭から印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動復帰改行動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	カイページ	印刷データが改行のため下マージン位置を超えたときに、自動的に改ページして次のページに印刷を続けるかを選択します。
設定値	スル（初期設定）	自動改ページ動作をします。
	シナイ	自動復帰改行動作をしません。

設定項目	CR	CR の動作を選択します。
設定値	CR ノミ（初期設定）	CR（復帰）動作のみを行います。
	CR+LF	CR（復帰）と同時に LF（改行）動作も行います。

設定項目	LF	LF（改行）の動作を選択します。
設定値	CR+LF（初期設定）	LF（改行）と同時に CR（復帰）動作も行います。
	LF ノミ	LF（改行）動作のみを行います。

設定項目	FF	FF（改ページ）の動作を選択します。
設定値	CR+FF（初期設定）	FF（改ページ）と同時に CR （復帰）動作も行います。
	FF ノミ	FF（改ページ）動作のみを行います。

設定項目	エラーコード	文字コード表にない文字を受けたときの処理を選択します。
設定値	OFF（初期設定）	無視します。
	ON	スペースに置き換えます。

設定項目	フォントタイプ	「幅」対「高さ」が 1 対 2 の文字サイズが指定されたとき、2バイト系文字の全角フォントと半角フォントの優先度を選択します。
設定値	1（初期設定）	15ポイント未満は半角フォントを優先し、15ポイント以上は全角文字を優先して印刷します。
	2	全角フォントを優先して印刷します。
	3	半角フォントを優先して印刷します。

スイッチ	液晶ディスプレイの表示	説明
設定項目	フォームオーバーレイ *	フォームオーバーレイを実行する／しないを選択します。 オプションのフォームオーバーレイROMモジュールが装着され、その ROM モジュールにフォームデータが登録されているときに表示され、選択できます。
設定値	OFF（初期設定）	フォームオーバーレイを実行しません。
	ON	フォームオーバーレイを実行します。ここで設定すると、ESC/P モードでも実行されます。

設定項目	フォームバンゴウ *	実行するフォームオーバーレイの番号を選択します。フォームデータが書き込まれたフォームオーバーレイROMモジュールが装着されている場合に表示されます（オプション装着時）。
設定値	1 〜 512	フォームオーバーレイ ROM モジュールを ROM モジュール用ソケット A ／ B 両方に装着している場合、フォームデータの番号はソケットA→ソケット B の順番で設定されます。

* フォームデータの作成／使用方法や、フォームオーバーレイ ROM モジュールへの登録方法については、オプションのフォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!3 以上)、「フォームオーバーレイ ROM モジュール」に添付の取扱説明書を参照してください。



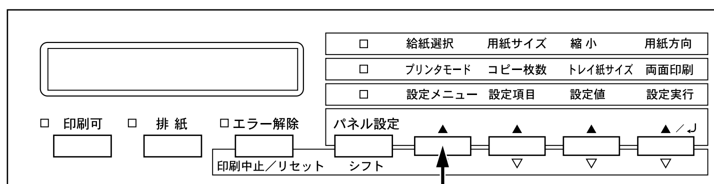
節電の設定方法

節電機能を使用すると、印刷待機時の消費電力を節約することができます。設定の手順は次の通りです。

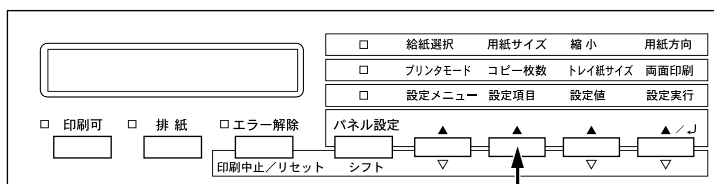

ポイント

- **初期設定値は、節電状態に入るまでの時間が 60 分に設定されています。**
- **変更した設定は、すべてのインターフェイスに対して有効です。**
- **節電状態のときは、印刷するデータを受け取るとまずウォーミングアップを行いますので、印刷開始までしばらく時間がかかります。**

1 **設定メニュー スイッチを数回押して、ディスプレイに「キョウツウメニュー」を表示させます。**



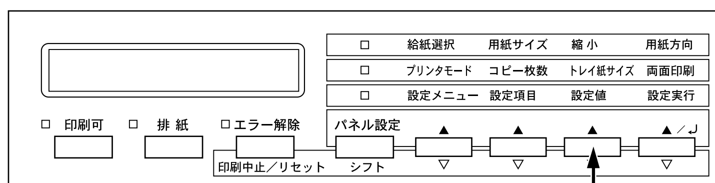
2 **設定項目 スイッチを数回押して、ディスプレイに「セツデン＝60プン」を表示させます。**



3 設定値 スイッチを押し、設定を変更します。

設定値 スイッチを押すたびに、値が切り替わります。

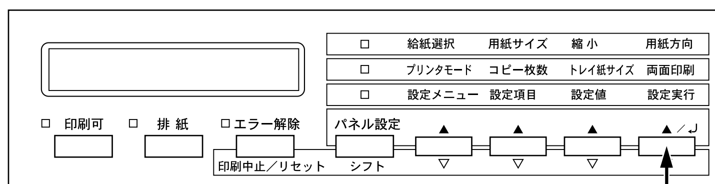
60 プン→ OFF → 5 フン→ 15 フン→ 30 プン



設定したい設定値が
表示されるまで押します

4 設定実行 スイッチを押して設定を確定します。

設定を確定（実行）すると、＊（アスタリスクマーク）が表示されます。



押します

5 印刷可 スイッチを押します。

印刷可ランプが点灯し、印刷可状態になります。



ステータスシートの印刷

ステータスシートは、プリンタの現在の状態や設定値を印刷したものです。ステータスシートを印刷することにより、プリンタの現在の情報が得られます。


ポイント

ステータスシートの印刷は、次の場合に行います。
- **プリンタの動作に異常がないかを確認する場合**
- **プリンタの現在の設定状態を確認したい場合**
- **プリンタにオプションを装着した場合（装着したオプションが正しく認識されていれば、ステータスシート印刷内容に、そのオプションが追加されます）**

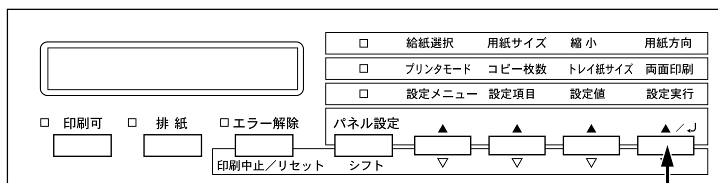
Windowsでお使いの場合は、プリンタドライバ上からも印刷することができます。
☞本書「[環境設定]ダイアログ」72 ページ

1 **プリンタに用紙をセットして、電源をオン(I)にし、印刷可状態にします。**
印刷可ランプが点灯します。


ポイント

パネル設定で設定された給紙装置に用紙がセットされているか確認してください。セットされていない場合は用紙をセットするか給紙装置を変更してください。
☞本書「ワンタッチ設定モード 1 での設定方法」154 ページ

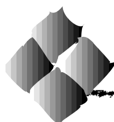
2 **[設定実行] スイッチを押します。**
ディスプレイに「ステータスシート」と表示されます。



3 **もう一度 [設定実行] スイッチを押し、ステータスシートを印刷します。**
- ディスプレイの表示が点滅し、ステータスシートが印刷されます（印刷を始めるまで数秒時間がかかります）。
- 印刷が終了すると印刷可ランプが点灯します。


ポイント

ステータスシートがうまく印刷されないときは、本書「困ったときは」を参照してください。
☞本書「困ったときは」285 ページ



16進ダンプ印刷

16進ダンプは、コンピュータから送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字で印刷する機能です。コンピュータからプリンタへ正しくデータが送られているかどうか確認できるので、自作プログラムのチェックなどに使うと便利です。

1 **プリンタに用紙をセットして、電源がオフ(○)であることを確めます。**
プリンタに用紙がセットされていない場合は、用紙をセットしてください。

2 **排紙 スイッチを押しながら、電源をオン(I)にします。**
ディスプレイに「ヘキサダンプモード」と表示されるまで 排紙 スイッチを押し続けます。
スイッチから手を離すとディスプレイに以下のように表示され、16進ダンプモードに入ります。

ヘキサダンプ

3 **コンピュータからプリンタへデータを送ります。**
プリンタは送られてきたデータを16進数とそれに対応する英数文字などで印刷します。



印刷中は電源をオフ(○)にしないでください。用紙詰まりの原因になります。

4 **印刷が終了したら、データランプが消灯していることを確認します。**
データランプが点灯している場合、プリンタ内に印刷されていないデータが残っています。この場合は 印刷可 スイッチを押して印刷不可状態にした後、排紙 スイッチを押すと、プリンタ内のデータが印刷されて排紙されます。

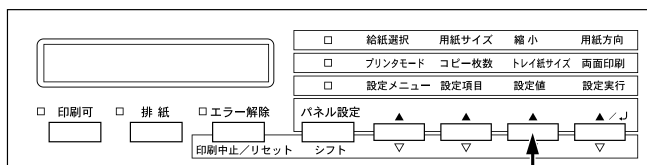
5 **16 進ダンプの印刷が終了したら、16 進ダンプモードを解除します。**
電源をオフにする、またはリセットオールすると、次の電源オンからは通常のモードで起動します。



ハードディスクユニットの初期化

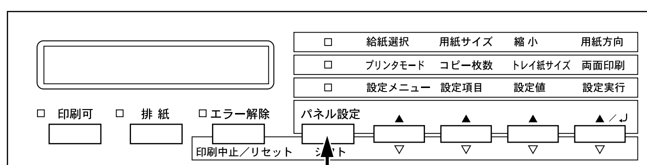
オプションのハードディスクユニットは、装着後、初めてプリンタの電源をオンにしたときに自動的に初期化されます。ハードディスクユニットに関連するエラーが発生して正常に動作しない場合のみ、以下の手順で初期化してください。

1 **設定値 スイッチを押しながら、電源をオンにします。**

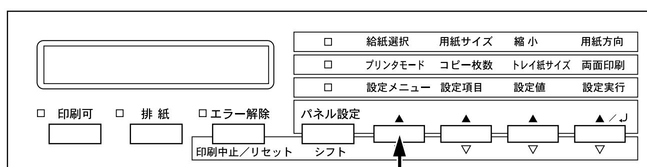


2 **パネル設定 スイッチを 3 回押します。**

このときディスプレイには「テストインサツメニュー」と表示されます。
階層設定モードランプが点灯します。



3 **ディスプレイに[サポートメニュー]と表示されるまで、設定メニュー スイッチを押します。**

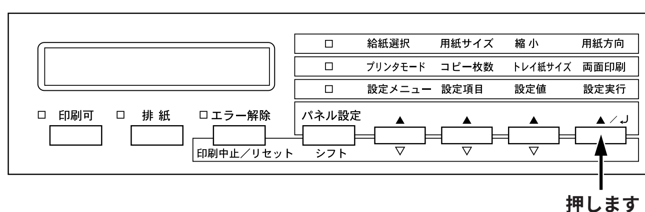


4 **設定項目** スイッチを押して、設定項目を選択します。

設定項目	説明
HDD ショキカ	ハードディスクユニットの初期化（フォーマット）を行います。保存していたデータはすべて消去されます。

5 **設定実行** スイッチを押します。

選択した初期化作業が開始され、終了すると自動的にプリンタが再起動して通常の状態に復帰します。



以上でハードディスクユニットの初期化は終了です。



パネル設定値の初期化

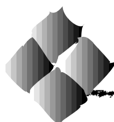
操作パネルで設定した値をすべて初期化して、工場出荷時の設定に戻すことができます。エラー解除 スイッチを押しながら、プリンタの電源をオンにします。初期化が済むと、プリンタはオンライン状態になります。



ポイント

階層設定モードの［キョウツウメニュー］にある［セッテイショキカ］を実行すると、インターフェイスの設定以外のパネル設定値を初期化します。インターフェイスの設定を含めたすべて初期化するには、エラー解除 スイッチを押しながら、プリンタの電源をオンにしてください。

☞本書「セッテイショキカ」166 ページ



リセットとリセットオール

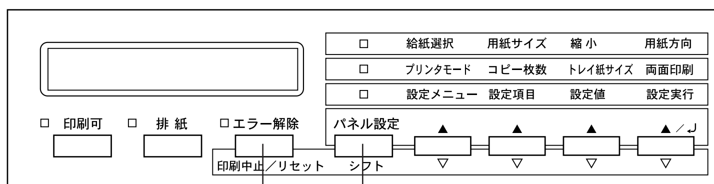
リセット

リセットは、ディスプレイに「リセットシテクダサイ」と表示されたときや、印刷を中止するときに行う操作です。
また、現在稼働中のインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います（キャッシュ[*1] されたフォントは記憶しています）。

*1 キャッシュ：一度印刷したフォントをメモリに記録しておき、再びそのフォントが必要な時は記録したフォントを使用することで印刷を高速化する手法。

リセットの仕方

シフト スイッチ（パネル設定 スイッチ兼用）を押したまま エラー解除 スイッチを押します。スイッチを5秒以上押したままにするとリセットオールされてしまいますので、注意してください。



シフト （パネル設定）スイッチを押したまま
エラー解除 スイッチを押します



5秒以上押さないでください。


ポイント

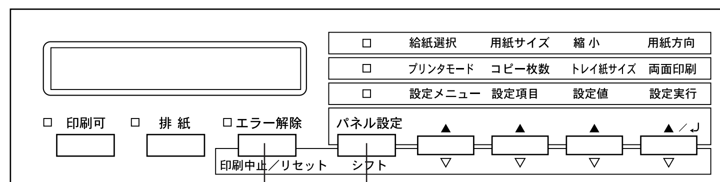
プリンタが印刷データの処理をしているとき、あるいは一部のDOSアプリケーションソフトで印刷中もしくは印刷データ待ちのときにパネル設定を変更すると、「リセットシテクダサイ」と表示されることがあります。このときに正しくリセットを行わないとパネル設定で変更した内容が有効になりません。設定の変更は印刷データ処理終了後、またはリセット後に実行してください。

リセットオール

リセットオールを行うと、プリンタは印刷の中止を行います。
プリンタは電源スイッチをオンにした直後の状態まで初期化され、すべてのインターフェイスに対して、メモリに保存された印刷データの破棄と、キャッシュに保存されたフォントも、消去します。

リセットオールの仕方

シフト スイッチ（パネル設定 スイッチ兼用）を押したまま 、ディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで（約5秒間）エラー解除 スイッチを押したままにします。



シフト （パネル設定）スイッチを押したままディスプレイに「リセットオール」と表示されるまで（5秒間）エラー解除 スイッチを押したままにします

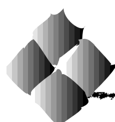
第6章

オプションと消耗品について

LP-9600S

Options and consumables

ここでは、オプションと消耗品に関する情報を記載しています。



オプションと消耗品の紹介

インターフェイスケーブル

パラレルインターフェイスケーブル

使用するパラレルインターフェイスケーブルは、コンピュータによって異なります。主なコンピュータの機種（シリーズ）でご使用いただけるパラレルインターフェイスケーブルは、次の通りです。

	メーカー	機　種	接続ケーブル	備考
DOS/V 系	EPSON	DOS/V 仕様機	PRCB4N	―
	IBM、富士通 東芝、他各社			
	NEC	PC-98NX シリーズ		
PC98 系	EPSON	EPSON PC シリーズデスクトップ	#8238	*1*2
		EPSON PC シリーズ NOTE	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2
	NEC	PC-9821 シリーズ （ハーフピッチ 36 ピン）	PRCB5N	*1
		PC-9801 シリーズデスクトップ （14 ピン）	#8238	*1*2*3
		PC-9801 シリーズ NOTE （ハーフピッチ 20 ピン）	市販品（ハーフピッチ 20 ピン）をご使用ください。	*1*2*3

＊１：拡張漢字（表示専用 7921 ～ 7C7E）は印刷できません。

＊２：Windows95/98の双方向通信機能およびEPSONプリンタウィンドウ!3は、コンピュータの機能制限により対応できません。

＊３：ハーフピッチ 36 ピンのコンピュータには PRCB5N をご使用ください。


ポイント

- **NEC PC-98LT/DO シリーズとは接続できません。**
- **NEC PC-9801LV/LX/LS/Nシリーズは NEC製の専用ケーブルを使用してください。**
- **富士通 FM/R、FM TOWNS は富士通製の専用ケーブルを使用してください。**
- **推奨ケーブル以外のケーブル、プリンタ切替機、ソフトウエアのコピー防止のためのプロテクタ（ハードウェアキー）などを、コンピュータとプリンタの間に装着すると、プラグアンドプレイやデータ転送が正常にできない場合があります。**
- **ECPモード対応コンピュータをECPモードで接続する場合、PRCB4Nをご使用ください。**

ネットワークケーブル

標準搭載のネットワークインターフェイスには以下のいずれかのケーブルを接続してください。

- Ethernet 100Base-TX：ツイストペアケーブル（カテゴリー 5）
- Ethernet 10Base-T　：ツイストペアケーブル

両面印刷ユニット

用紙の両面に印刷するための装置です。
取り付け方および使い方は以下のページを参照してください。
☞ 本書「両面印刷ユニットの取り付け」217 ページ
本書「両面印刷ユニット（オプション）」46 ページ

型番	商品名	備考
LPDSP2	両面印刷ユニット	使用できる用紙 ・サイズ：A3, A4, B4, B5, LT, LGL, GLG, GLT, B, EXE, F4 ・用紙厚：60 ～ 90g/m²

フェイスアップトレイ

印刷した用紙の印刷面を上に向けて排紙するための排紙装置です。
取り付け方および使い方は以下のページを参照してください。
☞ 本書「フェイスアップトレイの取り付け」220 ページ
本書「フェイスアップトレイ（オプション）」45 ページ

型番	商品名	備考
LPA3FUT1	フェイスアップトレイ	保持枚数：200 枚（用紙厚 64g/m²）

大容量給紙ユニット

3 基の用紙カセットを装備したユニットです。
本機の下部に装着して使用します。
取り付け方および使い方は以下のページを参照してください。
☞ 本書「大容量給紙ユニットの取り付け」212 ページ
本書「大容量給紙ユニット（オプション）への用紙のセット」22 ページ

型番	商品名	備考
LPDU1	大容量給紙ユニット	用紙カセット 3 ・用紙サイズ：A3, A4, B4, B5, LT, GLG, B ・セット枚数：500 枚（用紙厚 64g/m² の場合） 用紙カセット 4・5 ・用紙サイズ：A4, B5, LT ・セット枚数：各 1000 枚（用紙厚 64g/m² の場合）

10ビンマルチビンユニット

10 枚のビンを装備した排紙装置です。
プリンタドライバの設定により、大容量（スタッカ）/ メールボックス / ソーター / マルチソーターの 4 つの使い方ができます。
取り付け方および使い方は以下のページを参照してください。

☞ 本書「10 ビンマルチビンユニットの取り付け」226 ページ
本書「10 ビンマルチビンユニット（オプション）」34 ページ

型番	商品名	備考
LP10BMU1	10 ビンマルチビンユニット	排紙できる用紙 ・用紙種類：普通紙 ・用紙厚　：60 ～ 90g/m² ・サイズ　：A3, A4, A5, B4, B5, GLG, LT, HLT, B ・保持枚数：100枚（用紙厚64g/m²）/ ビン×10ビン


ポイント

- **大容量給紙ユニット（LPDU1）を装着しないと、10ビンマルチビンユニットは装着できません。**
- **ステープルスタッカ（LPST1）と同時に装着することはできません。**

ステープルスタッカ

3枚のビンを装備した排紙装置です。また、印刷したページをステープルで綴じることができます。
取り付け方および使い方は以下のページを参照してください。

☞ 本書「ステープルスタッカの取り付け」233 ページ
本書「ステープルスタッカ（オプション）」41 ページ

型番	商品名	備考
LPST1	ステープルスタッカ	排紙できる用紙 ・用紙種類：不定形紙 / 厚紙 / ハガキ以外の用紙 ・用紙厚　：60 ～ 90g/m² ・サイズ　：A3、A4、A5、B4、B5、B、LGL、GLG、LT、HLT、EXE ・保持枚数：A4 670 枚（用紙厚 64g/m²）× 3 ビン A3 335 枚（用紙厚 64g/m²）× 3 ビン


ポイント

- **大容量給紙ユニット（LPDU1）を装着しないと、ステープルスタッカは装着できません。**
- **10ビンマルチビンユニット（LP10BMU1）と同時に装着することはできません。**

増設メモリ

*1 DIMM：
複数個のメモリチップを搭載した基板。モジュール。

*2 SPD：
DIMM に搭載しているメモリチップに関する情報が記録されているモジュール。

本プリンタは、市販のDIMM[*1] を使用することにより、最大256MBまで内部メモリを増設することができます。メモリを増設することにより、部単位印刷や、複雑な印刷データも高解像度で印刷できるようになります。また、コンピュータを印刷処理から早く解放したり、アウトラインフォント使用時の処理を高速化できます。

使用できる DIMM の種類は以下の通りです。詳しくは FAX インフォメーションをご利用ください。FAXインフォメーションの問い合わせ先は、巻末をご覧ください。

- DRAM タイプ：SDRAM（シンクロナス DRAM）
- 容量：16MB、32MB、64MB、128MB
- 形状：168 ピン DIMM（デュアルインラインパッケージ）
- データバス幅：64bit
- SPD[*2]：あり



- **本機が扱えるメモリは最大256MBです。標準搭載のメモリと増設メモリの合計が 256MB より大きい場合、256MB を超えた分のメモリは使用されません。また、ステータスシートや操作パネルにも表示されません。**
- **本プリンタに標準で装着されているメモリは取り外さないでください。**

取り付け方は以下のページを参照してください。

☞本書「増設メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け」205 ページ

EP-GLモジュール

EP-GL モジュールは、本来はプロッタ（図表出力装置）で出力するデータをプリンタで出力できるようにするための ROM モジュールです。

EP-GL モジュールを装着すると、プロッタ言語の EP-GL モードをエミュレートします。これにより本プリンタを Hewlett-Packard 社の HP-7550A プロッタの代わりに使用することができます。

取り付け方は以下のページを参照してください。

☞本書「増設メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け」205 ページ

型番	商品名
LPEPGL3	EP-GL モジュール

フォントROMモジュール

オプションのフォント ROM モジュールです。
オプションの ROM モジュールは 2 枚装着することができます。
取り付け方は以下のページを参照してください。

☞本書「増設メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け」205 ページ

型番	商品名
LPFR1	正楷書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR2	行書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR3	教科書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR4	丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR5	太角ゴシック体・太明朝体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR6	太丸ゴシック体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFR7	太行書体アウトラインフォント ROM モジュール
LPFROCB	OCR フォント / バーコード ROM モジュール

フォームオーバーレイユーティリティソフト

フォームオーバーレイとは、フォーム（書式）とデータを個々に作成し、両者を重ね合わせて印刷することを指します。フォームとデータを同時に印刷するため、フォームが印刷済みの用紙を用意しなくても帳票などを印刷することができます。
フォームオーバーレイユーティリティソフトは、フォームデータを作成、登録するためのユーティリティです。作成したフォームデータを使用しての印刷は Windows プリンタドライバ上で行います。

型番	商品名
EPFORM4	EPSON Form!4（Windows95/98/NT4.0 上で使用可能）

フォームオーバーレイROMモジュール

オプションのフォームオーバーレイユーティリティ（EPSON Form!3以上）で作成したフォームデータ（書式のデータ）を登録するためのROMモジュールです。
フォームオーバーレイROMモジュールに登録したフォームデータは、Windowsプリンタドライバ上およびDOSアプリケーションソフト上で呼び出して使用できます。
取り付け方は以下のページを参照してください。

☞本書「増設メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け」205ページ

型番	商品名
LPFOLR1M	フォームオーバーレイ ROM モジュール（1MB）
LPFOLR4M	フォームオーバーレイ ROM モジュール（4MB）

ハードディスクユニット

プリンタにハードディスクユニットを装着すると、プリンタ側で部単位印刷ができるようになります。
取り付け方は以下のページを参照してください。

☞本書「増設メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け」205ページ

型番	商品名
LPHD2	ハードディスクユニット（5.5GB）

インターフェイスカード

プリンタに標準装備されていないインターフェイスを使用したい場合や、インターフェイスを増設したい場合に使用します。
取り付け方は以下のページを参照してください。
☞本書「インターフェイスカードの取り付け」211 ページ

設定等についてはそれぞれのカードの取扱説明書を参照してください。

型番	名称	解説
PRIF4	シリアルI/Fカード (バッファ：32KB)	本機をシリアルで接続するためのオプションです。
PRIF5E	IEEE1284 双方向 パラレルI/Fカード	本機に IEEE1284 規格準拠の双方向パラレルインターフェイスをもう 1 つ増設するためのオプションです。
PRIFNW1S	マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	IPX/SPX (NetWare, Windows98/95/NT4.0/NT3.5x)、TCP/IP (Windows98/95/NT4.0/NT3.5x)、AppleTalk (Macintosh)、NetBEUI (Windows98/95/NT4.0/NT3.5x、OS/2 Warp) に対応しています。 本機を Ethernet 接続するためには、次のいずれかのケーブルが必要です。 PRIFNW1S: Ethernet 10BASE2: THIN (シン) 同軸ケーブル Ethernet 10BASE-T: ツイストペアケーブル PRIFNW2S: Ethernet 10BASE-T: ツイストペアケーブル Ethernet 100BASE-TX: ツイストペアケーブル (カテゴリー 5)
PRIFNW2S	100Base-TX マルチプロトコル Ethernet I/Fカード	


ポイント

本プリンタを Macintosh シリーズと接続して使用する際は、プリンタ本体に同梱されている Macintosh 用プリンタドライバをお使いください。

リファレンスマニュアル

プリンタ制御コマンドの説明書です。コントロールコードを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアル
ESC/P リファレンスマニュアル

エプソン日本語ページプリンタ用「EPSON Remote モード」についての説明書です。EPSON Remoteモード(P)コマンドを使用してプログラムを作成する方を対象としています。

商品名
EPSON Remote モード(P)リファレンスマニュアル



上記マニュアルにつきましてはエプソン OA サプライ（株）にてお取り扱いをしています。巻末の FAX 注文書にてご注文してください。

ETカートリッジ

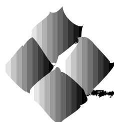
印刷用トナーとドラムが一体になったカートリッジです。
交換の仕方は以下のページを参照してください。
☞本書「ET カートリッジの交換」246 ページ

型番	商品名
LPA3ETC5	ET カートリッジ

ステープルスタッカ針

ステープルスタッカで使用する換え針カートリッジです。
交換の仕方は以下のページを参照してください。
☞本書「ステープルスタッカ針の交換」257 ページ

型番	商品名
LPSTSN1	ステープルスタッカ針（針 5000 本 / カートリッジ× 3 個）



通信販売のご案内

EPSON製品の消耗品・オプション品・マニュアルがお近くの販売店で入手困難な場合は、以下の通信販売をご利用ください。

お申し込み方法

巻末の「消耗品FAX注文書」をコピーし、必要事項をご記入のうえFAXにてご注文ください。また、お電話やインターネットでのご注文もお受けしております。

エプソンOAサプライ株式会社
〒101-0021　東京都千代田区外神田2-5-12 タカラビル2F
ファックス番号　：0120-557-765（フリーダイヤルFAX）
　　　　　　　　：03-3258-7690
ご注文電話番号　：0120-251-528（フリーダイヤル）
　　　　　　　　：03-3255-1528
インターネットURLアドレス：http://www2.i-love-epson.co.jp/eos/home

※ 電話番号のおまちがいにご注意ください。また、消耗品、オプション、マニュアル以外のお問い合わせにはお答えしかねる場合がございますので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。

お届け方法

宅配便の代金引き換えにてお届けしております。
※商品がお手元に配達された時、その配達員にお代金を現金にてお支払いいただくシステムです。

お支払い方法

代金引き換え（商品引き換え払い）でお願いいたします。
※一部地域によって代金引き換えが不可能な場合等は、別途ご相談させていただきます。

料金システム

- 商品合計金額が5000円未満の場合………商品代金＋消費税＋送料
- 商品合計金額が5000円以上の場合………商品代金＋消費税のみ
  ※配送は国内に限らせていただきます。
  ※送料は消費税を含み、全国一律525円です。

なお、ご注文いただいた商品の在庫がない場合は、メーカーよりの取り寄せとなり、納品までにお時間がかかる場合がございます。
また、メーカーにて完売となりました商品につきましては、お取り寄せができませんので、あらかじめご了承くださいますようお願いします。



増設メモリ/ROMモジュール/ハードディスクユニットの取り付け

増設メモリ、ROM モジュール、ハードディスクユニットの取り付け方法を説明します。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。

⚠注意

カバーの端や内部のバネなどで、手などを傷付けないように注意しながら作業を行ってください。


注意

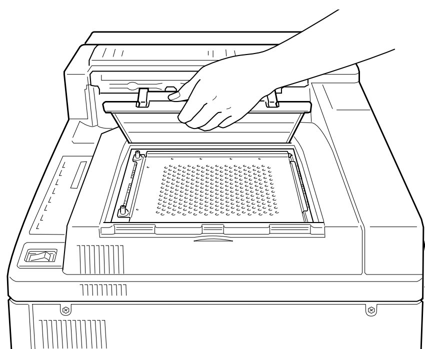
増設メモリ / ROM モジュールの取り付けの際、静電気放電によって部品に損傷が生じるおそれがあります。作業の前に必ず、接地されている金属に手を触れるなどして、身体に帯電している静電気を放電してください。

1. **プリンタの電源がオフ(○)になっていることを確かめます。**
電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続していない状態で作業します。

⚠注意

- **作業の際には、必ず電源コードのプラグをコンセントから抜いてください。また、電源コードとインターフェイスケーブルを必ずプリンタから取り外してください。**
- **インターフェイスケーブルをプリンタから取り外す際には、必ずコンピュータの電源もオフにしてから取り外してください。**

2. **フェイスダウントレイの上カバーを開けます。**

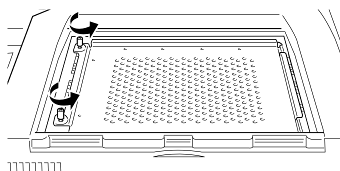


⚠注意

プリンタ内部の電子部品には絶対に手を触れないよう注意してください。プリンタを使用した後はプリンタ内部が高温になっているため、火傷のおそれがあります。この場合、温度が下がるまでしばらく待ってから作業を行ってください。

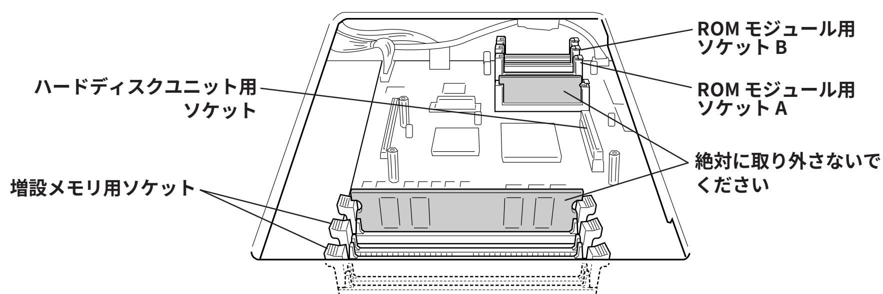
3 金属カバーを取り外します。

ネジ２本をゆるめて、ネジの付いている側から金属カバーを持ち上げて取り外します。ネジ２本は金属カバーから完全に取り外す必要はありません。



4 増設メモリ用ソケット、ROM モジュール用ソケット、ハードディスクユニット用ソケットの位置を確かめます。

- 増設メモリを取り付けるには、5 へ進みます。
- ROM モジュールを取り付けるには、6 へ進みます。
- ハードディスクユニットを取り付けるには、7 へ進みます。





プリンタ内部に初めから装着されている ROM モジュールとメモリは、絶対に取り外さないでください。取り外すと、プリンタが正常に動作しなくなるおそれがあります。

5 **増設メモリは次の手順で取り付けます。**



- 増設メモリを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。
- 増設メモリは、逆差ししないように注意してください。



本プリンタに装着できる増設メモリの仕様は、以下の通りです。

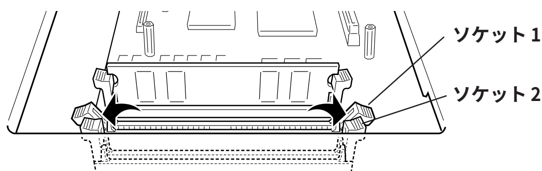
- DRAM タイプ　：SDRAM（シンクロナス DRAM）
- 容量　：16、32、64、128MByte
- 形状　：168 ピン DIMM（デュアルインラインパッケージ）
- データバス幅　：64bit
- SPD*1　：あり

本プリンタは、メモリは最大 256MByte（128MB × 2 枚）まで増設できます。使用できる SDRAM については、インフォメーションセンターまでお問い合わせください。インフォメーションセンターについては、取扱説明書の裏表紙をご覧ください。

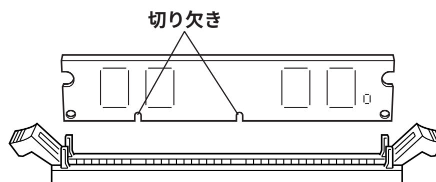
*1 SPD：DIMMに搭載しているメモリチップに関する情報が記録されているモジュール。

増設メモリは、2 枚取り付けられます。増設メモリはソケット 1 または 2 のどちらから取り付けてもかまいません。またどちらかに1枚のみ取り付けてもかまいません。

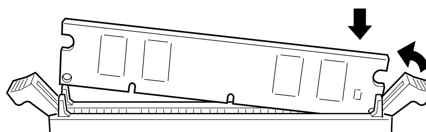
①増設メモリ用ソケット両側のクリップを外側に開きます。



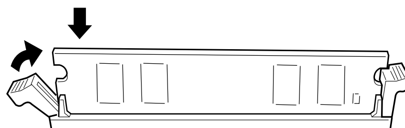
②増設メモリ底部の 2 つの切り欠きが、ソケット内側の凸部分に合うように、取り付け位置を決めます。



③増設メモリを右側からソケットに差し込み、クリップが起きあがるまで押し込みます。



④増設メモリの左側を差し込み、左側のクリップが起きあがり、固定されるまで押し込みます。





両側のクリップがしっかり閉じていることを確認してください。

6 ROM モジュールは次の手順で取り付けます。

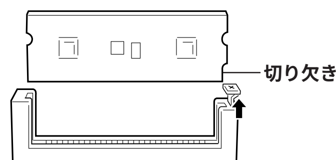


- **ROM モジュールを装着する際に、必要以上に力をかけないでください。部品を損傷するおそれがあります。作業は慎重に行ってください。**
- **ROM モジュールは、逆差ししないように注意してください。**

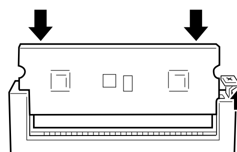


フォームオーバーレイ ROM モジュールにフォームデータを登録する場合はソケット A に取り付けます。それ以外の場合は、ソケット A または B のどちらに取り付けてもかまいません。

①ROMモジュールの切り欠きのある側を、ソケット端の×印のボタンがある側に向けます。

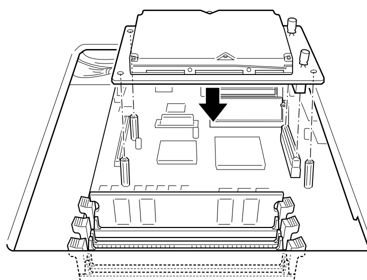


②ROMモジュールをソケットにまっすぐ差し込み、右側のボタンが上がるまで両端をゆっくりと均等に押し込みます。

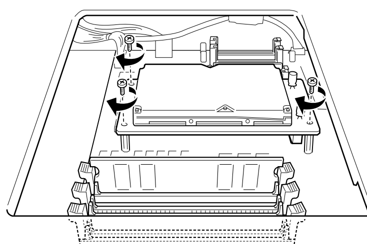


7 ハードディスクユニットは次の手順で取り付けます。

①ハードディスクユニットの接続コネクタを、プリンタの基盤上の接続ソケットに差し込みます。



②ネジを締めて、ハードディスクユニットを固定します。

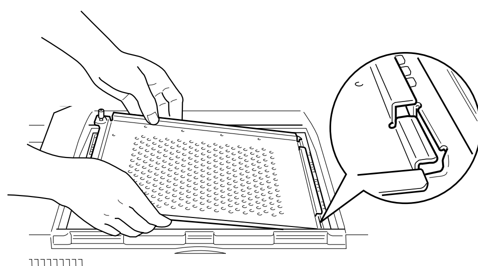




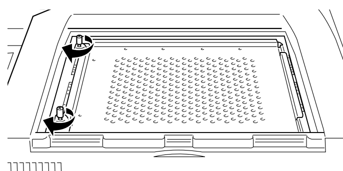
- **ハードディスクユニットは、装着後、初めて電源をオンにすると自動的に初期化されます。**
- **何らかの理由でハードディスクユニットを初期化する場合は、以下のページを参照してください。**
  ☞本書「ハードディスクユニットの初期化」189 ページ

8 金属カバーを取り付けます

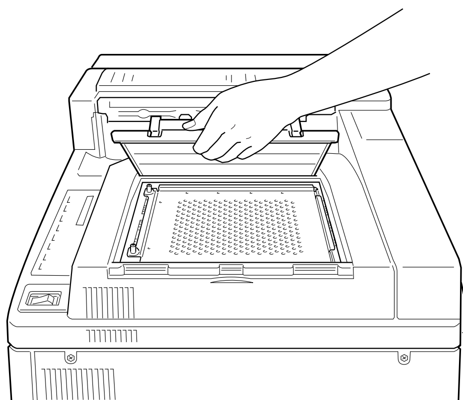
①金属カバーのツメをプリンタ本体側の切り欠き部分に差し込んでから、金属カバーをしっかり押さえて閉じます。



②ネジを締めて、金属カバーを固定します。



9 フェイスダウントレイの上カバーを元に戻して閉じます。




ポイント

正しく取り付けられているかどうかは、ステータスシートを印刷して確認できます。
☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ

10 装着したオプションをプリンタドライバ上で設定します(Windowsのみ)。

- 装着しただけではそのオプションを使えません。プリンタドライバでの設定が必要です。
☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ
- Macintosh では設定の必要はありません。



インターフェイスカードの取り付け

インターフェイスカードの取り付け方法を説明します。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。


ポイント

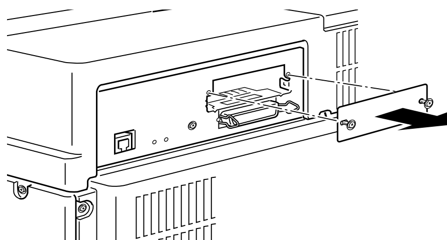
インターフェイスカードによっては、本プリンタへの取り付けの前に、カード上のディップスイッチや、ジャンパースイッチの設定をする場合があります。インターフェイスカード付属の取扱説明書をよくお読みの上、それぞれの設定をしてください。本書では、設定を終えたインターフェイスカードを取り付ける手順について説明しています。

1 プリンタの電源がオフ(○)になっていることを確かめます。

電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続していない状態で作業します。

2 オプションインターフェイスのコネクタカバーを取り外します。

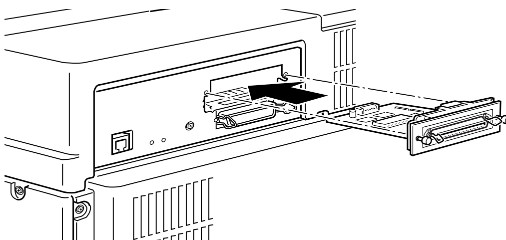
ネジ2本を外して、カバーを取り外します。



3 インターフェイスカードを取り付けます。

①インターフェイスカードの電子部品側を上に向け、左右両端をプリンタ内部の溝に合わせて、インターフェイスカードのコネクタと、プリンタ本体のコネクタが確実にかみ合うように奥までしっかり差し込みます。

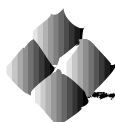
②ネジ2本を締めて固定します。




ポイント

正しく取り付けられているかどうかは、ステータスシートを印刷して確認できます。

☞本書「ステータスシートの印刷」187ページ

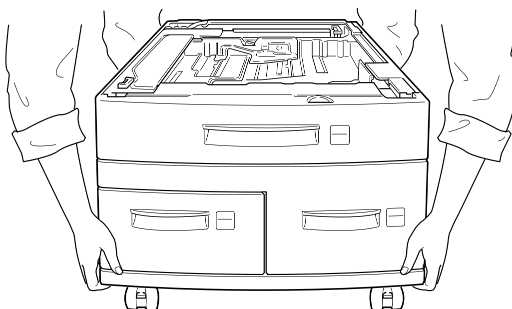


大容量給紙ユニットの取り付け

大容量給紙ユニット（LPDU1）の取り付け方法を説明します。

1. **プリンタの電源がオフ(○)になっていることを確かめます。**
電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続していない状態で作業します。

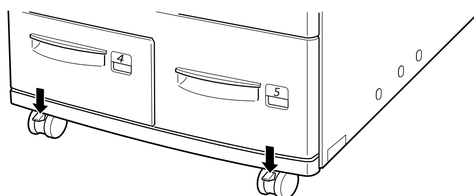
2. **大容量給紙ユニットを開梱して、箱から取り出します。**





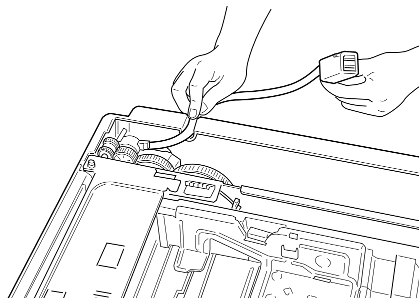
大容量給紙ユニットは約35kgと重いので、必ず2人で持ち上げて作業してください。

3. **大容量給紙ユニット底部のキャスターに付いているレバーを押し下げて、キャスターをロックします。**

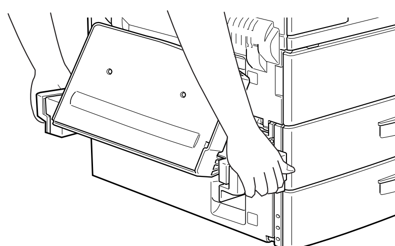


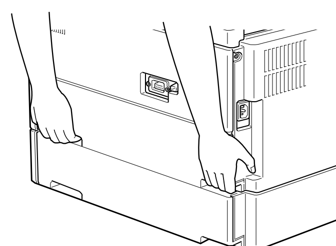
大容量給紙ユニットを押して移動するときは、レバーを上げてキャスターのロックを解除します。

4. **大容量給紙ユニットのケーブルを、背面の凹部分（フック）に通します。**



5 プリンタを 2 人で持ち上げます。


左側

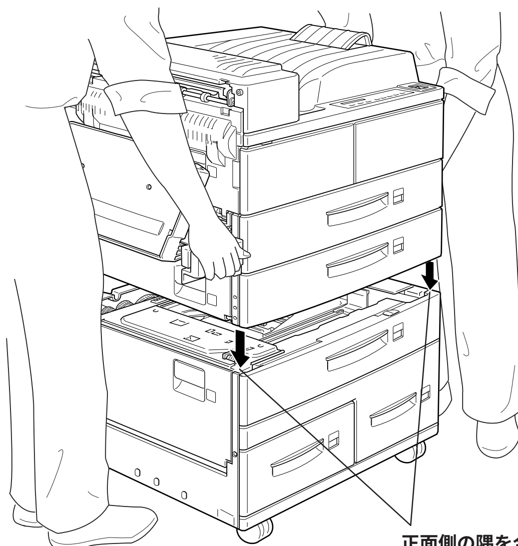

右側



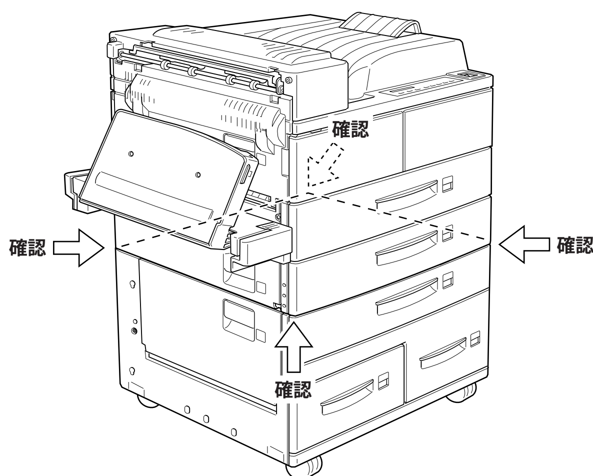
- プリンタは約45kgと重いので、必ず2人で持ち上げて作業してください。
- 図のように手でプリンタを持ち上げる位置が決まっています。所定の位置に手を添えて、プリンタを持ち上げてください。

6 四隅が重なり合うようにして、プリンタを大容量給紙ユニットの上に載せます。

ケーブルを挟まないように注意して、プリンタをしっかり大容量給紙ユニットの上に載せます。



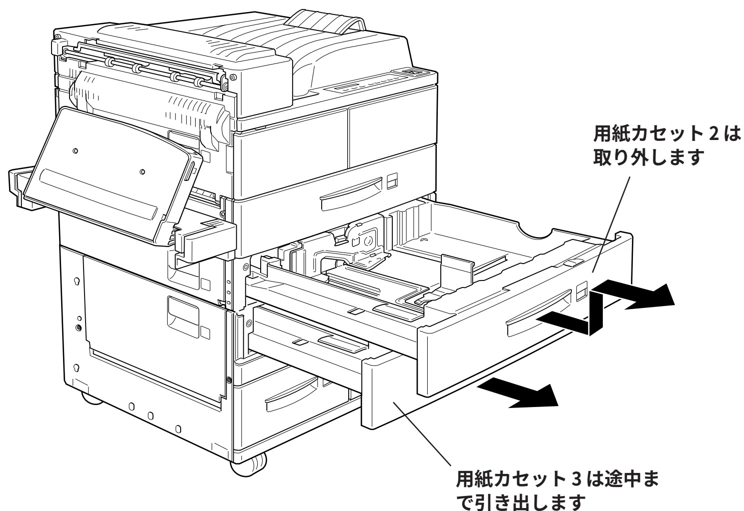
7 プリンタと大容量給紙ユニットの四隅が揃っていることを確認します。



8 プリンタ本体の用紙カセット 2 を取り外し、大容量給紙ユニットの用紙カセット 3 を引き出します。

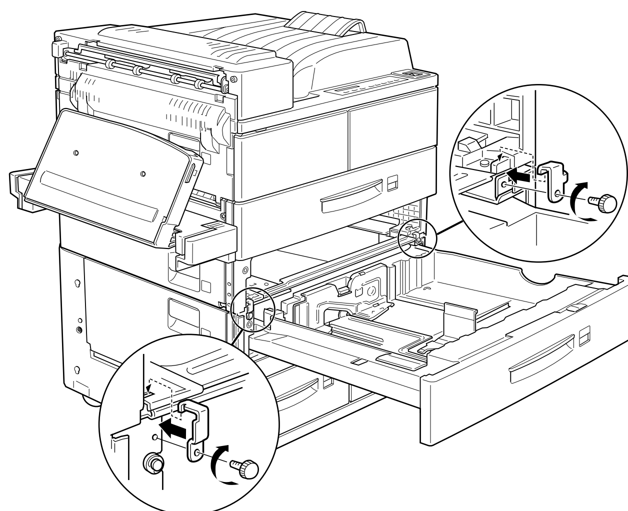
①用紙カセット2は一番手前に引き出し、カセット先端を少し持ち上げるようにして取り外します。

②用紙カセット3は左右の接続箇所が見えるように引き出すだけで、取り外す必要はありません。



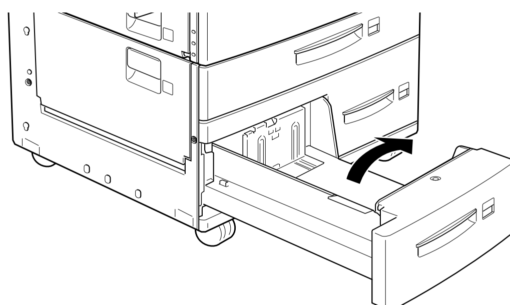
9 **付属の接続用金具２個を左右に取り付け、付属の止めネジを締めて固定します。**

接続用金具は、左右の形状が違います。下図を参照して正しい接続用金具を取り付けます。

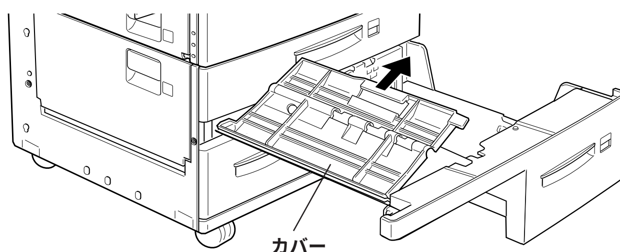


10 **用紙カセット 3 を押し込んで元の位置に戻してから、用紙カセット 2 を元の位置に取り付けます。**

11 **用紙カセット 4 を引き出して、保護材（ダンボール紙）を取り外します。**



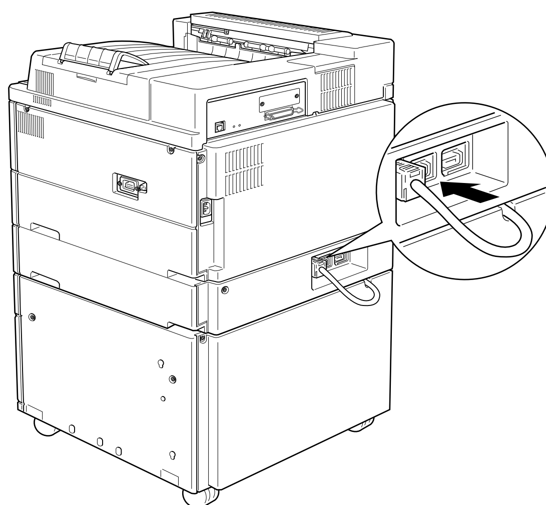
12 **用紙カセット5を引き出し、内部のカバーを開けて、保護材（段ボール紙）を取り外します。**



13 **用紙カセット5の内部カバーを閉じてから、用紙カセット4と5を押し込んで、元の位置に戻します。**

14 **大容量給紙ユニットのケーブルを、プリンタ背面のコネクタに接続します。**

大容量給紙ユニット用のコネクタは、向かって一番左のコネクタです。




ポイント

正しく取り付けられているかどうかは、ステータスシートを印刷して確認できます。

☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ

15 **装着したオプションをプリンタドライバ上で設定します(Windowsのみ)。**

- 装着しただけではそのオプションを使えません。プリンタドライバでの設定が必要です。
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ
- Macintosh では設定の必要はありません。

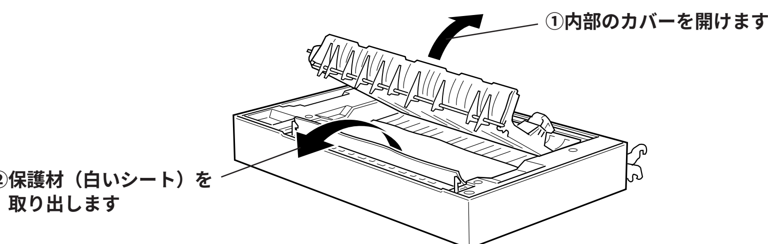


両面印刷ユニットの取り付け

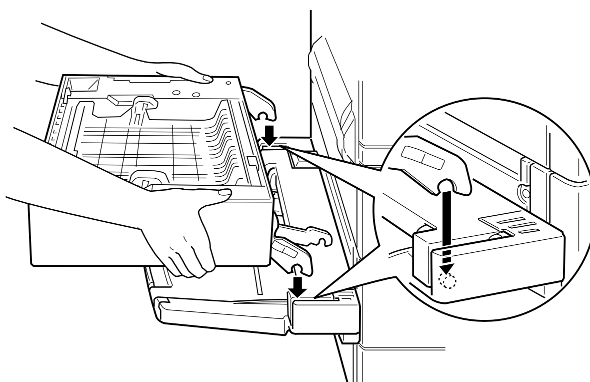
両面印刷ユニット（LPDSP2）の取り付け方法を説明します。

1 **プリンタの電源がオフ(○)になっていることを確かめます。**
電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続していない状態で作業します。

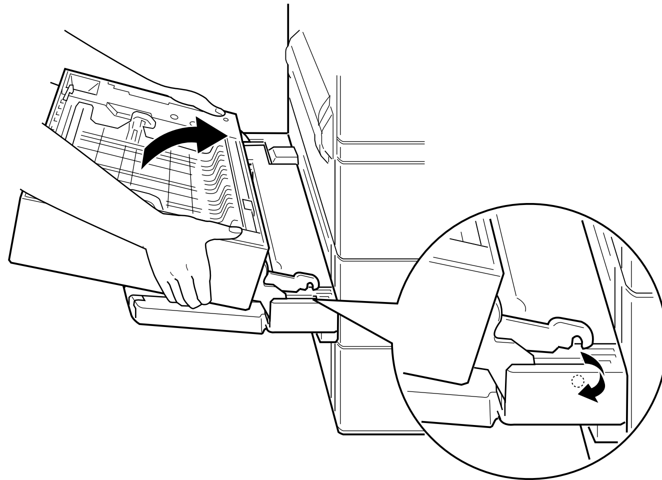
2 **両面印刷ユニットを箱から取り出して、保護材を取り外します。**
両面印刷ユニットを平らな場所に置き、下図のように内部のカバーを開けて、保護材（白いシート）を取り出します。



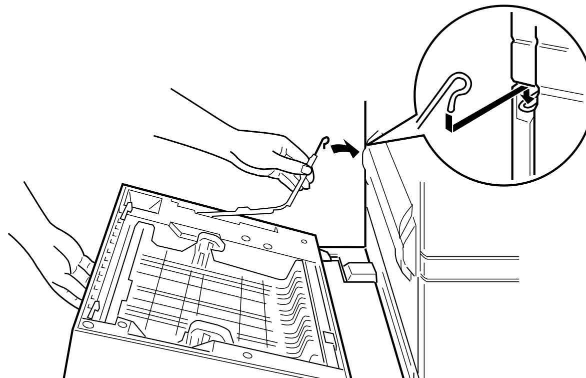
3 **両面印刷ユニットを用紙トレイに取り付けます。**
① 両面印刷ユニットを下図のように水平な状態で支え、まっすぐ下に下げて、左右先端のフックを用紙トレイ左右のスロットに差し込み、スロットの中のロッド（棒）にかみ合わせます。



②両面印刷ユニットの右側にはもう１つフックがあります。両面印刷ユニットをプリンタ側に少し回転して持ち上げ、このフックも用紙トレイ右側の下図の位置にあるロッドに引っ掛けます。

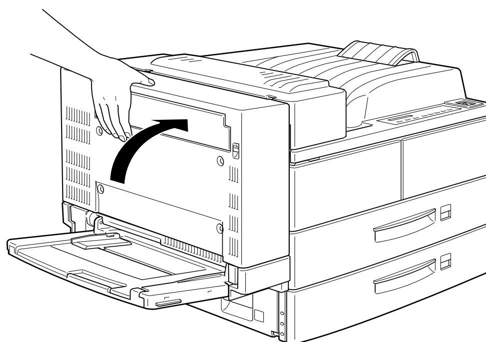


4 **両面印刷ユニット左側のストラップをプリンタのスロットに引っ掛けます。**



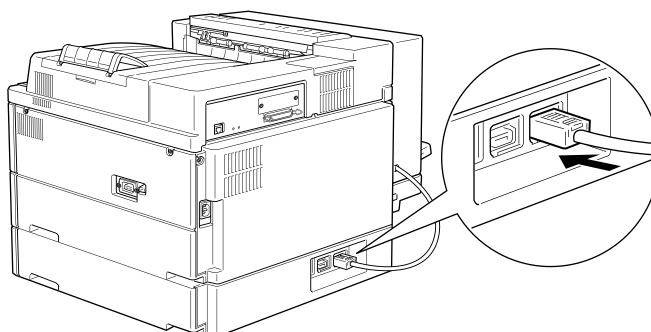
5 **両面印刷ユニットを閉じます。**

両面印刷ユニットを矢印の向きに起こして、カチッと音がするまでプリンタに押さえ付けます。



6 **両面印刷ユニットのケーブルを、プリンタ背面のコネクタに接続します。**

両面印刷ユニット用のコネクタは、向かって一番右のコネクタです。




ポイント

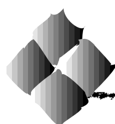
正しく取り付けられているかどうかは、ステータスシートを印刷して確認できます。
☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ

7 **装着したオプションをプリンタドライバ上で設定します(Windowsのみ)。**

- 装着しただけではそのオプションを使えません。プリンタドライバでの設定が必要です。
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ
- Macintosh では設定の必要はありません。

8 **両面印刷するための設定をプリンタドライバ（Windows/Macintosh）または操作パネル（DOS）から行います。**

設定手順の詳細については、以下のページを参照してください。
☞本書「両面印刷ユニット（オプション）」46 ページ



フェイスアップトレイの取り付け

フェイスアップトレイ（LPA3FUT1）の取り付け方法を説明します。両面印刷ユニットを取り付けている場合と、取り付けていない場合とで、取り付け方法が異なります。プラスドライバを使用しますので、あらかじめご用意ください。


ポイント

フェイスアップトレイの梱包箱には、フェイスアップトレイ本体の他、取り付け用の金具が同梱されています。プリンタ本体にオプションの両面印刷ユニットを取り付けている場合と取り付けていない場合とで、使用する金具が異なるため、以下の説明に従って正しい金具を使用してください。

プリンタに直接取り付ける

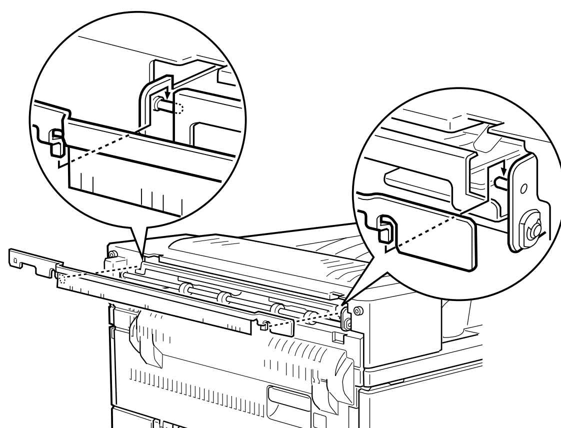
両面印刷ユニットを使用しない場合は、フェイスアップトレイをプリンタに直接取り付けます。

1. **プリンタの電源がオフ(○)になっていることを確かめます。**
   電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続していない状態で作業します。

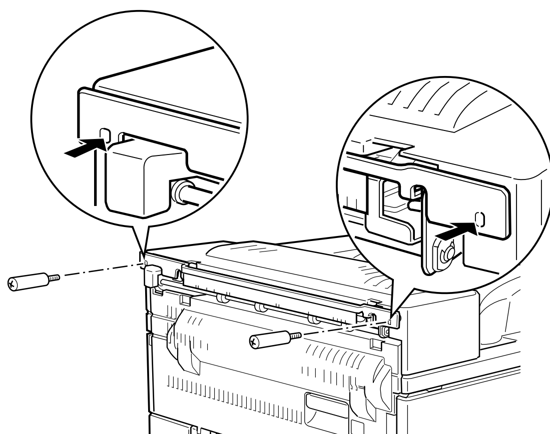
2. **金属プレートをプリンタに取り付けます。**


注 意

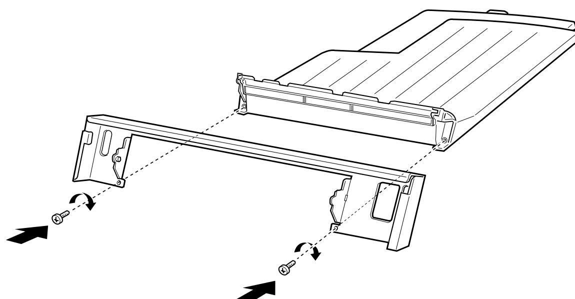
金属プレートに付いている細長いフィルムを取り外したり、破損しないように注意してください。このフィルムは、排紙される用紙から静電気を取り除くためのものです。



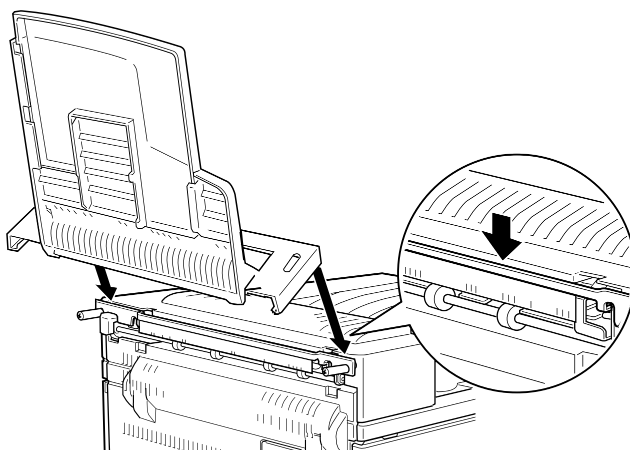
3 付属の長細いネジで金属プレートをプリンタに固定します。



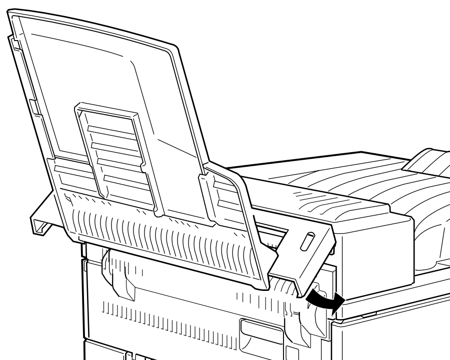
4 付属の止めネジでフェイスアップトレイをフレームに固定します。



5 フレームを金属プレートに引っ掛けます。



6 **フェイスアップトレイ全体を下げて、フレームをプリンタに取り付けます。**



7 **装着したオプションをプリンタドライバ上で設定します(Windowsのみ)。**

- 装着しただけではそのオプションを使えません。プリンタドライバでの設定が必要です。
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ
- Macintosh では設定の必要はありません。

8 **フェイスアップトレイに排紙するための設定を、操作パネルとプリンタドライバで行います。**

設定手順の詳細は以下のページを参照してください。
☞本書「フェイスアップトレイ（オプション)」45 ページ

両面印刷ユニットに取り付ける

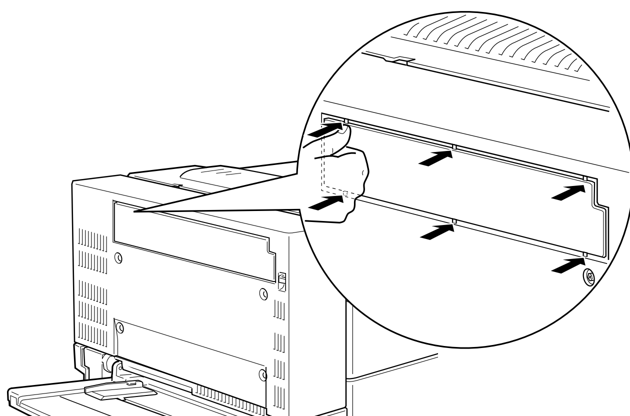
両面印刷ユニットを使用するときは、フェイスアップトレイを両面印刷ユニットに取り付けます。


ポイント

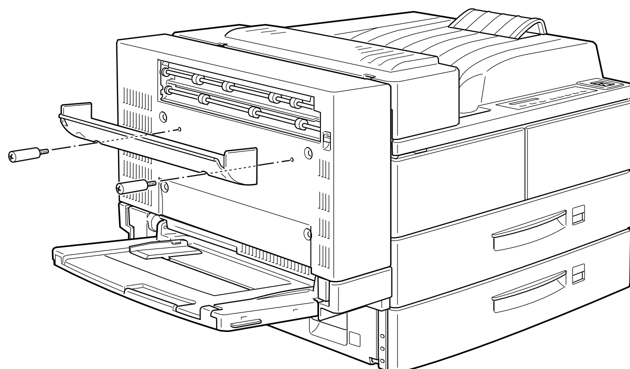
フェイスアップトレイをプリンタに直接取り付けるための金属プレートは使用しません。すでに取り付けている場合は、止めネジを外して金属プレートを取り外してください。

1. **プリンタの電源がオフ(○)になっていることを確かめます。**
電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続していない状態で作業します。

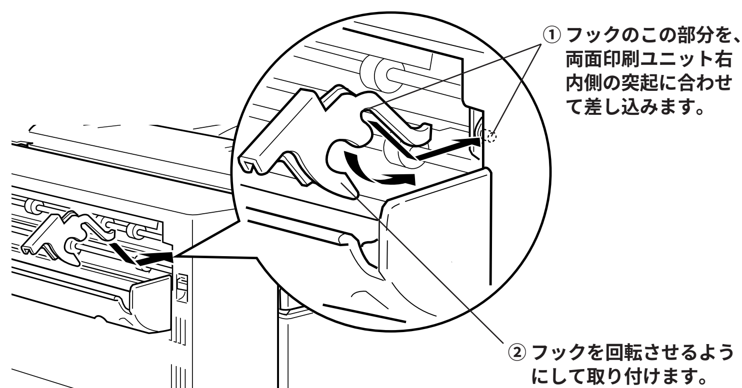
2. **両面印刷ユニットからプレートを切り離します。**
プレートを固定している 6 箇所の接続部を指で強く押して、接続部をすべて切り離します。突起が残らないように、きれいに切り取ります。



3. **付属の長細いネジでカバーを両面印刷ユニットに固定します。**

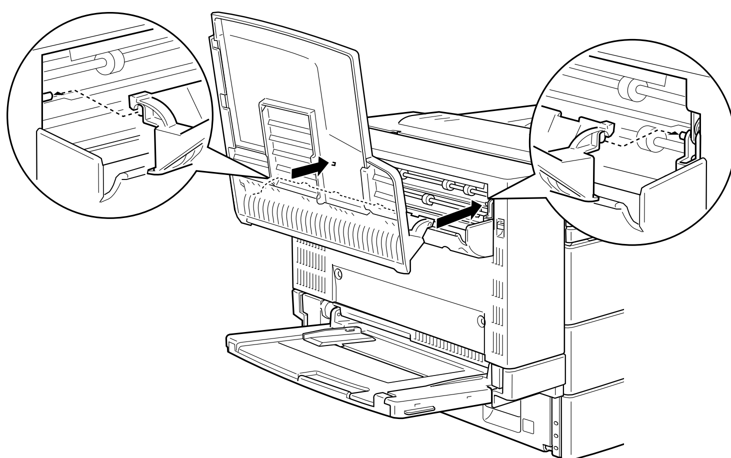


4 付属のフックを両面印刷ユニットの右内側に取り付けます。

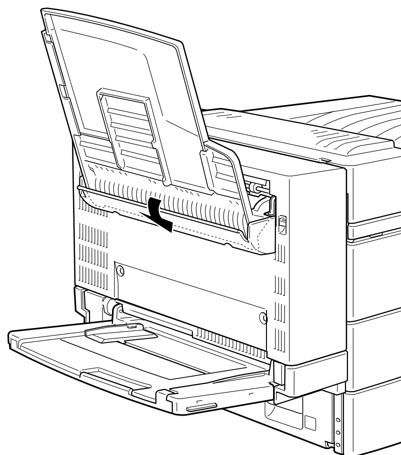


5 フェイスアップトレイを両面印刷ユニットに取り付けます。

フェイスアップトレイ左右両側の凹部分（フック）を、両面印刷ユニット内部の突起部に引っ掛けます。



6 **フェイスアップトレイ全体を下げます。**



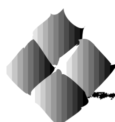
7 **装着したオプションをプリンタドライバ上で設定します(Windowsのみ)。**

- 装着しただけではそのオプションを使えません。プリンタドライバでの設定が必要です。
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ
- Macintosh では設定の必要はありません。

8 **フェイスアップトレイに排紙するための設定を、操作パネルとプリンタドライバで行います。**

設定手順の詳細は以下のページを参照してください。

☞本書「フェイスアップトレイ（オプション）」45 ページ



10ビンマルチビンユニットの取り付け

10 ビンマルチビンユニット（LP10BMU1）の取り付け方法を説明します。なお、10 ビンマルチビンユニットを取り付ける前に、大容量給紙ユニットを取り付けてください。

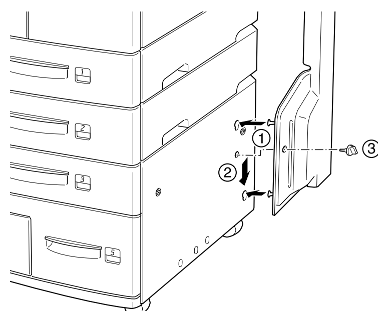
☞本書「大容量給紙ユニットの取り付け」212 ページ


ポイント

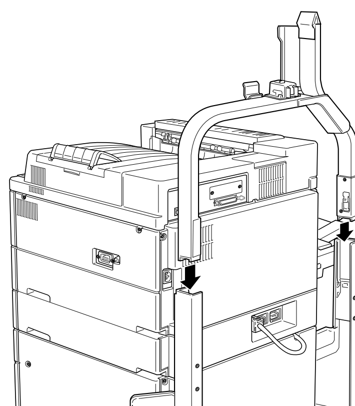
10 ビンマルチビンユニットは、ステープルスタッカ（LPST1）と同時に装着することはできません。

1 **プリンタの電源がオフ(○)になっていることを確かめます。**
電源ケーブルとインターフェイスケーブルを接続していない状態で作業します。

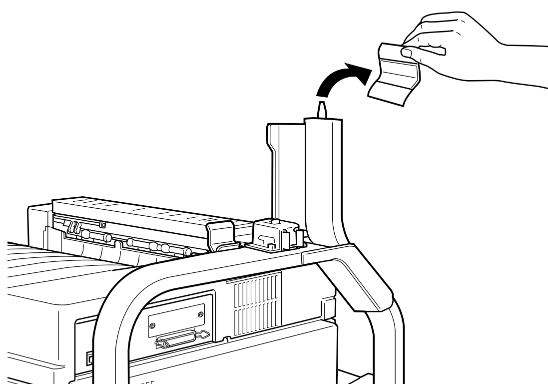
2 **左右のサイドブラケットを大容量給紙ユニットに取り付けます。**
下図を参考にして、左右のサイドブラケットをまちがえないようにして取り付けます。
①サイドブラケットの 2 本のピンを大容量給紙ユニットの穴 2 箇所に差し込みます。
②ブラケット全体を下ろして仮止めします。
③付属の止めネジで固定します。



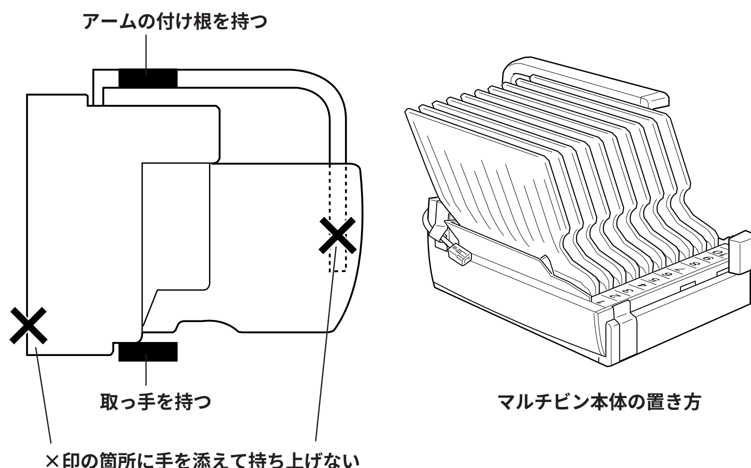
3 **上ブラケットを左右のサイドブラケットに取り付けます。**
上ブラケットの左右両端をサイドブラケットに均等に差し込み、カチッと音がするまで押さえ込みます。
必ず下図の方向でセットしてください。



4 上ブラケット先端の保護材（ダンボール紙）を取り外します。



5 マルチビン本体のアームの付け根と反対側の取っ手部分に手を添えて持ち上げ、箱から取り出します。



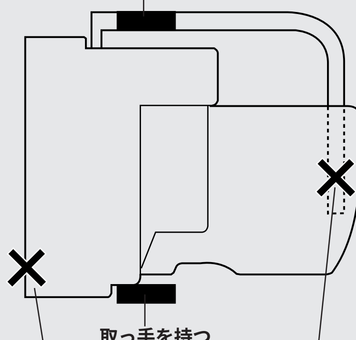


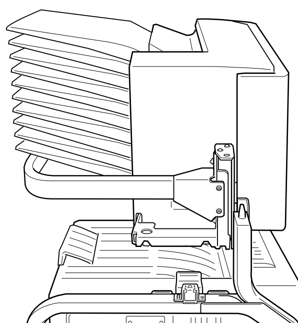
- 左上の図で×印を付けた箇所に手を添えて持ち上げないでください。マルチビン本体が破損するおそれがあります。
- マルチビン本体を一時的に机や床の上におく場合は、右上の図のようにトレイを上に向けて置きます。それ以外の方法で置くと、マルチビン本体が破損するおそれがあります。

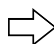
6 マルチビン本体の支柱を上ブラケットの先端部に揃え、ゆっくりと水平を保ちながら先端のピン部分まで下ろします。

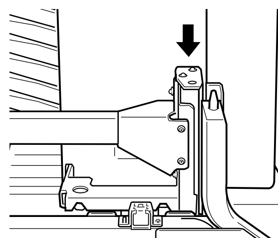


マルチビン本体を持ち上げる場合、下図を参照して、必ず取っ手の部分とアームの付け根の部分を持ってください。他の部分を持って持ち上げると、マルチビン本体を破損するおそれがあります。特に下図の×印の部分は持たないよう注意してください。

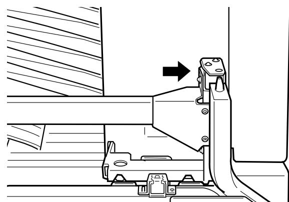


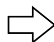


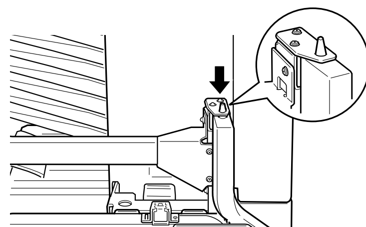




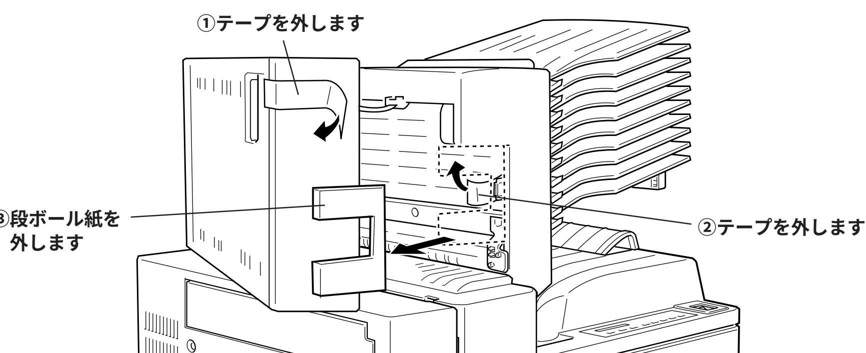
7 マルチビン本体を水平方向に移動し、支柱上端の穴を上ブラケット先端のピンにしっかりはめ込みます。







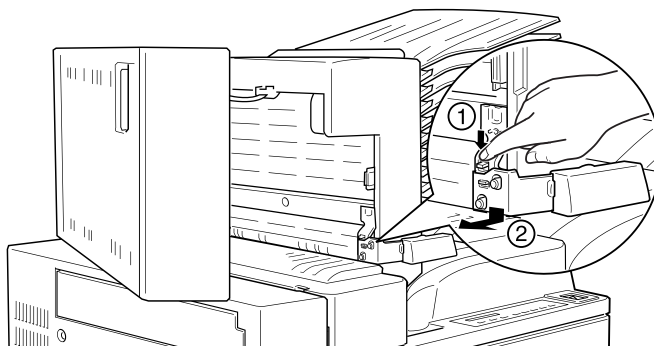
8 マルチビン本体の横カバーを開け、保護材（テープ、段ボール紙）を取り外します。



9 マルチビン本体から取っ手を取り外します。

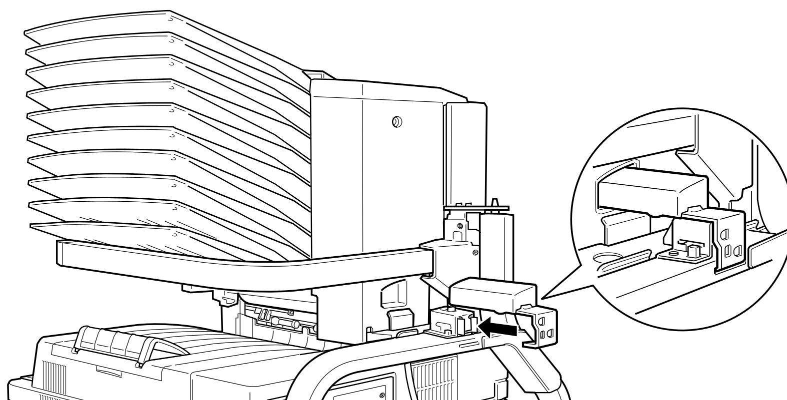
①マルチビン内部にある取っ手の取り付けボタンを押し下げます。

②取っ手を下にずらして取り外します。



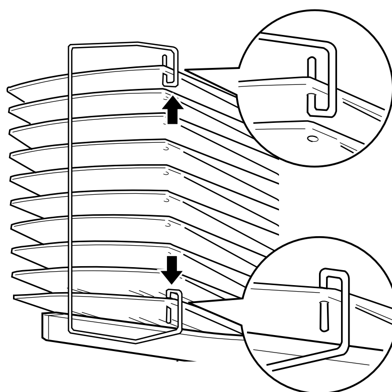
10 **9 で取り外した取っ手を、マルチビン本体の反対側に取り付けます。**

取っ手のコの字部分を上ブラケットのアーム上端にあるスロットに差し込み、取っ手先端部がマルチビン本体の凹部分にはまり込んでカチッと音がするまで押し込みます。



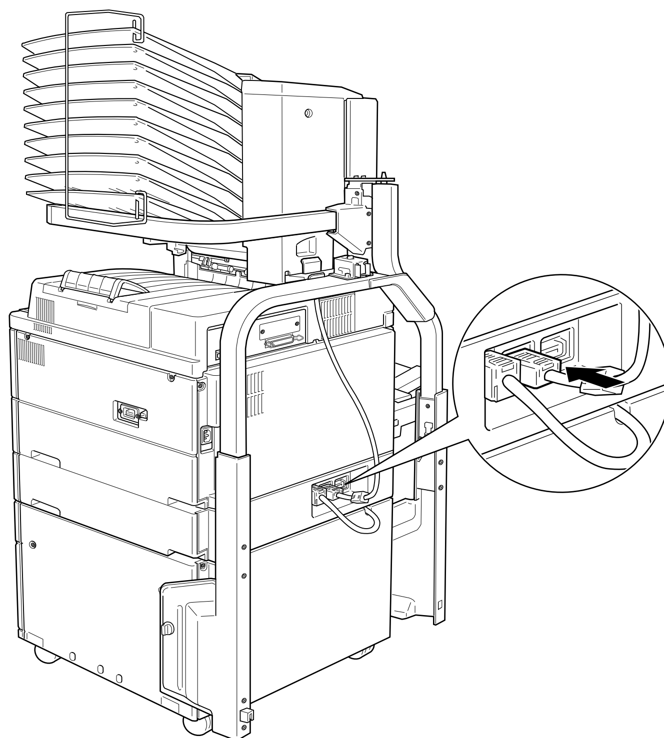
11 **マルチビン本体のトレイにシートストッパを取り付けます。**

シートストッパの両端を、一番上と一番下のトレイに開いている穴に差し込みます。



12 10ビンマルチビンユニットのケーブルを、プリンタ背面のコネクタに接続します。

10ビンマルチビンユニット用のコネクタは、向かって右から2番目（中央）のコネクタです。




ポイント

正しく取り付けられているかどうかは、ステータスシートを印刷して確認できます。

☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ

13 装着したオプションをプリンタドライバ上で設定します（Windowsのみ）。

- 装着しただけではそのオプションを使えません。プリンタドライバでの設定が必要です。
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ
- Macintosh では設定の必要はありません。

14 **10 ビンマルチビンユニットの動作モードを設定します。**

10 ビンマルチビンユニットには、次の 4 つの動作モードがあり、出荷時はメールボックスモードに設定されています。

- メールボックスモード（出荷時設定）
- ソーターモード
- マルチソーターモード（プリンタに128MB以上のメモリを増設あるいはオプションのハードディスクユニット装着時のみ使用可）
- 大容量（スタッカ）モード

各動作モードの詳細は以下のページを参照してください。

☞本書「10 ビンマルチビンユニット（オプション）」34 ページ

動作モードの設定は、操作パネルとプリンタドライバで行います。
設定手順の詳細は以下のページを参照してください。

☞本書「10 ビンマルチビンユニットの動作モードの設定」39 ページ



ステープルスタッカの取り付け

ステープルスタッカ（LPST1）の取り付け方法を説明します。なお、ステープルスタッカを取り付ける前に、大容量給紙ユニットを取り付けてください。
☞本書「大容量給紙ユニットの取り付け」212 ページ

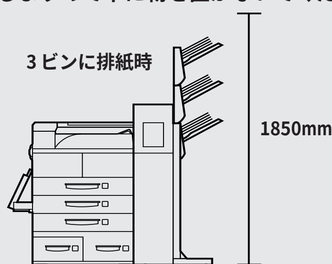


注意

ステープルスタッカのビン側を押すと倒れる危険があります。取り付け時や移動時には注意してください。

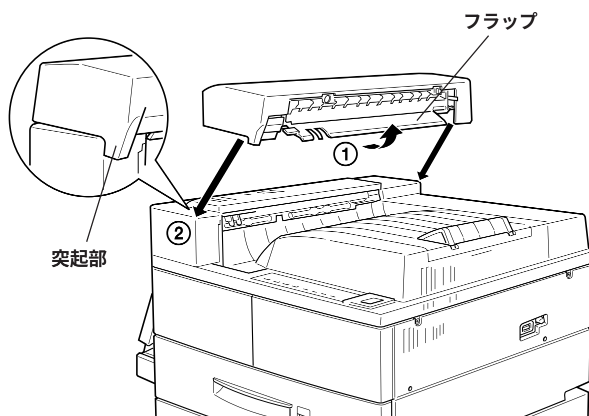
ポイント

- **ステープルスタッカは、10ビンマルチビンユニットと同時に装着することはできません。**
- **ステープルスタッカのビンは排紙動作中に上昇するため、上部に十分なスペースが必要となります。**
  またビンは下降しますので下に物を置かないでください。

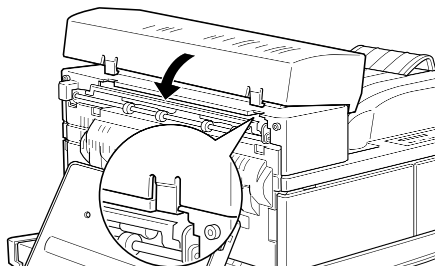


1 **プリンタの電源がオフ(○)になっていること、プリンタ本体のキャスタがロックされていることを確かめます。**

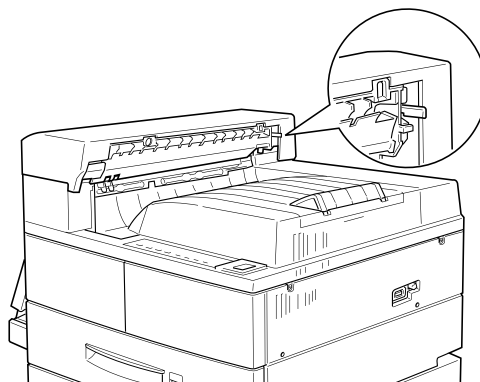
2 **カバーユニットのフラップを上げてからカバーユニットをプリンタ左側の排紙部に載せます。カバーユニット手前の突起部がプリンタの接続部にかみあっていることを確認します。**



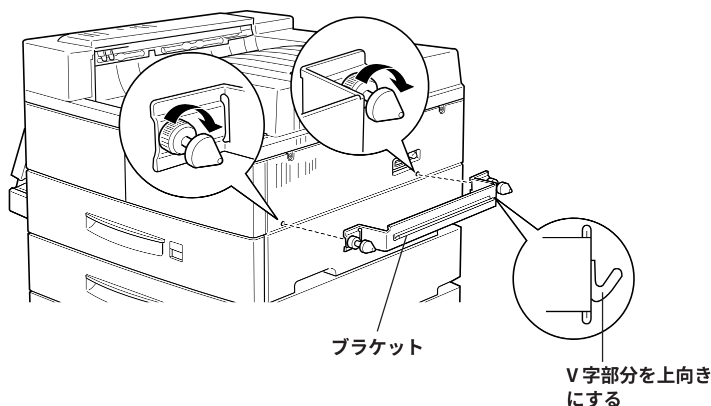
3 カバーユニット後ろ側のタブ2つとプリンタ側の接続部2箇所を合わせて、ゆっくりカバーユニットを押し付けてタブを接続部にはめ込みます。



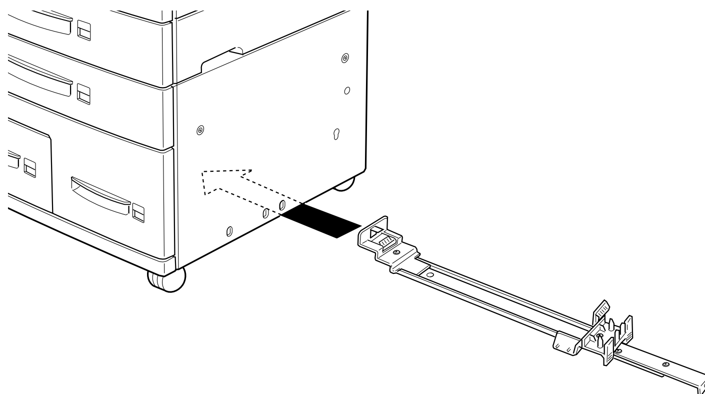
4 カバーユニット奥側のスイッチが外に飛び出して、床と平行になっていることを確かめます。



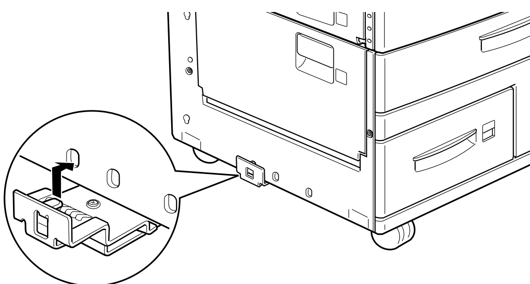
5 ブラケットのV字部分が上を向くように持ちます。ブラケットをプリンタの右側面に取り付け、付属のネジ2箇所で固定します。



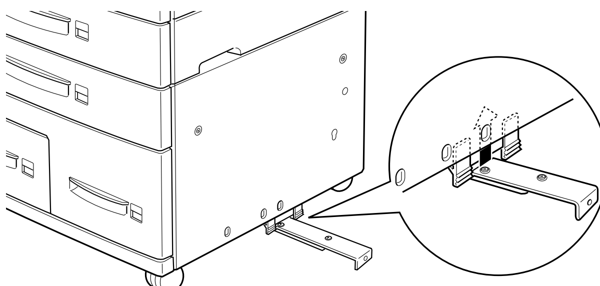
6 **ガイドレールをプリンタの下中央に、右側からまっすぐ差し込みます。**
ガイドレールがプリンタの前面と平行になっているか確かめます。



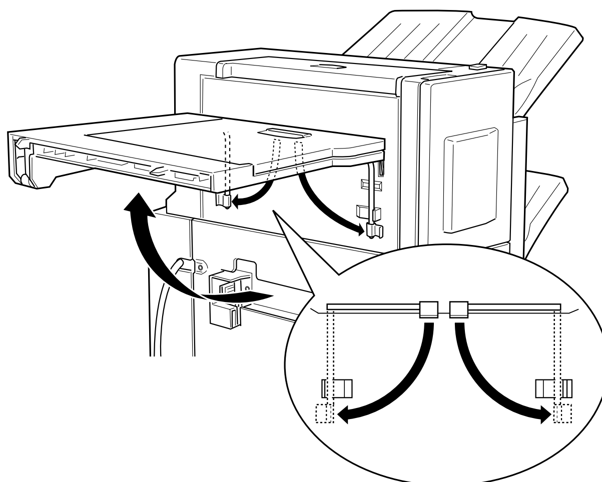
7 **ガイドレール左先端にあるブラケットを、プリンタ左側にある手前から 3 つ目の穴に合わせてはめ込みます。**



8 **ガイドレール右側のブラケットを、プリンタ右側にある手前から 3 つ目の穴に合わせて、上に引き上げて固定します。**



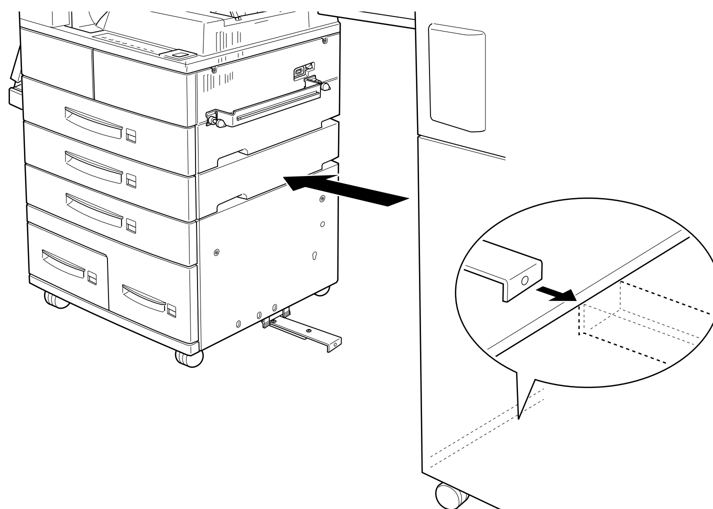
9 ステープルスタッカの用紙搬送部を床と水平に保ち、搬送部底の足を広げて、ステープルスタッカ側面の固定部に押さえ付けて固定します。




注 意

- 用紙搬送部を上から押し付けないでください。
- 上に物を載せないでください。

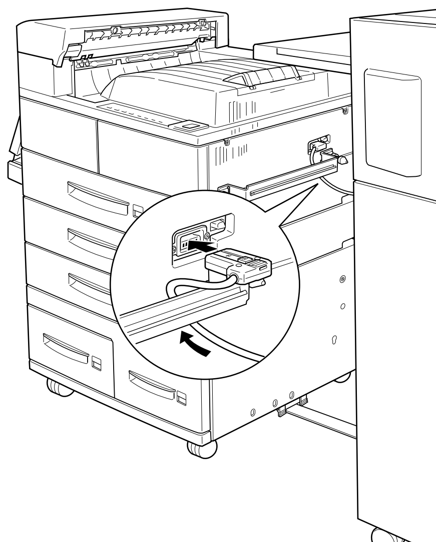
10 ステープルスタッカをプリンタに近付けて、電源ケーブルとコネクタケーブルが接続できるようにします。プリンタ底部に取り付けたガイドレールを延ばしてステープルスタッカ底部のガイドレールスロットに差し込みます。




注 意

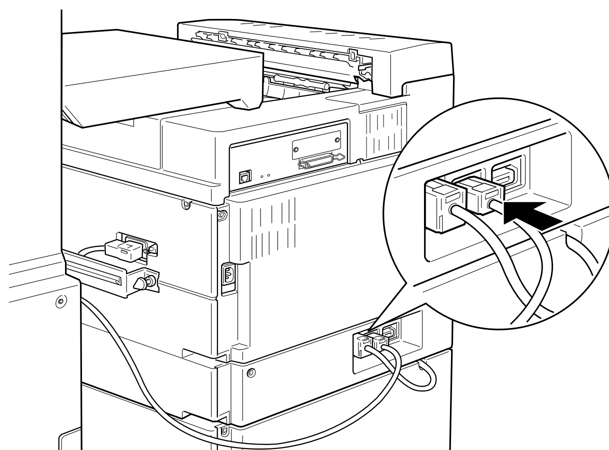
ステープルスタッカは倒れやすいので、ささえながらゆっくりと動かしてプリンタに近付けてください。

11 **ステープルスタッカの電源ケーブルをプリンタ側面に取り付けたブラケットの下を通して、コネクタに接続します。**

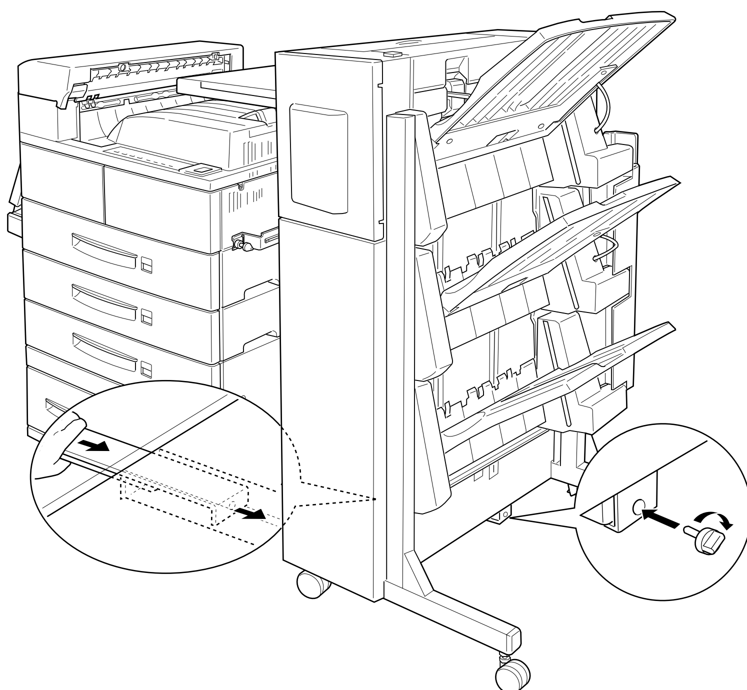


12 **ステープルスタッカのコネクタケーブルをプリンタ背面のコネクタに接続します。**

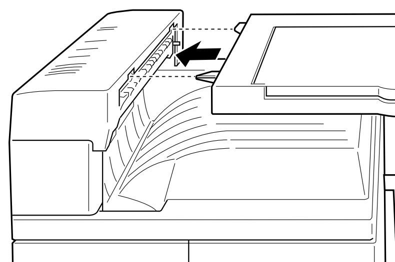
ステープルスタッカ用のコネクタは、向かって右から 2 番目（中央）のコネクタです。



13 プリンタ底部に取り付けたガイドレールをステープルスタッカ底部のガイドレールスロットの奥まで差し込んで、付属のネジで固定します。



14 ステープラスタッカの用紙搬送部の先端にあるピンが、プリンタ上部に取り付けたカバーユニットの穴にはまるようにステープルスタッカを移動します。ステープルスタッカのキャスタをロックします。

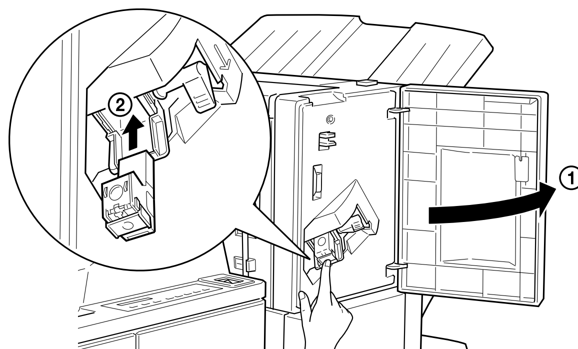




正しく取り付けられているかどうかは、ステータスシートを印刷して確認できます。

15 ステープルスタッカの前カバーを開き、ステープルカートリッジをホルダの奥までしっかり差し込みます。

最後までしっかり差し込むと、右側のレバーが所定の位置に戻って、ステープルカートリッジを固定します。



16 ステープルスタッカの前カバーを閉じます。

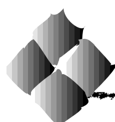
17 装着したオプションをプリンタドライバ上で設定します(Windowsのみ)。

- 装着しただけではそのオプションを使えません。プリンタドライバでの設定が必要です。
  ☞本書「オプション装着後の設定」240 ページ
- Macintosh では設定の必要はありません。

18 ステープルスタッカに排紙するための設定を、プリンタドライバ(Windows/Macintosh)または操作パネル(DOS)から行います。

設定手順の詳細は以下のページを参照してください。

☞本書「ステープルスタッカ(オプション)」41 ページ



オプション装着後の設定

メモリや給紙装置などのオプションを新たに装着した場合、Windows プリンタドライバで装着状況を確認させる必要があります。オプションを装着していない場合は、設定の必要はありません。

Windows95/98/NT4.0 の場合


ポイント

- **WindowsNT4.0 の場合、管理者権限（Administrator）のあるユーザーでログオンする必要があります。**
- **ここでは、Windows98のプロパティ画面を記載しますが、手順は同じです。**

1 **Windows の スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ、［プリンタ］をクリックします。**


ポイント

プリンタとコンピュータとの接続を確認し、プリンタの電源をオンにしてから、次の手順に進んでください。

2 **LP-9600S のアイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックします。**
このときに、プリンタのオプション装着状況の確認を開始します。



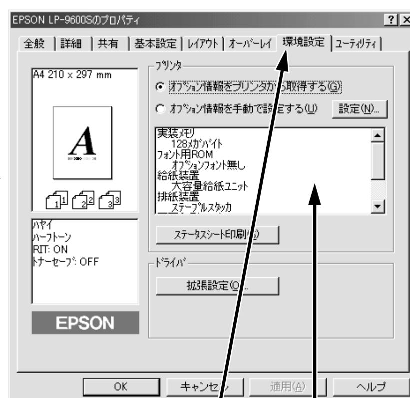
②クリックして　③クリックします　①クリックし


ポイント

通信エラーが発生した場合は、OK ボタンをクリックしてエラーダイアログを閉じてください。手動でオプション情報を設定できます。

3 **［環境設定］タブをクリックし、オプション情報リストを確認します。**

- ［オプション情報をプリンタから取得する］が選択された状態で自動的にオプション情報が取得できれば、装着したオプションをリストに表示します。**6** または **7** へ進みます。
- 装着しているオプションがリストに表示されない場合は、手動でオプション情報を設定します。**4** へ進みます。



①クリックして　②確認します

4 **［オプション情報を手動で設定する］をクリックして、設定ボタンをクリックします。**

［実装オプション設定］ダイアログが開きます。

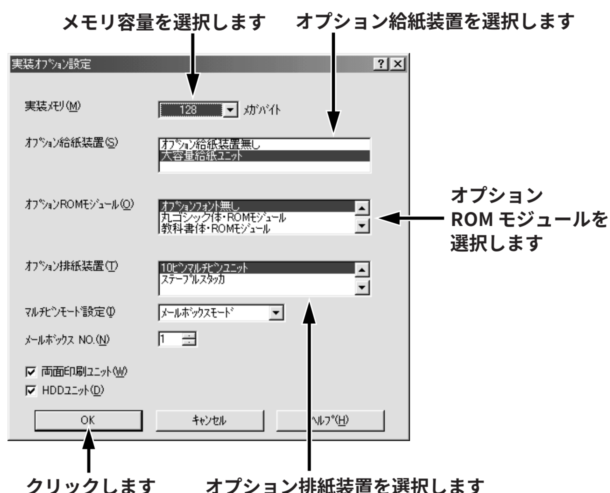


①クリックして　②クリックします

5 装着したオプションを選択して、OK ボタンをクリックします。

- ［実装メモリ］リストから、増設したメモリの容量を含めたプリンタの総メモリ容量を選択します。
- ［オプション給紙装置］リストで、装着したオプション給紙装置名をクリックして選択します。
- ［オプション ROM モジュール］リストで、装着した ROM モジュール名をクリックして選択します。
- ［オプション排紙装置］リストで、装着した排紙装置名をクリックして選択します。［10 ビンマルチビンユニット］を選択した場合は、［マルチビンモード設定］を設定します（［メールボックスモード］を選択した場合は、更に［メールボックス No.］を選択します）。
- 両面印刷ユニットやハードディスクユニットを装着した場合は、［両面印刷ユニット］や［HDD ユニット］をクリックしてチェックマークを付けます。

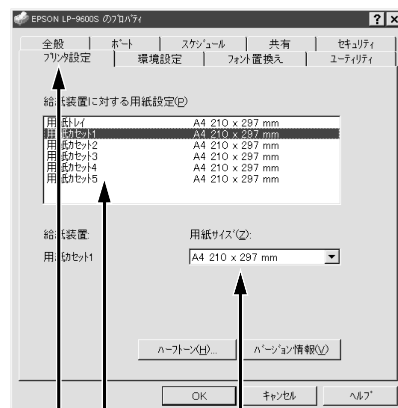
☞本書「［実装オプション設定］ダイアログ」74 ページ



6 **WindowsNT4.0の場合は、［プリンタ設定］タブをクリックし、給紙装置の用紙サイズを設定します。**（Windows95/98の場合、この設定は必要ありません）

［給紙装置に対する用紙設定］リストで給紙装置を選択し、［用紙サイズ］リストからサイズを選択します。

☞本書「［プリンタ設定］ダイアログ」71ページ



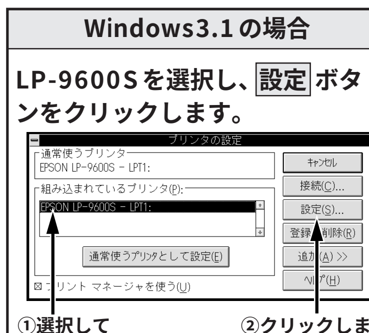
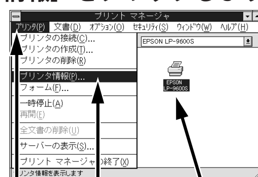
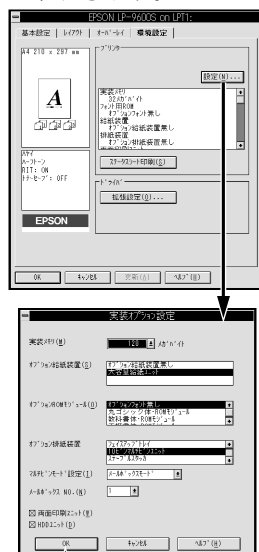
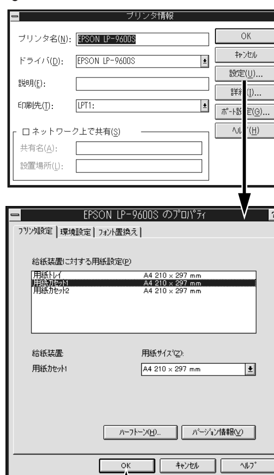
①クリックして　②選択して　③選択します

7 **OK ボタンをクリックしてプリンタのプロパティを閉じます。**

以上でオプションの設定は終了です。

Windows3.1/NT3.51 の場合

1 **メイングループのコントロールパネル内にある［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。**

	Windows3.1 の場合	WindowsNT3.51の場合
2	**LP-9600S を選択し、設定 ボタンをクリックします。** 	**LP-9600Sのアイコンをクリックし、［プリンタ］メニューの［プリンタ情報］をクリックします。** 
3	**［環境設定］タブをクリックして、設定 ボタンをクリックします。各項目を設定し、OK ボタンをクリックします。**  各項目の詳細については、本書「［環境設定］ダイアログ」72ページを参照して設定してください。	**設定 ボタンをクリックします。［プリンタ設定］タブと［環境設定］タブをクリックして、各項目を設定し OK ボタンをクリックします。**  各項目の詳細については、本書「［環境設定］ダイアログ」（72ページ）、「［プリンタ設定］ダイアログ」（71ページ）を参照して設定してください。

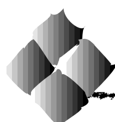
第7章

メンテナンスの仕方

LP-9600S

Maintenance

ここでは、メンテナンス方法について説明しています。



ETカートリッジの交換

ここでは、ET カートリッジの交換方法を説明しています。

ETカートリッジの交換時期

- 1 つの ET カートリッジで約 20,000 枚（A4、画占率 5%）まで印刷できます。ただし、使用状況によりトナー消費量は異なりますので、印刷結果から判断して交換することをお薦めします。
- EPSONプリンタウィンドウ!3ではトナー残量の目安を表示することができます。ただし、あくまで目安ですので印刷結果から判断して交換することをお薦めします。トナーが残り少なくなると交換を促すメッセージが表示されますので、新しいETカートリッジと交換することをお薦めします。印刷がかすれている場合は、ただちに新しいETカートリッジと交換してください。
  ☞ Windows 「EPSON プリンタウィンドウ!3」81 ページ
  Macintosh「EPSON プリンタウィンドウ!3」141 ページ
- 液晶ディスプレイに［トナーガ　ノコリスクナクナリマシタ］と表示された場合は、まだ印刷が可能です。ET カートリッジ交換の必要はありません。ただし、トナー残量は目安ですので、印刷がかすれたり薄くなった場合は、交換してください。
- 液晶ディスプレイに［トナーカートリッジコウカン］と表示された場合も、印刷は可能ですが、印刷結果から判断して交換してください。1 枚印刷するごとにエラーが発生します。

ETカートリッジ交換の注意

本プリンタで使用可能な ET カートリッジは次の通りです。
●型番： LPA3ETC5

- 上記以外の ET カートリッジを本プリンタで使用しないでください。
- 液晶ディスプレイに［トナーカートリッジコウカン］と表示されて交換する場合は、操作パネルをそのままの状態（エラー状態）で交換してください。交換後、エラー解除 スイッチを押すと自動的にトナー残量カウンタがリセットされます。



- **トナーは人体に無害ですが、体や衣服に付着したときはすぐに洗い流してください。**
- **寒い場所から暖かい場所に ET カートリッジを移動した場合は、室温に慣らすため 1 時間以上待ってから作業を行ってください。**


ポイント

- **ETカートリッジのシールドテープを引き抜いてある場合、ETカートリッジを傾けないでください。トナーが漏れて体や衣服に付着する可能性があります。**
- **シールドテープはETカートリッジをプリンタ本体に装着した後に引き抜いてください。**

使用済みの消耗品のお取り扱いについて

資源の有効活用と地球環境保全のために、使用済みの消耗品の回収にご協力ください。使用済みETカートリッジの回収方法については、新しいETカートリッジに添付されておりますご案内シートを参照してください。

やむを得ず、使用済みETカートリッジを処分される場合は、ビニール袋などに入れて、必ず地域の条例や自治体の指示に従って廃棄してください。



使用済みのETカートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。

ETカートリッジの交換方法

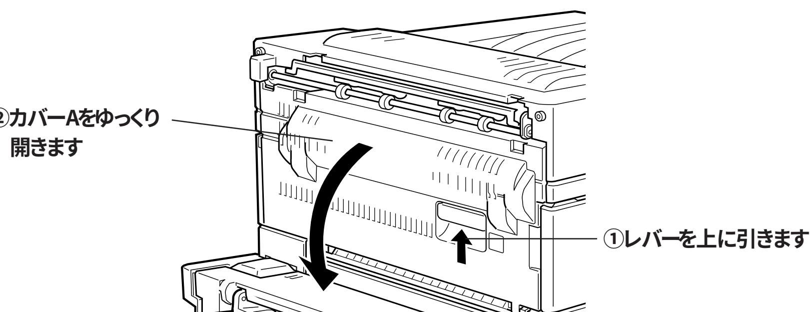
ET カートリッジは、プリンタ左側面のカバー A と、プリンタ正面のフロントカバーを開けて交換します。

カバーAの開き方

オプションの両面印刷ユニットやフェイスアップトレイを装着している場合、カバー A を開く手順が異なります。

両面印刷ユニットやフェイスアップトレイを装着していない場合

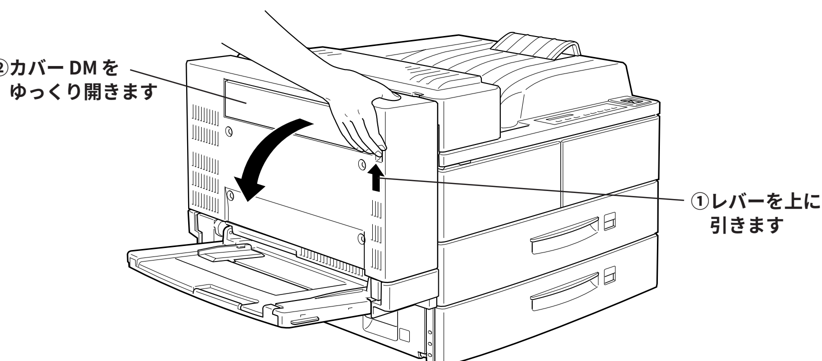
1 **カバー A のレバーを引き、カバー A をゆっくり開きます。**



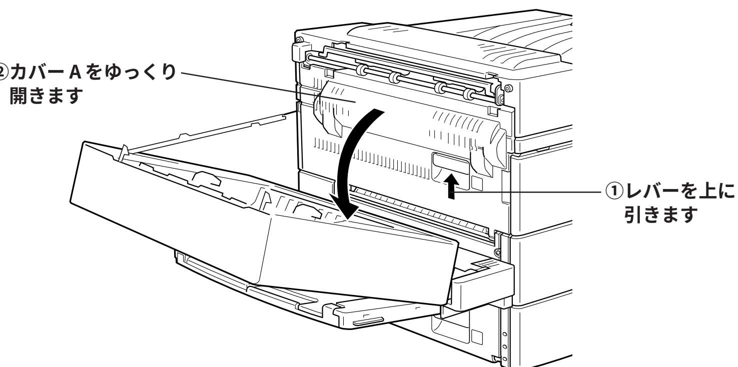
両面印刷ユニットを装着している場合

本プリンタに両面印刷ユニットを装着している場合、カバー A を開く前に、両面印刷ユニットのカバー DM を開きます。

1 **両面印刷ユニットのカバー DM のレバーを引き、カバー DM をゆっくり開きます。**



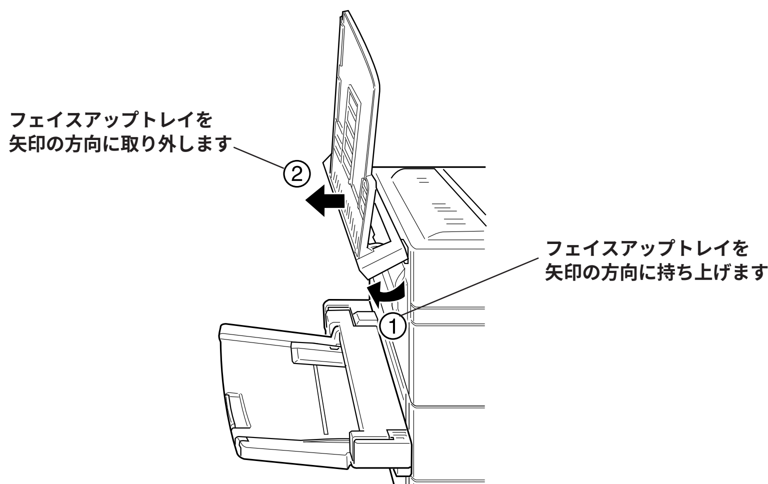
2 **本プリンタ左側面のカバー A のレバーを引き、カバー A をゆっくり開きます。**



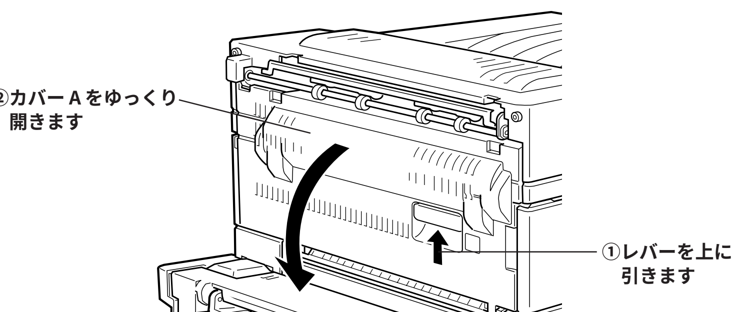
フェイスアップトレイを装着している場合

フェイスアップトレイを装着している場合、カバーAを開く前に、フェイスアップトレイを取り外します。

1 **フェイスアップトレイの用紙を取り除き、フェイスアップトレイを上に持ち上げるようにして、取り外します。**



2 **カバー A のレバーを引き、カバー A をゆっくり開きます。**



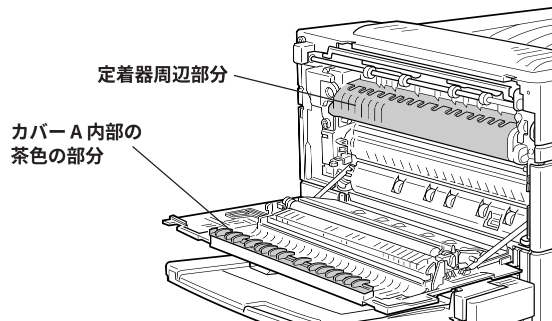
両面印刷ユニットとフェイスアップトレイを装着している場合

両面印刷ユニットとフェイスアップトレイを装着している場合、フェイスアップトレイを取り外す必要はありません。本書「両面印刷ユニットを装着している場合」（249 ページ）と同様にして、カバー A を開きます。

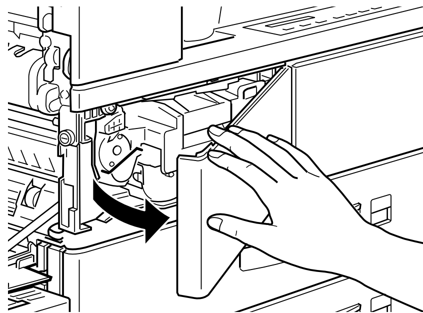
使用済みETカートリッジの取り出し

⚠ 注意

プリンタ内部の定着器やその周辺部分、カバーA内部の下図の部分には絶対に触れないでください。高温のため、火傷の原因となることがあります。

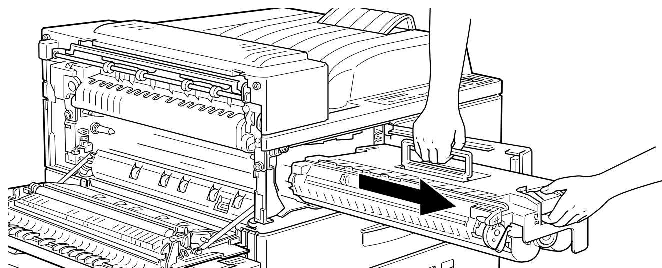


1 **フロントカバーをゆっくり開き、開いた状態で押さえます。**
フロントカバーは、手を離すと閉じる構造になっています。



2 **ETカートリッジ正面のレバーを手前に上げ、手前にゆっくり引き出しながら、ETカートリッジ上面の取っ手を起こして持ちます。**

3 **ETカートリッジ正面のレバーと、上面の取っ手を持ち、ETカートリッジをまっすぐ引き出します。**



> **⚠ 警告**
>
> **使用済みの ET カートリッジは、絶対に火の中に入れないでください。トナーが飛び散って発火し、火傷のおそれがあります。**

使用済みの ET カートリッジの回収にご協力ください。

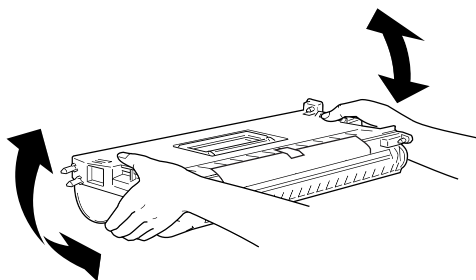
☞本書「使用済みの消耗品のお取り扱いについて」247 ページ

新しいETカートリッジの装着

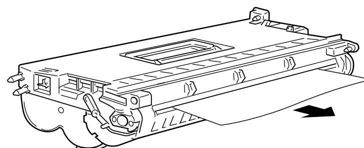


- ETカートリッジのシールドテープを引き抜いてある場合、ETカートリッジを傾けないでください。トナーが漏れて、体や衣服に付着する可能性があります。
- シールドテープは、6 のように、ETカートリッジをプリンタ本体に装着した後に引き抜いてください。

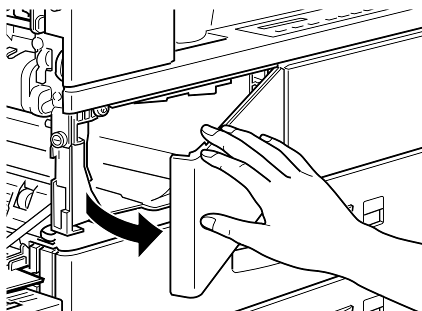
1 **新しい ET カートリッジを梱包から取り出し、図のように傾けて 7 〜 8 回振り、中のトナーを均一にします。**



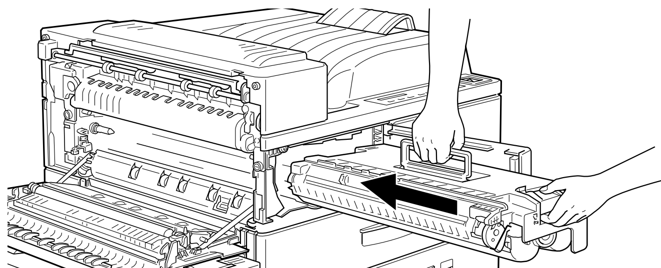
2 **ET カートリッジに貼付されているシートを引いて外します。**



3 **フロントカバーをゆっくり開き、開いた状態で押さえます。**
フロントカバーは、手を離すと閉じる構造になっています。

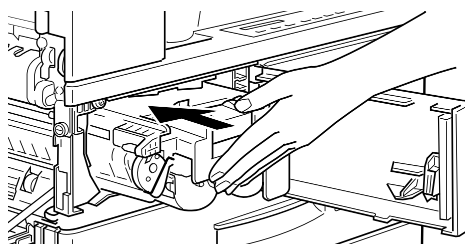


4 **ETカートリッジ正面のレバーと、上面の取っ手を持ち、ETカートリッジを図のようにまっすぐ差し込みます。**

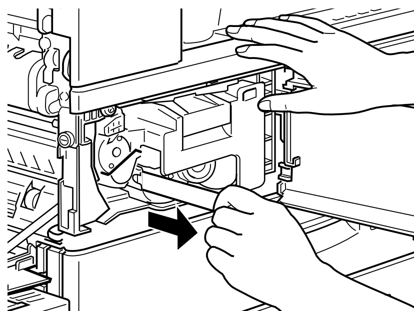


5 **ETカートリッジ上面の取っ手は差し込む途中で折り畳み、正面のレバーの部分を持って、ETカートリッジを差し込みます。**

カチッという手ごたえがあるまで差し込み、確実にセットしてください。

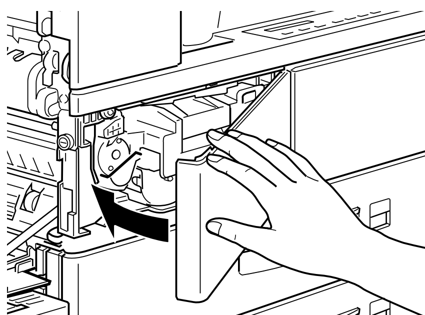


6 **ETカートリッジの図の位置にあるつまみを持ち、まっすぐに引いてシールドテープを抜き取ります。**



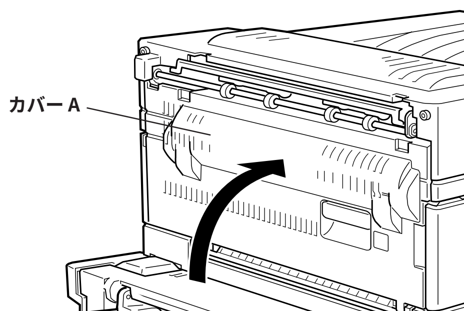
7 **フロントカバーを閉じます。**

フロントカバーは、手を離すと閉じる構造になっています。



8 **プリンタ左側のカバー A を閉じます。**

カバー A が確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。




ポイント

カバーAは、ETカートリッジが正しくセットされていないと閉じることはできません。カバーAを完全に閉じることができないときは、ETカートリッジをセットし直してください。

9 **両面印刷ユニットを装着している場合、両面印刷ユニットのカバー DM も閉じます。フェイスアップトレイを取り外した場合は、フェイスアップトレイを元通り取り付けます。**

プリンタのトナー残量のカウンタは、新しいETカートリッジを取り付けることで自動的にリセットされます。


ポイント

ETカートリッジの入っていた梱包袋は、プリンタの移動や輸送の際、または使用済みのカートリッジを回収する際に必要となります。梱包袋は、次回 ET カートリッジを交換するときまで大切に保管してください。

印刷濃度の調整

ETカートリッジを交換すると、交換前と印刷濃度が変化する場合があります。このような場合、必要に応じてプリンタの操作パネルや、プリンタドライバで印刷濃度を設定してください。


ポイント

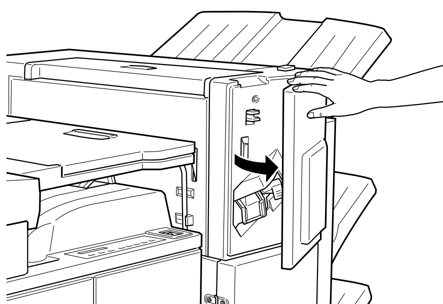
プリンタドライバ上での設定は、そのプリンタドライバを使用して印刷する場合のみ有効になります。プリンタドライバは各オペレーティングシステムごとに異なるため、複数のオペレーティングシステムでプリンタを使用している場合、それぞれのプリンタドライバで設定してください。



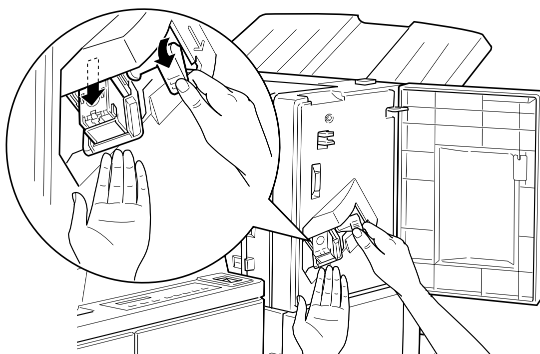
ステープルスタッカ針の交換

ステープルカートリッジの残りステープル（針）数がおよそ40本を切ると、ステープル動作を停止します。以下の手順に従って、ステープルを交換してください。

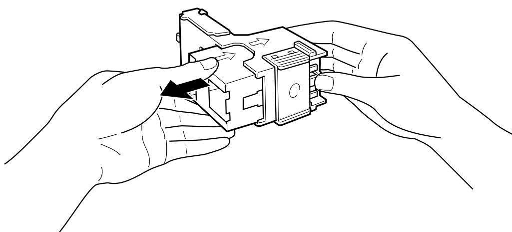
1 **ステープルスタッカの前カバーを開けます。**



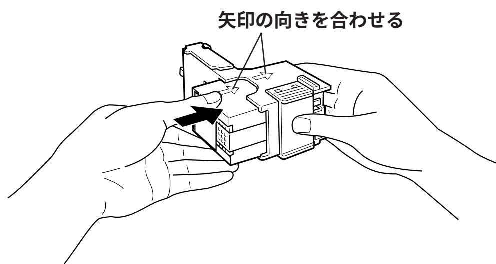
2 **ステープルカートリッジを受け取るためにカートリッジホルダに左手を添え、右手でレバーを押し下げます。**
カートリッジが外れると落ちてきますので、ホルダから引き抜きます。



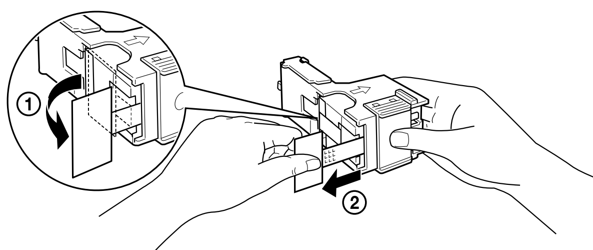
3 **カートリッジから空のステープルホルダを取り外します。**



4 **新しいステープルホルダをステープルカートリッジに取り付けます。**
ステープルホルダとステープルカートリッジの矢印を合わせて差し込みます。



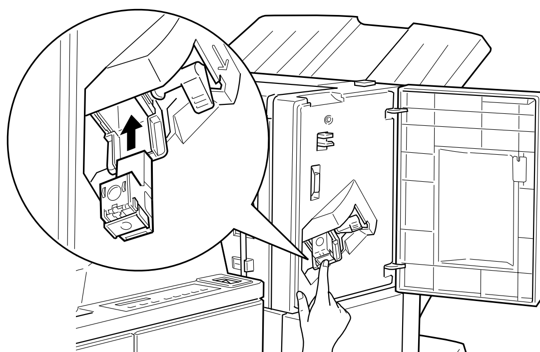
5 **新しいステープルホルダに付いているタブを立ててから引き抜きます。**





ステープルホルダをステープルカートリッジに取り付けてからタブを引き抜いてください。カートリッジに取り付けないままでタブを引き抜くと、ステープル（針）がホルダから抜け落ちます。

6 **ステープルカートリッジをホルダの奥までしっかり差し込みます。**
最後までしっかり差し込むと、右側のレバーが所定の位置に戻って、ステープルカートリッジを固定します。



7 **ステープルスタッカの前カバーを閉じます。**



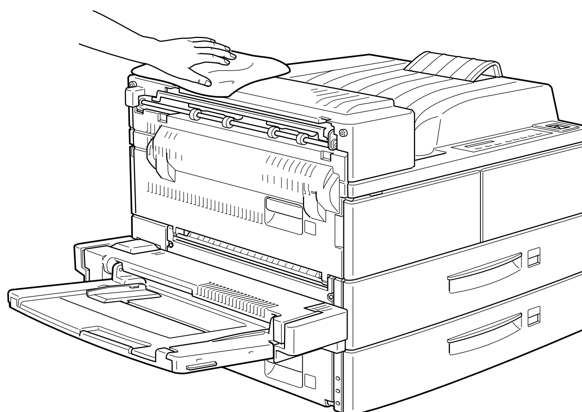
プリンタの清掃

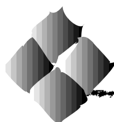
プリンタを良好な状態で使っていただくために、ときどき次のようなお手入れをしてください。



- **プリンタの清掃は、電源スイッチをオフにしてコンセントから電源コードを抜いた後で、行ってください。**
- **ベンジン、シンナー、アルコールなど、揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形するおそれがあります。**
- **プリンタを水に濡らさないよう注意して清掃してください。**
- **固いブラシや布などでケースを拭かないでください。ケースに傷が付くおそれがあります。**

プリンタの表面が汚れたときは、水を含ませて固くしぼった布で、ていねいに拭いてください。





プリンタの運搬



ETカートリッジを取り付けたまま、プリンタを運搬しないでください。トナーがプリンタ内部にこぼれ、印刷品質に影響を与えたり、故障の原因となります。

遠隔地へ輸送する場合

本プリンタを輸送する場合、振動や衝撃からプリンタを守るために、購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。
本プリンタを輸送する場合は、本プリンタをお買い上げになった販売店にご相談ください。

近くへ移動する場合

本プリンタを設置する台を替えたり、隣の部屋へ移動する等、ごく短い距離を移動する場合、次の点に注意してください。

プリンタ本体のみの場合

本プリンタに専用オプションを装着していない場合、プリンタ本体を持ち上げて移動します。詳しくは以下のページを参照してください。
☞セットアップガイド「据え置き作業」7 ページ
この場合、特に次の点に注意してください。

- プリンタの電源をオフにしてください。
- 次の付属品等を取り外してください。
  - 電源ケーブル
  - インターフェイスケーブル
  - 用紙トレイ、用紙カセットの中の用紙
  - ET カートリッジ
- プリンタを持ち上げる際は、必ず2人以上で、プリンタ本体の左右の取っ手に手をかけて持ち上げ、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

大容量給紙ユニット/ステープルスタッカを装着している場合

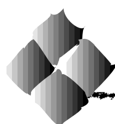
オプションの大容量給紙ユニット/ステープルスタッカにはキャスターが付いているため、持ち上げずに移動することができます。
ただし、プリンタに衝撃を与えないよう、段差のある場所等では移動しないよう注意してください。
また、移動する前にキャスターのロックを必ず解除してください。

第8章

詰まった用紙の取り除き方

LP-9600S
Paper jam

ここでは、詰まった用紙の取り除き方について説明しています。



用紙詰まりのメッセージ

本プリンタで用紙詰まりが発生した場合、どこで用紙が詰まったかを示すメッセージが表示されます。用紙詰まり発生時のメッセージは次の通りです。

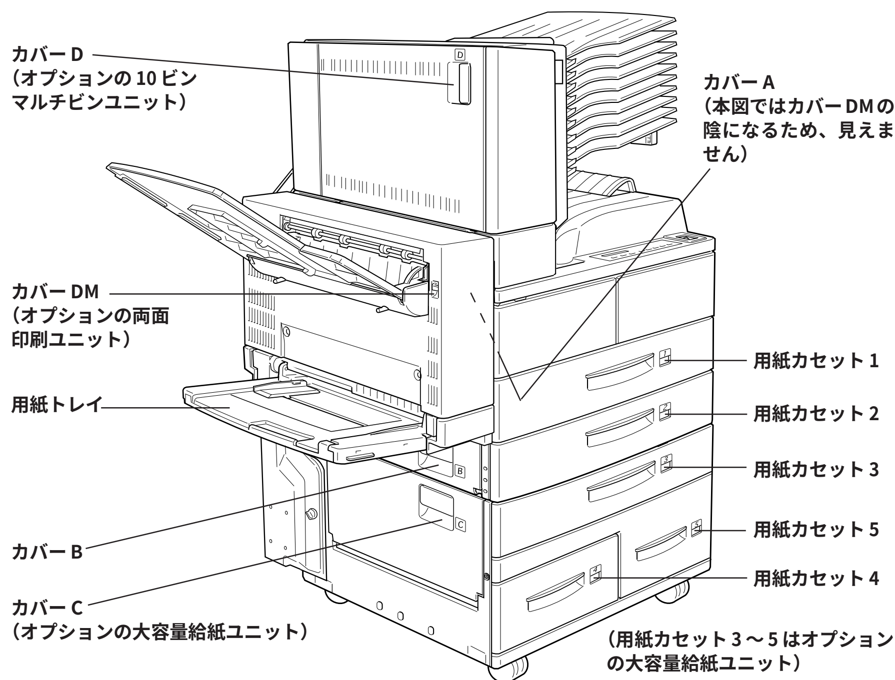
ジャム　XXXX

メッセージのXXXXの部分には、用紙詰まりが発生した箇所が表示されます。用紙詰まりが複数箇所で発生している場合、XXXXの部分には最大4箇所まで表示されます。

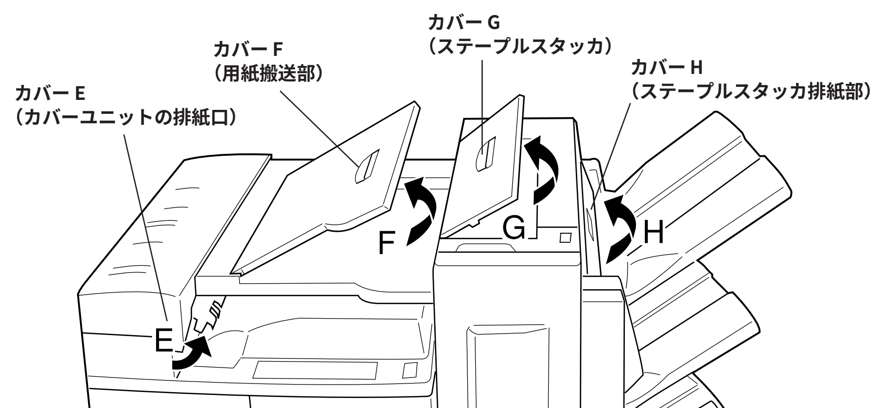
用紙詰まりが発生したときは、メッセージを確認して、どこで用紙が詰まったかを確認し、該当箇所のカバーを開いて詰まった用紙を取り除いてください。
☞本書「詰まった用紙を取り除く」264 ページ

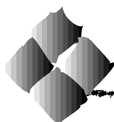
詰まった用紙を取り除き、用紙カセットやカバーを閉じると、用紙詰まりの発生したページの印刷データから、印刷を自動的に再開します。用紙詰まりの発生箇所が複数表示された場合、表示されているすべてのカバーやカセットを開閉することで、用紙詰まりのエラー状態が解除されます。

■オプションの10 ビンマルチビンユニット、両面印刷ユニット、フェイスアップトレイ大容量給紙ユニット装着時



■オプションのステープルスタッカ装着時





詰まった用紙を取り除く

「ジャムA」の場合

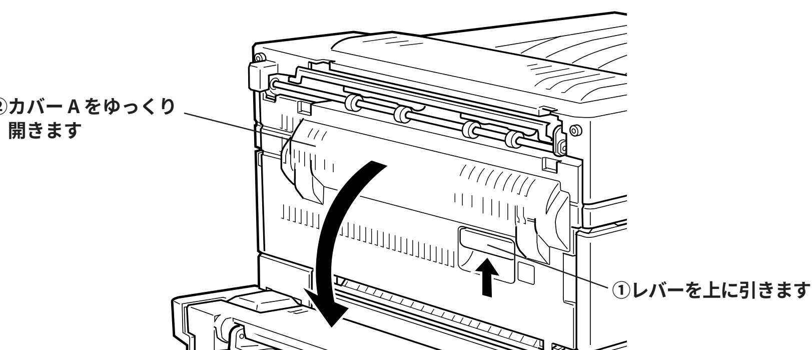
プリンタ左側面のカバー A で用紙詰まりが発生しています。

カバーAの開き方

オプションの両面印刷ユニットやフェイスアップトレイを装着している場合、カバー A を開く手順が異なります。

両面印刷ユニットやフェイスアップトレイを装着していない場合

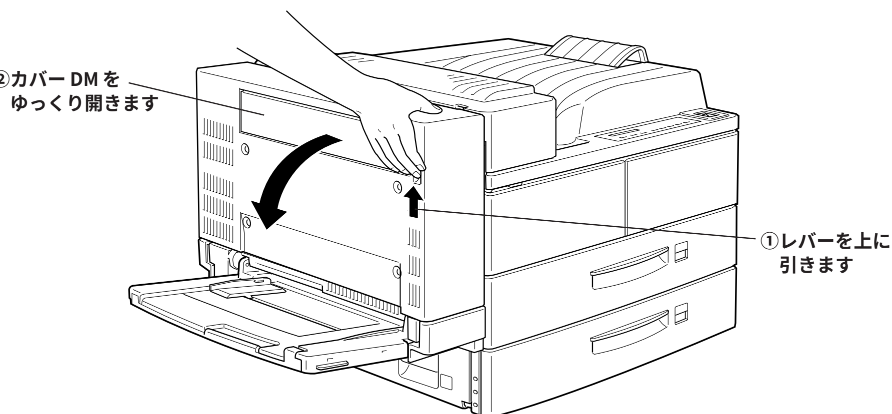
1 カバー A のレバーを引き、カバー A をゆっくり開きます。



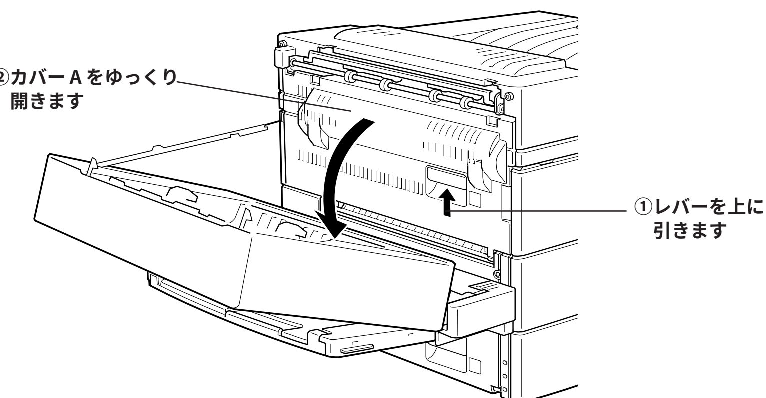
両面印刷ユニットを装着している場合

本プリンタに両面印刷ユニットを装着している場合、カバーAを開く前に、両面印刷ユニットのカバーDMを開きます。

1 **両面印刷ユニットのカバーDMのレバーを引き、カバーDMをゆっくり開きます。**



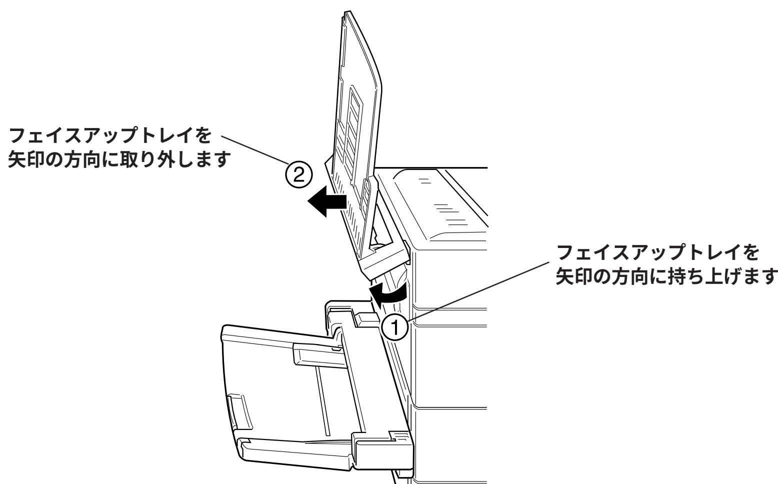
2 **本プリンタ左側面のカバーAのレバーを引き、カバーAをゆっくり開きます。**



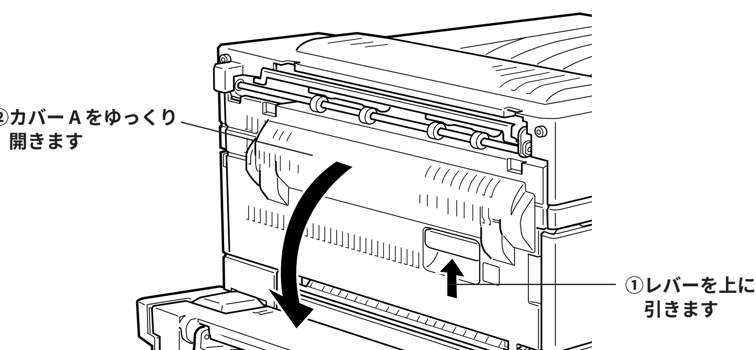
フェイスアップトレイを装着している場合

フェイスアップトレイを装着している場合、カバーAを開く前に、フェイスアップトレイを取り外します。

1 **フェイスアップトレイの用紙を取り除き、フェイスアップトレイを上に持ち上げるようにして、取り外します。**



2 **カバー A のレバーを引き、カバー A をゆっくり開きます。**



両面印刷ユニットとフェイスアップトレイを装着している場合

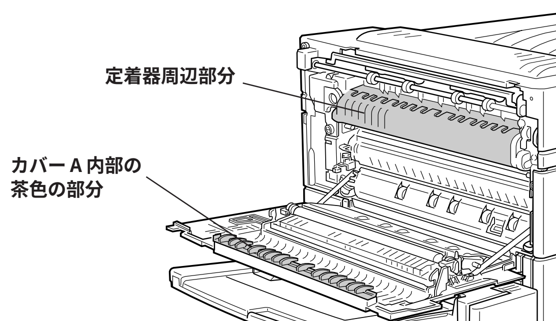
両面印刷ユニットとフェイスアップトレイを装着している場合、フェイスアップトレイを取り外す必要はありません。

本書「両面印刷ユニットを装着している場合」(265ページ) と同様にして、カバー A を開きます。

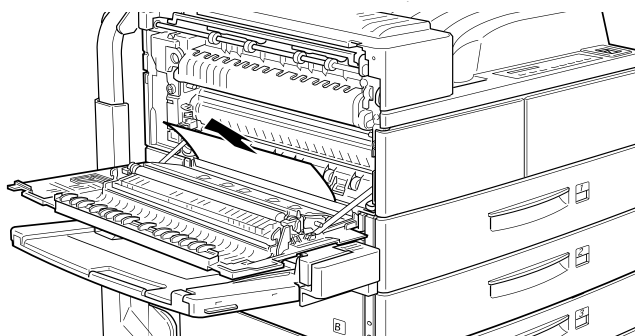
カバーAからの用紙の取り除き方

⚠注意

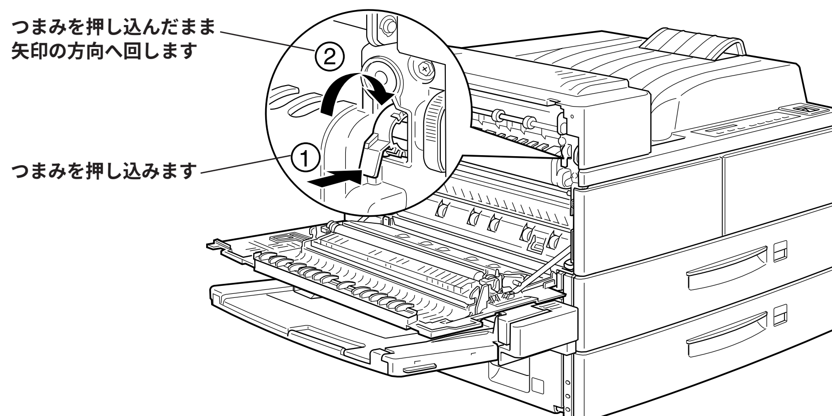
プリンタ内部の定着器やその周辺部分、カバーA内部の下図の部分には絶対に触れないでください。高温のため、火傷の原因となることがあります。



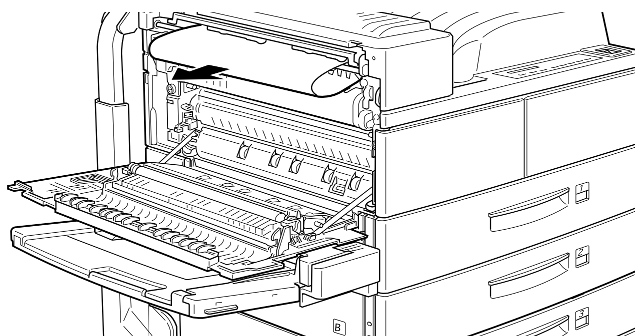
1 カバーAの内部から、詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。



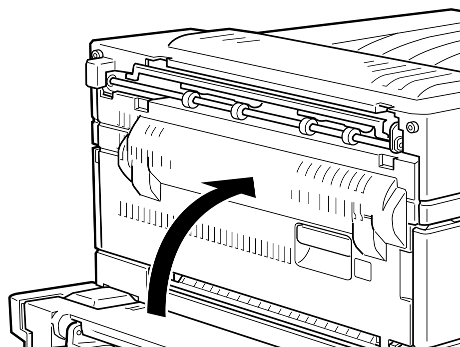
2 プリンタ内部の定着部に用紙が詰まっている場合、図の位置にあるつまみを押し込みながら何回か回し、用紙を送り出します。



3 詰まった用紙が十分送り出されたら､矢印の方向に引いて取り除きます。



4 **カバー A を閉じます。**
カバー A が確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。



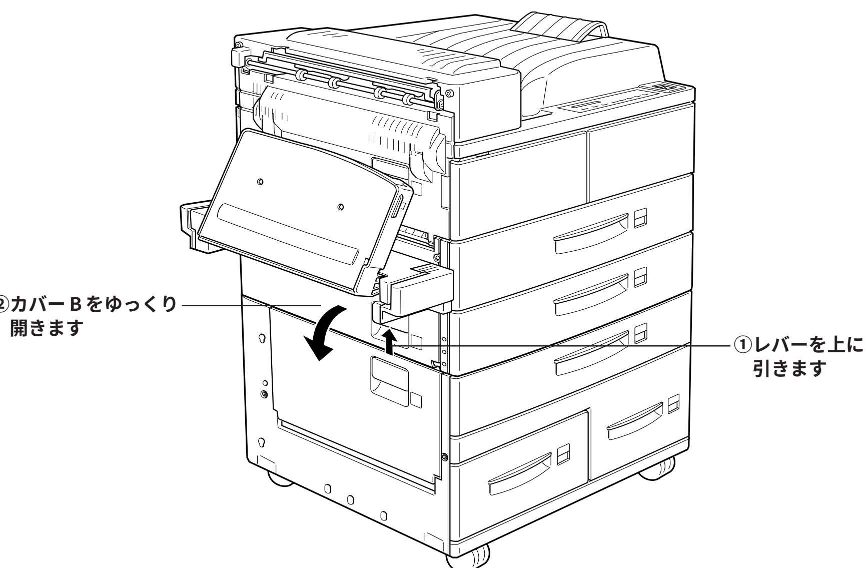
5 **両面印刷ユニットを装着している場合、両面印刷ユニットのカバー D も閉じます。フェイスアップトレイを取り外した場合はフェイスアップトレイを元通り取り付けます。**

「ジャムB」の場合

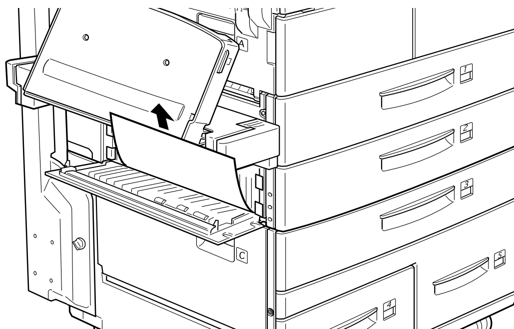
プリンタ左側面のカバー B で用紙詰まりが発生しています。

カバー B からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

1 カバー B のレバーを引き、カバー B をゆっくり開きます。



2 カバー B の内部から、詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。



3 カバー B を閉じます。

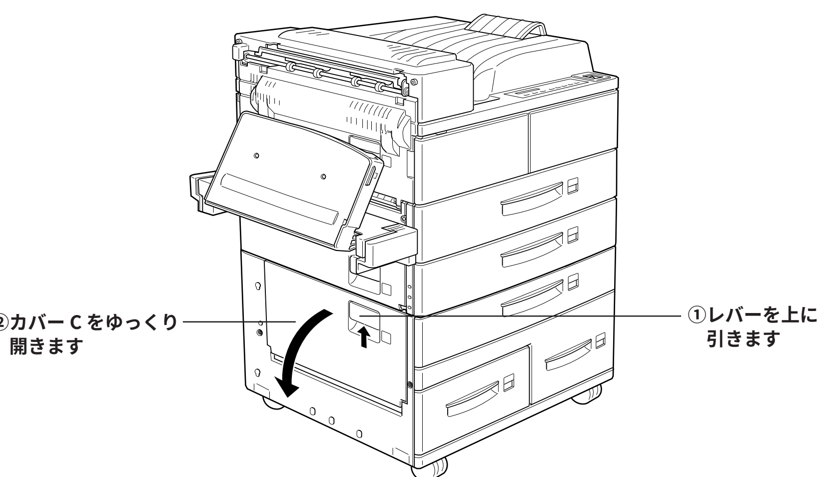
カバー B が確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。

「ジャムC」の場合

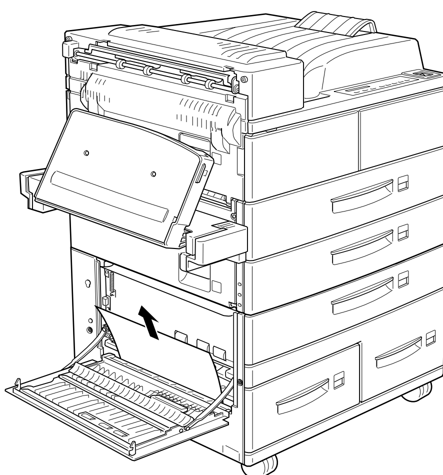
オプションの大容量給紙ユニット左側面のカバーCで用紙詰まりが発生しています。

カバー C からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

1 **大容量給紙ユニット左側面のカバー C のレバーを引き、カバー C をゆっくり開きます。**



2 **カバー C の内部から、詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**



3 **カバー C を閉じます。**

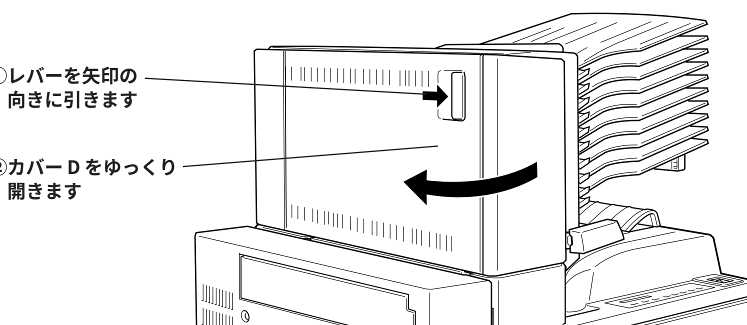
カバー C が確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。

「ジャムD」の場合

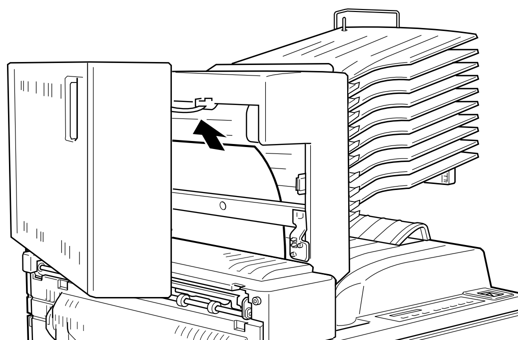
オプションの10ビンマルチビンユニット左側面のカバーDで用紙詰まりが発生しています。

カバーDからの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

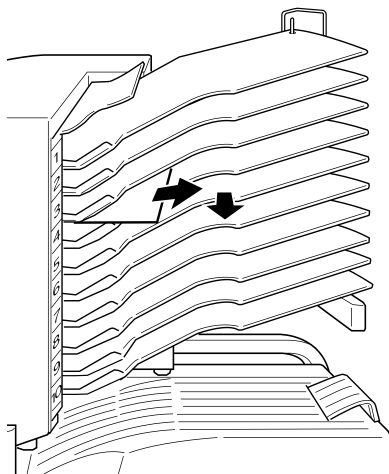
1 **10ビンマルチビンユニット左側面のカバーDのレバーを引き、カバーDをゆっくり開きます。**



2 **カバーDの内部から、詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**



3 **10ビンマルチビンユニットの各ビンを確認し、用紙が詰まっている場合は取り除きます。**



4 **カバー D を閉じます。**

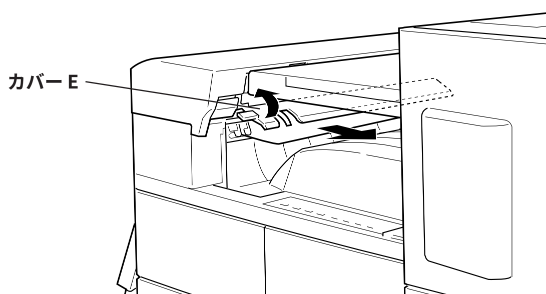
カバー D が確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。

「ジャムE」の場合

オプションのステープルスタッカ左側のカバーユニット排紙部のカバーEで用紙詰まりが発生しています。

カバー E からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

1 排紙口のカバー E を持ち上げたまま、詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。



⚠ 注意

作業中にカバー E を下ろすと指をはさんでけがをするおそれがあります。

2 カバー E が閉じていることを確認します。

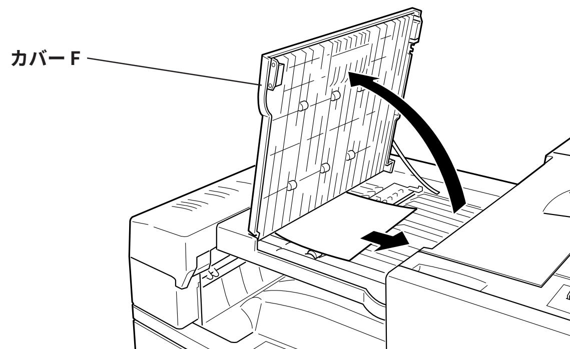
カバー E は手を離すと閉じる構造になっています。

「ジャムF」の場合

オプションのステープルスタッカ中央のカバーFで用紙詰まりが発生しています。

カバー F からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

1 **用紙搬送部のカバーFを開けて、詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。**



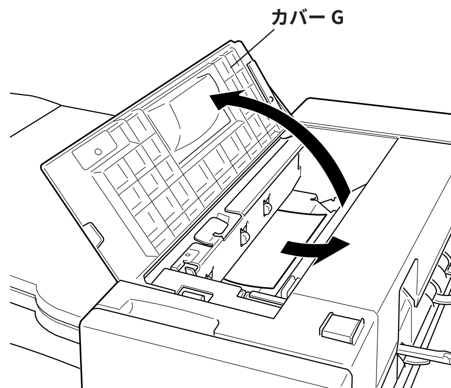
2 **カバー F を閉じます。**

「ジャムG」の場合

オプションのステープルスタッカ本体のカバーGで用紙詰まりが発生しています。

カバー G からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

1 **カバー G を開き、詰まった用紙をゆっくり引き抜きます。**



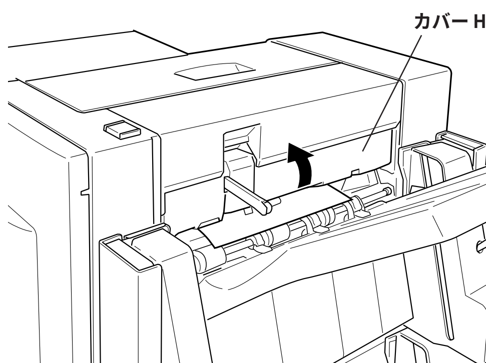
2 **カバー G を閉じます。**

「ジャムH」の場合

オプションのステープルスタッカ本体排紙部のカバーHで用紙詰まりが発生しています。

カバーＨからの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

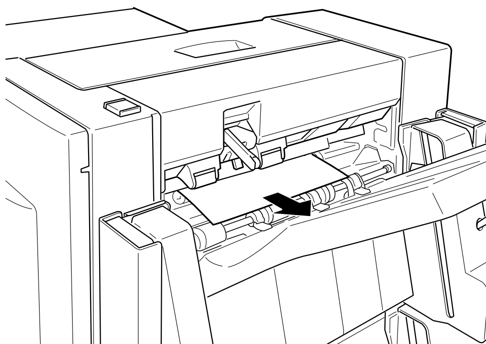
1 **ステープルスタッカ本体の排紙部にあるカバーHを持ち上げて開けます。**



⚠ 注意

作業中にカバーＨを下ろすと指をはさんでけがをするおそれがあります。

2 **カバーHを持ち上げたままで、詰まった用紙をゆっくりと引き抜きます。**



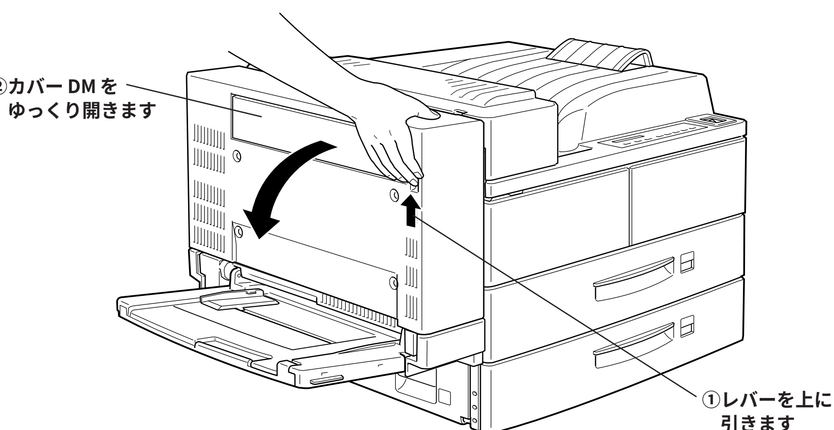
3 **カバーＨが閉じていることを確認します。**
カバーＨは手を離すと閉じる構造になっています。

「ジャムDM」の場合

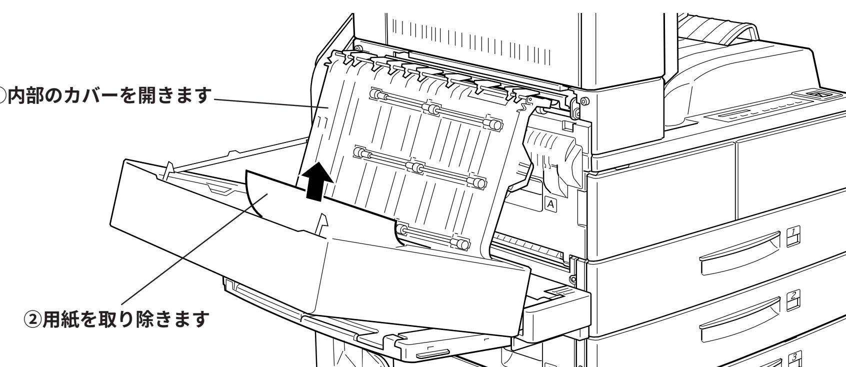
オプションの両面印刷ユニット左側面のカバーDMで用紙詰まりが発生しています。

カバー DM からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

1 両面印刷ユニット左側面のカバー DM のレバーを引き、カバー DM をゆっくり開きます。



2 カバー DM 内部のカバーを開き、詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。



3 内部のカバーを閉じてから、カバー DM を閉じます。
カバー DM が確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。

「ジャム　トレイ」の場合

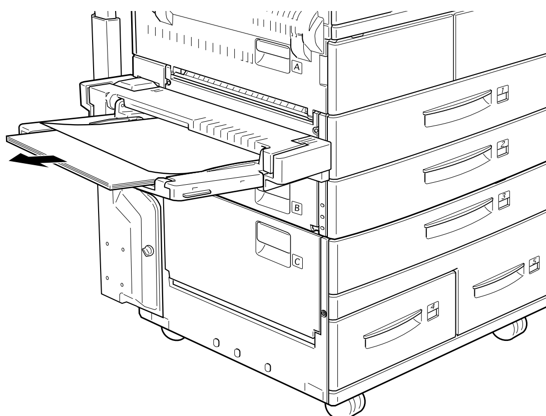
本プリンタに標準装備の用紙トレイで用紙詰まりが発生しています。

用紙トレイからの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

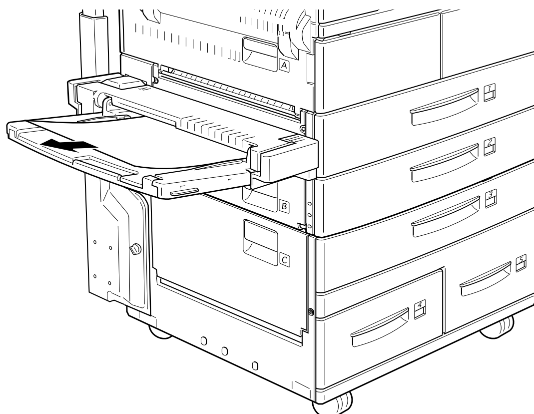


用紙トレイで用紙詰まりが発生した場合、用紙トレイのすべての用紙を取り除き、セットし直すことで、用紙詰まりのエラー状態が解除されます。詰まった用紙を取り除いただけでは、用紙詰まりのエラー状態は解除されません。

1 **用紙トレイから、詰まった用紙を残して、すべての用紙を取り除きます。**



2 **用紙トレイから、詰まっている用紙をゆっくり引き出して取り除きます。**
詰まった用紙が破れないように注意して引き出してください。



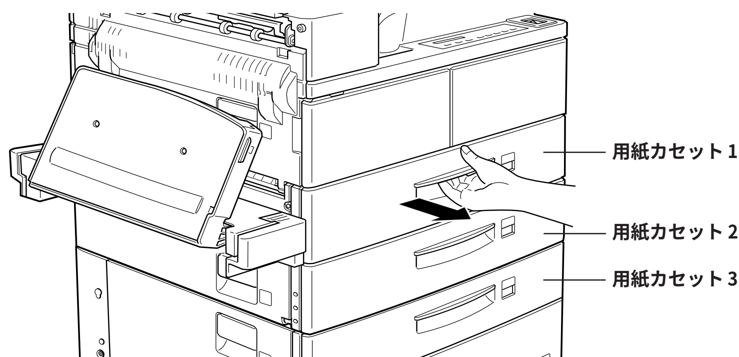
3 **用紙をセットし直します。**

「ジャム　カセット1」～「ジャム　カセット3」の場合

本プリンタに標準装備の用紙カセット１・2、オプションの大容量給紙ユニットの用紙カセット３で用紙詰まりが発生しています。

用紙カセット１～３からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

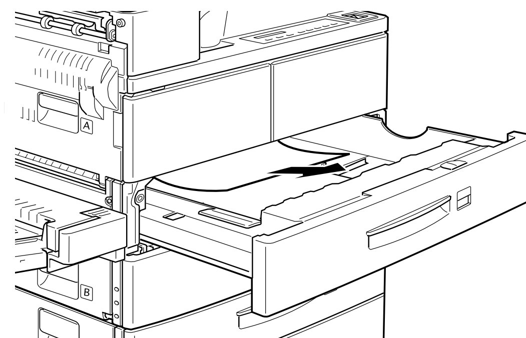
1 **用紙詰まりの発生している用紙カセットを、ゆっくり引き出します。**
詰まった用紙が破れないように注意して引き出してください。
以下の説明では、用紙カセット１の場合を例にしています。用紙カセット２・３の場合も用紙カセット１と同様に操作します。



2 **詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**



用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部も確認して、紙片が残っている場合は取り除いてください。



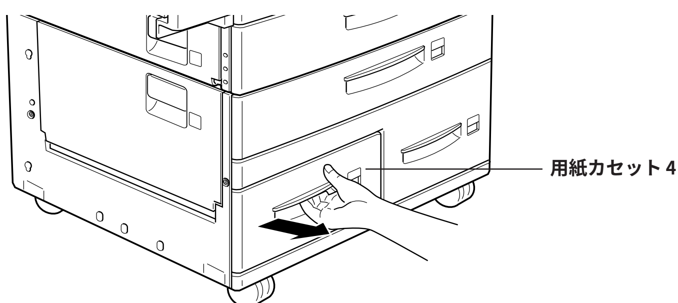
3 **用紙をセットし直し、用紙カセットを閉じます。**
用紙カセットが確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。

「ジャム　カセット4」の場合

「カセット 4」は、オプションの大容量給紙ユニットの用紙カセット 4 を示します。

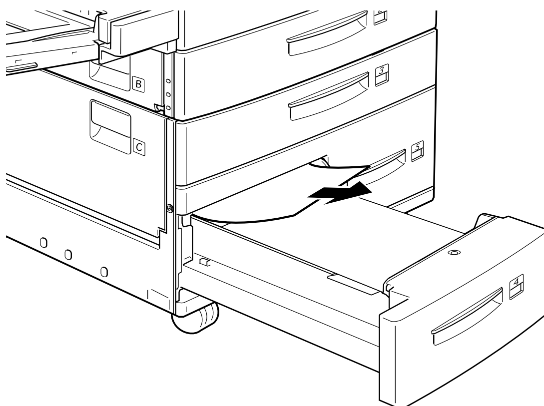
用紙カセット 4 からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

1 **用紙カセット 4 を、ゆっくり引き出します。**
詰まった用紙が破れないように注意して引き出してください。



2 **詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**


ポイント
用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部も確認して、紙片が残っている場合は取り除いてください。



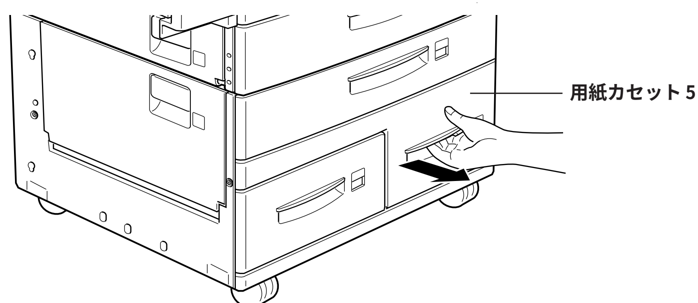
3 **用紙をセットし直し、用紙カセット 4 を閉じます。**
用紙カセットが確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。

「ジャム　カセット5」の場合

「カセット 5」は、オプションの大容量給紙ユニットの用紙カセット 5 を示します。

用紙カセット 5 からの詰まった用紙の取り除き方は次の通りです。

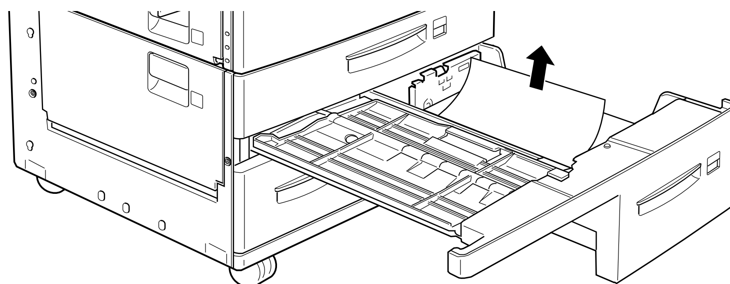
1 **用紙カセット 5 を、ゆっくり引き出します。**
詰まった用紙が破れないように注意して引き出してください。



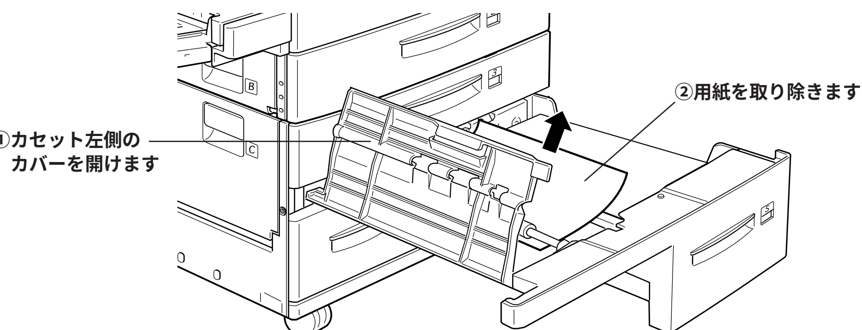
2 **詰まっている用紙、シワが生じている用紙を取り除きます。**


ポイント

用紙を取り除く際に用紙が破れてしまった場合、プリンタ内部も確認して、紙片が残っている場合は取り除いてください。



3 **カセット左側のカバーを開け、用紙が詰まっている場合は取り除き、カバーを元に戻します。**



4 **用紙をセットし直し、用紙カセット 5 を閉じます。**

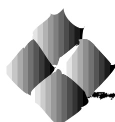
用紙カセットが確実に閉じるよう、手応えがあるまで押してください。

第9章

困ったときは

LP-9600S Troubleshooting

ここでは、困ったときの対処方法について説明しています。



故障かな？と思ったら

故障かな？と思ったらまず、以下の項目をチェックしてください。それでも症状が改善されない場合は、それぞれのお問い合わせ先へご連絡ください。

チェック項目

現在の症状がどれにあてはまるかを次の中から選びそれぞれのページをご覧ください。

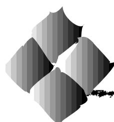
どうしても解決しないときは

症状が改善されない場合は、まずプリンタ本体の故障か、ソフトウェアのトラブルかを判断します。

ステータスシートを印刷します。
操作パネルの 設定実行 スイッチを押して、ステータスシートを印刷します。
☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ

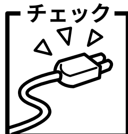
- **印刷できる**
  - **プリンタドライバ（Windows）上からステータスシートが印刷できますか？**
    - **できる** → **エプソンインフォメーションセンターにご相談ください。インフォメーションセンターのご相談先は巻末に記載されています。**
    - **できない** → **ドライバの設定、接続ケーブルの仕様や状態を再確認してください。ネットワーク接続でお使いの場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。**
- **印刷できない**
  - **プリンタ本体のトラブルです。保守契約をされていますか？**
    - **している** → **保守契約店にご相談ください。保守サービスの詳細は以下のページを参照してください。** **☞本書「保守サービスのご案内」321 ページ**
    - **していない** → **エプソンフィールドセンターにご相談ください。フィールドセンターのご相談先は巻末に記載されています。**


ポイント
お問い合わせの際は、ご使用の環境（コンピュータの型番、使用アプリケーションとそのバージョン、その他の周辺機器の型番など）と、本機の名称をご確認のうえ、ご連絡ください。

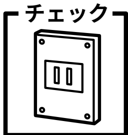


電源が入らない

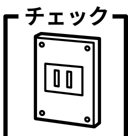
プリンタの電源が入らない



電源ケーブルが抜けていたり、ゆるんでいませんか?
電源ケーブルをプリンタとコンセントに、確実に差し込んでください。

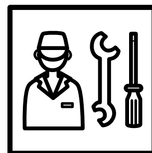


電源コンセントに問題があることがあります。
コンセントがスイッチ付きの場合はスイッチをオンにします。ほかの電気製品をそのコンセントに差し込んで、動作するかどうか確かめてください。



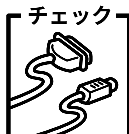
正しい電圧（AC100V）のコンセントに接続していますか?
コンセントの電圧を確かめて、正しい電圧で使用してください。

以上の3点を確認の上で電源スイッチをオン(Ｉ)にしても電源が入らない場合は、保守契約店（保守契約をされている場合)、またはお買い求めいただいた販売店またはお近くのエプソンフィールドセンターへご相談ください。フィールドセンターへのご相談先は巻末に記載されています。



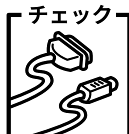


印刷しない



インターフェイスケーブルが外れていませんか？

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。予備のケーブルをお持ちの方は、差し替えてご確認ください。



インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか？

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルか確認します。

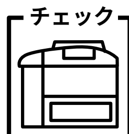
☞セットアップガイド「コンピュータとの接続」22 ページ



インターフェイス切り替え設定が「自動」以外になっていませんか？

操作パネルの共通メニューの「I/F キリカエ」の設定を「ジドウ」以外にしてある場合は、設定された単一のインターフェイスからのデータしか受け付けません。

☞本書「キョウツウメニュー」164 ページ



プリンタが印刷できない状態です。

プリンタの操作パネル上にある液晶ディスプレイの表示を確認します。

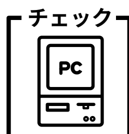
液晶ディスプレイにエラーが表示されている場合は、以下のページを参照し、対処して、印刷可 スイッチを押します。

☞本書「エラーメッセージ」314 ページ



コンピュータが画像を処理できません。

コンピュータのCPUやメモリによっては画像データを処理できない場合があります。解像度を下げて印刷するか、メモリを増設してください。



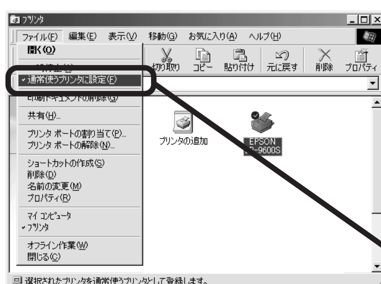
ネットワーク上の設定は正しいですか？

ネットワーク上のほかのコンピュータから印刷できるか確認してください。ほかのコンピュータから印刷できる場合は、プリンタまたはコンピュータ本体に問題があると考えられます。接続状態やプリンタドライバの設定、コンピュータの設定などを確認してください。印刷できない場合は、ネットワークの設定に問題があると考えられます。ネットワーク管理者にご相談ください。



お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか？

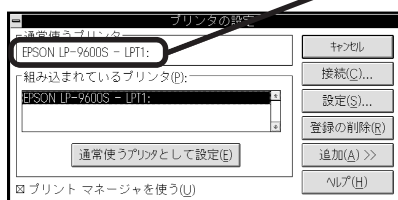
お使いの機種のプリンタドライバが、コントロールパネルのプリンタフォルダにアイコンとして登録されていますか？ また、アプリケーションソフトによっては、印刷時に印刷するプリンタを選択できない場合もありますので、通常使うプリンタとして選ばれているか確認してください。



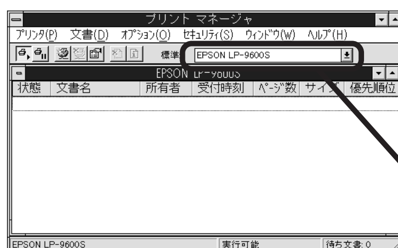
画面は Windows98 の場合です

(Windows95/98/NT4.0)
確認方法
① スタート ボタンをクリックしカーソルを［設定］に合わせ、［プリンタ］をクリックします。
② 使用するプリンタ名を選択し［ファイル］メニューを確認します。

［通常使うプリンタ］の設定になっているか確認します。



(Windows3.1)
確認方法
① コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。
② ［プリンタの設定］ダイアログを確認します。



(WindowsNT3.51)
確認方法
① コントロールパネル内の［プリンタ］アイコンをダブルクリックします。
② ［標準］のプリンタを確認します。

使用するプリンタ名が選択されているか確認します。



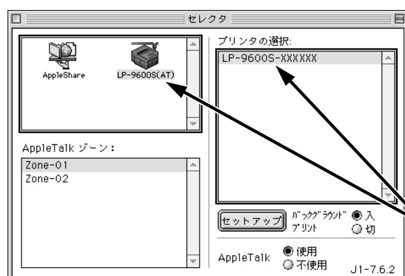
お使いの機種のプリンタドライバが正しくインストールされていますか?

お使いの機種のアイコンがセレクタ上に表示されているかを確認してください。QuickDraw GX を使用していると、プリンタのアイコンは表示されません。QuickDraw GX を使用停止にしてください。

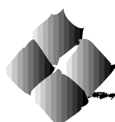
☞セットアップガイド「システム条件の確認」48 ページ

AppleTalk 接続の場合は［AppleTalk］の［使用］を選択して、印刷するプリンタが［プリンタの選択］リストに表示されているか確認してください。

(Macintosh)



プリンタドライバとプリンタが表示されるか確認します。



印刷しない（Windows）



プリントマネージャのステータスが［一時停止］になっていませんか？

印刷途中で印刷を中断したり、何らかのトラブルで印刷停止した場合、プリントマネージャのステータスが［一時停止］になります。このままの状態で印刷を実行しても印刷されません。



Windows95/98 の場合

① スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

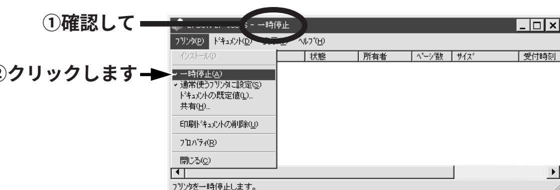
② 使用するプリンタ名をクリックして［ファイル］メニュー内の［一時停止］または［プリンタをオフラインにする］にチェックが付いている場合はクリックして外します。



Windows3.1 の場合

① ［プリントマネージャ］アイコンをダブルクリックします。

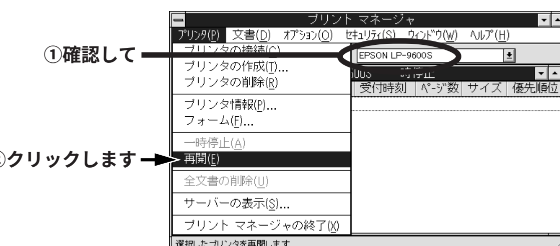
② 一時停止になっている場合は、使用するプリンタ名をクリックして 再開 ボタンをクリックします。



WindowsNT4.0 の場合

① スタート ボタンをクリックし、［設定］にカーソルを合わせ［プリンタ］をクリックします。

② 使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックし、プリンタが一時停止状態の場合は［プリンタ］の［一時停止］をクリックしてチェックを外します。



WindowsNT3.51 の場合

① ［メイン］グループの［プリントマネージャ］アイコンをダブルクリックし、使用するプリンタ名のアイコンをダブルクリックします。

② プリンタが［一時停止］の状態になっている場合は、［プリンタ］メニューの［再開］をクリックします。



プリンタドライバの[接続ポート]の設定が合っていません。

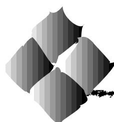
プリンタドライバの[接続ポート]の設定を実際に接続しているポートに合わせてください。

☞本書「プリンタ接続先の設定」 Windows98/95　95 ページ
Windows3.1　99 ページ

「LPT1に書き込みができませんでした」エラーが発生する

以下の項目を確認してください。

- プリンタプロパティの［詳細］タブの「印刷先のポート」が正しく設定されているかを確認して印刷を実行してください。
- プリンタプロパティの［詳細］タブの「スプールの設定」で「プリンタに直接印刷データを送る」の設定に変更して印刷を行ってみてください。
- ECPモードでご利用の場合、ECPモード対応のケーブルで接続していることを確認し、コンピュータのBIOS設定を「ECP」（ECPがない場合は「Bi-directional」）に、ポートを「ECPプリンタポート（LPT1）」に設定して印刷を行ってみてください。BIOS設定の詳細は、お使いのコンピュータの取扱説明書を参照してください。



印刷しない（Macintosh）



正しいプリンタドライバが選択されていません。
本プリンタのプリンタドライバを選択してください。
☞セットアップガイド「プリンタドライバの選択」51 ページ



正しいゾーン、プリンタが選択されていません。
プリンタが接続されているゾーンを確認して、印刷するプリンタを選択してください。

セレクタにプリンタドライバまたはプリンタが表示されない



QuickDraw GX を使用していませんか？
本プリンタドライバは、QuickDraw GX に対応していません。漢字 Talk7.5 以降をお使いの場合は、QuickDraw GX を使用停止にしてください。
☞セットアップガイド「システム条件の確認」48 ページ



AppleTalk ネットワークゾーンの設定が違います。
プリンタの接続されているゾーンを選択してください。



プリンタ名を変更していませんか？
ネットワークの管理者に確認して、変更したプリンタを選択してください。

エラーが発生する



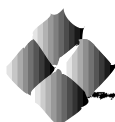
漢字 Talk7.5.1 または MacOS7.6 以降を使用していますか？
プリンタドライバの動作可能環境は、漢字 Talk7.5.1 または MacOS7.6 以降です。
☞セットアップガイド「システム条件の確認」48 ページ



印刷設定ダイアログの印刷モードの設定が［きれい］になっていませんか？
プリンタのメモリが足りないとメモリ関連のエラーが発生します。印刷ダイアログの印刷モード設定を［はやい］にすると印刷できる場合があります。それでも印刷できない場合は、次項目を参照してください。



Macintosh のシステムメモリの空き容量は十分ですか？
Macintoshのプリンタドライバは、Macintosh本体のシステムメモリの空きエリアを使用してデータを処理します。コントロールパネルのRAMキャッシュを減らしたり、セレクタで［バックグラウンドプリント］を［切］に設定したり、アプリケーションに割り当てるメモリ量を増やしたり、使用していないアプリケーションソフトを終了するなどして、メモリの空き容量を増やしてください。

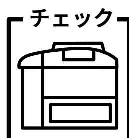


用紙に関するトラブル

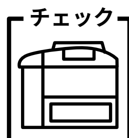
用紙が詰まる/給排紙されない



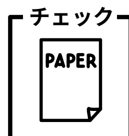
紙詰まりが発生している場合は、以下のページを参照して、まず詰まった用紙を取り除いてください。
☞「詰まった用紙の取り除き方」261 ページ



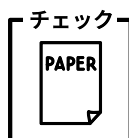
プリンタをプリンタの底面より小さな台の上に設置していませんか？
プリンタの底面より小さな台の上に設置すると正常な給排紙ができません。プリンタの設置場所を確認してください。



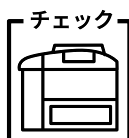
プリンタは水平な場所に設置されていますか？
プリンタの下にはさまれている物はありませんか？
設置場所が水平でなかったり、プリンタの下に異物がはさまれていると正常に排紙されない場合があります。プリンタの設置場所の環境を再確認してください。



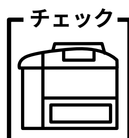
本機で印刷可能な用紙を使用していますか？
印刷可能な用紙を使用してください。
☞本書「用紙について」10 ページ



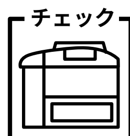
用紙をセットする前によくさばいていますか？
用紙を複数枚セットする場合は、セットする前に用紙をよくさばいてください。



用紙カセットや用紙トレイに用紙が正しくセットされていますか？
用紙ガイドをセットした用紙サイズの位置に必ず合わせてください。セット位置がずれていると用紙サイズを正しく検知できないことがあります。
☞本書「用紙のセット」15 ページ



用紙カセットがプリンタに正しくセットされていますか？
用紙カセットを正しくセットしてください。
☞本書「用紙カセット 1・2 への用紙のセット」15 ページ



セットしている用紙とプリンタドライバの設定は一致していますか？

ステータスシートまたは操作パネルで、用紙トレイまたは用紙カセットの用紙サイズを確認してください。

☞本書「ステータスシートの印刷」187 ページ
「設定項目の説明」160 ページ

用紙サイズが正しく検知されていることを確認し、セットしている用紙サイズとプリンタドライバでの設定を一致させてください。



プリンタドライバで給紙したい給紙装置を選択していますか？

プリンタドライバで使用する給紙装置を選択してください。

☞ Windows「[基本設定] ダイアログ」55 ページ
Macintosh「[プリント] ダイアログ」128 ページ



アプリケーションソフトの給紙装置の設定は合っていますか？

給紙装置の設定は、アプリケーションソフトの設定が優先する場合があります。

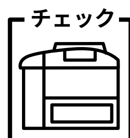
アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して給紙装置の設定を確認してください。



改ページ命令がアプリケーションソフトから送られていますか？

アプリケーションソフトによっては、データの最後に排紙命令を出さないものもあります。印刷可 スイッチを押して印刷可ランプを消してから 排紙 スイッチを押してください。

用紙カセットから給紙されない



用紙は正しくセットされていますか？

用紙カセットの用紙ガイドの位置がセットした用紙サイズの位置になっているかを確認してください。用紙カセットにセットされた用紙サイズは、用紙ガイドの位置で検知されます。

セット位置がずれていると用紙サイズが正しく検知できない場合があります。



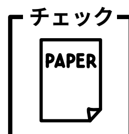
プリンタドライバの［給紙装置］の設定を［用紙トレイ］に設定していませんか？

[用紙トレイ]の設定になっていると用紙トレイ以外の給紙装置からは給紙しません。

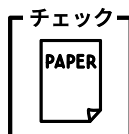
[自動選択］または［用紙カセット＊］を選択してください。

☞ Windows「[基本設定] ダイアログ」55 ページ
Macintosh「[プリント] ダイアログ」128 ページ

用紙を二重送りしてしまう



用紙どうしがくっついていませんか？
用紙をよくさばいてください。ラベル紙の場合は、1枚ずつセットしてください。



官製ハガキの先端が下向きに反っていませんか？
先端を数ミリ上に反らしてからセットしてください。

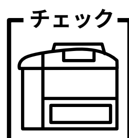
紙詰まりエラーが解除されない



詰まった用紙をすべて取り除きましたか？
それでもエラーが解除されない場合は用紙を取り除く際に用紙が破れてプリンタ内部に残っているかもしれません。このような場合には無理に取り除こうとせずに、エプソンフィールドセンターまたは保守契約店にご連絡ください。エプソンフィールドセンターの連絡先は巻末に記載されています。

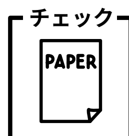
その他の症状

印刷の途中で用紙が排紙されてしまう



I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？
パネル設定で I/F タイムアウトの設定を長くしてください。
☞本書「キョウツウメニュー」164 ページ

用紙がカールする

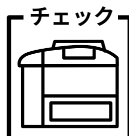


正しい印刷面へ印刷していますか？
特に印刷面の指定がない場合でも、逆の面へ印刷することによって用紙がカールしなくなることがあります。印刷面を替えて印刷してみてください。



印刷結果が画面と異なる

画面と異なるフォント/文字/グラフィックスで印刷される



プリンタの使用環境に問題はありませんか？

画面と異なるフォントや文字、グラフィックスで印刷される場合は、まず印刷を中止してください。

☞ Windows　本書「印刷の中止方法」88 ページ
Macintosh　本書「印刷の中止方法」147 ページ

再度印刷を実行してみてください。再度同様の現象が発生する場合は、次の点を確認してください。

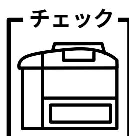
- 使用環境の仕様に合った推奨ケーブルが正しく接続されていますか。
  ☞本書「インターフェイスケーブル」196 ページ
- お使いのコンピュータは本機の使用に適合していますか。
- プリンタドライバのテスト印刷やステータス印刷が正常にできますか。



TrueType フォントをプリンタフォントに置換していませんか？

プリンタドライバで TrueType フォントをプリンタフォントに置換しないように設定してください。

- Windows
  ［拡張設定］ダイアログの［TrueType フォント］設定で［TrueType フォントでそのまま印刷］をクリックします。
  ☞本書「［拡張設定］ダイアログ」76 ページ
- Macintosh
  ［プリント］ダイアログまたは［詳細設定］ダイアログにある［プリンタフォント使用］の［漢字］/［欧文］をクリックしてチェックを外します。
  ☞本書「印刷の設定」128 ページ



プリンタモードの設定がまちがっていませんか？

通常は［ジドウ］モードに設定してください。

☞本書「プリンタモードメニュー」169 ページ



DOSアプリケーションソフトで正しい文字コードを選択していますか？

文字コード表を確認して､正しい文字コードを選択してください。



画面の表示が旧 JIS で表示されていませんか？

本機は、新 JIS コード（JISX0208-1990）を使用しています。アプリケーションの取扱説明書を参照して、画面の表示を新 JIS コードの設定にしてください。



プログラムを組む際に、コントロールコードがまちがっていませんか？

ESC/PまたはESC/Pageのコントロールコードでプログラムしてください。ESC/P では、先頭行に［ESC@］のコードを入れてください。



ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？

パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。

☞本書「インサツメニュー / イメージホセイ」172 ページ

画面と異なる位置に印刷される



アプリケーションソフトで設定した用紙サイズとプリンタドライバで設定した用紙サイズが異なっていませんか？

アプリケーションとプリンタドライバの設定を合わせてください。

☞ Windows　本書「［基本設定］ダイアログ」55 ページ
Macintosh　本書「用紙設定の手順」121 ページ



アプリケーションソフトによっては、印刷開始位置の設定が必要になる場合があります。

プリンタドライバまたは操作パネルで［オフセット］の調整をしてください。

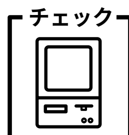
☞ Windows　本書「［拡張設定］ダイアログ」76 ページ
操作パネル　本書「デバイスメニュー」173 ページ

罫線が切れたり、文字の位置がずれる



アプリケーションソフトでLP-9600Sを使用するプリンタに設定していますか？

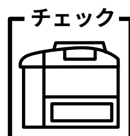
各アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して、使用するプリンタを LP-9600S に設定してください。



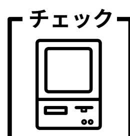
エプソンPCシリーズ、NECPC-9800シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。



ESC/PS モードで印刷する場合、右マージンの設定が適切でない場合があります。
パネル設定で［ESC/PSカンキョウメニュー］の［右マージン］設定を修正してください。
☞本書「ESC/PS カンキョウメニュー」181 ページ



ESC/Page 対応のアプリケーションソフト（ドライバ）のバージョンが古くありませんか？
パネル設定で［インサツメニュー］の［イメージホセイ］を［2］に設定してください。
☞本書「インサツメニュー / イメージホセイ」172 ページ

設定と異なる印刷をする



パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバの設定が一致していますか？
印刷条件の設定は、パネル設定、アプリケーションソフト、プリンタドライバそれぞれで設定できます。各設定の優先順位は、ご利用の状況により異なりますので、設定と違う印刷をプリンタが行う場合は、各設定を確認してください。

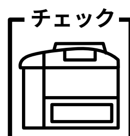
その他の症状

ハーフトーンの印刷が画面と異なる



［PGI］機能を使用していませんか？
アプリケーションが独自のハーフトーン処理を行っている場合、［PGI］機能を使用すると、意図した印刷結果が得られない場合があります。［PGI］機能を使用しないで印刷してください。
☞ Windows　本書「［詳細設定］ダイアログ」60 ページ
Macintosh　本書「［詳細設定］ダイアログ」133 ページ

楕円のような模様が印刷される

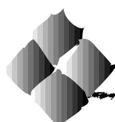


トナー残量が残り少ない可能性があります。
トナー残量が少ないと楕円のような模様が印刷されることがあります。トナー残量を確認してトナーを交換してください。

外字データまたはフォーマットデータが印刷できない



I/F タイムアウトの設定が短くありませんか？
パネル設定で I/F タイムアウトの設定を長くしてください。
☞本書「キョウツウメニュー」164 ページ



印刷品質に関するトラブル

きれいに印刷できない



［RIT］機能を使用して印刷していますか？

文字をきれいに印刷したい場合は［RIT］機能を使用して印刷してください。ただし、写真など複雑なトーンがあるデータの場合は、［RIT］機能を使用しないほうがきれいに印刷できる場合があります。

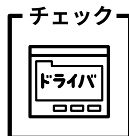
☞Windows　本書「［詳細設定］ダイアログ」60 ページ
Macintosh　本書「［詳細設定］ダイアログ」133 ページ



解像度が［はやい］（300dpi）に設定されていませんか？

解像度を［きれい］（600dpi）に設定して印刷してください。ただし、複雑な印刷データの場合、メモリ不足で印刷できない場合があります。その場合は、解像度を［はやい］（300dpi）に戻すか、メモリを増設してください。

☞Windows　本書「［基本設定］ダイアログ」55 ページ
Macintosh　本書「［プリント］ダイアログ」128 ページ



文字とグラフィックスデータが重なった印刷データを印刷していませんか？

文字とグラフィックスを重ねていて問題がある場合は、印刷モードを［CRT 優先］に設定して印刷してください。

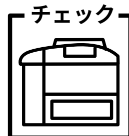
☞Windows　本書「［拡張設定］ダイアログ」76 ページ



［PGI］の設定が速度優先に設定されていませんか？

［PGI］の設定を品質優先に設定します。

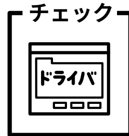
☞Macintosh　本書「［詳細設定］ダイアログ」133 ページ



ET カートリッジが劣化または損傷しています。

新しい ET カートリッジに交換してください。

印刷の濃淡が思うように印刷できない



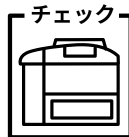
トナーセーブ機能を使用していませんか？
トナーセーブ機能は、内容確認など印刷品質を問わない印刷時にご使用ください。

☞ Windows　本書「[詳細設定] ダイアログ」60 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」133 ページ



プリンタドライバの［明暗］の設定を確認してください。
Windows の場合は、[グラフィック] の［明暗］設定を、Macintosh の場合は、[PGI] / [ハーフトーン] の明暗設定を調整してください。

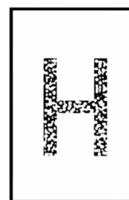
☞ Windows　本書「[詳細設定] ダイアログ」60 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」133 ページ



印刷濃度の設定は適切ですか？
印刷濃度を調整してみてください。

☞ Windows　本書「[拡張設定] ダイアログ」76 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」133 ページ

印刷が薄い（うすくかすれる、不鮮明）



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

印刷濃度の設定が正しくありません。
プリンタドライバ上の印刷濃度の設定を調整してください。

☞本書「印刷濃度の調整」173 ページ
Windows　本書「[拡張設定] ダイアログ」76 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」133 ページ

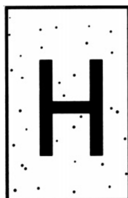
ET カートリッジが劣化または損傷しています。
新しい ET カートリッジに交換してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

トナーセーブ機能を使用していませんか?
トナーセーブ機能を解除してください。

☞ Windows　本書「[詳細設定] ダイアログ」60 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」133 ページ

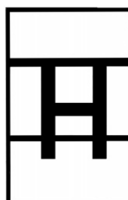
黒点が印刷される



使用中の用紙が適切ではありません。
「印刷できる用紙の種類」を確認し、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」10 ページ

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は、新しい ET カートリッジに交換してください。

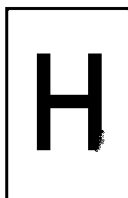
周期的に汚れがある



プリンタ内の用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
何回か用紙を排紙しても改善されない場合は新しいETカートリッジに交換してください。

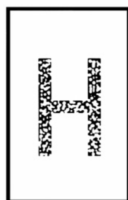
指でこするとにじむ



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
本書「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」10 ページ

黒い部分に白点がある



使用中の用紙が適切ではありません。
本書「印刷できる用紙の種類」を参照して、印刷できる用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」10 ページ

用紙の表裏が逆にセットされている場合があります。
用紙カセットにセットする場合は、表（印刷）面を上に、用紙トレイにセットする場合は下に向けてセットしてください。

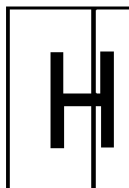
用紙全体が黒く印刷されてしまう



ET カートリッジが正しくセットされていません。
ET カートリッジを正しくセットし直してください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
新しい ET カートリッジに交換してください。

黒線が印刷される



ET カートリッジが損傷または劣化しています。
新しい ET カートリッジに交換してください。

何も印刷されない



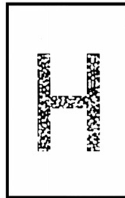
ET カートリッジのシールドテープが引き抜かれていません。
ET カートリッジを取り出し、シールドテープを引き抜いてください。

一度に複数枚の用紙が搬送されています。
用紙をよくさばいて、セットし直してください。

ET カートリッジにトナーが残っていません。
新しい ET カートリッジに交換してください。

ET カートリッジが劣化または損傷しています。
新しい ET カートリッジに交換してください。

白抜けがおこる



用紙が湿気を含んでいます。
新しい用紙と交換してください。

使用中の用紙が適切ではありません。
適切な用紙を使用してください。
☞本書「印刷できる用紙の種類」10 ページ

印刷濃度の設定が正しくありません。
プリンタドライバ上の印刷濃度の設定を調整してください。
☞本書「印刷濃度の調整」173 ページ
Windows　本書「[拡張設定] ダイアログ」76 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」133 ページ

トナーセーブ機能を有効にしていませんか?
トナーセーブは、文字の輪郭はそのままに黒ベタ部分の濃度を抑えることでトナーを節約するモードです。トナーセーブ機能を使用せずに印刷してみてください。
☞Windows　本書「[詳細設定] ダイアログ」60 ページ
Macintosh　本書「[詳細設定] ダイアログ」133 ページ

裏面が汚れる



用紙経路が汚れています。
用紙を数枚印刷してください。

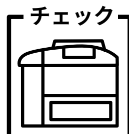


EPSONプリンタウィンドウ!3でのトラブル(Windows)



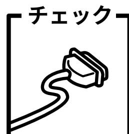
CD-ROM内のプリンタドライバのReadmeファイルに、EPSONプリンタウィンドウ!3についての注意事項や制限事項などが記述されています。必ず一読してください。

「通信エラーが発生しました」と表示される



プリンタに電源が入っていますか?

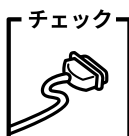
コンセントにプラグが差し込まれているのを確認し、プリンタの電源をオン(I)にします。



インターフェイスケーブルが外れていませんか?

プリンタ側のコネクタとコンピュータ側のコネクタにインターフェイスケーブルがしっかり接続されているか確認してください。またケーブルが断線していないか、変に曲っていないかを確認してください。

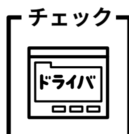
(予備のケーブルをお持ちの場合は、差し換えてご確認ください。)



インターフェイスケーブルがコンピュータや本プリンタの仕様に合っていますか?(ローカル接続時)

インターフェイスケーブルの型番・仕様を確認し、コンピュータの種類やプリンタの仕様に合ったケーブルかどうかを確認します。

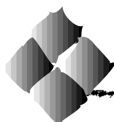
☞本書「インターフェイスケーブル」196 ページ



プリンタドライバの設定で双方向通信機能を選択していますか?(ローカル接続時)

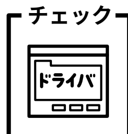
Windows95/98 の場合、双方向通信機能の設定を確認してください。

☞本書「プリンタ接続先の設定」95 ページ



その他のトラブル

印刷に時間がかかる



TrueType フォントを使用して印刷していませんか？

TrueTypeフォントはグラフィックとして処理されますので、印刷が遅くなる場合があります。TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えて印刷してください。

☞ Windows　本書「[拡張設定] ダイアログ」76 ページ
Macintosh　本書「印刷の設定」128 ページ



アプリケーションソフトへのメモリの割り当ては十分ですか？

アプリケーションソフトへのメモリの割り当て量を増やしてください。

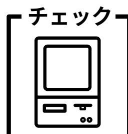


バックグラウンドプリントを［入］にしていませんか？

ご利用の Macintosh によっては、バックグラウンドプリントを［入］にしておくと印刷に時間がかかることがあります。バックグラウンドプリントを［切］に設定して印刷してください。

☞本書「EPSON プリントモニタ!3」145 ページ

プログラムリスト、ハードコピーがとれない

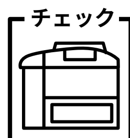


エプソンPCシリーズ、NECPC-9800シリーズを使用している場合に、メモリスイッチの設定が合っていますか？

各コンピュータの取扱説明書を参照して、メモリスイッチの設定をしてください。

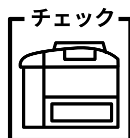
エプソン PC シリーズ→ 24 ピン系を選択します。
NECPC-9800 シリーズ→ 16 ピン系を選択します。

ステープルできない



パネルに以下のメッセージが表示されていませんか？
ハリヲホキュウシテクダサイ
ステープルカートリッジ内のステープル（針）が残り少なくなっています。新しいステープルスタッカ針に交換してください。
☞本書「ステープルスタッカ針の交換」257 ページ
または、針詰まりが発生している可能性があります。次ページを参照して詰まった針を取り除いてください。

ハリカートリッジ カクニン
ステープルスタッカにステープルカートリッジまたは針が取り付けられていないか、または正しく取り付けられていません。
ステープルスタッカ前カバーを開けて、ステープルカートリッジまたは針が正しく取り付けられていることを確認してください。
または、針詰まりが発生している可能性があります。次ページを参照して詰まった針を取り除いてください。



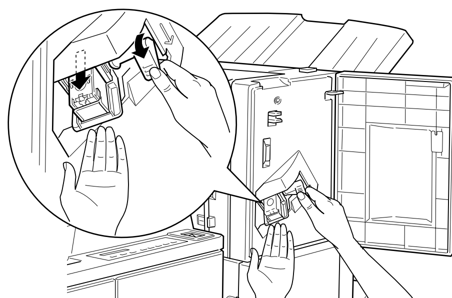
針詰まりが発生していませんか？

以下の手順で詰まった針を取り除いてください。

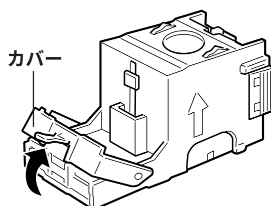
1 **ステープルスタッカ前カバーを開けます。**

ステープルカートリッジが元の位置に戻っていない場合は、一旦ステープルスタッカ前カバーの開閉をしてください。

2 **ステープルカートリッジを受け取るためにカートリッジホルダに左手を添え、右手でレバーを押し下げます。**



3 **ステープルカートリッジのカバーを開けて詰まった針を取り除き、カバーを元に戻します。**





針で指などを刺さないように注意して作業を行ってください。

4 **ステープルカートリッジを元通りにセットして、ステープルスタッカ前カバーを閉じます。**



操作パネルのメッセージについて

ステータスメッセージ

プリンタの現在の状態を示すステータスメッセージは次の通りです。
メッセージはアイウエオ順に記載してあります。

表示	説明
ROMモジュールX　カキコミチュウ	ソケットXのROMモジュールにデータを書き込み中です。
インサツカノウ	印刷可状態でです。
ウォームアップ	ウォーミングアップ中です。
オフライン	印刷不可状態です。印刷開始または印刷可能状態にするには、印刷可 スイッチを押してください。
システムチェック	自己診断と、初期化を行っています。
ジョブ　キャンセル	何らかの警告が表示されたときに、リセットなどの操作によって印刷処理を中止しました。
セツデン	節電状態です。データを受信したとき、またはリセットしたときなどに解除されます。
ヨウシハイシチュウ	プリンタ内に残っている印刷データを、排紙 スイッチによって印刷・排紙中です。
リセット（オール）	リセット（オール）処理中です。
リセットシテクダサイ	リセットを行います。リセット直後に変更したパネル設定の内容が反映されますが、印刷データはすべて削除されます。

ワーニングメッセージ

表示	説明
ROMモジュールXフォーマットエラー 書き込み可能で未フォーマットのROMモジュールがソケットXに装着されています。	初めて書き込むROMモジュールであれば問題ありません。エラー解除スイッチを押して表示を消してください。書き込み終了後のROMモジュールの場合は、以下の操作を行ってください。 (1) エラー解除スイッチを押して表示を消し、再度書き込みを行います。 (2) 再度このメッセージが表示された場合は、ROMモジュールが破損している可能性があります。プリンタの電源をオフにした後、ROMモジュールを取り外します。
カイゾウドヲ　オトシマシタ メモリ不足により、指定された解像度での印刷ができず、何らかの省略を行って印刷しました。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。印刷後に表示を消すには、エラー解除スイッチを押します。 再度印刷するときは［はやい］（300dpi）で印刷してください。［きれい］（600dpi）で印刷するには、メモリの増設が必要です。
ステープル　デキマセンデシタ オプションのステープルスタッカでステープルできませんでした。	メッセージはエラー解除スイッチを押すと消えます。指定した用紙サイズや印刷枚数などの設定を確認してください。
ステープルイチ　エラー ステープルで綴じる位置の設定がまちがっています。	メッセージはエラー解除スイッチを押すと消えます。使用する用紙サイズと用紙（印刷）方向の設定に合わせて正しい綴じ位置を選択してください。
セッテイヘンコウ　デキマセン Web AssistやEPSON Remote!で［パネルロック］が［する］に設定されているため、操作パネルからの設定変更ができません。	［パネルロック］を［しない］に設定してください。
トナーガ　ノコリスクナクナリマシタ トナー残量が少なくなりました。	エラー解除スイッチを押すと、メッセージを消去します（メッセージが表示されたままでも印刷は行えます）。
ハイシグチ　シテイ　エラー 指定した排紙装置に排紙できない用紙のため、フェイスダウントレイに排紙します。	メッセージはエラー解除スイッチを押すと消えます。印刷データの排紙装置の設定をフェイスダウントレイに設定してください。フェイスダウントレイ以外の排紙装置に排紙する場合は、印刷データの用紙サイズを変更してください。
ハリカートリッジ　カクニン オプションのステープルスタッカに針カートリッジが取り付けられていないか、正しく取り付けられていません。	メッセージはエラー解除スイッチを押すと消えます。オプションのステープルスタッカに針（ステープル）をセットするか、詰まった針を取り除いてください。

表示	説明
ブスウシテイ　デキマセンデシタ 指定した部数の印刷データを扱うためのメモリが足りないため、1部だけ印刷します。	メモリを増設するかオプションのハードディスクユニットを装着してください。プリンタドライバで解像度を［はやい］（300dpi）に設定することで、プリンタが扱う印刷データの量が少なくなり、複数部の印刷が可能になる場合があります。
ブヒンコウカン　マヂカデス xxxx 定期交換部品の交換時期が近付いています。	末尾の数字（xxxx）は、どの定期交換部品の交換時期が近付いているかを示すコードです。 本機を購入された販売店または保守サービス実施店に連絡する際にこのコードを必ずお伝えいただき、定期交換部品の交換を依頼してください。 メッセージは エラー解除 スイッチを押すと消えますが、良好な印刷品質を保つために早めに交換することをお薦めします。
メモリノ ゾウセツヲ オススメシマス 印刷処理中にメモリ不足が発生しました。印刷は続行します。	印刷処理を中止するには、コンピュータ側で印刷処理を中止してから、リセットまたはリセットオールを行います。 印刷後に表示を消すには、エラー解除 スイッチを押します。再度印刷するときは、［はやい］（300dpi）で印刷してください。［きれい］（600dpi）で印刷するためには、メモリの増設が必要です。
ヨウシタイプエラー 印刷時に指定した用紙サイズと用紙タイプの用紙がセットされている給紙装置が見つからないため、用紙サイズのみ一致する給紙装置から給紙しました。	メッセージは エラー解除 スイッチを押すと消えます。 操作パネルの設定で、各給紙装置の用紙タイプの設定を確認してください。

エラーメッセージ

操作パネル上の液晶ディスプレイにメッセージが表示されたときは、次の説明を参照して適切な処置をしてください。

表示・説明	処置
XXXXXX エラー YYY 給紙装置、排紙装置でトラブルが発生しました。 XXXXXXの部分には、問題が発生した給紙装置、排紙装置の名称が表示されます。 YYY の部分には、発生したトラブルの種類を表す3桁の数字が表示されます。	このメッセージが表示された場合、一旦電源をオフにして、XXXXXXの部分に表示される給紙装置/排紙装置の接続を確認してください。 確認後、電源をオンにしてもこのメッセージが表示される場合は給紙装置/排紙装置の故障の可能性があります。メッセージを書き写してから、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。連絡先は巻末に記載されています。
FD ハイシ　フル フェイスダウントレイが印刷済みの用紙でいっぱいになっています。	フェイスダウントレイから用紙を取り除き、エラー解除 スイッチを押すとエラー状態が解除され、印刷を再開します。
ROM モジュール A カキコミエラー 書き込み不可の ROM モジュールに書き込もうとしたか、書き込みが正常に終了しませんでした。または、ソケット A に ROM モジュールが装着されていません。	プリンタの電源をオフにした後、ソケット A の ROM モジュールを取り外します。
ROM モジュール x リードエラー ソケット X に、本プリンタでは利用できない ROM モジュールが装着されています。	プリンタの電源をオフにした後、ROM モジュールを取り外します。 本プリンタで使用可能なROMモジュールかどうか型番等で確認してください。
Service Req　xxxxx サービスコールエラーが発生しました。	一旦電源をオフにし、数分後にオンにします。再度発生したときは、液晶ディスプレイの表示を書き写してから、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。連絡先は巻末に記載されています。
オプション　I/F　カード　エラー 本プリンタでは使用できないインターフェイスカードが挿入されています。	電源をオフにした後、インターフェイスカードを抜きます。
カセット X サイズ　イジョウ X の部分に表示される番号の用紙カセットにセットされている用紙のサイズが正しく検出できません。	Xの部分に表示される番号の用紙カセットを引き出し、用紙ガイドが正しくセットされているかを確認して、用紙カセットを確実に閉じてください。
カセットX　ヨコナガニイレテクダサイ X に示される用紙カセットで、横長の状態でセットしなければならない用紙が、縦長の状態でセットされています。横長にセットしなければならない用紙は、A4、B5、LT です。	Xの部分に表示される番号の用紙カセットを引き出し、用紙を横長の状態にセットし直して、用紙カセットを閉じます。用紙カセットを閉じるとエラー状態が解除されます。

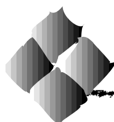
表示・説明	処置
カバーXガ　アイテイマス Xに表示されるカバーが開いています。 XにはA～G、DMのいずれかが表示されます。	本プリンタのカバーの状態を確認します。 カバーを閉じるとエラー状態が解除されます。 カバー名については以下のページを参照してください。 本書「各部の名称と働き」4ページ
ジャムXXXXXXXXX XXXXXXXXXの部分に表示される箇所で用紙詰まりが発生しました。 用紙詰まりが複数の箇所で発生している場合、XXXXXXXXX の部分には最大4箇所まで表示されます。	本書「詰まった用紙の取り除き方」（261ページ）を参照して、XXXXXXXXの部分に表示される箇所から詰まった用紙を取り除いてください。 詰まった用紙をすべて取り除き、カバーを閉じるとエラー状態が解除され、詰まった用紙の印刷データから印刷を再開します。
ステープラカバーガ　アイテイマス オプションのステープルスタッカの前カバーが開いています。	オプションのステープルスタッカの前カバーをしっかりと閉じてください。
ステープルスタッカハイシX　フル Xで示す番号の排紙ビンがフルになっています。	Xで示す番号の排紙ビンから用紙を取り除いてください。
ステープルスタッカ　セットフリョウ オプションのステープルスタッカが正しく取り付けられていません。	オプションのステープルスタッカを正しく取り付けてください。
トナーカートリッジ　コウカン ETカートリッジのトナーがなくなりました。	ETカートリッジを交換してください。 このメッセージは、エラー解除スイッチを押すと一時的に消去できます。ただし、一枚印刷するごとに再度メッセージが表示されます。 本書「ETカートリッジの交換」246ページ
トナーカートリッジヲ イレテクダサイ ETカートリッジがセットされていません。	ETカートリッジをセットし、カバーを閉じると、エラー状態が自動的に解除されます。
トナーカートリッジID エラー 本機で使用できないETカートリッジが装着されました。	ETカートリッジを取り出し、本機用のETカートリッジを装着してください。 本機用のETカートリッジを装着しても本メッセージが表示される場合は、一旦電源をオフ/オンしてください。 再度本メッセージが表示される場合は、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。連絡先は巻末に記載されています。
トナーカートリッジ R/Wエラー 本機に装着されたETカートリッジに異常があります。	装着したETカートリッジを取り出し、新しい本機用のETカートリッジを装着してください。 新しい本機用のETカートリッジを装着しても本メッセージが表示される場合は、一旦電源をオフ/オンしてください。 再度本メッセージが表示される場合は、販売店またはサービスセンターにご連絡ください。連絡先は巻末に記載されています。
ハイシビンガ　イドウデキマセン オプションのステープルスタッカの排紙部が下がりません。	オプションのステープルスタッカの排紙部に障害物がないか確認して障害物を取り除いてください。

表示・説明	処置
ハリカートリッジヲ　イレテクダサイ オプションのステープルスタッカに針カートリッジが取り付けられていません。	オプションのステープルスタッカに針（ステープル）カートリッジを正しく取り付けてください。
ハリヲ　ホキュウシテクダサイ オプションのステープルスタッカに装備した針カートリッジの針（ステープル）がなくなりました。	オプションのステープルスタッカに新しい針（ステープル）カートリッジを取り付けてください。
ページエラー オーバーラン 印刷内容が複雑で、プリンタの処理が追いつきません。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。 ［デバイスメニュー］の［ページエラーカイヒ］を［オン］にすると、このエラーは発生しません。［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します。
マルチビンハイシX　フル 10ビンマルチビンユニット（オプション）の10本のビンのうち、Xに表示される番号のビンが印刷済みの用紙でいっぱいになっています。	10ビンマルチビンユニットのXに表示される番号のビンから用紙を取り除き、エラー解除 スイッチを押すとエラー状態が解除され、印刷を再開します。
メモリオーバー メモリガタリマセン 処理中にメモリ不足が発生し、動作が続行できなくなりました。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合は、以下の2つのうち、どちらかの操作を行ってください。 (1) エラー解除 スイッチを押します。 (2) リセットまたはリセットオールを行います。 再度印刷するときは、プリンタドライバで解像度を［はやい］（300dpi）に設定するか、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照して解像度を下げてください。または、メモリを増設してください。 ［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します。
ヨウシコウカン xxxxx yyyy 給紙を行おうとした給紙装置xxxxxにセットされている用紙サイズと、印刷する用紙サイズyyyyが異なっています。	［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］に設定されている場合は、以下の3つのうち、どれかの操作を行ってください（［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］を［スル］にしておくと、一定時間（5秒）後に、自動的にエラー状態を解除します）。 (1) 給紙装置xxxxxにサイズyyyyの用紙をセットします。エラー解除 スイッチを押して印刷します。 (2) 用紙を交換しないで エラー解除 スイッチを押します。セットされている用紙に印刷します。 (3) リセットまたはリセットオールを行います。

表示・説明	処置
ヨウシナシ xxxxx yyyy 以下のような場合に表示されます。 (1) 印刷のために給紙しようとした給紙装置xxxxxに、用紙がセットされていません。 (2) すべての給紙装置に用紙がセットされていません。	(1)の場合 給紙装置xxxxxにサイズyyyyの用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。 (2)の場合 いずれかの給紙装置に用紙をセットすると、エラー状態を自動的に解除して印刷します。
リョウメンインサツ　デキマセン 用紙のサイズまたは種類が、両面印刷不可能な設定のため、両面印刷の実行を中止します。	操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合、エラー解除スイッチを押します。エラー解除スイッチを押すと、片面印刷で印刷を再開します。 操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［スル］の場合、一定時間（5秒）後に、片面印刷で印刷を再開します。
リョウメンインサツ　メモリガ　タリマセン 両面印刷ユニット（オプション）での両面印刷実行時、印刷データを扱うためのメモリが足りないため、裏面側が印刷できません。 この場合、表面側のみ印刷して、排紙します。	操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［シナイ］の場合、エラー解除スイッチを押します。エラー解除スイッチを押すと、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。 操作パネルの［デバイスメニュー］の［ジドウエラーカイジョ］が［スル］の場合、一定時間（5秒）後に、裏面側のデータが次の用紙の表面に印刷され、排紙されます。

付録

LP-9600S Appendix



サービス・サポートのご案内

弊社が行っている各種サービス・サポートは次の通りです。

エプソンFAXインフォメーション

EPSON製品に関する最新情報を24時間、FAXでお引き出しいただけます。FAX付属の電話機（プッシュ回線またはプッシュ音発信可能機種）からおかけください。

FAX 番号 ： ☞本書裏表紙の一覧表をご覧ください。
情報内容 ： 製品情報（カタログ、機能概要）
技術情報（Q&A など）
パソコンスクール、サービスセンター情報など

エプソンインフォメーションセンター

EPSONプリンタに関するさまざまなご質問やご相談に電話でお答えします。受付時間および電話番号については本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

インターネット・パソコン通信サービス

EPSON 製品に関する最新情報などをできるだけ早くお知らせするために、パソコン通信による情報の提供を行っています。
また、プリンタドライバは、エプソン販売(株)WWWサーバおよびパソコン通信による提供が行われています。最新プリンタドライバを組み込む場合は、ダウンロードした圧縮ファイルを解凍後、SETUP.EXEを実行してインストールしてください。

■インターネット
エプソン販売 WWW SERVER：http://www.i-love-epson.co.jp
（ソフトウェアダウンロードサービス）

■パソコン通信名
NIFTY SERVE ： EPSON information Forum（コマンド：GO□FEPSONI）
□は、半角スペースです。

ショールーム

EPSON製品を見て、触れて、操作できるショールームです。（東京・大阪）

■東京 ：午前 10:00 〜午後 6:00
（土・日・祝日もオープン、指定休館日あり）
■大阪 ：午前 10:00 〜午後 6:00
（土・日・祝日もオープン、※水曜休館、指定休館日あり）
所在地 ： ☞本書裏表紙の一覧表をご覧ください。

エプソンパソコンスクール

スキャナ、デジタルカメラ、プリンタそしてパソコン。でも、分厚い解説本を見たとたん、どうもやる気が失せてしまう。エプソンデジタルカレッジでは、そんなあなたに専任のインストラクターがエプソン製品のさまざまな使用方法を楽しく、わかりやすく、効果的にお教えいたします。もちろん目的やレベルに合わせた受講ができるので、趣味にも仕事にもバッチリ活かせる技術が身につきます。お問い合わせは本書巻末の一覧をご覧ください。

保守サービスのご案内

「故障かな？」と思ったときは、慌てずに、まず本書「困ったときは」をお読みください。そして、接続や設定にまちがいがないことを必ず確認してください。

保証書について

保証期間中に、万一故障した場合には、保証書の記載内容に基づき保守サービスを行います。ご購入後は、保証書の記載事項をよくお読みください。
保証書は、製品の「保証期間」を証明するものです。「お買い上げ年月日」「販売店名」に記入もれがないかご確認ください。これらの記載がない場合は、保証期間内であっても、保証期間内と認められないことがあります。記載もれがあった場合は、お買い求めいただいた販売店までお申し出ください。保証書は大切に保管してください。保証期間、保証事項については、保証書をご覧ください。

保守サービスの受け付け窓口

保守サービスのご相談、お申し込みは、次のいずれかで承ります。
■お買い求めいただいた販売店
■エプソンフィールドセンター
電話番号 ： ☞本書裏表紙の一覧表をご覧ください。
受付時間 ： 午前 9:00 ～午後 5:30
月曜日～金曜日（祝日を除く）

保守サービスの種類

エプソン製品を万全の状態でお使いいただくために、下記の保守サービスをご用意しています。使用頻度や使用目的に合わせてお選びください。

種類		概要	修理代金と支払方法	
			保証期間内	保証期間外
年間保守契約	出張保守	• 製品が故障した場合、最優先で技術者が製品の設置場所に出向き、現地で修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。 • 定期点検（別料金）で、故障を未然に防ぐことができます。 ＊消耗品（ETカートリッジ、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
年間保守契約	持込保守	• 製品が故障した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理を行います。 • 修理のつど発生する修理代・部品代*の費用はいただきませんので予算化ができ便利です。 • 持込保守契約締結時に「保守契約登録票」を製品に添付していただきます。 ＊消耗品（ETカートリッジ、用紙など）は保守対象外となります。	年間一定の保守料金	
スポット出張修理		• お客様からご連絡いただいて数日以内に製品の設置場所に技術者が出向き、現地で修理を行います。 • 故障の発生した製品をお持ち込みできない場合にご利用ください。	機種によっては出張費用がかかります。	出張料＋ 技術料＋部品代 修理完了後、そのつどお支払いください。
持込/送付修理		• 故障が発生した場合、お客様に修理品をお持ち込みまたは送付いただき、一旦お預りして修理いたします。 • お持ち込みまたは送付の際は、必ず巻末の「修理依頼票」を製品に添付してください。「修理依頼票」は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。	無償	基本料＋ 技術料＋部品代 修理完了品をお渡ししたときにお支払いください。
ピックアップサービス		• 指定の運送会社がご指定の場所に修理品を引き取りに伺うサービスです。 • ピックアップ料金とは別に修理代金がかかります。	有償	有償

- 詳細については、お買い求めの販売店、最寄りのエプソンサービスセンターまたはエプソン修理センターまでお問い合わせください。
- 一部大型機種製品につきましては、一般輸送が不可能なものがありますので、出張修理をお薦めします。

持込/送付修理をされる方へ

持込 / 送付修理をされる場合は、巻末の「修理依頼票」をコピーして、必要事項をご記入のうえ必ず製品に添付してください。「修理依頼票」は修正箇所をすばやく、的確に把握し、修理時間を短縮するための貴重な資料となります。



プリンタドライバフロッピーディスク請求のご案内

本機に同梱のESC/PageプリンタドライバのメディアはCD-ROMです。3.5インチフロッピーディスクをご希望のお客様は、実費にて対応させていただきますので、お手数ですが以下の方法にてお申し込みください。

申込手順

①エプソンFAXインフォメーションで、LPシリーズの最新ドライバのご案内に関する資料をご覧ください。
エプソンFAXインフォメーションの問い合わせ先は、裏表紙を参照してください。

②郵便局に備え付けの振込用紙を使用し、指定口座に代金をお振り込みください。
（お振り込みの際の振込手数料は、別途お客様ご負担でお願いいたします）

③①の資料のなかにある申込用紙に必要事項を記入の上、お振り込みの際に受け取られた払込受領証のコピーを所定場所に貼布し、エプソンディスクサービスにＦＡＸまたは郵送にて送付してください。（払込受領証の原本はお客様にて保管してください）
申込用紙をご送付いただきましてから、約１週間程でお客様のお手元に、郵送にてお届けいたします。

＊領収書につきましては、振込の際に郵便局から受け取る払込受領証をもって、これにかえさせていただきます。

エプソンディスクサービス
郵便口座番号　：００１７０－２－９７１６８７
加入者名　：エプソン販売株式会社
ﾌｧｯｸｽ申込の場合：Fax-No. ０３－５７７８－６３２０
郵送申込の場合　：住所 〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-16-1
日石渋谷ビル8F
エプソンディスクサービス係

フロッピーディスクについてのご入金(お振込)・発送のお問合せ
TEL.　03-5469-7350（土日祝祭日を除く）
9:00～12:00、13:00～17:00

技術的なお問い合わせ

プリンタ、ドライバに関する技術的なお問い合わせは、エプソンインフォメーションセンターにお問い合わせください。
ディスクサービス係では、技術的な質問にはお答えできかねますので、あらかじめご容赦くださいますようお願いいたします。
エプソンインフォメーションセンターの問い合わせ先は、裏表紙を参照してください。

ご注意

- 提供するメディアは、3.5 インチのみとなりますのでご了承ください。
- 提供するソフトウェアは、エプソン製品と共に使用する場合に限って複製、頒布を許可します。
- 内容を変更すること、利益を得るために再販することは、禁止いたします。
- その他、使用契約については、本機に添付されている使用約款に準じます。
- 一度申し込まれた代金の返金につきましては、場合によっては応じかねますのでご了承ください。
- お申し込みは必ず郵便振込をご利用ください。それ以外の送金はご遠慮ください。

お知らせ

エプソンディスクサービスにて提供しておりますソフトウェアは、下記のパソコン通信サービスでも入手することができます（ただし、一部のソフトを除く）。

- インターネット　エプソン販売ホームページ
  (http://www.i-love-epson.co.jp)



セットアップディスクの作成方法

本製品のプリンタドライバはCD-ROMで提供しています。Windowsをご利用の場合、同梱のEPSON ESC/PageプリンタソフトウェアCD-ROMからセットアップディスクを作成できます。何らかの理由でフロッピーディスクからセットアップする場合は、セットアップディスクを作成してください。



ポイント

セットアップディスクは、有償でお求めいただけます。前ページの記載をご参照いただき、お申し込みください。

1　EPSON ESC/PageプリンタソフトウェアCD-ROMをコンピュータにセットします。

2　メニュー画面を表示させます。

- Windows95/98/NT4.0の場合は、自動的にメニュー画面が表示されます。表示されない場合は、Windowsの[スタート]ボタンから「ファイル名を指定して実行」を選んで以下のコマンドを実行します。
- Windows3.1/NT3.51の場合は、プログラムマネージャの「アイコン」メニューから「ファイル名を指定して実行」を選んで以下のコマンドを実行します（半角で入力してください）。

D:\EPSETUP

↑

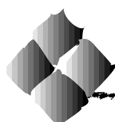
CD-ROMドライブのドライブ名を指定します。

（上記はDドライブの例です）

3　「フロッピーディスク版セットアップディスクの作成」をダブルクリックします。



4　以降は、表示されるメッセージに従ってセットアップディスクを作成します。



DOSアプリケーションでのプリンタ設定

本プリンタをDOSアプリケーションで使用する場合は、プリンタドライバのインストールは必要ありません。
DOSアプリケーションの場合、アプリケーション上でプリンタの機種名を選択することで、そのプリンタが使用可能になります。


ポイント

不適切なプリンタ機種名を選択した場合や、他のプリンタドライバで代用する場合は、本プリンタの機能を100%利用できない場合があります。

DOS

設定項目の名称や設定方法は、ご使用のアプリケーションソフトによっても異なりますが、多くの場合「プリンタ名の選択・設定」、「プリンタ設定」等の項目でプリンタ名を指定するようになっています。
詳しくはお使いのアプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

海外版アプリケーションソフトを使用する場合

海外版ソフトウェアを使用する場合は、次の優先順位でプリンタ名を選択します。

1	LQ-850/1050
2	LQ-510/1010
3	LQ-800/1000
4	LQ-1500


ポイント

- **画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/Pモードにしてください。**
- **１行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。**
- **半角の記号がカタカナになる場合は、文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。**
  ☞本書「階層設定モードでの設定方法」158ページ

国内版アプリケーションソフトを使用する場合

1 **DOS アプリケーションソフトを起動します。**

2 **DOSアプリケーションソフトを操作して、プリンタの機種名を設定する画面を表示します。**
使用しているDOSアプリケーションソフトの取扱説明書を参照して実行してください。

3 **LP-9600S を選択します。**
LP-9600Sがない場合は、次の優先順位でプリンタ機種名を指定します。

ESC/Page プリンタが選択できる場合

1	LP-9600/9300/9200SX/9200S/9200
2	LP-8200/8300/8400/8300S/8600
3	LP-9000
4	LP-1600
5	LP-8000/8000S/8000SE/8000SX
6	LP-8500
7	ESC/Page
8	LP-1500/1500S/2000/3000
9	LP-7000/7000G

ESC/Page プリンタが選択できない場合

1	ESC/P-24-J84 *1,*2
2	VP-1000/4800/3000 *1,*2
3	ESC/P-24-J83 *1,*2
4	VP-135K/130K *1,*2
5	上記プリンタが見つからない場合は、PC-PR201H などのプリンタを選択します。*1,*3

*1 ： 1行目の印刷位置が上すぎる場合は、プリンタの給紙位置の設定を22mmにしてください。
半角の記号がカタカナになる場合は、文字コード表を拡張グラフィックスにしてください。

*2 ： 画面とは違う文字を印刷するなど、正しく印刷されないときは、プリンタモードをESC/P にしてください。

*3 ： PC-PR201H を選択した場合、プリンタモードは ESC/PS に設定してください。

☞本書「階層設定モードでの設定方法」158 ページ

DOS

DOS

DOSアプリケーションソフトでの印刷実行の流れ

1 **レイアウトを指定して、文書を作成します。**

文書を作成する前に、まず作成する文書のレイアウト（用紙サイズ、向きなど）をアプリケーションソフト上で指定します。アプリケーションソフトによって手順が異なりますので、アプリケーションソフトの取扱説明書を参照してください。

2 **印刷の設定をします。**

印刷する用紙サイズや向き、給紙装置などを、アプリケーションソフト上で設定します。アプリケーションソフトで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!でプリンタの設定を変更します。

☞本書「階層設定モードでの設定方法」158ページ
☞本書「EPSON Remote!（DOS/NetWare）」329ページ

	設定方法	
	アプリケーション *1	操作パネル
印刷前に必ず設定する項目	給紙方法、用紙サイズ、用紙方向	ー
必要に応じて設定する項目	コピー枚数、縮小、解像度	トレイ用紙サイズ

*1 ： ソフトウェアで設定できないときは、操作パネルまたはEPSON Remote!で設定します。

3 **印刷を実行します。**

アプリケーションソフトから印刷を実行します。



EPSON Remote!（DOS/NetWare）

EPSON Remote!は、プリンタの設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。DOS版、NetWare版の2種類を用意しています。ここではその概略を説明し、インストール方法や設定方法など詳しくは、EPSON ESC/Page プリンタソフトウェア CD-ROM に収められているそれぞれのテキストファイルを参照してください。

テキストファイルの確認方法

EPSON Remote!の取り扱いについてはCD-ROM内の「EPMANUAL.TXT」ファイルに記載されています。CD-ROMをコンピュータにセットしアプリケーションソフトなどでご確認いただくか､以下のコマンドを実行してご確認ください（半角で入力してください)。

D:\>TYPE␣EPMANUAL.TXT␣|␣MORE
↑　（␣はスペースを意味します。）
CD-ROM またはフロッピーディスクを
セットしたドライブ名です。

キーを押すと、次ページに進みます。


ポイント

フロッピーディスクの場合は「DISK8」をコンピュータにセットしてください。

DOS版またはNetWare版EPSON Remote!

DOS環境またはNetWare環境で利用できるEPSON Remore!は、それぞれの環境でプリンタの各種設定をコンピュータから変更することができるユーティリティソフトです。

- EPSON Remote!は、コンピュータを使用している環境に応じて、DOS版、NetWare版の中のどちらかを選んで使用します。

DOS版（98用、DOS/V用）	DOSアプリケーションソフトを使って印刷する場合に使用します。印刷の基本的な設定はアプリケーションソフトで行います。しかし、ソフトによっては一部設定が変更できないことがあります。そのような場合に、EPSON Remote!をご利用ください。
NetWare版	NetWare環境下で 印刷する場合に使用します。NetWare版EPSON Remote!には、EPSON PCシリーズ/NEC PC-9800シリーズ用のMS-DOS版と、DOS/Vコンピュータ用のDOS/V版があります。クライアント側のシステムに合わせて選択してください。


ポイント

NetWare版EPSON Remote!は、スーパーバイザ（ネットワーク管理者）による設定とクライアントマシン設定が必要です。インストールする場合は必ずスーパーバイザにご相談ください。

DOS

- EPSON Remote!は、設定する内容や目的に応じて次のユーティリティを選択することができます。

DOS 版（98 用、DOS/V 用）	スタートアップユーティリティ
	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ
NetWare 版	設定ユーティリティ
	簡易設定ユーティリティ

スタートアップユーティリティ

プリンタの初期設定値（電源投入時の設定）を変更するユーティリティです。すべての設定が変更できます。変更した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。

設定ユーティリティ

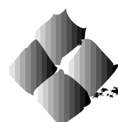
使用頻度の高い項目に絞ったユーティリティです。設定した内容はプリンタに記憶され、電源をオフにしても設定は保持されます。


ポイント

スタートアップユーティリティと設定ユーティリティで同じ項目を設定した場合、後から設定した内容が有効になります。

簡易設定ユーティリティ

設定ユーティリティで設定した内容をファイルとして保存しておき、印刷前に実行することができます。印刷する前にファイルの実行コマンドを実行するだけで、プリンタの各種設定を一度に変更できます。設定を変更しても、リセット/電源オフ/プリンタモード変更のいずれかの操作によって変更前の状態に戻ります。



プリンタの仕様

プリンタの仕様について記載しています。参照資料としてお役立てください。

基本仕様

プリント方式	半導体レーザービーム走査＋乾式一成分磁性トナー電子写真方式
解像度	600dpi ［dpi：25.4mm｛1インチ｝あたりのドット数 （Dot Per Inch)］
プリント速度 （用紙カセット）	用紙カセット１　：40.0ppm（A4横送り）、25.0ppm（B4）、20.0ppm（A3） 用紙カセット２　：38.0ppm（A4横送り）、24.0ppm（B4）、20.0ppm（A3） 用紙トレイ　：32.0ppm（A4横送り）、22.0ppm（B4）、19.0ppm（A3） （ppm＝枚/分）
ウォームアップ時間	60秒以内（22°C定格電圧にて）
ファーストプリント	用紙カセット１　：10.0秒（A4横送り） 用紙カセット２　：10.8秒（A4横送り）
稼働音	待機時約28dB（A）, 稼働時約55dB（A）

文字仕様

文字コード	JISX0208-1990準拠
書体	欧文 ローマン、サンセリフ Windows対応TrueType互換14書体 • DutchTM 801 （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • SwissTM 721 （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Courier （Medium/Italic/Bold/Bold Italic） • Symbol • WingBats 和文 明朝、ゴシック

用紙関係

区分	給紙装置		使用できる用紙	容量	用紙サイズ （）内は、操作パネルの液晶ディスプレイ上での表記です。
標準	用紙トレイ		普通紙	50 枚*1	A3,A4,A5,B4,B5,Letter(LT),Half-Letter(HLT),Legal(LGL),GovermentLegal(GLG),GovermentLetter(GLT),Ledger(B),F4,Executive(EXE)
			OHP シート	高さ 5mm	A4
			ラベル紙	高さ 5mm	A4
			厚紙	高さ 5mm	100 × 139.7mm 〜 297 × 431.8mm
			不定形紙	50 枚	100 × 139.7mm 〜 297 × 431.8mm
			官製ハガキ	30 枚	ハガキ(100 × 148mm)
	用紙カセット 1		普通紙	500 枚*1	A3,A4,A5,B4,B5,Letter(LT),Half-Letter(HLT),GovermentLegal(GLG),Ledger(B)
			OHP シート	高さ 50mm	A4
			ラベル紙	高さ 50mm	A4
	用紙カセット 2		普通紙	500 枚*1	A3,A4,B4,B5,Letter(LT),GovermentLegal(GLG),Ledger(B)
			OHP シート	高さ 50mm	A4
			ラベル紙	高さ 50mm	A4
オプション	大容量給紙ﾕﾆｯﾄ(LPDU1)	用紙ｶｾｯﾄ3	普通紙	500 枚*1	A3,A4,B4,B5, Letter(LT),GovermentLegal(GLG),Ledger(B)
			OHP シート	高さ 50mm	A4
			ラベル紙	高さ 50mm	A4
		用紙ｶｾｯﾄ4 用紙ｶｾｯﾄ5	普通紙	1000 枚*1	A4,B5,Letter(LT)
区分	**排紙装置**		**排紙できる用紙種類**	**容量**	**用紙サイズ** （）内は、操作パネルの液晶ﾃﾞｨｽﾌﾟﾚｲ上での表記です。
標準	フェイスダウントレイ		すべての用紙種類	500 枚*2 (ただしｽﾃｰﾌﾟﾙｽﾀｯｶ装着時は 300 枚*2)	すべての用紙サイズ
オプション	10 ビンマルチビンユニット		普通紙	100 枚*1/ﾋﾞﾝ	定形サイズ
	ステープルスタッカ		すべての用紙種類 (ただし、ハガキ、不定形紙、厚紙を除く)	670 枚*3/ﾋﾞﾝ	A3,A4,A5,B4,B5,Letter(LT),Half Letter(HLT),Legal(LGL),GovermentLegal(GLG),Ledger(B),Executive(EXE)
	フェイスアップトレイ		すべての用紙種類	200 枚*1	すべての用紙サイズ

*1 ： 用紙厚 64g/m² の場合

*2 ： 普通紙 64g/m² の場合

*3 ： A4 サイズ普通紙 64g/m² の場合

用紙サイズと給紙方法

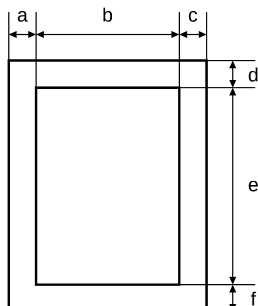
用紙サイズ		用紙 トレイ	用紙 カセット 1	用紙 カセット 2
A3	297mm × 420mm	○	○	○
A4	210mm × 297mm	○[*1]	○[*1]	○[*1]
A5	148mm × 210mm	○[*1]	○[*1]	–
B4	257mm × 364mm	○	○	○[*1]
B5	182mm × 257mm	○[*1]	○[*1]	○[*1]
Letter（LT）	215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 279.4mm{11ｲﾝﾁ}	○[*1]	○[*1]	○[*1]
Half-Letter（HLT）	139.7mm{5.5ｲﾝﾁ}× 215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}	○[*1]	○[*1]	○[*1]
Legal（LGL）	215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 355.6mm{14ｲﾝﾁ}	○	–	–
Executive（EXE）	184.15mm{7.25ｲﾝﾁ}× 266.7mm{10.5ｲﾝﾁ}	○[*1]	–	–
Government Legal（GLG）	215.9mm{8.5ｲﾝﾁ}× 330.2mm{13ｲﾝﾁ}	○	○	○
Government Letter（GLT）	203.2mm{8ｲﾝﾁ}× 266.7mm{10.5ｲﾝﾁ}	○[*1]	–	–
Ledger（B）	279.4mm{11ｲﾝﾁ}× 432mm{17ｲﾝﾁ}	○	○	○
F4	210mm × 330mm	○	–	–
不定形紙	用紙幅 90.1mm ～ 297mm 用紙長 148mm ～ 431.8mm	○[*2]	–	–
官製ハガキ	100mm × 148mm	○[*1]	–	–

*1 ： 用紙の給紙方向に対して横長になる向きでセットします。

*2 ： アプリケーションソフトで任意の用紙サイズを指定できない場合は印刷できません。

印刷可能領域

用紙の各端面から 5mm を除く領域に印刷可能



定形紙 （単位：ドット、600dpi）

名　称	a	b	c	d	e	f
A3	120	6776	120	120	9680	120
A4	120	4720	120	120	6776	120
A5	120	3256	120	120	4720	120
B4	120	5832	120	120	8360	120
B5	120	4060	120	120	5832	120
Letter（LT）	120	4860	120	120	6360	120
Half Letter（HLT）	120	3060	120	120	4860	120
Legal（LGL）	120	4860	120	120	8160	120
Executive（EXE）	120	4110	120	120	6060	120
Government Legal（GLG）	120	4860	120	120	7560	120
Government Letter（GLT）	120	4560	120	120	6060	120
Ledger（B）	120	6360	120	120	9960	120
F4	120	4720	120	120	7556	120
官製ハガキ	120	2122	120	120	3256	120

不定形紙

名　称	a	b	c	d	e	f
最小サイズ	120	1886	120	120	3256	120
最大サイズ	120	6776	120	120	9960	120

- **図と表は、ESC/Page モードの場合です。他のモードでは、多少違う場合があります。**
- **アプリケーションソフトで任意の用紙長を指定できない場合は、不定形紙への印刷はできません。**

電気関係

定格電圧	AC100V ± 10%
定格電流	12.0A
周波数	50/60Hz ± 3Hz（国内向）
消費電力	最大 1170W 以下、連続プリント時 700W 以下、節電時 45W 以下

環境使用条件

動作時	温度	：5 ～ 32°C
	湿度	：15 ～ 85%（ただし結露しないこと）
	気圧（高度）	：740 hPa 以上（2500m 以下）
	水平度	：前後左右方向 5mm 以下
	照度	：3000lux 以下
	周囲スペース	：左側方 364mm、右側方 200mm、後方 200mm、 上方 200mm、前方 560mm
保存・輸送時	温度	：0 ～ 35°C
	湿度	：15 ～ 80%

コントローラ基本仕様

CPU	R4700（133MHz）	
RAM	標準	：32.0MB
	オプション増設時	：最大 256MB（2 ソケット）
インターフェイス	標準	：セントロニクス　双方向パラレル IEEE 1284　ニブルモード、ECP モード Ethernet　インターフェイス（100Base-TX/10Base-T 自動切替）
	オプション	：Type B I/F（1 スロット）
オプション ROM モジュールソケット	2 スロット	
プリンタ設定	パネル設定およびパネル設定ユーティリティにて保存 記憶素子　E^2PROM（シリアルタイプ、16Kbit）	
内蔵モード	標準	：ESC/Page モード（双方向機能） ：ESC/P モード（VP-1000 エミュレーション） ：ESC/PS モード（PC-PR201H エミュレーションと ESC/P を自動判別）
	オプション	：EP-GL モード
	その他	：EJL モード（双方向機能）

外観仕様

外形寸法	幅 642mm ×奥行き 523mm ×高さ 486mm （本体のみ / 用紙トレイを閉じた状態）
重量	約 42kg （消耗品、オプション類は含まない）

パラレルインターフェイス仕様

転送形式	：	8ビットパラレル（IEEE1284準拠）
同期方法	：	外部供給ストローブパルス信号
ハンドシェイク	：	ACKNLG または BUSY 信号
ロジックレベル	：	TTL レベルと同等
適合コネクタ	：	57-30360 AMPHENOLE相当

信号説明：

ピン番号	信号名	I/O
1	$\overline{\mathrm{STROBE}}$	I
2	DATA1	I/O
3	DATA2	I/O
4	DATA3	I/O
5	DATA4	I/O
6	DATA5	I/O
7	DATA6	I/O
8	DATA7	I/O
9	DATA8	I/O
10	$\overline{\mathrm{ACKNLG}}$	O
11	BUSY	O
12	PE	O
13	SLCTOUT	O
14	$\overline{\mathrm{AUTOFEED}}$	I
15	NC	－
16	GND*1	－
17	CHASSIS-GND*1	－
18	Peripheral Logic High*2	O
19～30	GND	－
31	$\overline{\mathrm{INIT}}$	I
32	$\overline{\mathrm{ERROR}}$	O
33	GND	－
34	NC	－
35	＋5V*3	－
36	$\overline{\mathrm{SLCTIN}}$	I

I＝入力信号、O＝出力信号、NC＝未使用

LOW アクティブ信号の場合、信号名の上に横棒が入っています。

*1 ： CHASSIS- GND と GND はプリンタ内でつながっています。

*2 ： プリンタに電源が入っていることをホストに知らせる＋ 5V の出力信号です。

*3 ： 電源ではありません。



コントロールコードについて

コントロールコードの詳細は、別売のリファレンスマニュアルをご覧ください。
なお、以下のマニュアルにつきましては、エプソンOAサプライ（株）にてお取り扱いをしています。
エプソンOAサプライ（株）のお問い合わせ先は巻末に記載されています。
または巻末のFAX注文書にてご注文していただきますようお願い申しあげます。

ESC/Pageコントロールコード

ESC/Pageコントロールコードについては、別売の「ESC/Pageリファレンスマニュアルー第4版」をご覧ください。

商品名
ESC/Page リファレンスマニュアルー第4版ー

機種固有情報について

リファレンスマニュアルの情報にはすべての機種に共通な情報と機種固有の情報があります。LP-9600Sの機種固有情報につきましては、リファレンスマニュアル内の「LP-9200」の項目をご覧ください。

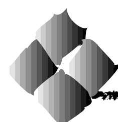
ESC/Pコントロールコード

ESC/Pコントロールコードについては、別売の「ESC/Pリファレンスマニュアルー第2版」をご覧ください。

商品名
ESC/P リファレンスマニュアルー第2版ー

機種固有情報について

LP-9600SはESC/P J84に分類されます。



用語集

以下に説明されている用語の中には、エプソンプリンタ独自の用語で、一般的に使われている語意とは多少異なるものがあります。

アルファベット

Ⓐ **ACKNLG（アクノレッジ）**
データを正しく受け取ったことを知らせる信号。

Ⓑ **Byte（バイト）** コンピュータやプリンタの中で扱う情報の単位。8ビットで構成されており、1バイトは通常1文字または1コードに対応しています。

Ⓒ **CPI（Characters Per Inch/シーピーアイ）**
25.4mm｛1インチ｝の横幅に印字できる文字数を表す単位。文字ピッチを示す単位として使います。

CPL（Characters Per Line/シーピーエル）
1行に印字できる文字数を表す単位。文字ピッチを示す単位として使います。

CPU（Central Processing Unit/シーピーユー）
プログラムを解読し、演算を行う中枢部のこと。

CR（Carriage Return/キャリッジリターン）
1行の印字を行ったあとに次の印字位置をその行の先頭に戻す制御コード。ASCIIまたはJISコードの0DH（10進数の13）です。

Ⓓ **dpi（Dots Per Inch/ディーピーアイ）**
25.4mm｛1インチ｝幅に印字できるドット数を表す単位。解像度を示す単位として使います。

Ⓔ **E²PROM（Electrical Erasable Programmable ROM/イーイーピーロム）**
電気的に内容を消去することができるPROMのこと。PROMを参照。

ESC/P®（EPSON Standard Code for Printer/イーエスシーピー）
エプソンによって標準化された、印字するためにコンピュータからプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/Page®
（EPSON Standard Code for Page Printer/イーエスシーページ）
エプソンによって標準化された、コンピュータからページプリンタに送る命令（コントロールコード）体系。

ESC/Pエミュレーションモード
プリンタがESC/Pのコントロールコードで動作する状態のことで、エプソン24ドット漢字プリンタに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。

ESC/Pスーパーモード
プリンタがESC/PまたはPC-PR201Hのコントロールコードで動作する状態です。エプソン24ドット漢字プリンタまたは日本電気株式会社のPC-PR201Hに対応したアプリケーションソフトのほとんどを使うことができます。

ETカートリッジ トナーとドラムユニットを一体化したもの。

Ⓕ **FF（Form Feed/フォームフィード）**
改ページを行う制御コードで、ASCIIまたはJISコードの0CH（10進数の12）です。

Ⓘ **IEEEインターフェイス（IEEE-488）**
IEEE（Institute of Electrical and Electronics Engineers）によって、デジタル機器の接続用標準バスとして定められているインターフェイス。同様なバスとして、GP-IB（General Purpose Interface Bus）やHP-IB（Hewlett-Packard Interface Bus）などがあります。

J **JIS（Japanese Industrial Standard/ジス）**
日本国内の文字コードや漢字コードを規定している、日本工業規格の略称。

K **KB（kilobyte/ キロバイト）**
データ量やメモリ容量の単位。1KB は 1024 バイトになります。

L **LF（Line Feed/ ラインフィード）**
改行を行う制御コードで、ASCII または JIS コードの 0AH（10 進数では 10）です。

M **MB（megabyte/ メガバイト）**
データ量やメモリ容量の単位。1MB は 1024 × 1024 バイト（＝ 1024KB）になります。

O **OCR** 人間が読みとれる数字や文字をそのまま機械に認識させる方式。
OCR-B 光学的文字認識に用いる目的で開発され JISX9001 に規定された書体の名称。
OHPシート オーバーヘッドプロジェクタ用の透明フィルム。

P **ppm（Pages Per Minute/ピーピーエム）**
1 分間に印刷できる用紙の枚数。

PROM（Programmable ROM/ピーロム）
プログラムなどを書き込むことができる ROM のこと。ROM を参照。

R **RAM（Random Access Memory/ラム）**
データなどを読み書きできるメモリのこと。

ROM（Read Only Memory/ロム）
データなどの読み出し専用のメモリのこと。

RS-232C コンピュータとプリンタをケーブルで接続する標準的なシリアルインターフェイスです。

数字

2 進法（binary：バイナリ）
0 と 1 の 2 つの数字だけを使用して、数値を数える体系です。基数（数を表現するために使う記号の数）は 2 になります。コンピュータシステムの全情報はバイナリ形式で処理されます。バイナリの数字はビットと呼びます。0 ～ 255 までの任意の数字は、8 ビットの 2 進数で表現されます（0 ～ 11111111）。

10 進法（decimal：デシマル）
数字の 0、1、2、3、4、5、6、7、8 および 9 を使用して、数値を数える体系です。基数は 10 になります。ごく一般的に使用される、数値の数え方です。

16 進法（Hexadecimal：ヘキサデシマル、Hex と略される）
10 進法の 0 ～ 9 までは 10 進法と同じ数字を使い、10 ～ 15 を A ～ F のアルファベット文字で表現して、数値を数える体系です。基数は 16 になります。ふつう 16 進数の数の表記では、数字の末尾に H または h を付けます（例：0AH は、10 進数の 10 に相当します）。プログラムなどで主に使用される数え方で、0 ～ 255 の数は 2 桁の 16 進数で表現できます（0H ～ FFH）。

アイウエオ

ア **アウトラインフォント**
数式によって定義されているフォント。アウトラインフォントでは、サイズや方向など、文字の属性を変更することができます。

アプリケーションソフト
コンピュータ上で動作する、実際の業務や作業をするためのソフトウェア。ワードプロセッサや表計算ソフトウェア。通常の印刷は、アプリケーションソフトを使用して行います。

イ **インターフェイス** コンピュータとプリンタとの間の接続のために使用するハードウェアやソフトウェア。パラレルインターフェイスはデータを1文字、あるいは一度にデータを1コード（8ビット）ずつ送信します。シリアルインターフェイスは、データを一度に1ビットずつ送信します。

インターフェイスケーブル
コンピュータとプリンタをインターフェイスで接続するケーブル。

インターフェイスコネクタ
インターフェイスケーブルを差し込む端子。

エ **液晶ディスプレイ** 液晶板を使用した表示装置。本機では操作パネルに使用されています。

エラーメッセージ 液晶ディスプレイに表示される異常状態のメッセージのこと。

エラー解除ランプ エラー発生時に点滅します。

オ **オプション** 利用者が自由に選択して購入できる部品のこと。

オフセット 印字位置を上下左右に移動させる量。

キ **キャッシュ** フォントキャッシュを参照してください。

給紙 用紙をプリンタに供給すること。

シ **初期設定** プリンタの電源をオンにしたり、プリンタを初期化したときに有効になる設定。プリンタの工場出荷時設定と同じです。

書体 明朝、ゴシックなどの文字のデザイン。

シリアルインターフェイス
データを1ビットずつ転送するインターフェイス。

シリアルプリンタ 1文字ずつ印字する方式のプリンタ。

ス **ステータスシート** プリンタの設定状態を印刷した用紙。

セ **全二重通信** 2つの機器の間で、同時にデータの送信と受信を行うこと。

チ **調歩同調式** データにスタートビットと、ストップビットを付加した、シリアルデータ転送方式。

チェックデジット 読み取りの正確性を保つために所定の計算式に基づいて計算されたキャラクタ。

ツ **坪量** 用紙の厚さを表す単位（1平方メートル / グラム）。

テ **定型用紙** JISなどの規格で定められた大きさの用紙（A4、B5など）。

定着器 用紙上のトナーを熱と圧力で定着させる機構。

ト **トナー** 印刷のために用紙に定着させる炭素粉末。

トランケーション （truncation= 先を切ること）
印刷スペースやデザインなどの都合で、天地方向の寸法を縮めたバーコードシンボル。

ハ
排紙 用紙をプリンタから排出すること。

排紙トレイ プリンタから排出された用紙を受けるところ。

バーコード 太さの異なるバーとスペースとの組み合わせにより、数字や文字などを機械的に解読可能な形で表現したもの。

バイナリ 2進法を参照してください。

バッファ 一時的にデータを記憶させておくメモリ。

パネル設定 操作パネルで行う、プリンタ機能の設定。

パラレルインターフェイス
コンピュータからプリンタへデータを転送する際に、データを8ビットずつ転送する方式。

パリティチェック データ転送の際に起きるエラーのチェック。

ハンドシェイク 送信と受信の制御情報をデータとは別途にやりとりすることによって、互いの状態を確認する方法。

ヒ
ビット 1バイナリディジット（0または1）。プリンタやコンピュータによって使用される最小単位のこと。

ビットマップフォント
ドット（点）の集合体として記憶されているフォント。アウトラインフォント参照。

フ
フォント 書体のこと。

フォント ROM モジュール
各種フォントが内蔵された ROM モジュール。

フォントキャッシュ プリンタで内部的に生成した文字（フォント）をプリンタのメモリに記憶する機能。

プリンタドライバ アプリケーションソフトのコマンドを、プリンタで使用されるコマンドに変換するソフトウェア。

プロトコル 通信制御のために使われる、信号をやりとりするときの決まりごと。

ヘ
ページプリンタ ページ単位で印刷する方式のプリンタ。

ホ
ホストコンピュータ ネットワークシステムの中心になるコンピュータ。

ボーレート データ転送の速度を示す尺度。コンピュータとプリンタの間で、シリアルインターフェイスを設定するときに使用します。

メ
メモリ 情報を保存するために使用される記憶装置。プリンタに装備されているメモリは、プリンタの動作をコントロールするための情報を入れたり（この情報の変更はできません）、コンピュータからプリンタに送られるデータ（例えばダウンロードフォントやグラフィックス）を一時的に保存するために使用されます。
E^2PROM、RAM および ROM 参照。

メンテナンス 管理や保守のこと。

リ
リセット 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
現在稼働中のインターフェイスのみに有効となります。
キャッシュに保存されたフォントは記憶しています。

リセットオール 印刷を中止し、メモリに保存された印刷データの破棄と、エラーの解除を行います。
すべてのインターフェイスに対して有効となります。

索引

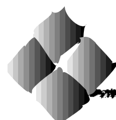
参照ページが Sxx となっているものは、「セットアップガイド」の該当ページを示します。数字のみのものは本書中のページを示します。

数字

アルファベット

アイウエオ

（空白ページ）



お問い合わせ確認票

コピーしてお使いください。

電話にてエプソンインフォメーションセンターへお問い合せいただく際にご使用ください。あらかじめご記入のうえ電話をおかけいただくことにより、トラブルの解決がよりスムーズに行えます。

* 印については次のページを参照してください。

プリンタ機種名	LP-9600S		
コンピュータメーカー名			
コンピュータ OS	□ Windows3.1	Ver.	
	□ Windows95*1	Ver.	
	□ WindowsNT3.51	Ver.	
	□ Windows98*1	Ver.	
	□ WindowsNT4.0	Ver.	
	□漢字 Talk/MacOS*2	Ver.	
	□その他	Ver.	
接続ケーブル	EPSON 製　□ PRCB4N	□ PRCB5N	
	その他　□メーカー名		型番
	バッファ、切替機など	□有り	□無し
ステータスシート印刷	□正常　□正常でない お問い合せの際は念のため、お手元に印刷結果をご用意ください。		
プリンタドライバ	プリンタドライバのバージョン*3		Ver.
	CD-ROM（または FD）のリビジョン*4		Rev.
	TestPage の印刷（Windows95/98/NT4.0 のみ） □正常　□正常でない		
	プリンタドライバの再インストール □行った　□行っていない		
アプリケーションソフト	メーカー名		
	ソフト名		
	バージョン　Ver.		
	上記アプリケーションソフトで他のデータを印刷した場合 □正常に印刷できる	□正常に印刷できない	
	他のアプリケーションから印刷を行った場合 使用アプリケーション名 ______________ □正常に印刷できる	□正常に印刷できない	
今回のようなトラブルの現象は以前からありましたか？	□以前からあった	□以前はなかった	
今回のようなトラブルはどのくらいの頻度で発生しますか？	□毎回必ず発生する □発生したりしなかったり	□ほとんどの場合に発生する	
お客様 ID コード（取得済みの方のみ）	プリンタの製造番号*5		

お問い合せ確認票記入のために

*1 Windows95/98のバージョン(Ver.)の確認方法

スタート から［設定］－［コントロールパネル］を開きます。
［システム］のアイコンをダブルクリックして開き、［情報］（［全般］のタブの画面の［システム］の部分で［Windows95/98］の次に記載されている部分が該当します。

*2 漢字Talk(Mac OS)バージョン(Ver.)の確認方法

［アップルメニュー］から［この Macintosh について］（Mac OS の場合は［このコンピュータについて］）を選択します。開いたウィンドウの［システムソフトウェア］の記載部分が該当します。
（Mac OS の場合は、ウィンドウの右上にバージョンが表示されます。）

*3 プリンタドライバのバージョン(Ver.)の確認方法

Windows95/98/NT4.0 の場合

プリンタドライバのプロパティのウィンドウで「基本設定」タブを選択し、右下の バージョン情報 ボタンをクリックします。開いたウィンドウの中にバージョン番号の記載があります。

Macintosh の場合

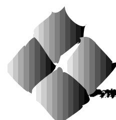
［印刷ダイアログ］や［用紙設定ダイアログ］の上部に表示されます。

*4 プリンタドライバのリビジョン(Rev.)の確認方法

お客様がプリンタドライバのインストールに使用されたCD-ROM(もしくはフロッピーディスク）に記載の「Rev.」が該当します。

*5 プリンタの製造番号の確認方法

プリンタの保証書、もしくはプリンタ本体背面に貼ってあるシールに記載があります。



FAX注文書

この FAX 注文書は、代引き専用です。コピーしてお使いください。

エプソンOAサプライ株式会社 行

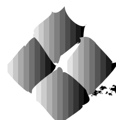
ファックス番号： 0120-55-7765（フリーダイヤル FAX）
：03-3258-7690

発注日　　　　年　　月　　日

* 空欄にご希望の商品名、金額など必要事項をご記入ください。お客様の電話番号は、弊社管理上の必要項目となっておりますので、必ずご記入ください。

電話番号　　　（　　　　）			
会社名／お名前			
住所　〒　　　ー			
品名・型番	数量	単価	金額
	商品金額合計		

送料	
消費税	
お支払い金額合計	



修理依頼票

コピーしてお使いください。

機 種 名	LP-9600S	製造番号	
お買上店名		お買上日	年 月 日
修理品への添付	□ 保証書 □ケーブル（種類： ） □（ ） □（ ）		

発生の日時／頻度について、ご記入ください	
初めて故障した日時	年 月 日
故障が発生する時	電源ON時・使用開始直後・使用開始後 分/時間してから・電源OFF時
故障頻度	使用開始時のみ・いつも・ときどき（ 時間/ 日に 回）・まれ（ 週間に 回）
自己診断（動作確認）での結果について、ご記入ください	
動作確認結果	良好 ・ 異常（ ）
故障内容について、文字／イラストなど、具体的にご記入ください	
お願い： 印刷結果に関する故障は、印刷サンプルを添付してください。用紙によって発生する場合は該当紙の添付をお願いします。また、特定のファイルで現象が発生する場合、差し支えなければ、フロッピーディスクにて添付してください。	
お客様のコンピュータについて、ご記入ください	
コンピュータ	メーカー名 機種
メモリ	標準 MByte＋増設 MByte（メーカー 型番 ）= 合計 MByte
インターフェイス	パラレル・双方向パラレル・SCSI・シリアル・その他（ ）
接続ケーブル	メーカー名：
故障発生時のソフトウェアをご記入ください	
OS	□Windows 3.1 （メーカー. Ver. ） □Windows 95 （メーカー. Ver. ） □Windows 98 （メーカー. Ver. ） □Windows NT4.0 （メーカー. Ver. ） □Windows NT3.51 （メーカー. Ver. ） □Mac OS（漢字Talk）（メーカー. Ver. ） □ネットワーク （メーカー. Ver. ） □その他 （メーカー. Ver. ）
ドライバ	メーカー ドライバ名 Ver.
アプリケーション	メーカー Ver. メーカー Ver.
一日の使用時間／印字あるいは取り込み枚数	時間／ 枚（用紙サイズ ）

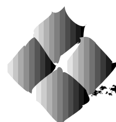
フリガナ お名前	電話番号 TEL FAX
ご住所 〒 ー	お客様IDコード（取得済みの方のみ）

＊保証期間中の修理依頼については、必ず保証書を添付してください。

MEMO

MEMO

MEMO



パネル設定一覧表

部分はオプション装着時に表示されます。

ワンタッチ設定モード1

ジドウ　ジドウ　OFF　タテ

□ 給紙選択　用紙サイズ　縮 小　用紙方向
□ プリンタモード　コピー枚数　トレイ紙サイズ　両面印刷
□ 設定メニュー　設定項目　設定値　設定実行
□ 印刷可　□ 排 紙　□ エラー解除　パネル設定
印刷中止／リセット

給紙選択	用紙サイズ	縮小	用紙方向
ジドウ→トレイ→ カセット 1→カセット 2 カセット 3 → カセット 4 → カセット 5	ジドウ→ A4 → A3 → A5 → B4 → B5 → ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4 → MON → C10 → DL → C5	OFF ←→ 80%	タテ←→ヨコ

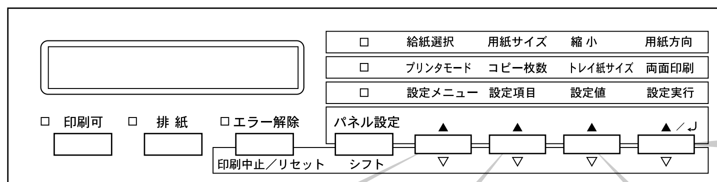
ワンタッチ設定モード2

ESC/PS　1　A4　シナイ

□ 給紙選択　用紙サイズ　縮 小　用紙方向
□ プリンタモード　コピー枚数　トレイ紙サイズ　両面印刷
□ 設定メニュー　設定項目　設定値　設定実行
□ 印刷可　□ 排 紙　□ エラー解除　パネル設定
印刷中止／リセット

プリンタモード	コピー枚数	トレイ紙サイズ	両面印刷
ジドウ ↓ ESC/PS ↓ ESC/P ↓ ESC/Page ↓ EP-GL	1 〜 999	A4 → A3 → A5 → B4 → B5 →ハガキ→ LT → HLT → LGL → GLT → GLG → B → EXE → F4	OFF ←→ ON

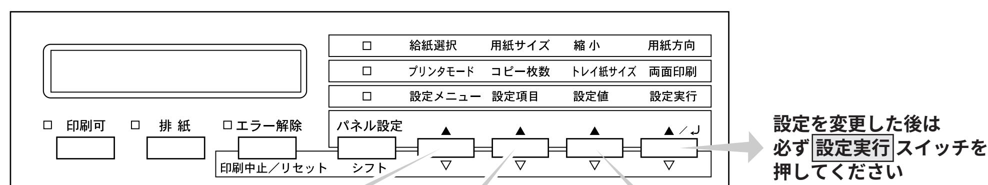
階層設定モード



設定を変更した後は必ず設定実行スイッチを押してください

設定メニュー	設定項目	設定値
テストインサツメニュー	ステータスシート	
	ネットワークジョウホウ	
	オプション I/F ジョウホウ	
	ROM モジュール A ジョウホウ	
	ROM モジュール B ジョウホウ	
キョウツウメニュー	I/F キリカエ	ジドウ→パラレル→ネットワーク→オプション
	I/F タイムアウト	20～600 ビョウ
	セツデン	30 プン→OFF→5 フン→15 フン→60 プン
	トレイヨウシサイズ	A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4
	トレイタイプ カセット 1 タイプ カセット 2 タイプ	フツウシ→インサツズミ→レターヘッド→センコウシ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ→OHP フィルム→ラベル
	カセット 3 タイプ カセット 4 タイプ カセット 5 タイプ	フツウシ→インサツズミ→レターヘッド→センコウシ→ボンドシ→サイセイシ→イロツキ→OHP フィルム→ラベル
	ヒョウジゲンゴ	ニホンゴ←→ENGLISH
	セッテイショキカ	

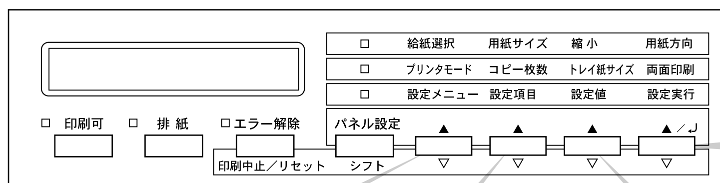
キョウツウメニュー 2



キョウツウメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
キョウツウメニュー 2	トナーザンリョウ	
	ファイルアップトレイ	ナシ←→アリ
	マルチビン	メールボックス→ダイヨウリョウ→ソーター→マルチソーター
	スタッカ	スタッカ＋FD←→スタッカノミ
	ノベインサツマイスウ	
プリンタモードメニュー	パラレル	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page→EP-GL
	ネットワーク	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page→EP-GL
	オプション	ジドウ→ESC/PS→ESC/P→ESC/Page→EP-GL
	ワンタッチ	ネットワーク→パラレル→オプション
インサツメニュー	キュウシ	ジドウ→トレイ→カセット 1→カセット 2→カセット 3→カセット 4→カセット 5
	ヨウシサイズ	ジドウ→A4→A3→A5→B4→B5→ハガキ→ LT→HLT→LGL→GLT→GLG→B→EXE→F4→ジドウ→A4
	ヨウシホウコウ	タテ←→ヨコ
	ハイシ	FD→FU→スタッカ / メール 1～メール 10/ ソーター
	コピーマイスウ	1～999
	シュクショウ	OFF←→80%
	カイゾウド	ハヤイ←→キレイ
	イメージホセイ	1←→2
	ハクシセツヤク	スル←→シナイ
	ジドウハイシ	スル←→シナイ
	リョウメンインサツ	OFF←→ON
	トジホウコウ	ロングエッジ←→ショートエッジ
	シフトハイシ	シナイ←→スル
	トジ	ナシ→シングル→ダブル
	トジイチ	ヒダリ→ミギ

デバイスメニュー

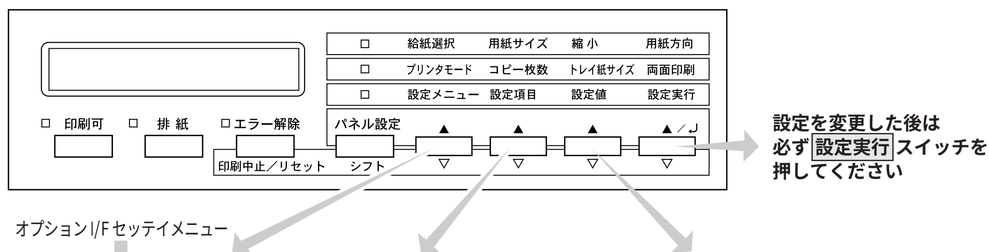


設定を変更した後は必ず設定実行スイッチを押してください

デバイスメニュー

設定メニュー	設定項目	設定値
デバイスメニュー	RIT	ON ←→ OFF
	トナーセーブ	シナイ←→スル
	インサツノウドレベル	1～5
	ウエオフセット	-30.0mm ～ 30.0mm
	ヒダリオフセット	-30.0mm ～ 30.0mm
	ウエオフセット B	-30.0mm ～ 30.0mm
	ヒダリオフセット B	-30.0mm ～ 30.0mm
	カミシュ	フツウ←→アツガミ
	ヨウシサイズフリー	OFF ←→ ON
	ジドウエラーカイジョ	シナイ←→スル
	ページエラーカイヒ	OFF ←→ ON
パラレル I/F セッテイメニュー	ACK ハバ	ミジカイ←→ヒョウジュン
	ソウホウコウ	ニブル→ ECP → OFF
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ
ネットワーク I/F セッテイメニュー	ネットワークセッテイ	シナイ←→スル
	IP アドレスセッテイ	パネル→ジドウ→ PING
	IP Byte1 ～ IP Byte4	0 ～ 255
	SM Byte1 ～ SM Byte4	0 ～ 255
	GW Byte1 ～ GW Byte4	0 ～ 255
	ジュシンバッファ	サイショウ→ヒョウジュン→サイダイ
オプション I/F セッテイメニュー	I/F ボードセッテイ	シナイ←→スル
	IP アドレスセッテイ	パネル→ジドウ→ PING
	IP Byte 1 ～ IP Byte 4	0 ～ 255
	SM Byte 1 ～ SM Byte 4	0 ～ 255
	GW Byte 1 ～ GW Byte 4	0 ～ 255
	NetWare	ON ←→ OFF
	AppleTalk	ON ←→ OFF
	NetBEUI	ON ←→ OFF
	I/F ボードショキカ	
	ジュシンバッファ	ヒョウジュン→サイダイ→サイショウ

ESC/PS カンキョウメニュー



設定メニュー	設定項目	設定値
ESC/PSｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	レンゾクシ	OFF→［F15→B4ヨコ］→［F15→A4ヨコ］→［F10→A4タテ］
	モジコード	カタカナ←→グラフィック
	キュウシイチ	8.5mm←→22mm
	カッコクモジ	ニホン→アメリカ→イギリス→ドイツ→スウェーデン
	ゼロ	0←→ø
	ヨウシイチ	ヒダリ→チュウオウ→チュウオウ -5→チュウオウ +5
	ミギマージン	ヨウシハバ←→136ケタ
	カンジショタイ	ミンチョウ→ゴシック→セイカイショ→マルゴシック→キョウカショ→ギョウショ
ESC/Pageｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	フッキカイギョウ	スル←→シナイ
	カイページ	スル←→シナイ
	CR	CRノミ←→CR+LF
	LF	CR+LF←→LFノミ
	FF	CR+FF←→FFノミ
	エラーコード	OFF←→ON
	フォントタイプ	1→2→3
	フォームオーバーレイ	OFF←→ON
	フォームバンゴウ	1～512

●オプションの EP-GL モジュール装着時に表示される項目です。

設定メニュー	設定項目	設定値
EP-GLｶﾝｷｮｳﾒﾆｭｰ	コマンドモード	エンハンスト←→スタンダード
	カンジショタイ	ミンチョウ→ゴシック→ セイカイショ → マルゴシック → キョウカショ → ギョウショ →ナシ
	ゲンテンイチ	ヨウシスミ←→チュウオウ
	カイテンカク	0 ド→ 90 ド→ 180 ド→ 270 ド
	ミラー	OFF → ON
	ジドウスケーリング	OFF → A0 → A1 → A2 → A3 → A4 → B1 → B2 → B3 → B4 → IP
	ニンイスケーリング	OFF → A0 → A1 → A2 → A3 → A4 → B1 → B2 → B3 → B4
	ニンイバイリツ	25 ～ 200%
	ヨコホセイ	-1.00 ～ 1.00%
	タテホセイ	-1.00 ～ 1.00%
	ペンモード	コテイ 1 →コテイ 2 →ホセイ
	ペン 1 ハバ～ペン 8 ハバ	0.00 ～ 5.00mm
	ペン 1 ノウド～ペン 8 ノウド	0 ～ 100%
	センシュウタン	ナシ→シカク→サンカク→マル
	センセツゴウ	ナシ→マイター→マイターベベル→ベベル→マル→サンカク
	マイターチョウ	1 ～ 5
	オーバーレイ	OFF ←→ ON
	SP ハイシ	ON ←→ OFF
	カルーゼルバンゴウ	1 ～ 5
	ブンカツインサツ	OFF → A0 → A1 → A2 → A3 → B1 → B2 → B3
	ブンカツジクリップ	ハシ→キントウ→シュクショウ

本製品を日本国外へ持ち出す場合のご注意

本製品（ソフトウェアを含む）は日本国内仕様のため、本製品の修理・保守サービスおよび技術サポートなどの対応は、日本国外ではお受けできませんのでご了承ください。また、日本国外ではその国の法律または規制により、本製品を使用できないことがあります。このような国では、本製品を運用した結果罰せられることがありますが、当社といたしましては一切責任を負いかねますのでご了承ください。

電波障害自主規制について　－注意－

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。
本装置の接続において指定ケーブルを使用しない場合、VCCIルールの限界値を越えることが考えられますので、必ず指定されたケーブルを使用してください。

瞬時電圧低下について

本装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人日本電子工業振興協会のパソコン業界基準（PC-11-1988）に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギースタープログラムについて

当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

ご注意

(1) 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りします。
(2) 本書の内容については、将来予告なしに変更することがあります。
(3) 本書の内容については、万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
(4) 運用した結果の影響については、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
(5) 本製品がお客様により不適当に使用されたり、本書の内容に従わずに取り扱われたり、またはエプソンおよびエプソン指定の者以外の第三者により修理・変更されたこと等に起因して生じた障害等につきましては、責任を負いかねますのでご了承ください。
(6) エプソン純正品および、エプソン品質認定品以外のオプションまたは消耗品を装着し、それが原因でトラブルが発生した場合には、保証期間内であっても責任を負いかねますのでご了承ください。この場合修理等は有償で行います。